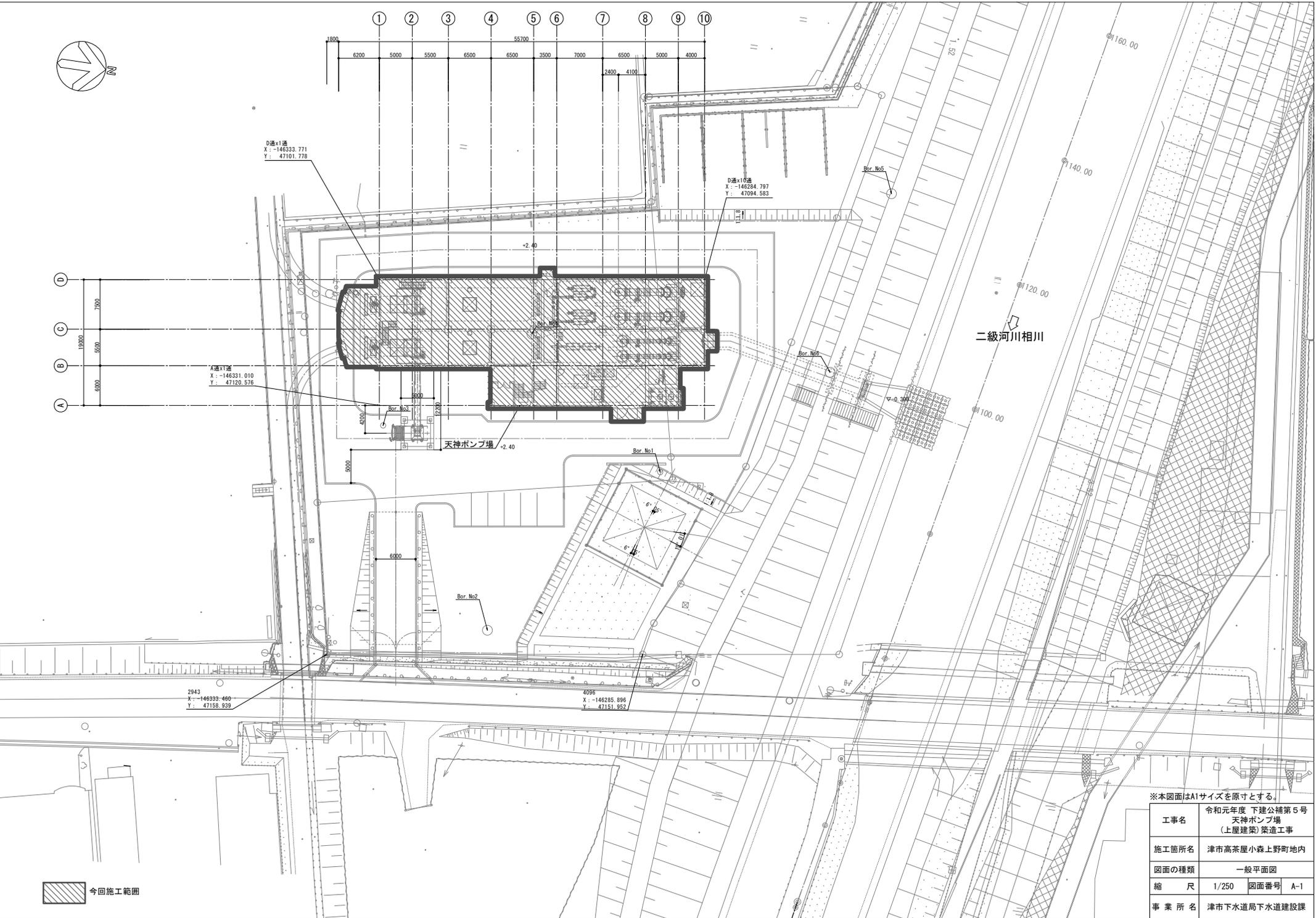
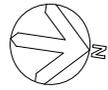


令和元年度 下建公補第5号  
天神ポンプ場(上屋建築)築造工事  
設計図

# 図 面 リ ス ト

図番	名 称	図番	名 称	図番	名 称
A-0	図面リスト	A-40	階段詳細図 (3) 【参考図】	S-17	A通り軸組図
A-1	一般平面図	A-41	部分詳細図 (1)	S-18	B通り軸組図
A-2	水位関係図	A-42	部分詳細図 (2)	S-19	C通り軸組図
A-3	建築工事特記仕様書 (1)	A-43	展開図 (1)	S-20	D通り軸組図
A-4	建築工事特記仕様書 (2)	A-44	展開図 (2)	S-21	1・2通り軸組図【参考図】
A-5	建築工事特記仕様書 (3)	A-45	展開図 (3)	S-22	3・4通り軸組図
A-6	建築工事特記仕様書 (4)	A-46	展開図 (4)	S-23	5・6通り軸組図
A-7	建築工事特記仕様書 (5)	A-47	1階天井伏図	S-24	7・8通り軸組図
A-8	建築工事特記仕様書 (6)	A-48	2階・PH階天井伏図	S-25	9・10通り軸組図
A-9	建築工事特記仕様書 (7)	A-49	1階建具平面図	S-26	水槽部 柱リスト【参考図】
A-10	建築工事特記仕様書 (8)	A-50	2階建具平面図	S-27	1階 柱リスト
A-11	工事区分一覧表	A-51	PH階建具平面図	S-28	2階 柱リスト
A-12	床面積求積図	A-52	建具標準図	S-29	PH階 柱リスト
A-13	建築面積求積図	A-53	建具廻り詳細図	S-30	大梁リスト (1)
A-14	法規チェックリスト	A-54	水槽部付帯設備配置図 【参考図】	S-31	大梁リスト (2)
A-15	天神ポンプ場仕上げ表 (1)	A-55	1階付帯設備配置図	S-32	大梁リスト (3) 【参考図】
A-16	天神ポンプ場仕上げ表 (2)	A-56	2階付帯設備配置図	S-33	小梁リスト
A-17	水槽部平面図【参考図】	A-57	付帯設備詳細図 (1)	S-34	壁・小梁・床版リスト
A-18	1階平面図	A-58	付帯設備詳細図 (2) 【参考図】	S-35	壁リスト
A-19	2階平面図	A-59	付帯設備詳細図 (3)	S-36	底版リスト
A-20	PH平面図	A-60	水槽部 箱抜・埋込配管図【参考図】	S-37	7通りラーメン図
A-21	RF平面図	A-61	1階箱抜 埋込配管図	S-38	C通りラーメン図 (1)
A-22	立面図 (1)	A-62	2階箱抜 埋込配管図	S-39	C通りラーメン図 (2)
A-23	立面図 (2)	A-63	PH階箱抜・埋込配管図	S-40	雑配筋図(階段室配筋図) (1)
A-24	A-A断面図	S-1	構造細目共通図 (1)	S-41	雑配筋図 (2)
A-25	B-B断面図	S-2	構造細目共通図 (2) 【参考図】	S-42	雑配筋図 (3)
A-26	C-C断面図	S-3	構造細目共通図 (3) 【参考図】	S-43	雑詳細図(ホイストレース取り付け詳細図)
A-27	D-D断面図	S-4	構造細目共通図 (4) 【参考図】		
A-28	E-E・F-F断面図	S-5	構造細目共通図 (5) 【参考図】		
A-29	G-G【参考図】・H-H断面図	S-6	構造細目共通図 (6) 【参考図】		
A-30	I-I・J-J断面図	S-7	構造細目共通図 (7)		
A-31	K-K・L-L断面図	S-8	構造細目共通図 (8)		
A-32	M-M・N-N断面図【参考図】	S-9	構造細目共通図 (9)		
A-33	1階平面詳細図	S-10	構造細目共通図 (10)		
A-34	2階・PH階平面詳細図	S-11	構造細目共通図 (11)		
A-35	2階平面詳細図	S-12	水槽部伏図【参考図】		
A-36	断面詳細図 (1)	S-13	1階伏図		
A-37	断面詳細図 (2)	S-14	2階伏図		
A-38	階段詳細図 (1)	S-15	PH伏図		
A-39	階段詳細図 (2)	S-16	RF伏図		

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築)築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	図面リスト		
縮 尺	-	図面番号	A-0
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



D通x1通  
X: -146333.771  
Y: 47101.778

D通x10通  
X: -146284.797  
Y: 47094.583

A通x1通  
X: -146331.010  
Y: 47120.576

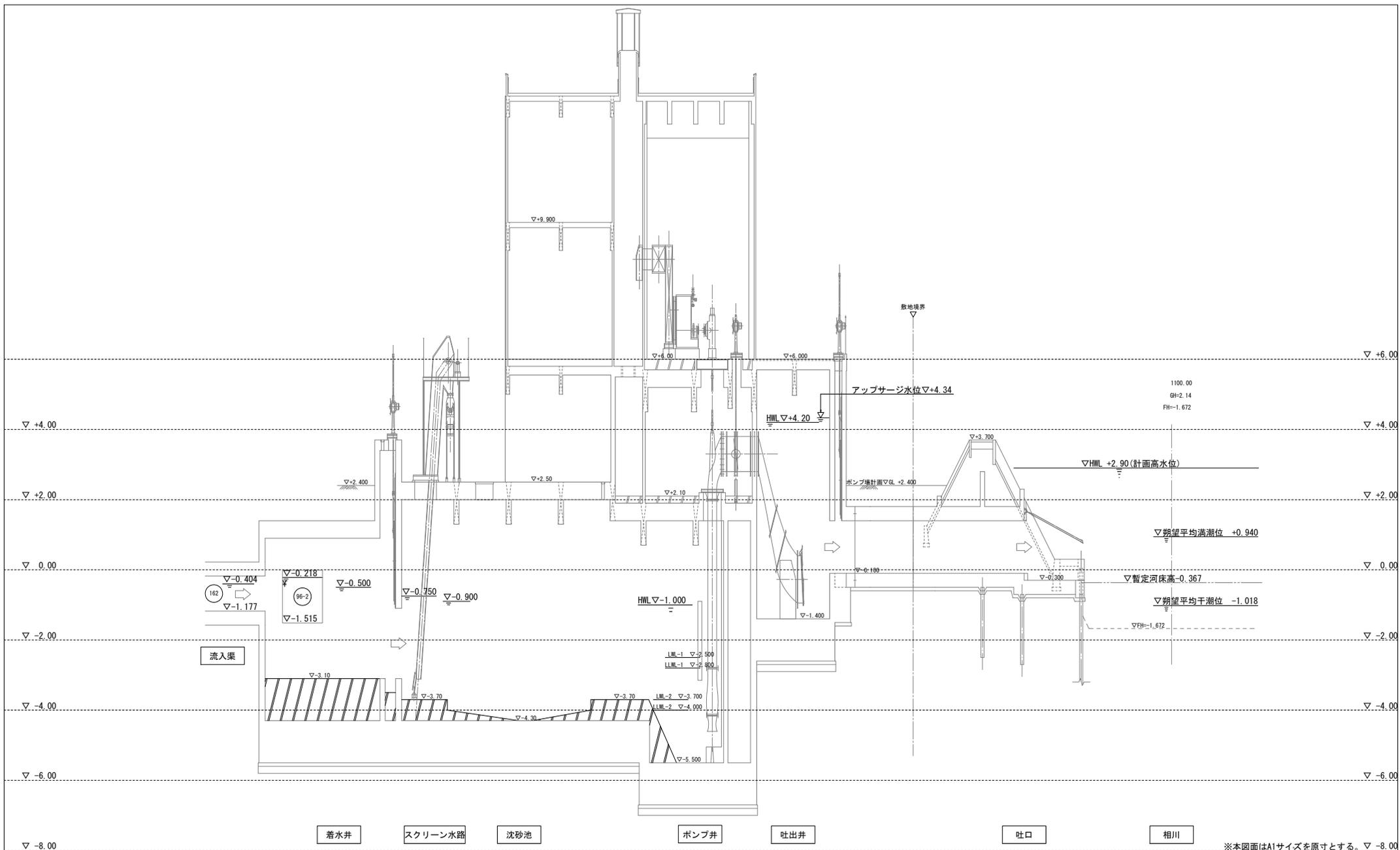
2943  
X: -146239.460  
Y: 47138.839

4096  
X: -146285.896  
Y: 47151.952

 今回施工範囲

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	一般平面図		
縮尺	1/250	図面番号	A-1
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



流入渠

着水井

スクリーン水路

沈砂池

ポンプ井

吐出井

吐口

相川

//// 後打ち無筋コンクリート

※本図面はA1サイズを原寸とする。▽-8.00

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	水位関係図		
縮尺	1/100	図面番号	A-2
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



<p><b>2章 仮設工事</b></p> <p><b>特記事項</b></p> <p>・ 1 工事用大 構内既存の施設 ※ 利用できない</p> <p>・ 2 工事用電力 構内既存の施設 ※ 利用できない</p> <p>・ 3 足場その他 ※ 設ける ・ 設けない</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 高規格M24001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、同ガイドライン「働きやすい安心感のある足場に関する事項」に適合する手すり、中さん及び橋本の機能を有する足場とし、同ガイドライン「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により、足場の組立て、解体又は変更の作業を行う。</p>	
<p><b>3章 土工</b></p> <p><b>特記事項</b></p> <p>・ 1 掘削し及び盛土 掘削し及び盛土の材料及び工法 ※ B種 ※ C種 ※ D種</p> <p>・ 2 建設発生土の利用 盛土に使用する発生土 工事からの建設発生土を利用するものとする。</p> <p>・ 3 建設発生土の処理 ※ 指示による ・ 構内指定場所の種類（指示による） ・ 構外搬出処理 搬出先 運搬距離 km 処分費 建設発生土等を処分する場合は、搬出距離、処分費、処分地が指定できる資料を監督職員に提出し、承認を受ける。</p> <p>・ 4 山留の存在 ・ 有り（詳細は指示による） ・ なし</p> <p>・ 5 セメント及びセメント系固結材を使用した改良土について ・ 有り (1) セメント及びセメント系固結材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六塚クロム 抽出試験を行い、その結果について監督職員に報告する。 (2) セメント及びセメント系固結材とは、セメントを含有成分とする固結材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固結材、石灰系固結材をいい、これに添加物をくわえたものを指す。 (3) 六塚クロム抽出試験は「セメント及びセメント系固結材を使用した改良土の六塚クロム抽出試験実施要領(案)」により実施し、土壤改良基準を超えないことを確認する。</p>	
<p><b>4章 地盤工事</b></p> <p><b>特記事項</b></p> <p>・ 1 試験坑または試験地 試験坑または試験地の位置及び本数 ※ 指示による</p> <p>・ 2 杭の載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 試験坑の位置及び本数 ※ 指示による 載荷荷重等 [ ] 試験の方法、報告書記載事項 ・ 建設大臣官庁審判部様「地盤調査共通仕様書（平成11年版）」による ・ 指示による</p> <p>・ 3 地盤の載荷試験 ※ 平面載荷試験 試験位置 ※ 指示による 載荷荷重等 (長期設計耐力) kN/m<sup>2</sup>以上を確認する。</p>	

<p>試験の方法、報告書記載事項 ※ 建設大臣官庁審判部様「地盤調査共通仕様書（平成11年版）」による ・ 指示による</p>	
<p>・ 4 掘削コンクリート杭地盤 材 質 種類及び品質 ※ 指示による 杭の寸法、継手の箇所数 ※ 指示による 杭の端部の形状 ※ 閉そく平たん形 ・ 開放形 工 法 ・ 打込工法 ・ プレボーリング併用打撃工法 掘削深さ ※ 指示による 打込方法 杭の長径方向支持力 [ ] 打込杭の掘削支持力 [ ] ・ セメントミルク工法 αは、H13箇文告113号（改正H18年国土文告第1232号）第5による支持力計算式による 支持地盤 ※ 指示による 支持地盤への掘削深さ ※ 指示による 支持地盤への掘入長さ ※ 指示による ・ 特定増込杭工法 ・ H13箇文告1113号（改正H18年国土文告第1232号）第6による支持力計算式で α=25%程度を採用できる工法 ・ H13箇文告1113号（改正H18年国土文告第1232号）第6による支持力計算式で α=、β=、γ= を採用できる工法 ・ プレボーリング ・ プレボーリング拡大掘削工法 杭間固定液 ・ 中掘り ・ 中掘り拡大掘削工法 ・ 回転掘削工法 支持地盤 ※ 指示による 継 手 ※ 指示による 杭頭の処理 ※ 指示による</p>	
<p>・ 5 鋼杭地盤 材料、工法、継手等 ※ 指示による</p>	
<p>・ 6 掘削打ちコンクリート杭地盤 材料その他 鉄 筋 鉄筋筋の構造 ※ 指示による かぶり厚さ ※ 指示による コンクリート セメントの種類 ※ 高炉セメント B種 普通ポルトランドセメント コンクリート種別及設計基準強度 (表4.5.1) 工 法 ・ アースドリル工法 ・ リバラー工法 ・ オートアレンジ工法 支持地盤 ※ 指示による 孔壁の超音波測定 ※ 有り ( %以上) ※ 無 杭頭の基礎層厚さへの定着長 ※ 構造細目共選による ※ 構造細目共選による 孔内の水気(オートアレンジ工法の場合) ・ 行う ・ 行わない ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 拡張杭工法 孔壁の超音波測定 ※ 有り ( 数値) ・ 無</p>	

<p>・ 7 掘削及び埋地盤 埋 込 ※ 構造細目共選による ・ 指示による 砂利材料 ※ 構造細目共選による ・ 切込み砂利及び砕石 ・ 8 掘削コンクリート地盤 ※ 構造細目共選による ・ 9 床下防湿層 適用範囲 ※ 指示による</p>	
<p><b>5章 鉄筋工事</b></p> <p><b>特記事項</b></p> <p>○ 1 鉄筋の種類 ※ 構造細目共選による</p> <p>○ 2 溶接金物 鋼目の形状寸法 鉄線の径 施工箇所 ※ 100×100 ※ 6 ※ 構造細目共選による ※ 防水の保護コンクリート ○ 3 鉄筋の継手 ※ 構造細目共選による ○ 4 鉄筋の最小かぶり厚さ ※ 構造細目共選による 塩害対策 ※ 必要としない ・ 必要とする ○ 5 帯 筋 ※ 構造細目共選による ○ 6 壁開口部の補強 ※ 構造細目共選による ・ 下記による 一 壁型 ※ (別図 各部配筋 表4.3) のA形 ※ (別図 各部配筋 表4.4) のB形 ・ 指示による 二 割窓型 ※ (別図 各部配筋 表4.4) のB形 ※ 指示による 三 枠 型 ※ (別図 各部配筋 表4.3) のA形 ※ (別図 各部配筋 表4.4) のB形 ・ 指示による</p> <p>○ 7 圧接後の試験 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験</p>	
<p>○ 3章 コンクリート工事</p> <p>一般事項</p> <p>○ 1 普通コンクリートの設計基準強度 ※ 構造細目共選による</p> <p>○ 2 レディミキストコンクリートの種類等 ※ I類 ・ II類</p> <p><b>特記事項</b></p> <p>○ 1 セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS F5210の規定に適合し、かつ、次の規定に適合するものとする。 水和熱が7日目で55J/g以下、28日目で40J/g以下とする。 ・ 早強ポルトランドセメント (JIS F5210) ・ 高炉セメントのB種 (JIS F5211)</p> <p>○ 2 骨 材 砕石及び砕砂 (JIS A5005) のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (アルカリ骨材反応抑制対策を行う) 細骨材の塊分含有量 (%) ※ 0.04以下</p>	

<p>○ 3 混和材料の種類 ※ 混和剤 A種剤、A種減水剤及び高性能A種減水剤 (JISによる) ・ 混和材 フライアッシュの種類または11種、高炉スラグ微粉又は膨張材 (JISによる)</p> <p>○ 4 普通コンクリートの割合 所定スランジ ※ 構造細目共選による 所定空気量 ( /%) ※ 4.5</p> <p>○ 5 無筋コンクリート 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) スランジ (mm) 骨材材の最大寸法 (mm) 施工箇所 ※ 構造細目共選による ※ 構造細目共選による ※ 25 普通押入コンクリート ・ 18 ・ 15 ・ 18 ※ [ ] 床厚上コンクリート ・ [ ] ・ 15 ・ 18 保目的地 ※ 設置する 工法 ※ 指示による ※ (15.2.4) による ・ 設置しない</p> <p>○ 6 打抜き仕上げの種類 (表6.2.4) (表6.2.4) 種 別 ※ A種 ※ B種 外壁打抜き仕上げ面、梁型打抜き仕上げ面、防水層立上り下地面 ※ C種 床版下及び床下打抜き仕上げ面、防水層再立上り面 コンクリートの仕上げの平たんさは、(表6.2.4) による 外部に露するコンクリート打抜き仕上げ面の打抜き厚さ (mm) ※ 指示による (表6.2(d)) による</p> <p>○ 7 型枠 (せき板) の種類 (表6.3) ※ 合 板 塗装の有無 ※ 有 (内部打抜きB種で、吹付け・塗装等を行わない) ※ 無 (上記以外) ・ 床型枠用鉄字デッキプレート 製造所 建設技術評価「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鉄字デッキプレート」において評価を取得したものを又は評価名簿による 施工箇所 指示による</p> <p>○ 8 貫通孔 (スリーブ) (表6.8.1) 材 種 使用箇所 溶接部防錆処理 下記以外の円形スリーブ つば付スリーブ 外壁の端部等水密を要する部分のスリーブ 硬質強化ビニル管 端部部分で水密を要しない部分のスリーブ 鉄スリーブ 柱及び梁の天井の箇所等、開口部構造が不安定であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分</p> <p>○ 9 冬期養生 ※ 適用する 【冬期養生の仕様】 掘削の内部の所定温度 (最初の3日 10℃、後の2日 4℃) 工事期間前に、養生方法、保温方法等、必要な図書や監督職員に提出して、承認を受ける</p> <p>○ 10 埋込み管 ※ 別図「貫通孔、埋込管及び埋込基礎仕様書」による。</p>	
--	--

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	建築工事特記仕様書 (2)
縮 尺	- 図面番号 A-4
事業所名	津市下水道局下水道建設課



<p>役物</p> <p>標準的な由がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>特注タイルの見本模</p> <p>※ 行わない ・ 行う</p> <p>内装陶磁器タイル</p> <p>○一般地仕様 ・ 高冷地仕様(高冷地地域)</p> <p>汚泥タイルの下水道汚泥接触区有害</p> <p>※ 市販品同等</p> <p>・ 原材料の重量比( )%以上 (試験値を ・ 行う)</p> <p>・ 2 張り付け用材料</p> <p>既製適合モルタル (11.2.3(g))</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位貯留質量 (kg/l)</th> <th>接着強度 (N/cm2)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強度 (N/cm2)</th> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1.60程度</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.20以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>凍結融凍後</td> <td></td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	保水率 (%)	単位貯留質量 (kg/l)	接着強度 (N/cm2)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/cm2)	70以上	1.60程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下			凍結融凍後		4.0以上	<p>・ 7 木材の防虫防腐及び防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)</p> <p>種類及び品質 ※ (12.3.1) による保形処理木材 ・ [ ]</p> <p>施工箇所 ※ (12.3.1) による [ ]</p> <p>・ 8 間伐材等</p> <p>使用箇所:</p> <p>間伐材等: 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は伐りかき等の伐りかき等(10%以上)以上を主とする。</p> <p>前記が10%以上を占めること。</p> <p>乾燥中の木材にあっては、ホルムアルデヒド放散量「(JIS規格による測定方法)」が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること。</p>	<p>耐火性能</p> <p>・ 無 ・ [ ]</p> <p>屋根葺き工法</p> <p>※ 金属タイル工法</p> <p>・ [ ]</p> <p>製造所(施工とも) (施工専門事業者は製造所の指定業者とする)</p> <p>元直ゼニュー工業株式会社(スプリングルーフ280)</p> <p>三菱金属工業株式会社(段ルーフ28)</p> <p>株式会社製鋼所(ヨドルーフ250)</p> <p>カナメ(タイムルーフ7型) 程度とする</p> <p>・ 多雪地域仕様</p>	<p>○ 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理(他に定めのない場合) (14.2.2) (表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕様</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A-1種</td> <td></td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>・ A-2種</td> <td>着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]</td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>○ B-1種</td> <td></td> <td>○ アルミと見切り縁</td> </tr> <tr> <td>・ B-2種</td> <td>着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]</td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>・ C-1種</td> <td></td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>・ C-2種</td> <td>着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]</td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>・ JIS H 8002のA種(無色種特種酸化皮膜被覆)</td> <td></td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>・ JIS H 8002のB種(無色種特種酸化皮膜被覆)</td> <td>着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]</td> <td>・ 窓枠による</td> </tr> </table>	種別	仕様	施工箇所	・ A-1種		・ 窓枠による	・ A-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による	○ B-1種		○ アルミと見切り縁	・ B-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による	・ C-1種		・ 窓枠による	・ C-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による	・ JIS H 8002のA種(無色種特種酸化皮膜被覆)		・ 窓枠による	・ JIS H 8002のB種(無色種特種酸化皮膜被覆)	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による																																																																													
保水率 (%)	単位貯留質量 (kg/l)	接着強度 (N/cm2)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/cm2)																																																																																																																						
70以上	1.60程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下																																																																																																																						
		凍結融凍後		4.0以上																																																																																																																						
種別	仕様	施工箇所																																																																																																																								
・ A-1種		・ 窓枠による																																																																																																																								
・ A-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による																																																																																																																								
○ B-1種		○ アルミと見切り縁																																																																																																																								
・ B-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による																																																																																																																								
・ C-1種		・ 窓枠による																																																																																																																								
・ C-2種	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による																																																																																																																								
・ JIS H 8002のA種(無色種特種酸化皮膜被覆)		・ 窓枠による																																																																																																																								
・ JIS H 8002のB種(無色種特種酸化皮膜被覆)	着色方法 ・ 二次電解着色 ・ [ ] 色合い ・ ブラック ・ ステンカラー ・ フラウン系 ・ [ ]	・ 窓枠による																																																																																																																								
<p>○ 3 壁タイル張りの工法 (表11.2.3) (11.2.7(a))</p> <p>内装タイルの張り付け工法</p> <p>・ 改良種上げ張り ※ 壁タイル接着剤張り</p> <p>外装タイルの張り付け工法(巾目なし、二丁掛け以下)</p> <p>※ 密着張り ・ 改良種上げ張り ・ 改良接着剤張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイルの張り付け工法</p> <p>※ マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>・ 4 コンクリート床地面 (11.2.7)</p> <p>外装タイル張りの後の躯体表面の処理</p> <p>※ 自質工法(高圧水洗) 水圧: 150 Mpa 水量: 5L/min 洗浄時間: 10min/㎡</p> <p>・ [ ]</p>	<p>○ 1 長尺金属板</p> <table border="1"> <tr> <th>型による区分</th> <th>仕様</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>下置材料</th> </tr> <tr> <td>・ 立平基</td> <td>・ 塗装溶融55%アルミニウム</td> <td>※ 0.4</td> <td>※ アスファルトルーフィング940</td> </tr> <tr> <td>・ 立平基</td> <td>・ G60R-20-Z25</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>・ 立平基(心木なし)</td> <td>・ ポリ塩化ビニル複合金属板</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>・ 塗装溶融55%アルミニウム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 亜鉛合金のつき鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ OLR-20-AZ150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ポリ塩化ビニル複合金属板の場合、板厚は金属板厚の倍とすること</p> <p>取付け工法等</p> <p>※ 窓枠による(施工専門事業者は製造所の指定業者とする)</p>	型による区分	仕様	厚さ (mm)	下置材料	・ 立平基	・ 塗装溶融55%アルミニウム	※ 0.4	※ アスファルトルーフィング940	・ 立平基	・ G60R-20-Z25	・ [ ]	・ [ ]	・ 立平基(心木なし)	・ ポリ塩化ビニル複合金属板	・ [ ]	・ [ ]	・ [ ]	・ 塗装溶融55%アルミニウム				・ 亜鉛合金のつき鋼板				・ OLR-20-AZ150				・ [ ]			<p>・ 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>種類</th> <th>産地</th> <th>止めの瓦</th> </tr> <tr> <td>※ 粘土瓦</td> <td>※ 形筒瓦</td> <td>・ いしが瓦</td> <td>・ 三州瓦</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>・ 8形瓦</td> <td>・ 輪瓦瓦</td> <td>・ 石州瓦</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 9形瓦 S3A</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ 淡路瓦</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>留付け用金物等</p> <p>※ (13.4.2) による ・ [ ]</p> <p>下置材料</p> <p>※ アスファルトルーフィング940 ・ [ ] (13.4.2(g))</p> <p>木材以外の他の場合の留付け工法</p> <p>・ コンクリート面均し ・ 引掛け工法</p> <p>・ [ ]</p> <p>※ パーライトモルタル</p> <p>※ 引掛け工法(下水道施設標準図 S-11-1(4))</p> <p>釘の引掛け試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>・ 免振系成形下地工法(下水道施設標準図 S-16-1(3))</p> <p>・ [ ]</p> <p>種の工法 (13.4.3(d))</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>・ [ ]</p>	材質	形状	種類	産地	止めの瓦	※ 粘土瓦	※ 形筒瓦	・ いしが瓦	・ 三州瓦	・ 適用する	・ [ ]	・ 8形瓦	・ 輪瓦瓦	・ 石州瓦	・ 適用しない		・ 9形瓦 S3A	・ [ ]	・ 淡路瓦			・ [ ]				<p>・ 3 鉄鋼の塗膜のつき (14.2.3) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>基礎のつき塗膜</th> <th>材 料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最低膜厚4.5mm以上の形鋼、鋼板</td> <td>※ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最低膜厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板</td> <td>※ 窓枠による</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ホルト、アンカーボルト 最低膜厚1.0mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td>※ 窓枠による</td> </tr> </table> <p>・ 4 軽量鉄骨地下</p> <p>※ スタッド、ランナーの種類 (14.5.3(a))</p> <p>※ (表14.5.1) による</p> <p>・ スタッドの高さが0.0mを超える場合</p> <p>・ 窓枠による</p> <p>○ 5 軽量鉄骨天井地下</p> <p>野縁等の種類 (14.4.2(b))</p> <p>野縁 ※ 25型 ・ 19型</p> <p>室内 ※ 19型 ・ 25型</p> <p>○ 6 屋外の軽量鉄骨天井地下</p> <p>※ 屋外の野縁受け、吊りボルト及びインサートの取付</p> <p>※ 公共建築工事標準詳細図 (3-21-1~5) による</p> <p>・ 窓枠による(耐風圧を確認する)</p> <p>※ 屋外の野縁の種類 (14.4.3(b))</p> <p>※ 公共建築工事標準詳細図 (3-21-1~5) による</p> <p>・ 窓枠による(耐風圧を確認する)</p> <p>○ 7 軽量鉄骨天井地下の補強</p> <p>※ 耐震性を考慮した補強(必要に応じて鉄筋補強材を入れる)</p> <p>(14.4.4(c))</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>※ 屋外の軒天、ピロティ天井等の補強 (14.4.4(d))</p> <p>※ (14.4.4(d)) による(天井ふところ等1.0m以上の場合)</p> <p>・ 窓枠による</p> <p>・ 8 断熱インサート</p> <p>使用箇所</p> <p>原則として天井、壁等で、内部断熱を施した面の内部アンカーは断熱インサートを使用する。</p> <p>○ 9 金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th colspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>幅</th> <th>縦</th> </tr> <tr> <td>※ アルミ製</td> <td>※ 射出成形</td> <td>※ スチンデル形</td> <td>※ 100</td> <td>・ 0.8</td> <td>・ B-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ロール加工</td> <td>・ ハナル形</td> <td>・ 120</td> <td>・ 1.0</td> <td>○ B-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ プレス加工</td> <td></td> <td>・ 150</td> <td>・ 1.2</td> <td>・ ブラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ステンカラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ブラウン系</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 密着塗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(ツッ素樹脂塗装)</td> </tr> </table>	基礎のつき塗膜	材 料	適用部位	A種	最低膜厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	※ 窓枠による	B種	最低膜厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	※ 窓枠による	C種	普通ホルト、アンカーボルト 最低膜厚1.0mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	※ 窓枠による	材質	製法	形状	寸法 (mm)		表面処理	幅	縦	※ アルミ製	※ 射出成形	※ スチンデル形	※ 100	・ 0.8	・ B-1種		・ ロール加工	・ ハナル形	・ 120	・ 1.0	○ B-2種		・ プレス加工		・ 150	・ 1.2	・ ブラック						・ ステンカラー						・ ブラウン系						・ 密着塗装						(ツッ素樹脂塗装)
型による区分	仕様	厚さ (mm)	下置材料																																																																																																																							
・ 立平基	・ 塗装溶融55%アルミニウム	※ 0.4	※ アスファルトルーフィング940																																																																																																																							
・ 立平基	・ G60R-20-Z25	・ [ ]	・ [ ]																																																																																																																							
・ 立平基(心木なし)	・ ポリ塩化ビニル複合金属板	・ [ ]	・ [ ]																																																																																																																							
・ [ ]	・ 塗装溶融55%アルミニウム																																																																																																																									
	・ 亜鉛合金のつき鋼板																																																																																																																									
	・ OLR-20-AZ150																																																																																																																									
	・ [ ]																																																																																																																									
材質	形状	種類	産地	止めの瓦																																																																																																																						
※ 粘土瓦	※ 形筒瓦	・ いしが瓦	・ 三州瓦	・ 適用する																																																																																																																						
・ [ ]	・ 8形瓦	・ 輪瓦瓦	・ 石州瓦	・ 適用しない																																																																																																																						
	・ 9形瓦 S3A	・ [ ]	・ 淡路瓦																																																																																																																							
	・ [ ]																																																																																																																									
基礎のつき塗膜	材 料	適用部位																																																																																																																								
A種	最低膜厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	※ 窓枠による																																																																																																																								
B種	最低膜厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	※ 窓枠による																																																																																																																								
C種	普通ホルト、アンカーボルト 最低膜厚1.0mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	※ 窓枠による																																																																																																																								
材質	製法	形状	寸法 (mm)		表面処理																																																																																																																					
			幅	縦																																																																																																																						
※ アルミ製	※ 射出成形	※ スチンデル形	※ 100	・ 0.8	・ B-1種																																																																																																																					
	・ ロール加工	・ ハナル形	・ 120	・ 1.0	○ B-2種																																																																																																																					
	・ プレス加工		・ 150	・ 1.2	・ ブラック																																																																																																																					
					・ ステンカラー																																																																																																																					
					・ ブラウン系																																																																																																																					
					・ 密着塗装																																																																																																																					
					(ツッ素樹脂塗装)																																																																																																																					
<p>12章 木工事</p> <p>○ 1 柱</p> <p>・ 見え隠り面の表面仕上げの程度 (12.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕様</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 窓枠による</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>※ B種</td> <td>※ 窓枠による</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ 窓枠による</td> <td>・ [ ]</td> </tr> </table> <p>特記事項</p> <p>・ 1 木材の含水率 (12.2.1)</p> <p>※ A種 ・ B種 ・ [ ] %以下</p> <p>・ 2 木材の品質 (12.2.1(b)) (表12.2.2)</p> <p>※ (12.2.1(b)) による ・ 市販品</p> <p>・ 3 造作材の材質の品質 (12.2.1(b)) (表12.2.2)</p> <p>※ A種</p> <p>・ 白種</p> <p>・ 以下による</p> <p>部材名称 [ ]</p> <p>材質の程度 [ ]</p> <p>・ 4 樹種 (12.2.1)</p> <p>※ (表12.2.3) による</p> <p>・ 代用樹種を禁止する箇所 [ ]</p> <p>・ 5 集材材等 (12.2.1(c)) (表12.2.1(d))</p> <p>造作用集材材 (12.2.1(d))</p> <p>樹種名 ・ たも ・ なら ・ びじ ・ スプルース</p> <p>見付け材面の品質 ※ 1等</p> <p>寸法 ※ 窓枠による</p> <p>・ 化粧ばり造作用集材材 (12.2.1(e))</p> <p>心材の樹種名 ※ 針葉樹の単一種類 ・ [ ]</p> <p>化粧層の樹種名 ※</p> <p>化粧層の厚さ (mm) ※ 0.2 ・ 0.3 ・ 0.6 ・ [ ]</p> <p>見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 2等</p> <p>寸法 ※ 窓枠による</p> <p>・ 造作用集材材 (12.2.1(f))</p> <p>表面の品質 ※ 天然化粧加工を施したもの</p> <p>防虫処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>厚さ ※ 窓枠による</p> <p>・ 6 張り用合板(張り用床板も含む) (12.2.1(g))</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>表面の品質</th> <th>処理</th> </tr> <tr> <td>・ 合板</td> <td>※ 12</td> <td>※ 針葉樹</td> <td>※ 1種</td> <td>※ 2級</td> <td>※ 構造用合板(0・1)又は1Pタイプ又は13Pタイプ</td> <td>※ 防虫 ・ 難燃</td> </tr> <tr> <td>・ パーチナルホー</td> <td>・ 15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>難燃性による区分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ 15</td> <td>・ セノキ</td> <td></td> <td></td> <td>・ 上小節</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等</td> <td></td> </tr> </table>	種別	仕様	適用箇所	・ A種	・ 窓枠による	・ [ ]	※ B種	※ 窓枠による	・ [ ]	・ C種	・ 窓枠による	・ [ ]	種別	厚さ (mm)	表面の樹種名	接着の程度	等級	表面の品質	処理	・ 合板	※ 12	※ 針葉樹	※ 1種	※ 2級	※ 構造用合板(0・1)又は1Pタイプ又は13Pタイプ	※ 防虫 ・ 難燃	・ パーチナルホー	・ 15				難燃性による区分		・ 集成材	・ 15	・ セノキ			・ 上小節							・ 1等		<p>○ 2 鋼板製屋根折板 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>屋根形式</th> <th>仕様</th> <th>山幅 (mm)</th> <th>ピッチ (mm)</th> <th>板厚 (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 重ね形(二重折板)</td> <td>・ 塗装溶融55%アルミニウム</td> <td>・ 80~100</td> <td>・ 190~230</td> <td>※ 0.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ G60R-20-Z25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ はげ鉢形</td> <td>※ 塗装溶融55%アルミニウム</td> <td>※ 140~160</td> <td>※ 310~350</td> <td>○ 0.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 亜鉛合金のつき鋼板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ OLR-20-AZ150</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ かん合形</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ 160~180</td> <td>○ 480~520</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>軒先戸 (13.3.2(a))</p> <p>※ 有 ・ 無</p> <p>止め戸</p> <p>※ 有 ・ 無</p> <p>軒先フレーム</p> <p>※ 有 ・ 無</p> <p>折板断熱材 (13.3.2(g))</p> <p>※ 有 種別 ・ 発泡ポリスチレン ※ 折板用不燃断熱材 ○ グラスウール</p> <p>厚さ (mm) ※ 4 ・ 5 ・ 8 ○ 100</p> <p>・ 無</p> <p>断熱材の防火性能</p> <p>※ 不燃1級 ・ 難燃</p> <p>耐火性能</p> <p>※ 30分耐火 ・ 無</p> <p>重ね折板の軒先は発泡断熱材製防止</p> <p>※ ステンレス製 (L=30×30×3)</p> <p>・ 鋼製(屋根のつき上 L=30×30×3)</p> <p>上張り ・ 無 ・ 有[ ]</p> <p>・ 折板製造所の指定する製品</p> <p>・ 3 金属製既設屋根を屋根</p> <p>材質</p> <p>・ フッ素樹脂鋼板(片面2面コーティング、ポリエチレンフォーム厚4mm裏打)</p> <p>・ 塗装溶融55%アルミニウム</p> <p>記号による表示 ・ G60R-20-Z25 ・ [ ]</p> <p>※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板</p> <p>記号による表示 ※ OLR-20-AZ150 ・ [ ]</p> <p>材質 (mm)</p> <p>※ 0.4以上 ・ 0.6(多雪地域)</p> <p>下置材料</p> <p>※ アスファルトルーフィング940</p> <p>・ [ ]</p> <p>断熱材(下地材兼用)</p> <p>※ 有</p> <p>・ 木質系セメント板(厚さ25mm 難燃材)</p> <p>※ ポリスチレンフォーム保温材(厚さ25mm 3種 b)</p> <p>・ [難燃耐火野地板(木板板20mm+ロックウール吸音板10mm)]</p> <p>・ 無</p> <p>特記事項</p> <p>○ 1 ステンレス鋼の表裏仕上(他に定めのない場合) (14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>材質</th> <th>表面仕上</th> <th>カラー</th> </tr> <tr> <td>見出し防鳥網</td> <td>※ SUS 304</td> <td>○ DL</td> <td>○ 無</td> </tr> <tr> <td>配管ライニング鋼板</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ N2B</td> <td>・ 有(・化学発色・塗付)</td> </tr> </table>	屋根形式	仕様	山幅 (mm)	ピッチ (mm)	板厚 (mm)	※ 重ね形(二重折板)	・ 塗装溶融55%アルミニウム	・ 80~100	・ 190~230	※ 0.4		・ G60R-20-Z25				・ はげ鉢形	※ 塗装溶融55%アルミニウム	※ 140~160	※ 310~350	○ 0.8		・ 亜鉛合金のつき鋼板					・ OLR-20-AZ150				・ かん合形	・ [ ]	・ 160~180	○ 480~520	・ [ ]	・ [ ]	・ [ ]				使用箇所	材質	表面仕上	カラー	見出し防鳥網	※ SUS 304	○ DL	○ 無	配管ライニング鋼板	・ [ ]	・ N2B	・ 有(・化学発色・塗付)	<p>○ 5 とい (13.5.2) (表13.5.1)</p> <p>○ たい (雨水用) (13.5.2) (表13.5.1)</p> <p>材 種 (13.5.2) (表13.5.1)</p> <p>※ 配管用成業鋼管(白管) ・ 硬質塩化ビニル管 (RP-WP) [ ]</p> <p>・ ステンレス管 厚さ (mm) ・ 0.8 ・ 1.0 ・ [ ]</p> <p>防露巻き (13.5.3(d)) (表13.5.5)</p> <p>※ (表13.5.5) による ○ 行わない</p> <p>床下掃除口</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>・ たい (室内排水用) (13.5.2) (表13.5.1)</p> <p>材 種 (13.5.2) (表13.5.1)</p> <p>※ 配管用成業鋼管(白管) ・ 硬質塩化ビニル管 (RP-WP) [ ]</p> <p>・ ステンレス管 厚さ (mm) ・ 0.8 ・ 1.0 ・ [ ]</p> <p>防露巻き (13.5.3(d)) (表13.5.5)</p> <p>※ (表13.5.5) による ※ 行わない</p> <p>床下掃除口</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>・ 軒どい</p> <p>材 質 ・ [ ]</p> <p>材の厚さ (mm) ・ [ ]</p> <p>製造所及び製品番号 [ ]</p> <p>[ ] 又は同等品以上とする</p> <p>・ とい(発食物) (13.5.2(g)) による ・ ステンレス製 (13.5.2) (表13.5.2)</p> <p>○ 6 ルーフドレン (13.5.2) (表13.5.2)</p> <p>材 種 ※ 鉄製 ・ ステンレス製</p> <p>○ 4章 金属工事</p> <p>一般事項</p> <p>○ 1 金属部の受材の取付け方式 (14.1.3)</p> <p>※ 先付け方式</p> <p>・ あと付け方式(先付け方式とできない場合)</p> <p>・ 金工アンカーの引抜き耐力の確認試験 (14.1.3(b))</p> <p>・ 適用する(引抜き耐力は窓枠による) ・ 適用しない</p> <p>特記事項</p> <p>○ 1 ステンレス鋼の表裏仕上(他に定めのない場合) (14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>材質</th> <th>表面仕上</th> <th>カラー</th> </tr> <tr> <td>見出し防鳥網</td> <td>※ SUS 304</td> <td>○ DL</td> <td>○ 無</td> </tr> <tr> <td>配管ライニング鋼板</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ N2B</td> <td>・ 有(・化学発色・塗付)</td> </tr> </table>	使用箇所	材質	表面仕上	カラー	見出し防鳥網	※ SUS 304	○ DL	○ 無	配管ライニング鋼板	・ [ ]	・ N2B	・ 有(・化学発色・塗付)	<p>取付け用下地 (14.6.3(a))</p> <p>※ 14章4節(軽量鉄骨天井地下)による</p> <p>・ [ ]</p> <p>神根設置機手 (14.6.3(a))</p> <p>※ 有 施工箇所 ( )</p> <p>※ 無 施工箇所 ( )</p> <p>※本図面はA1サイズを原寸とする。</p> <p>令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事</p> <p>施工箇所名 津市高茶屋小森上野町地内</p> <p>図面の種類 建築工事特記仕様書(4)</p> <p>縮 尺 - 図面番号 A-6</p> <p>事業所名 津市下水道局下水道建設課</p>								
種別	仕様	適用箇所																																																																																																																								
・ A種	・ 窓枠による	・ [ ]																																																																																																																								
※ B種	※ 窓枠による	・ [ ]																																																																																																																								
・ C種	・ 窓枠による	・ [ ]																																																																																																																								
種別	厚さ (mm)	表面の樹種名	接着の程度	等級	表面の品質	処理																																																																																																																				
・ 合板	※ 12	※ 針葉樹	※ 1種	※ 2級	※ 構造用合板(0・1)又は1Pタイプ又は13Pタイプ	※ 防虫 ・ 難燃																																																																																																																				
・ パーチナルホー	・ 15				難燃性による区分																																																																																																																					
・ 集成材	・ 15	・ セノキ			・ 上小節																																																																																																																					
					・ 1等																																																																																																																					
屋根形式	仕様	山幅 (mm)	ピッチ (mm)	板厚 (mm)																																																																																																																						
※ 重ね形(二重折板)	・ 塗装溶融55%アルミニウム	・ 80~100	・ 190~230	※ 0.4																																																																																																																						
	・ G60R-20-Z25																																																																																																																									
・ はげ鉢形	※ 塗装溶融55%アルミニウム	※ 140~160	※ 310~350	○ 0.8																																																																																																																						
	・ 亜鉛合金のつき鋼板																																																																																																																									
	・ OLR-20-AZ150																																																																																																																									
・ かん合形	・ [ ]	・ 160~180	○ 480~520	・ [ ]																																																																																																																						
・ [ ]	・ [ ]																																																																																																																									
使用箇所	材質	表面仕上	カラー																																																																																																																							
見出し防鳥網	※ SUS 304	○ DL	○ 無																																																																																																																							
配管ライニング鋼板	・ [ ]	・ N2B	・ 有(・化学発色・塗付)																																																																																																																							
使用箇所	材質	表面仕上	カラー																																																																																																																							
見出し防鳥網	※ SUS 304	○ DL	○ 無																																																																																																																							
配管ライニング鋼板	・ [ ]	・ N2B	・ 有(・化学発色・塗付)																																																																																																																							





<p>○ 不燃材</p> <p>材 種 ※ 炭酸カルシウム発泡体 ・ [ ]</p> <p>厚さ (mm) ※ 25 (不燃) ・ [ ]</p>																																
<p>○ 12 吸音材</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th colspan="2">品質規格</th> </tr> <tr> <td>※ グラスウール</td> <td>グラスウール製繊維付「D」等22K</td> <td>※ 25 ・ 50 ・ [ ]</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>※ グラスウール炭</td> <td>※ 炭酸カルシウム発泡体入り</td> <td>※ 52 ・ [ ]</td> <td colspan="2">下水施設取付取組 [B-03]</td> </tr> </table> <p>ボードの裏面のグラスウール JIS R3414 による EP17A程度</p> <p>留付方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インサルトピン留め化粧ワッシャー挿入</li> <li>・ P・O・ALの場合インサルトピン化粧ワッシャー挿入 (R300, 9.1本/㎡)</li> <li>※ ステンレスファスナー留め (壁、天井高8ヶ所/枚 (910×1820相当))</li> <li>・ 樹脂製断熱材ファスナー留め 8ヶ所 (910×1820)</li> </ul>					材 種	種 類	厚さ (mm)	品質規格		※ グラスウール	グラスウール製繊維付「D」等22K	※ 25 ・ 50 ・ [ ]			※ グラスウール炭	※ 炭酸カルシウム発泡体入り	※ 52 ・ [ ]	下水施設取付取組 [B-03]														
材 種	種 類	厚さ (mm)	品質規格																													
※ グラスウール	グラスウール製繊維付「D」等22K	※ 25 ・ 50 ・ [ ]																														
※ グラスウール炭	※ 炭酸カルシウム発泡体入り	※ 52 ・ [ ]	下水施設取付取組 [B-03]																													
<p>・ 13 浴室天井材</p> <p>商品名</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>性 能</th> <th>幅 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>・ 滑り防止塗装</td> <td>・ 不燃品</td> <td>・ 200</td> <td rowspan="2">回り縁は継ぎきるとし、製造所の標準とする。</td> </tr> <tr> <td>※ 硬質塩化ビニル製</td> <td>※ アルミト処理品</td> <td></td> <td>・ 100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 塗装品</td> <td></td> <td>・ 300</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 木目調</td> <td></td> <td>※ 100</td> <td></td> </tr> </table>					材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考	※ アルミニウム製	・ 滑り防止塗装	・ 不燃品	・ 200	回り縁は継ぎきるとし、製造所の標準とする。	※ 硬質塩化ビニル製	※ アルミト処理品		・ 100		※ 塗装品		・ 300			※ 木目調		※ 100					
材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考																												
※ アルミニウム製	・ 滑り防止塗装	・ 不燃品	・ 200	回り縁は継ぎきるとし、製造所の標準とする。																												
※ 硬質塩化ビニル製	※ アルミト処理品		・ 100																													
	※ 塗装品		・ 300																													
	※ 木目調		※ 100																													
<p>・ 14 断熱複合板</p> <p>表層材 フレキシブル板 (18章、11による。)</p> <p>断熱材 押出法ポリスチレンフォーム発泡材 (18章、13による。)</p>																																
<p>○ 15 窓 ユニット及びその他の工事</p> <p>特記事項</p> <p>・ 1 止水板</p> <table border="1"> <tr> <th>施行箇所</th> <th>※ 箇条による</th> </tr> <tr> <td>材 質</td> <td>※ 塩化ビニル ・ ガム系</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>※ モンターバルブ部フラット ・ センターバルブ部コルゲート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ アンカット部コルゲート ・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>※ 200×4 ・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>工法</td> <td>※ 貫通 ・ [ ]</td> </tr> </table>					施行箇所	※ 箇条による	材 質	※ 塩化ビニル ・ ガム系	形式	※ モンターバルブ部フラット ・ センターバルブ部コルゲート		※ アンカット部コルゲート ・ [ ]	寸法	※ 200×4 ・ [ ]	工法	※ 貫通 ・ [ ]																
施行箇所	※ 箇条による																															
材 質	※ 塩化ビニル ・ ガム系																															
形式	※ モンターバルブ部フラット ・ センターバルブ部コルゲート																															
	※ アンカット部コルゲート ・ [ ]																															
寸法	※ 200×4 ・ [ ]																															
工法	※ 貫通 ・ [ ]																															
<p>・ 2 くつきマット (巻取品)</p> <p>材 質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠)</li> <li>・ 硬質アルミニウム製 (受枠とも)</li> <li>・ 硬質アルミニウム製 (ステンレス製受枠)</li> <li>・ ビニル製 (ステンレス製受枠)</li> <li>※ ステンレス製 (受枠とも)</li> </ul>																																
<p>・ 3 壁上丸縁</p> <p>※ ステンレス製 (SUS304 No.2仕上げ程度)</p>																																
<p>・ 4 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構造</th> <th>仕上高mm</th> <th>適用電圧時水平力</th> <th>耐荷重性能</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ハネル式</td> <td>・ 100</td> <td>・ 1.0G</td> <td>・ 3,000N</td> <td rowspan="2">・ タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溝式</td> <td>・ 300</td> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5,000N</td> </tr> </table> <p>耐震性能 5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものを又は同等品とする。</p> <p>表面仕上材の品質・規格等は、19章内工事の項による</p> <p>コンセント等の取付対応 ※ 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設置工事による)</p> <p>配線取り出し用開口 ※ 対応品又は工事加工品</p> <p>インナータイプコンセント取付タイプとし容易に取換しないものとす。また、全てのハネルに2箇所程度設ける。</p> <p>空間開放出しパネル ※ 無し</p> <p>ボーター及びスロープ ※ 製造所の標準仕様</p> <p>コンセント、空間開放出しパネル、スロープ等の施工箇所は指示による</p>					施工箇所	構造	仕上高mm	適用電圧時水平力	耐荷重性能	表面仕上材		・ ハネル式	・ 100	・ 1.0G	・ 3,000N	・ タイルカーペット		・ 溝式	・ 300	・ 0.6G	・ 5,000N											
施工箇所	構造	仕上高mm	適用電圧時水平力	耐荷重性能	表面仕上材																											
	・ ハネル式	・ 100	・ 1.0G	・ 3,000N	・ タイルカーペット																											
	・ 溝式	・ 300	・ 0.6G	・ 5,000N																												
<p>○ 5 階段昇り止め (20.2.6(a)(b))</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>形 状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>※ ステンレス製 (SUS304)</td> <td>※ ビニルタイヤ入り又はゴム縁りこみ</td> <td>※ 約35</td> <td>※ 接着工法</td> </tr> <tr> <td>・ 樹脂製</td> <td>※ 溝</td> <td>※ [ ]</td> <td>・ 埋め込み工法</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製</td> <td>※ ステンレス製SUS304</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ ビニル製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溝</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ タイヤなし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					材 種	形 状	幅 (mm)	工 法	※ ステンレス製 (SUS304)	※ ビニルタイヤ入り又はゴム縁りこみ	※ 約35	※ 接着工法	・ 樹脂製	※ 溝	※ [ ]	・ 埋め込み工法	・ アルミニウム製	※ ステンレス製SUS304				※ ビニル製				・ 溝				・ タイヤなし		
材 種	形 状	幅 (mm)	工 法																													
※ ステンレス製 (SUS304)	※ ビニルタイヤ入り又はゴム縁りこみ	※ 約35	※ 接着工法																													
・ 樹脂製	※ 溝	※ [ ]	・ 埋め込み工法																													
・ アルミニウム製	※ ステンレス製SUS304																															
	※ ビニル製																															
	・ 溝																															
	・ タイヤなし																															
<p>・ 6 床合縁口</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>受付け</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 硬質アルミ製</td> <td>※ 600角</td> <td rowspan="2">製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>※ ステンレス製</td> <td>※ 450角</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ ステンレス製</td> <td>・ 硬質アルミ製</td> <td>※ 600角</td> <td rowspan="2">製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>※ ステンレス製</td> <td>※ 450角</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ [ ]</td> <td></td> </tr> </table>					材 質	受付け	寸法 (mm)	備 考	※ アルミニウム製	※ 硬質アルミ製	※ 600角	製造所は評価名簿による	・ [ ]	※ ステンレス製	※ 450角			※ [ ]		※ ステンレス製	・ 硬質アルミ製	※ 600角	製造所は評価名簿による	・ [ ]	※ ステンレス製	※ 450角			※ [ ]			
材 質	受付け	寸法 (mm)	備 考																													
※ アルミニウム製	※ 硬質アルミ製	※ 600角	製造所は評価名簿による																													
・ [ ]	※ ステンレス製	※ 450角																														
		※ [ ]																														
※ ステンレス製	・ 硬質アルミ製	※ 600角	製造所は評価名簿による																													
・ [ ]	※ ステンレス製	※ 450角																														
		※ [ ]																														

<p>開口部転落防止装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般 ・ 防水型</li> <li>( 同等 )</li> </ul> <p>マンホール転落防止装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( 同等 )</li> </ul>																																		
<p>○ 7 鉄製マンホール蓋</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>耐 震 性</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 防水防臭型 (密閉形)</td> <td>※ 下-2</td> <td>マウが入り</td> </tr> <tr> <td>※ 風防防水防臭型 (簡易密閉形)</td> <td>・ T-6</td> <td>・ 電</td> </tr> <tr> <td>※ パッキン式</td> <td>・ T-20</td> <td>・ [ ]</td> </tr> <tr> <td>・ F・R・P製</td> <td>・ [ ]</td> <td></td> </tr> </table>					形 式	耐 震 性	備 考	・ 防水防臭型 (密閉形)	※ 下-2	マウが入り	※ 風防防水防臭型 (簡易密閉形)	・ T-6	・ 電	※ パッキン式	・ T-20	・ [ ]	・ F・R・P製	・ [ ]																
形 式	耐 震 性	備 考																																
・ 防水防臭型 (密閉形)	※ 下-2	マウが入り																																
※ 風防防水防臭型 (簡易密閉形)	・ T-6	・ 電																																
※ パッキン式	・ T-20	・ [ ]																																
・ F・R・P製	・ [ ]																																	
<p>○ 8 グレーチング</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>受 付 け</th> <th>耐 震 性</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 鋼製 (溶接部締め付き)</td> <td>○ 鋼製</td> <td>※ 指示による</td> <td rowspan="2">製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス製</td> <td>○ ステンレス製</td> <td>・ [ ]</td> </tr> </table>					材 種	受 付 け	耐 震 性	備 考	○ 鋼製 (溶接部締め付き)	○ 鋼製	※ 指示による	製造所は評価名簿による	○ ステンレス製	○ ステンレス製	・ [ ]																			
材 種	受 付 け	耐 震 性	備 考																															
○ 鋼製 (溶接部締め付き)	○ 鋼製	※ 指示による	製造所は評価名簿による																															
○ ステンレス製	○ ステンレス製	・ [ ]																																
<p>○ 9 開口部の蓋</p> <p>材 質 ○ コンクリート製</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F・R・P製</li> <li>( ・ ハニカムタイプ ・ サンドイッチタイプ )</li> <li>・ 合成木製</li> <li>( ※ 単板蓋タイプ ・ 組立蓋タイプ )</li> <li>・ アルミ製</li> </ul> <p>※ 設計重量 (kN・t) を表に示す</p>																																		
<p>・ 10 手すり開口部蓋</p> <p>材 質 ※ S400 ・ SUS304</p> <p>形式 ※ 一般タイプ ・ 簡易防水防臭タイプ</p> <p>設計重量 (kN・t2、t12) を表に示す。</p> <p>製造所</p>																																		
<p>・ 11 収納式トラップ</p> <p>材 質 アルミニウム</p> <p>製造所</p>																																		
<p>・ 12 既製E.v.p. 金物</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>仕 上 げ</th> <th>ク リ ア ラ ンス</th> <th>耐火性能</th> <th>防 火 性</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製</td> <td>8ヶ所以下</td> <td>※ 指示による</td> <td>※ 考</td> <td>※ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS H8024組 (9ヶ所)</td> <td>・ 50mm</td> <td>耐火時間</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS H8024組 (9ヶ所)</td> <td>・ 100mm</td> <td>※ 標準 30分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製 (SUS304)</td> <td>※ 丸仕上り</td> <td>・ 150mm</td> <td>※ 外壁 1時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> <td>・ 無</td> <td></td> </tr> </table>					材 質	仕 上 げ	ク リ ア ラ ンス	耐火性能	防 火 性	・ アルミニウム製	8ヶ所以下	※ 指示による	※ 考	※ 適用する		JIS H8024組 (9ヶ所)	・ 50mm	耐火時間	・ 適用しない		JIS H8024組 (9ヶ所)	・ 100mm	※ 標準 30分		・ ステンレス製 (SUS304)	※ 丸仕上り	・ 150mm	※ 外壁 1時間			・ [ ]		・ 無	
材 質	仕 上 げ	ク リ ア ラ ンス	耐火性能	防 火 性																														
・ アルミニウム製	8ヶ所以下	※ 指示による	※ 考	※ 適用する																														
	JIS H8024組 (9ヶ所)	・ 50mm	耐火時間	・ 適用しない																														
	JIS H8024組 (9ヶ所)	・ 100mm	※ 標準 30分																															
・ ステンレス製 (SUS304)	※ 丸仕上り	・ 150mm	※ 外壁 1時間																															
	・ [ ]		・ 無																															
<p>製造所 [ ] 又は同等品以上とする</p>																																		
<p>・ 13 可動間仕切 (パーティション) (20.2.3)</p> <p>構造形式による種類 (20.2.3(b))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ハネル式 ・ スタッド式 ・ スタッドハネル式</li> </ul> <p>空間の仕切り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 指示による ・ 密閉形 ・ 開放形 ・ 扉置き形</li> </ul> <p>遮音性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無</li> <li>※ 有 (透過損失: 28 dB以上)</li> </ul> <p>防火性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無</li> <li>※ 有 (防火等級: 難燃1級)</li> </ul> <p>パネル間の隙隙さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 60</li> <li>・ [ ]</li> </ul> <p>表面材</p> <p>材 種 ※ 鋼板 ・ [ ]</p> <p>厚さ (mm) ※ 0.6以上 ・ 0.8以上</p> <p>表面仕上</p> <p>※メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料付塗装 ( ※ 常備色 ・ 特注色 )</p> <p>・ [ ]</p> <p>ハネル内に取付ける建具の寸法及び形状</p> <p>※ 指示による ・ [ ]</p> <p>品 質</p> <p>JIS A6132による又は評価名簿によるもの</p>																																		

<p>・ 14 移動間仕切 (スライディングドア)</p> <p>パネルの操作方式 (20.2.4(a))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式</li> </ul> <p>表面材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 鋼板 ・ [ ]</li> </ul> <p>表面仕上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料付塗装 ( ※ 常備色 ・ 特注色 )</li> <li>・ 艶焼珪子 (仕様は壁紙の項による)</li> </ul> <p>パネル圧接装置の操作方式 (20.2.4(b))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 製造所の仕様による ・ [ ]</li> </ul> <p>ハンガール取付付下地の強度</p> <p>※ 指示による (20.2.4) による</p> <p>※ 遮音性能 (JIS A 6512の遮音試験に準拠する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 一般タイプ (透過損失: 36 dB未満)</li> <li>・ 遮音タイプ (透過損失: 36 dB以上)</li> </ul> <p>製造所</p> <p>評価名簿による</p>																																																				
<p>・ 15 既製トイレーズ (20.2.5) (20.2.5(b))</p> <table border="1"> <tr> <th>表面の材質</th> <th>仕上げ材</th> <th>脚部形状</th> <th>エッジ</th> </tr> <tr> <td>※ 木質系</td> <td>※メラミン樹脂化粧板</td> <td>※ 輪状タイプ (SUS304)</td> <td>※ アルミ押出型材</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼板製</td> <td>・ ポリエステル樹脂化粧板</td> <td>・ ダストタイプ (SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ アクリル樹脂覆り鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所</p> <p>評価名簿による</p>					表面の材質	仕上げ材	脚部形状	エッジ	※ 木質系	※メラミン樹脂化粧板	※ 輪状タイプ (SUS304)	※ アルミ押出型材	・ 鋼板製	・ ポリエステル樹脂化粧板	・ ダストタイプ (SUS304)			・ アクリル樹脂覆り鋼板																																		
表面の材質	仕上げ材	脚部形状	エッジ																																																	
※ 木質系	※メラミン樹脂化粧板	※ 輪状タイプ (SUS304)	※ アルミ押出型材																																																	
・ 鋼板製	・ ポリエステル樹脂化粧板	・ ダストタイプ (SUS304)																																																		
	・ アクリル樹脂覆り鋼板																																																			
<p>・ 16 フローテンドア</p> <p>材 質 ※ ビニルレザー (防炎加工品) ・ [ ]</p> <p>折りたたみ幅 (mm) ※ 約230 ・ 約120 ・ [ ]</p>																																																				
<p>・ 17 遮炎ライニング</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>安全使用温度 (℃)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 煙突用遮炎ライニング材</td> <td>※ 650</td> <td>製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ キャスタブル耐火材</td> <td>※ 650</td> <td>監督官の承認する製造所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> </tr> </table>					名 称	安全使用温度 (℃)	備 考	・ 煙突用遮炎ライニング材	※ 650	製造所は評価名簿による		・ [ ]		※ キャスタブル耐火材	※ 650	監督官の承認する製造所		・ [ ]																																		
名 称	安全使用温度 (℃)	備 考																																																		
・ 煙突用遮炎ライニング材	※ 650	製造所は評価名簿による																																																		
	・ [ ]																																																			
※ キャスタブル耐火材	※ 650	監督官の承認する製造所																																																		
	・ [ ]																																																			
<p>○ 18 天井合縁口</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>受 付 け</th> <th>寸 法 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 隠縁タイプ</td> <td>※ 600角</td> <td rowspan="2">製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>・ [ ]</td> <td>・ 目地タイプ</td> <td>※ 450角</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td></td> </tr> </table>					材 質	受 付 け	寸 法 (mm)	備 考	※ アルミニウム製	※ 隠縁タイプ	※ 600角	製造所は評価名簿による	・ [ ]	・ 目地タイプ	※ 450角			・ [ ]																																		
材 質	受 付 け	寸 法 (mm)	備 考																																																	
※ アルミニウム製	※ 隠縁タイプ	※ 600角	製造所は評価名簿による																																																	
・ [ ]	・ 目地タイプ	※ 450角																																																		
		・ [ ]																																																		
<p>・ 19 トップライト</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>取付方法</th> <th>開閉仕様</th> <th>耐火性能</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ ポリカーボネート樹脂製</td> <td>※ 押付</td> <td>※ 固定式</td> <td>※ 耐火30分</td> <td>製造所は評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>・ F・R・P製</td> <td>・ 裏付</td> <td>・ 開閉式</td> <td></td> <td>危険防止表示をする。</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂製</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					材 種	取付方法	開閉仕様	耐火性能	備 考	※ ポリカーボネート樹脂製	※ 押付	※ 固定式	※ 耐火30分	製造所は評価名簿による	・ F・R・P製	・ 裏付	・ 開閉式		危険防止表示をする。	・ アクリル樹脂製																																
材 種	取付方法	開閉仕様	耐火性能	備 考																																																
※ ポリカーボネート樹脂製	※ 押付	※ 固定式	※ 耐火30分	製造所は評価名簿による																																																
・ F・R・P製	・ 裏付	・ 開閉式		危険防止表示をする。																																																
・ アクリル樹脂製																																																				
<p>○ 20 天井目縁</p> <p>材 種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アルミ合金製 (押出し形材)</li> <li>・ 強化ビニル製</li> </ul> <p>・ 21 防煙垂れ壁</p> <p>固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>アルミ製付付き</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 鋼入り鋼を板ガラス</td> <td>※ 4.8</td> <td>※ 500</td> <td>※ アルミ製付付き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼入り鋼を板ガラス</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材 質</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 固定式</td> <td>・ 不燃品</td> <td>・ 500</td> <td rowspan="2">ファイアレール</td> </tr> <tr> <td>(巻取り型)</td> <td>(不燃部完成品)</td> <td>・ 800</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td>・ 固定式 (壁埋込み型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 可動式 (天井収納型)</td> </tr> </table> <p>・ 回転降下式</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 鋼製又はアルミ製</td> <td>・ 500</td> <td>・ 500</td> <td>天井仕上り材</td> <td rowspan="2">※ アルミ製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ [ ]</td> </tr> </table> <p>降下機能: 煙感知運動及び手動開放装置 (壁込み型)</p>					材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	アルミ製付付き	備 考	※ 鋼入り鋼を板ガラス	※ 4.8	※ 500	※ アルミ製付付き		・ 鋼入り鋼を板ガラス	・ [ ]	・ [ ]			種類	材 質	高 さ (mm)	備 考	・ 固定式	・ 不燃品	・ 500	ファイアレール	(巻取り型)	(不燃部完成品)	・ 800			・ [ ]	・ 固定式 (壁埋込み型)				・ 可動式 (天井収納型)	材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	表面仕上げ	備 考	・ 鋼製又はアルミ製	・ 500	・ 500	天井仕上り材	※ アルミ製		・ [ ]	・ [ ]	・ [ ]
材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	アルミ製付付き	備 考																																																
※ 鋼入り鋼を板ガラス	※ 4.8	※ 500	※ アルミ製付付き																																																	
・ 鋼入り鋼を板ガラス	・ [ ]	・ [ ]																																																		
種類	材 質	高 さ (mm)	備 考																																																	
・ 固定式	・ 不燃品	・ 500	ファイアレール																																																	
(巻取り型)	(不燃部完成品)	・ 800																																																		
		・ [ ]	・ 固定式 (壁埋込み型)																																																	
			・ 可動式 (天井収納型)																																																	
材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	表面仕上げ	備 考																																																
・ 鋼製又はアルミ製	・ 500	・ 500	天井仕上り材	※ アルミ製																																																
	・ [ ]	・ [ ]	・ [ ]																																																	
<p>○ 22 防鳥網</p> <p>ステンレス平織り金物 SUS304 線径 1.5mm 網目 15mm</p>																																																				
<p>○ 23 両リフック</p> <p>材 質 ※ 鋼製 (巻取りつき巻取) ・ ステンレス製 (SUS304)</p> <table border="1"> <tr> <th>荷重級 (t)</th> <th>U 型</th> <th>備 考</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>10(1)</td> <td>○ (1箇所)</td> <td>鋼製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20(2)</td> <td>○ (2箇所)</td> <td>鋼製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30(3)</td> <td>○ (3箇所)</td> <td>鋼製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50(5)</td> <td>○ (5箇所)</td> <td>鋼製</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 見やすい箇所には荷重標準値を設け、許容荷重 (kN・t) を表示する</p>					荷重級 (t)	U 型	備 考	施工箇所	10(1)	○ (1箇所)	鋼製		20(2)	○ (2箇所)	鋼製		30(3)	○ (3箇所)	鋼製		50(5)	○ (5箇所)	鋼製																													
荷重級 (t)	U 型	備 考	施工箇所																																																	
10(1)	○ (1箇所)	鋼製																																																		
20(2)	○ (2箇所)	鋼製																																																		
30(3)	○ (3箇所)	鋼製																																																		
50(5)	○ (5箇所)	鋼製																																																		

<p>○ 24 ホイストレール (7.2.1) (7.2.2) (7.2.5) (7.8.1) (表7.10.1)</p> <p>鋼材の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ S S 4 0 0 (JISによる)</li> <li>・ (7.2.10) の試験に合格するもの</li> </ul> <p>ボルト</p> <p>普通ボルト (二重ナット)</p> <p>アンカーボルトの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ JIS B319の2種 (SS400)</li> </ul> <p>アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ B種</li> <li>※ B種</li> <li>※ S O P</li> <li>○ 鋼製締めきり仕上げC種</li> </ul> <p>荷重表示</p> <p>※ 見やすい箇所には荷重標準値を設け、許容荷重 (kN・t) を表示する。</p>																																			
<p>・ 25 黒板及びホワイトボード (20.2.8(a))</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>規格</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色 彩</th> <th>枠</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 鋼製黒板</td> <td rowspan="2">・ 磁付付</td> <td rowspan="2">・ 磁付付</td> <td>高さ</td> <td rowspan="2">・ 緑</td> <td rowspan="2">※ アルミ製</td> <td rowspan="2">※ 平滑</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>・ 黒</td> <td rowspan="2">・ 曲線</td> </tr> <tr> <td>・ ほうろう黒板</td> <td>・ 磁付付</td> <td>・ 磁付付</td> <td>高さ</td> <td>・ 黒</td> <td></td> <td>・ 27インチ付分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td></td> <td></td> <td>・ 行事編入り</td> </tr> </table> <p>※ 材質は「フ」</p> <p>※ ほうろう黒板</p> <p>高さ</p> <p>幅</p>					種 類	種 別	規格	寸法 (mm)	色 彩	枠	備 考	・ 鋼製黒板	・ 磁付付	・ 磁付付	高さ	・ 緑	※ アルミ製	※ 平滑	幅	・ 黒	・ 曲線	・ ほうろう黒板	・ 磁付付	・ 磁付付	高さ	・ 黒		・ 27インチ付分け				幅			・ 行事編入り
種 類	種 別	規格	寸法 (mm)	色 彩	枠	備 考																													
・ 鋼製黒板	・ 磁付付	・ 磁付付	高さ	・ 緑	※ アルミ製	※ 平滑																													
			幅				・ 黒	・ 曲線																											
・ ほうろう黒板	・ 磁付付	・ 磁付付	高さ	・ 黒		・ 27インチ付分け																													
			幅			・ 行事編入り																													
<p>・ 26 屋内換気扇</p> <table border="1"> <tr> <th>換気扇の種</th> <th>表面材料</th> <th>サイズ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 特殊シヤー</td> <td>・ 900×1600</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製</td> <td>・ ビニルレザー</td> <td>・ 900×1200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ラック</td> <td>・ 1200×900</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ コルク</td> <td>・ [ ]</td> <td></td> </tr> </table>					換気扇の種	表面材料	サイズ (mm)	備 考	※ アルミニウム製	※ 特殊シヤー	・ 900×1600		・ ステンレス製	・ ビニルレザー	・ 900×1200		・ ラック	・ 1200×900			・ コルク	・ [ ]													
換気扇の種	表面材料	サイズ (mm)	備 考																																
※ アルミニウム製	※ 特殊シヤー	・ 900×1600																																	
・ ステンレス製	・ ビニルレザー	・ 900×1200																																	
	・ ラック	・ 1200×900																																	
	・ コルク	・ [ ]																																	
<p>・ 27 鏡</p> <p>寸法 (mm) ※ 指示による ・ [ ]</p> <p>厚さ (mm) ※ 5.0 ・ [ ]</p>																																			
<p>・ 28 カーテン ・ 織幕</p> <p>きれ地</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>名称・品質</th> <th>ひたの種類</th> <th>部 式</th> <th>引き分け装置</th> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td></td> <td></td> <td>・ 引き分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td></td> <td></td> <td>・ ひも引き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td></td> <td></td> <td>・ 引き分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td></td> <td></td> <td>・ ひも引き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td></td> <td></td> <td>・ 電動</td> </tr> </table> <p>織幕用カーテンの両端、上部及び引き合わせの重むかけ 300mm以上</p>					施工箇所	名称・品質	ひたの種類	部 式	引き分け装置		程度			・ 引き分け		程度			・ ひも引き		程度			・ 引き分け		程度			・ ひも引き		程度			・ 電動	
施工箇所	名称・品質	ひたの種類	部 式	引き分け装置																															
	程度			・ 引き分け																															
	程度			・ ひも引き																															
	程度			・ 引き分け																															
	程度			・ ひも引き																															
	程度			・ 電動																															
<p>・ 29 カーテンレール (20.2.14(a)(b)(c))</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>部 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 凹形又は溝形</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製</td> <td>・ C形</td> </tr> </table>					材 種	部 状	備 考	※ アルミニウム製	※ 凹形又は溝形		・ ステンレス製	・ C形																							
材 種	部 状	備 考																																	
※ アルミニウム製	※ 凹形又は溝形																																		
・ ステンレス製	・ C形																																		
<p>○ 30 ブラインド (20.2.14(a))</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>形 式</th> <th>※ 種別ブラインド</th> <th>※ 種別ブラインド</th> </tr> <tr> <td>スラットの材種</td> <td></td> <td>※ アルミ合金製</td> <td>※ アルミスラット・磁付付塗装仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ クロススラット (防炎加工品)</td> </tr> </table> <p>開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 手開き方式</li> <li>・ 開閉方式</li> </ul> <p>操作方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 手開き方式</li> <li>○ コー式</li> <li>○ 2本操作ロー式</li> <li>○ 2本操作ロー式</li> </ul> <p>ヘッドボックス及びボトム</p> <p>レールの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 鋼製</li> <li>・ アルミ合金製</li> <li>・ ポリ塩化ビニル合金鋼製</li> </ul> <p>ヘッドレールの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アルミ製</li> <li>・ [ ]</li> </ul> <p>スラットの間隔 (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 25</li> <li>・ 35</li> <li>・ 80</li> <li>・ [ ]</li> </ul>					材 種	形 式	※ 種別ブラインド	※ 種別ブラインド	スラットの材種		※ アルミ合金製	※ アルミスラット・磁付付塗装仕上げ			・ 鋼製	・ クロススラット (防炎加工品)																			
材 種	形 式	※ 種別ブラインド	※ 種別ブラインド																																
スラットの材種		※ アルミ合金製	※ アルミスラット・磁付付塗装仕上げ																																
		・ 鋼製	・ クロススラット (防炎加工品)																																
<p>○ 31 カーテンボックス及びブラインドボックス</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>製 法</th> <th>溝幅×長さ (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 押出し型材</td> <td>※ 120×150</td> <td rowspan="2">○ B-1種</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製</td> <td>・ [ ]</td> <td>・ 180×150</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 250×150</td> <td>・ B-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 120×80</td> <td>・ フラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 鋼製による</td> <td>・ ステンカラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ [ ]</td> <td>・ フラウン系</td> </tr> </table>					材 質	製 法	溝幅×長さ (mm)	表面処理	※ アルミニウム製	※ 押出し型材	※ 120×150	○ B-1種	・ 鋼製	・ [ ]	・ 180×150			・ 250×150	・ B-2種			・ 120×80	・ フラック			○ 鋼製による	・ ステンカラー			・ [ ]	・ フラウン系				
材 質	製 法	溝幅×長さ (mm)	表面処理																																
※ アルミニウム製	※ 押出し型材	※ 120×150	○ B-1種																																
・ 鋼製	・ [ ]	・ 180×150																																	
		・ 250×150	・ B-2種																																
		・ 120×80	・ フラック																																
		○ 鋼製による	・ ステンカラー																																
		・ [ ]	・ フラウン系																																

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施 工 箇 所 名	津市高茶屋小森上野町地内
図 面 の 種 類	建築工事特記仕様書 (7)
縮 尺	- 図面番号 A-9
事 業 所 名	津市下水道局下水道建設課

・ 32 流し台等			
名称	寸法 (mm)	仕様	備考
・ 流し台 (トラップ付)	L= ※ 1,200 ・ 1,500 ・ 1,800	※ 優良住宅部品 (セクショナルキッチン1型) ・ [ ]	
・ コンロ台	L= ※ 600 ・ 700	※ 優良住宅部品 (セクショナルキッチン1型) ・ [ ]	バックガードの有無 ※ 有 ・ 無
・ つり戸だな	高さ×幅 ・ 500×300 ・ 500×600 ※ 500×900 ・ 500×1,200 ・ 700×600 ・ 1,000×600	※ 優良住宅部品 (セクショナルキッチン1型) ・ [ ]	
・ 水切りだな	幅 L= ・ 1,200 ※ 900 ・ 600	※ 市販品 (ステンレス製) ・ [ ]	階段数 ※ 1段 ・ 2段

・ 37 下足箱

※ 鋼製 (既製品)

大きさ (mm) ※ 図示による  
・ [ mm× mm× mm ]

製造所 品番 (又は同等品以上とする)

・ 木製

表面仕上げ ・メラミン樹脂化粧板 ・ ポリエステル樹脂化粧板

・ 38 郵便受 (既製品)

※ ステンレス ・ 埋込型 ・ 露出型

製造所 品番 (又は同等品以上とする)

○ 39 手すり一体型開口蓋 (既製品)

※ 鋼製

製造所 阿南電機 (株) 品番 (安全柵一体型90ハッチ又は同等品以上とする)

○ 33 表示標識 (20.2.10)

区 分	取付方法	材質厚さ (mm)	寸法 (mm)	印字方法
○ 室名札	※ 平付付型 ・ 挿出し型	※ アクリル板 厚5	※ 200×40 ※ 250×50 ・ 300×600 ・ 200×80 ・ [ ]	※ シルクスクリーン印刷 ・ エナメル書
・ 階段表示板	※ 平付付型		※ 600×100 ・ 800×100 ・ 1,000×100	
	・ 挿出し型		・ 150×150 ・ 200×200 ・ [ ]	
・ 案内板	※ 図示による		※ 600×400 ・ 800×500 ・ 900×600 ・ [ ]	・ シルクスクリーン印刷
・ ビュートグラフ	※ 平付付型 ・ 挿出し型	(標準詳細図 8-42-1による)	※ 150×150 ・ 200×200	
・ 誘導標識	※ 平付付型 ・ ( )	・ アクリル板 厚5 ・ アルミニウム板 厚1.9	・ 360×120 ・ [ ]	・ シルクスクリーン印刷 ・ アルマイト印刷 ・ 地色 ・ 緑 [ ] 文字矢印 ・ 白
・ 荷重表示板	※ 平付付型	※ 既製品厚1.0 (塩ビ製)	※ 300×400 ・ [ ]	※ シルクスクリーン印刷 ・ エナメル書
○ 乗降禁止表示		※ ステンレス製	※ 約30φ	※ 両面 ・ 背板
・ 水標名板	※ 平付付型	※ アクリル板 厚8	・ 200×40 ・ 250×50 ※ 300×60 ・ [ ]	※ シルクスクリーン印刷 ・ エナメル書
・ トップライト 危険禁止表示	・ 平付	※ アクリル板 厚5	・ 200×40	※ シルクスクリーン印刷

室名札  
太ゴシック字体文字の割り付けについては、市監督員の承認による。

誘導標識  
材料は、消防法技術基準に合格したもの、  
取付 (又は表示) 位置  
図面特記による市監督員と協議の上決定する。

・ 34 かざ箱

市販品

形 式 ・ 10本用 ・ 20本用 ・ 30本用  
・ 60本用 ・ 120本用 ・ 200本用

・ 35 水質実験台など

仕様等 ※ 図示による

製造所

アドバンテック東洋XX XXイートーキ XX炭井製作所 XX小畑製作所  
オリエンタル技研工業XX XX協立製作所 高津理化器械XX XXダルトン  
XXヤマト科学

・ 36 浴 槽

材 質 ・ FRP製 ※ ステンレス製  
・ ほうろろ製 ・ シャワーユニット

大きさ (mm) ※ 図示による  
・ [ mm× mm× mm ]

浴槽のふた ※ 有  
製造所 品番 (又は同等品以上とする)

程度とする

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築)築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	建築工事特記仕様書(8)		
縮 尺	-	図面番号	A-10
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

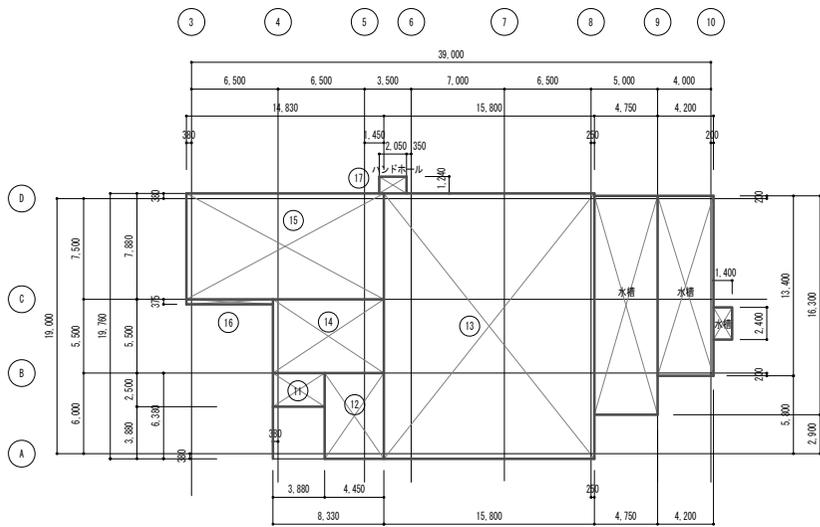
工事区分一覧表

(工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)

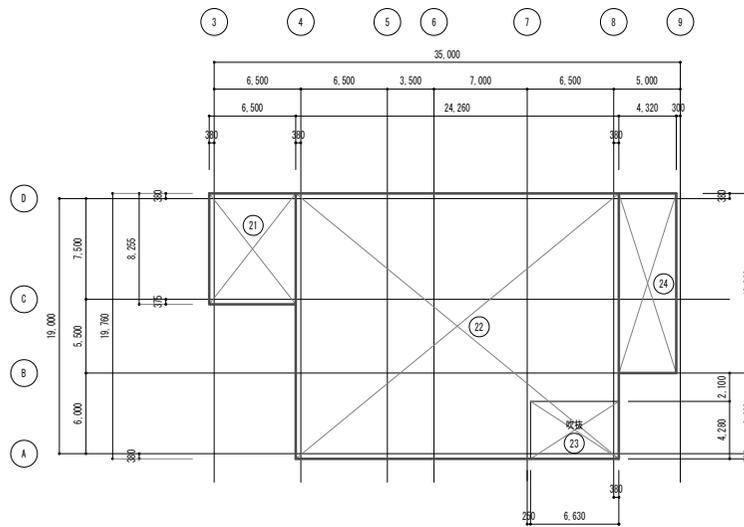
NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	汎用機械 設備工事	汎用電気 設備工事	備考	NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	汎用機械 設備工事	汎用電気 設備工事	備考	記載項目例		
1	躯体	1SLより上部	○						2SL床開口立上り共	33	屋内アルミ手摺	2階エンジン室搬出入スペース	○							・躯体	・ボーチ	
2		1SLより下部、吐出井				○			1SL床開口立上り共	34		上記以外				○				・捨コン	・客土	
3	掘削・埋戻し					○				35	整頓	GL+100より上部	○							・砂利地業	・足洗場	
4	地業	捨てコンクリート				○				36	コンクリートフード	外壁部	○							・止水板	・スロープ	
5	箱抜	全箇所	○ (1SL上部)			○ (1SL下部)				37	金属製フード	外壁部		○						・スリーブ	・床流し	
6	スリーブ	プラント用	○ (1SL上部)			○ (1SL下部)				38	有圧扇取付枠			○						・箱抜	・花壇	
7		建築機械、建築電気用		○	○	○ (1SL下部)				39	洗面器、化粧鏡	2階WC		○						・仕上	・流し台	
8	取合差筋	土木躯体/建築躯体				○				40	ホイストレール	2階エンジン室	○							・取合差筋	・コンロ台	
9	コンクリート立上り	2階エンジン室 原動機置場	○ (差筋)				○ (立上り)			41	燃料小出槽防油堤						○			・マンホール蓋	・水切欄	
10	フリーアクセスフロアー	2階電気室						○		42	地下貯油槽						○		外設含む	・ハンドホール	・吊戸欄	
11	床 無筋コンクリート	1階ポンプ室、2階エンジン室					○			43	くつ洗い流し		○ (仕上げ)	○ (水栓)		○ (躯体)				・タラップ	・浴槽	
12		2階給気ファン室、2階排気ファン室		○						44	ハンドホール		○			○				・ホイストレール	・スノコ	
13		水箱・水槽部				○				45	雨水樹									(場内整備)	・受枠及蓋	・バランス釜
14		上記以外	○							46										・ドレーン	・防火バン	
15	帯電防止タイル	2階電気室						○		47										・樋	・安全水槽	
16	床用塗料	1階ポンプ室					○			48										・換気扇取付枠	・フード	
17		上記以外	○							49										・床排水目皿	・配管トラフ	
18	自家発電機基礎	2階エンジン室						○		50										・連通管	・配管ビット	
19	消音機基礎	1階ポンプ室					○	○		51										・トップライト		
20	グレーチング蓋	(GT-2, 4, 5, 6)				○ (受枠)	○			52										・ルーフファン		
21		上記以外				○				53										・防液堤		
22	手すり一体型開口蓋	エンジン室 (KT-1)	○							54										・床無筋コンクリート		
23	足掛金物	水位計用ビット (TA-5, 4)	○ (地上)			○ (地下)				55										・床仕上		
24		ハンドホール (TA-9)	○ (地上)			○ (地下)				56										・機械基礎及差筋		
25		上記以外				○				57										・階段室及段ウラ		
26	マンホール蓋	水位計用ビット蓋、ハンドホール蓋	○							58										・側溝		
27		上記以外				○				59										・グレーチング		
28	床モルタル金こて	階段室	○						ノンスリップ金物共	60										・手摺		
29	塩ビ製ハンドレール	階段室	○							61										・雨水樹		
30	屋外アルミ手摺	電気室搬入バルコニー	○							62										・笠木		
31		上記以外				○				63										・ノンスリップ		
32	搬入用開口蓋 (取外式屋根)	2階エンジン室屋根	○							64										・地下貯油槽外殻		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

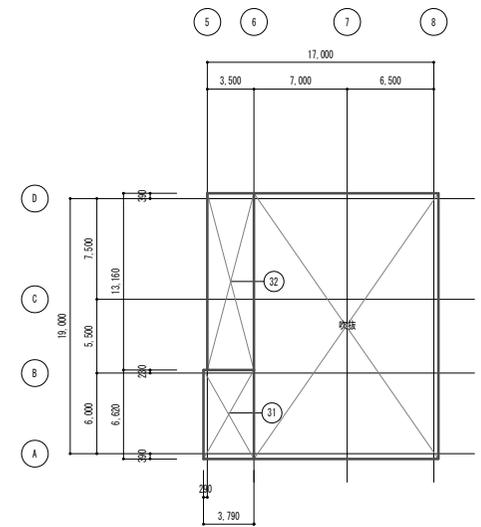
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	工事区分一覧表
縮尺	- 図面番号 A-11
事業所名	津市下水道局下水道建設課



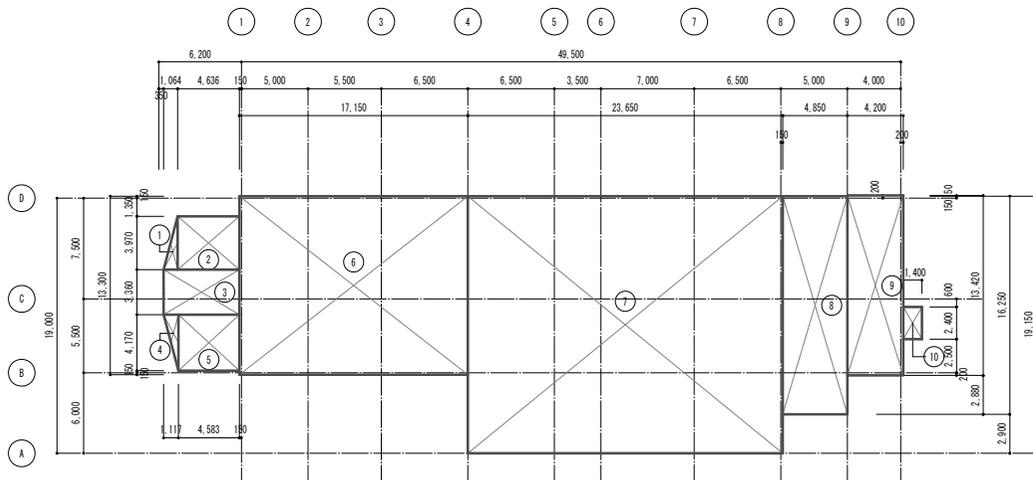
1階床面積積算積算図 A1:1/200



2階床面積積算積算図 A1:1/200



PH階床面積積算積算図 A1:1/200



水路部床面積積算積算図 A1:1/200

Room No.	Calculation	Area (sqm)
①	3,970 × 1,064 ÷ 2	2.11
②	3,970 × 4,636	18.41
③	3,360 × 5,700	19.15
④	4,170 × 1,117 ÷ 2	2.33
⑤	4,170 × 4,583	19.11
⑥	13,300 × 17,150	228.10
⑦	19,150 × 23,650	452.90
⑧	16,250 × 4,850	78.81
⑨	13,420 × 4,200	56.36
⑩	2,400 × 1,400	3.36
合計		880.64
床面積		880.64m <sup>2</sup>

1階	517.96m <sup>2</sup>
2階	562.46m <sup>2</sup>
PH階	71.15m <sup>2</sup>
延床面積	1,151.57m <sup>2</sup>

水路部	880.64m <sup>2</sup>
-----	----------------------

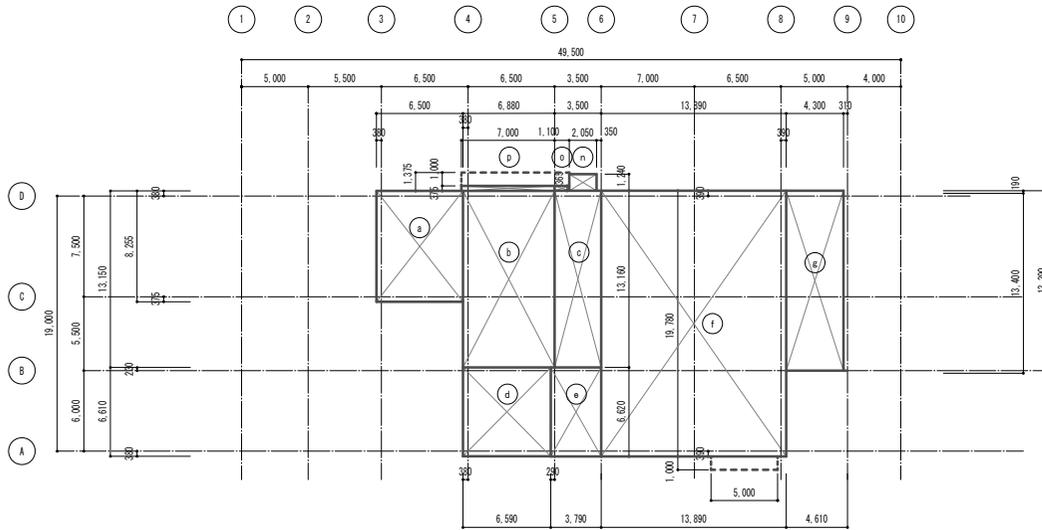
Room No.	Calculation	Area (sqm)
⑪	2,500 × 3,880	9.70
⑫	6,380 × 4,450	28.39
⑬	19,760 × 15,800	312.21
⑭	5,500 × 8,330	45.82
⑮	7,880 × 14,830	116.86
⑯	6,500 × 0.375	2.44
⑰	2,050 × 1,240	2.54
合計		517.96
床面積		517.96m <sup>2</sup>

Room No.	Calculation	Area (sqm)
㉑	8,255 × 6,500	53.66
㉒	19,760 × 24,260	479.38
㉓	▲4,200 × 6,630	▲28.38
㉔	13,380 × 4,320	57.80
合計		562.46
床面積		562.46m <sup>2</sup>

Room No.	Calculation	Area (sqm)
㉕	6,620 × 3,790	25.09
㉖	13,160 × 3,500	46.06
合計		71.15
床面積		71.15m <sup>2</sup>

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	床面積積算積算図	
縮尺	1:200	図面番号 A-12
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



建築面積求積図 A1:1/200

今回工事 建築面積算定式		
a	8.255 × 6.500	53.66
b	13.150 × 6.880	90.47
c	13.160 × 3.500	46.06
d	6.610 × 6.590	43.56
e	6.620 × 3.790	25.09
f	19.780 × 13.890	274.74
g	13.390 × 4.300	57.58
h	1.240 × 2.050	2.54
i	0.365 × 1.100	0.40
j	0.375 × 7.000	2.63
合計		596.73
建築面積		596.73㎡

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	建築面積求積図		
縮尺	1:200	図面番号	A-13
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

建築概要

地域・地区等

その他確認事項

Table with columns: 建築物名, 敷地面積, 構造・規模, 建築面積, 延べ面積, 軒高さ, 最高高さ. Values include 天神1号, 3994.0m2, etc.

Table with columns: 法令・条項, 項目, 該当事項. Lists building codes and their applications.

Table with columns: 項目, 概要. Lists fire safety and structural items.

Table with columns: 項目, 概要. Lists fire safety and structural items.

有窓・無窓・判定表 (消防法施行規則 50201.5の2の2)

Table with columns: 階, 有効開口部計算式, 有効開口部面積合計, 必要開口面積, 判定. Lists window requirements for each floor.

建築基準法(令)

建築基準法(令)

消防法(令)

Table with columns: 審査項目, 法令条項, チェック, 判定. Lists building code requirements for fire safety, structure, etc.

Table with columns: 審査項目, 法令条項, チェック, 判定. Lists building code requirements for fire safety, structure, etc.

Table with columns: 審査項目, 法令条項, チェック, 判定. Lists fire code requirements for fire equipment, evacuation, etc.

※本図面はA1サイズを原寸とする。

Table with columns: 工事名, 施工箇所, 図面の種類, 縮尺, 事業所名. Lists project details like '天神ポンプ場' and '津市高茶屋小森上野町地内'.

ポンプ棟 仕上表		共通事項		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号		
1. 外壁仕上表及び内、外壁付属物の運用分類、詳細番号は、①のついた○を適用する。	C	コンクリート下地	複層塗材 (S1)	付いた複層系覆層仕上塗材	● 壁止口	● 5-21-1	● ① 8-22-1	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-1・2
2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細番号(国土交通省大臣官庁審判部監修)を示す。	CB	コンクリートブロック下地	複層塗材 (CE)	ポリマーセメント高層覆層仕上塗材	● 壁止口	● 5-22-1	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-1・2	
3. 特別以外の木、鉄骨の塗装はSOPとする。但し、和室障子は除く。	W	木造下地	複層塗材 (E)	合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材	● ウォーキングタワー基礎	● 5-22-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-32-5・6・7	
4. 付属物のうち、室名板、床点検口、換気板、案内板、ビクトグラム、階段表示板等は、平面図による。	S	軽鉄骨下地	複層塗材 (RE)	反応硬化型合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材	● ウォーキングタワー基礎	● 5-22-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井仕上による。	GB-R	せつこうボード	複層塗材 (RS)	合成樹脂塗液系覆層仕上塗材	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
6. P-F板、木看板等打込み箇所は、別図による。	GB-N/C	不燃層せつこうボード	CL	クリヤックラー塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
7. 内径の見え廻りとなるP-F板打込み部分は、GB-R厚12.5置換り(継目処理工法)とし、塗装は、その部は水平方向に継ぎ手は設けない。	GB-N/C (T)	化粧せつこうボード	EP-G	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
8. 壁のボード張りには水平方向に継ぎ手は設けない。	GB-D	化粧せつこうボード	EP	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
9. 天井仕上ボード張りのうち、GB-N/C (T) 及びDR (下地GB-R共) は交付付張りとし、天井裏り縁は、アルミ製、天井巻き目地とする。	GB-S	P-F板	EP-G	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
10. 建築工事標準に準ずる内装のコンクリート下地には、防塵層としてポリエチレンフィルム厚0.15を敷込みを行う。ただし、床仕上げがゼムル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂床、床用塗料の場合とはする。	GB-F	シージングせつこうボード	EP-G	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
11. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。	ケイカル板	強化せつこうボード	EP-G	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	DR	けいカルシウム板 (タイプ2)	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	DR (凹凸)	ロックワール化粧壁紙 トラバーチン模様	OS	オイルステイン塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	P-F板	ロックワール化粧壁紙 凹凸模様	SOP	合成樹脂塗液系ペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	木毛板	押出ポリスチレンフォーム保護材	GP	グラファイトペイント塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	TB	木製系メトリック	AC	アクリル樹脂ワニス塗り (アクリル樹脂クリヤ塗り)	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	外装塗塗材 (E)	セラソーブロック	DP	耐水性塗料 (DP) 1級ふっ素樹脂塗料塗り	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	内装塗塗材 (E)	外装合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材	LGS	軽量遮音天井下地	● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	内装塗塗材 (E)	内装合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材			● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	C (B)	内装合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材			● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	C (C)	コンクリート下地 (打放し)			● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	M	モルタル			● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	
	軽量吹付	軽量吹付			● 壁止口	● 5-21-2	● ① 8-22-1	● ① カチンボックス	● ① 3-31-3	

外部仕上表		床 (ポーチ)		壁		外壁		屋根		バルコニー		上端		ひさし		備考		
								下地・防水層		押え・仕上				はな		軒天		
○磁器質タイル	○コンクリート重均し仕上	○磁器質タイル	○コンクリート打放し	○磁器質タイル	○コンクリート打放し (B)	○コンクリート打放し (B)	○コンクリート打放し (B)	ROOF A・ROOF C 下地○コンクリート重均し仕上 防水層○アスファルト防水 (A1-1)	○コンクリート打放し (B) 2層 絶縁材○フラットヤークロス (A1-1) 70g/m <sup>2</sup> 程度	押え○無筋コンクリート厚30 ○コンクリート重均し仕上 種後用塗液塗料厚1000 仕上○押えコンクリート重均し仕上	並木	○アルミ既製品 W350	○コンクリート重均し仕上	○コンクリート打放し (B) の上 覆層塗材 (RE)	○アルミ手摺	○コンクリート打放し (B) の上 覆層塗材 (RE)	○アルミ手摺	○アルミ手摺

内部仕上表		階		室名		床		幅木		壁		天井		備考									
						下地 仕上		下地 仕上		下地 仕上		下地 仕上											
水廻り	洗面アート	<C>	<E>	<C>	<E>	1-01-3	—	—	—	—	—	<C>	<E>	3-01-11	天井と同じ	<足掛金物・マンホール蓋・角差し>							
	洗脚池	<C>	<E>	<C>	<E>	1-01-3	—	—	—	—	—	<C>	<E>	3-01-11	天井と同じ	<足掛金物・角差し>							
	脱出井	<C>	<E>	<C>	<E>	1-01-3	—	—	—	—	—	<C>	<E>	3-01-11	天井と同じ	<足掛金物・角差し>							
	管理用水廻	<C>	<E>	<C>	<E>	1-01-3	—	—	—	—	—	<C>	<E>	3-01-11	天井と同じ	<足掛金物>							
1階	玄関	<C>	<E>	M+床用塗料	1-01-1	C	C打放し (B) +床用塗料	100	2-11-3	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁と同じ	LGS	6B-W(T)	2,600	3-01-2	—	—	天井点検口	
	玄関階段室	<C>	<E>	M+床用塗料	1-01-1	C	C打放し (B) +床用塗料	100	2-11-3	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁と同じ	LGS	6B-W(T)	2,600	3-01-2	—	—	壁付手摺・ステンレス製ノンスリップ 縁込高層モルタル仕上厚30 天井点検口 +床用塗料
	ポンプ室	<無筋コンクリート厚200>	<C>	<C>	1-01-3	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁と同じ	C	C打放し (C)	—	3-01-11	—	—	—	アルミ製手摺・ステンレス製ノンスリップ 危険物標識表示板

特記なき限り		工事名		令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事	
仕上材料の厚さ	材料名	種別	壁(m <sup>2</sup> )	天井(m <sup>2</sup> )	備考
	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619
	下地	下地	12.5	—	—
	GB-N/C	下地	—	9.5	NM-8613
	GB-N/C (T)	又は同等	—	9.5	又は同等
	GB-D	不燃 (個別認定)	—	12.5	不燃 (個別認定)
	DR	—	—	12	NM-8599
	付いた複層系覆層仕上塗材	種別	壁(m <sup>2</sup> )	天井(m <sup>2</sup> )	備考
	ポリマーセメント高層覆層仕上塗材	12	10	NM-8578	
	合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材	25	25	NM-8606	
	反応硬化型合成樹脂エマルジョン系覆層仕上塗材	—	—	—	
	合成樹脂塗液系覆層仕上塗材	—	—	—	
	クリヤックラー塗り	—	—	—	
	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	—	—	—	
	つや消光合成樹脂エマルジョン系ペイント塗り	—	—	—	
	耐水性塗料 (DP) 1級ふっ素樹脂塗料塗り	—	—	—	
	ウレタン樹脂ワニス塗り	—	—	—	
	オイルステイン塗り	—	—	—	
	合成樹脂塗液系ペイント塗り	—	—	—	
	グラファイトペイント塗り	—	—	—	
	アクリル樹脂ワニス塗り (アクリル樹脂クリヤ塗り)	—	—	—	
	耐水性塗料 (DP) 1級ふっ素樹脂塗料塗り	—	—	—	
	軽量遮音天井下地	—	—	—	

工事名		施工箇所		図面の種類		縮尺		事業所名	
令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		津市高茶屋小森上野町地内		天神ポンプ場仕上げ表(1)		- 図面番号 A-15		津市下水道局下水道建設課	

内部仕上表

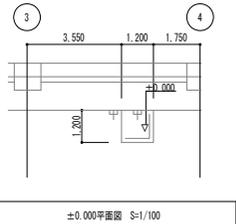
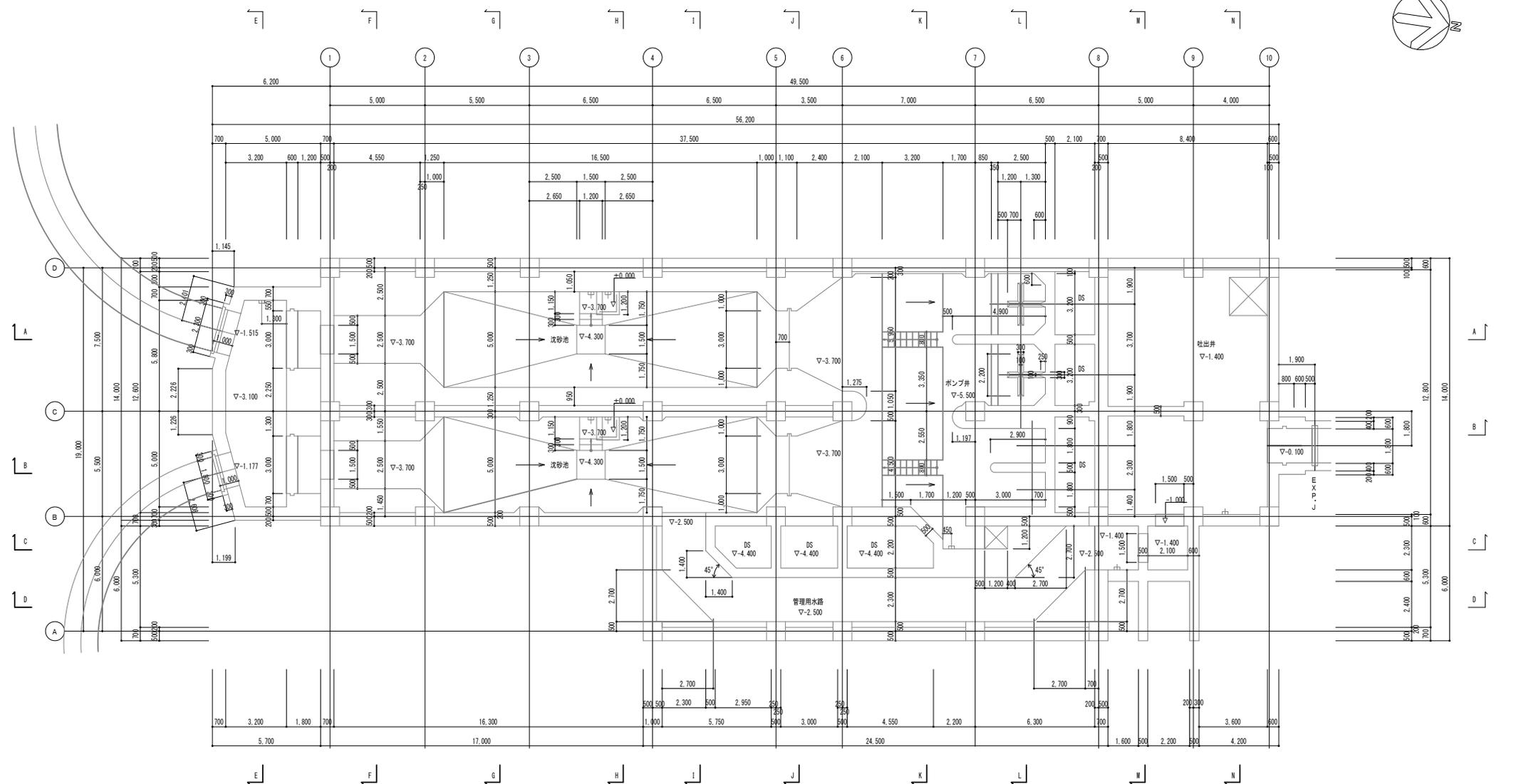
階	室名	床				楕木				壁				天				備考								
		下地	仕上	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	柱型仕上		詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	定型仕上	詳細番号	
1階	搬入スペース	無筋コンクリート 厚 200	C置均し	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	アルミ製手摺・ステンレス製ノンスリップ	
	階段室	無筋コンクリート 厚 200	C置均し	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 壁に同じ	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	壁付手摺・ステンレス製ノンスリップ 蹴込扉兼モルタル仕上厚30	
	除塵機スペース	<C> (C)	<C置均し> (C)	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11		
2階	ホール	C	C置均し+床用塗料	1-01-3	C	C打放し (B) +床用塗料	100	2-11-8	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	LGS	08-40(T)	2,600	3-01-2	—	—	—	—	室名札 天井吊接口	
	ホール階段室	C	M+床用塗料	1-01-1	C	C打放し (B) +床用塗料	100	2-11-8	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	LGS	08-40(T)	2,600	3-01-2	—	—	—	—	壁付手摺・ステンレス製ノンスリップ 蹴込扉兼モルタル仕上厚30	
	電気室	<フリーアクセス フロア H=300> (PE)	<帯電防止床タイル> (PE)	1-02-15	C	08-40<ビニル床> (PE)	100	2-11-1	—	—	—	外壁面 PPF板 C	08-40+EP-6	2-03-6	壁に同じ	2-03-6	C	C打放し (C) +EP-6	—	3-01-11	側面 壁に同じ	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	ブラインド プラインドボックス	
	排気ファン室	<無筋コンクリート 厚 300> (JM)	<C置均し> (JM)	1-01-3	C	C打放し (B)	400	2-02-8	—	—	—	C	グラスウールボード+25	2-02-14	C打放し (B)	2-02-8	C	グラスウールボード+25	—	3-01-12	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11		
	倉庫	C (増付30)	C置均し	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11		
	WC	C (増付30)	ビニル床シート (滑接)	1-01-4	M	ビニル床シート立ち上げ	100	2-11-2	—	—	—	M	100角陶器質タイル貼	2-01-2	壁に同じ	2-01-2	LGS	08-40(T)	2,600	3-01-2	—	—	—	—	天井吊接口 配管ライニング壁 <大規模、手洗い壁、鏡> (JM)	
	エンジン室	<無筋コンクリート 厚 300> (JM)	<C置均し> (JM)	1-01-3	C	C打放し (B)	400	2-02-8	—	—	—	C	グラスウールボード+25	2-02-14	C打放し (B)	2-02-8	C	グラスウールボード+25	—	3-01-12	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	アルミ製手摺・搬入口蓋・ホイスレール・吊りフック <手洗い壁> (JM)	
	給気ファン室	<無筋コンクリート 厚 300> (JM)	<C置均し> (JM)	1-01-3	C	C打放し (B)	400	2-02-8	—	—	—	C	グラスウールボード+25	2-02-14	C打放し (B)	2-02-8	C	グラスウールボード+25	—	3-01-12	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11		
	階段室	C	C置均し	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B) +EP-6	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 壁に同じ	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	室名札 壁付手摺・ステンレス製ノンスリップ 蹴込扉兼モルタル仕上厚30	
PH階	排気チャンバー	C	C置均し+塗膜防水	1-01-3	C	C打放し (B) +塗膜防水	300	—	—	—	—	C	グラスウールボード+25	2-02-14	壁に同じ	2-02-8	C	グラスウールボード+25	—	3-01-12	側面 C打放し (B)	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11		
	階段室	C	C置均し	1-01-3	—	—	—	—	—	—	—	C	C打放し (B)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	C打放し (C)	—	3-01-11	側面 壁に同じ	2-02-8	側面 C打放し (C)	3-01-11	室名札 壁付手摺・ステンレス製ノンスリップ 蹴込扉兼モルタル仕上厚30	

※本図面はA1サイズを原寸とする。

特記なき限り

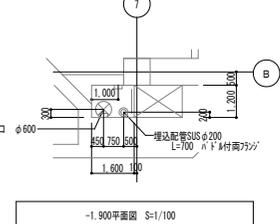
仕上材料の厚さ	材料名	種別	壁(m <sup>2</sup> )	天井(m <sup>2</sup> )	備考	材料名	種別	壁(m <sup>2</sup> )	天井(m <sup>2</sup> )	備考	工事区分番号	< > (C)		< > (AM)		< > (AE)		< > (PM)		< > (PE)	
												土木工事	建築機械設置工事	建築電気設備工事	プラント機械設備工事	プラント電気設備工事					
	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	付い酸カルシウム板 (タイプ2)	12	10	NM-8578												
		下地	12.5			グラスウールボード	25	25	NM-8606												
	GB-NC	下地	9.5		NM-8613 又は同等	壁紙															
	GB-NC (T)		9.5			EP-G			NM-8585												
	GB-D			12.5	不燃 (個別認定)																
	DR			12	NM-8599																

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	天神ポンプ場仕上表(2)
縮尺	- 図面番号 A-16
事業所名	津市下水道局下水道建設課



±0.000平面図 S=1/100

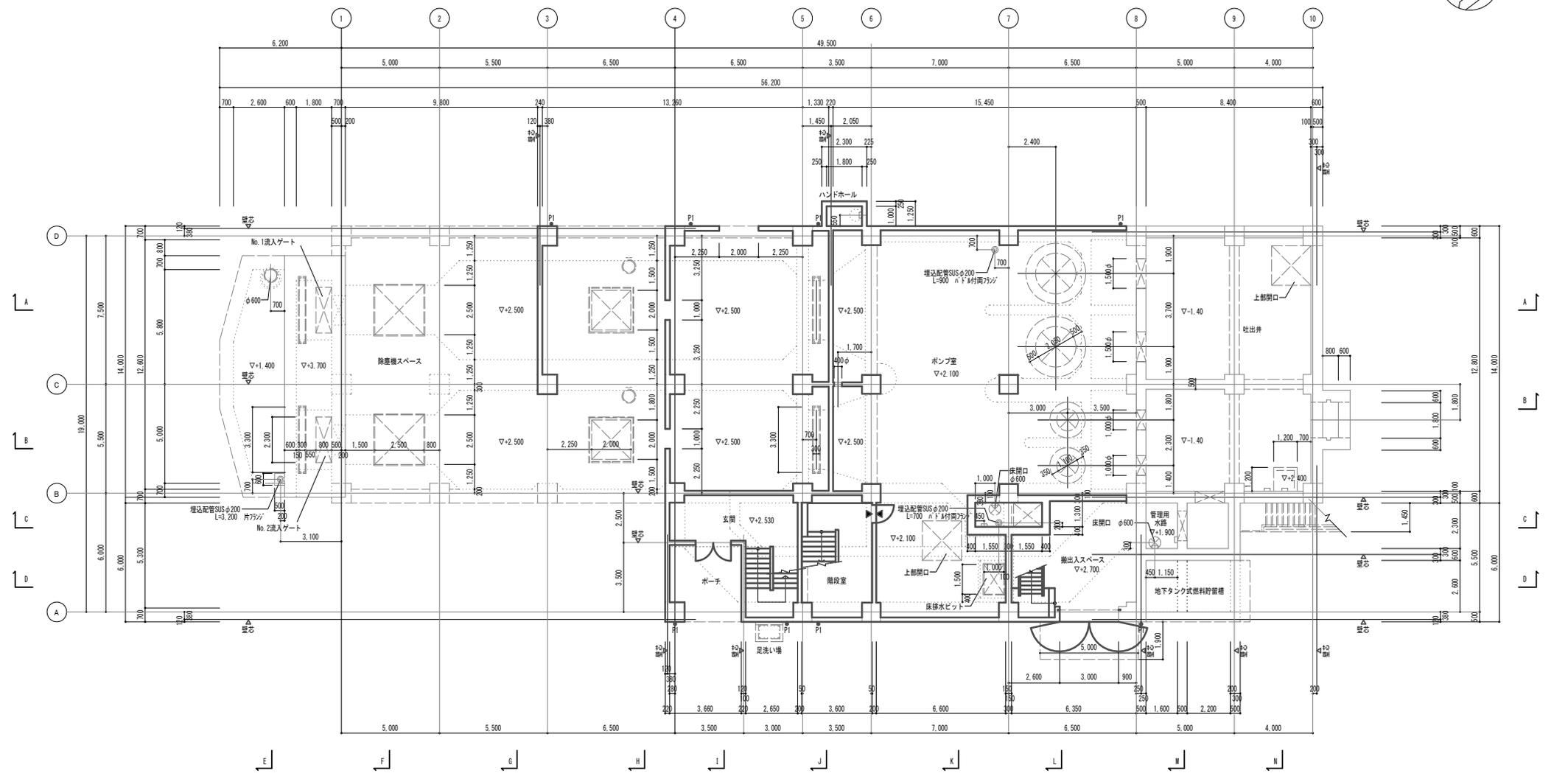
水塔部 平面図 S=1/100



-1.900平面図 S=1/100

※土木工事施工済【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

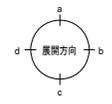
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水塔部 平面図【参考図】
縮尺	1:100 図面番号 A-17
事業所名	津市下水道局下水道建設課



注記)

1. ○ P1は縦樋100φを示す。
2. □ RD1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
3. ▼ は室名札 平付(250×50既製品)を示す。

1階 平面図 S-1/100



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階 平面図
縮 尺	1:100 図面番号 A-18
事業所名	津市下水道局下水道建設課



注記)

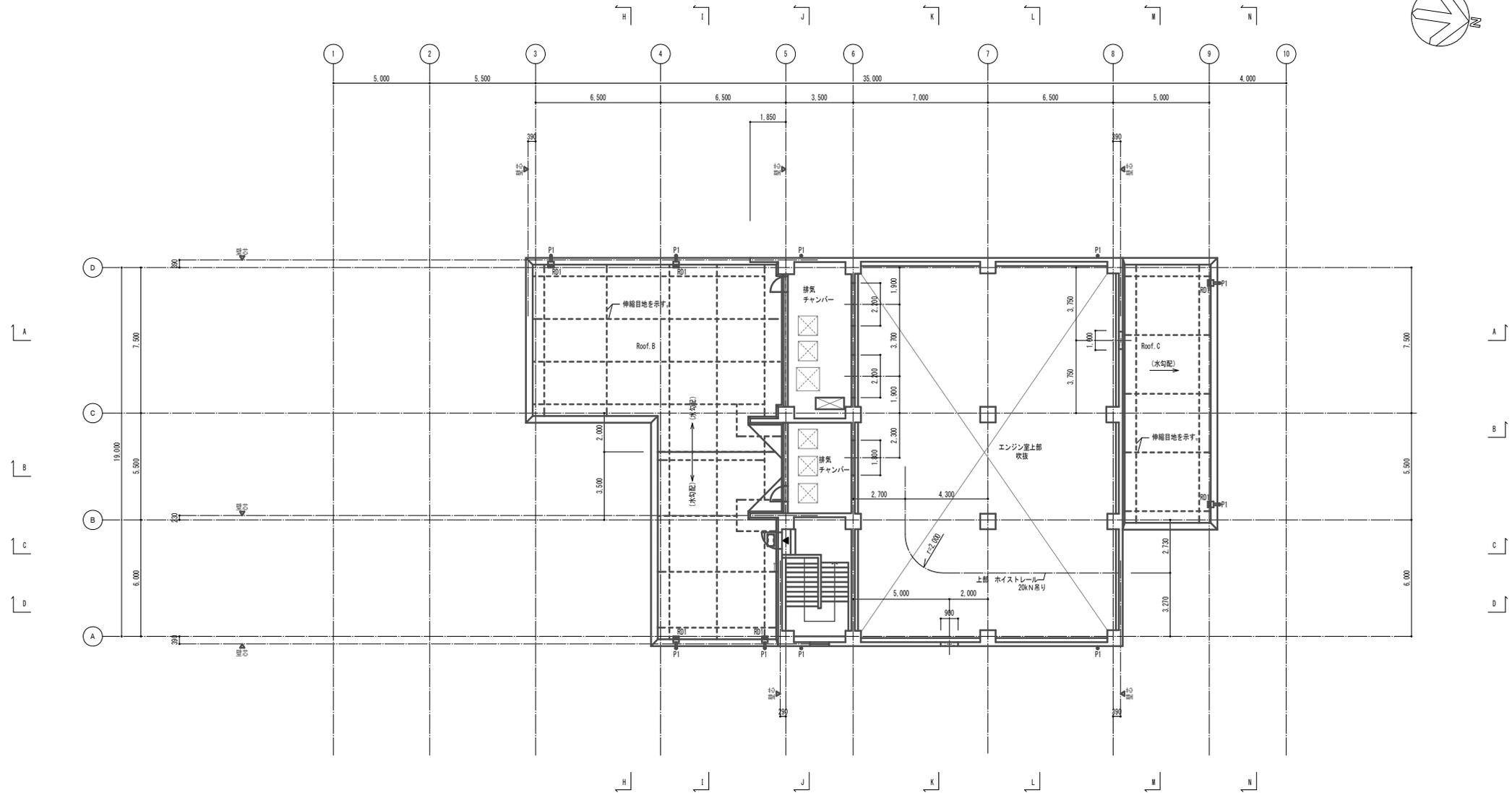
1. ● P-1は概種100φを示す。
2.  R D 1はルーフトレイン (横引型) 100Aを示す。
3. ▼ は室名札 平付 (250×50既製品) を示す。

2階 平面図 S=1/100



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	2階 平面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-19
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



注記)

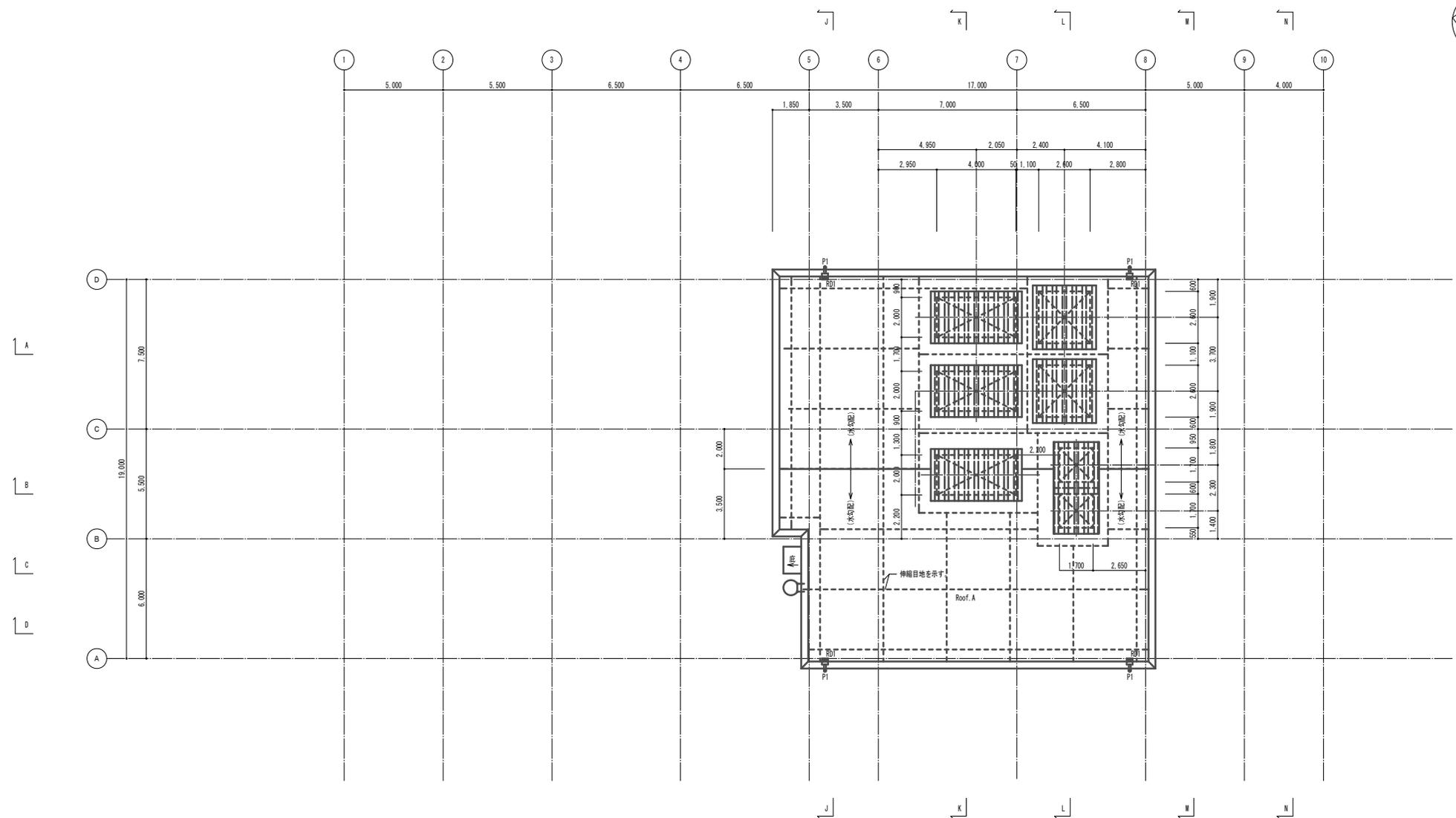
- P1は縦樋100φを示す。
- RD1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
- ▼は置名札 平付(250×50既製品)を示す。

PH平面図 S=1/100



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	PH 平面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-20
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



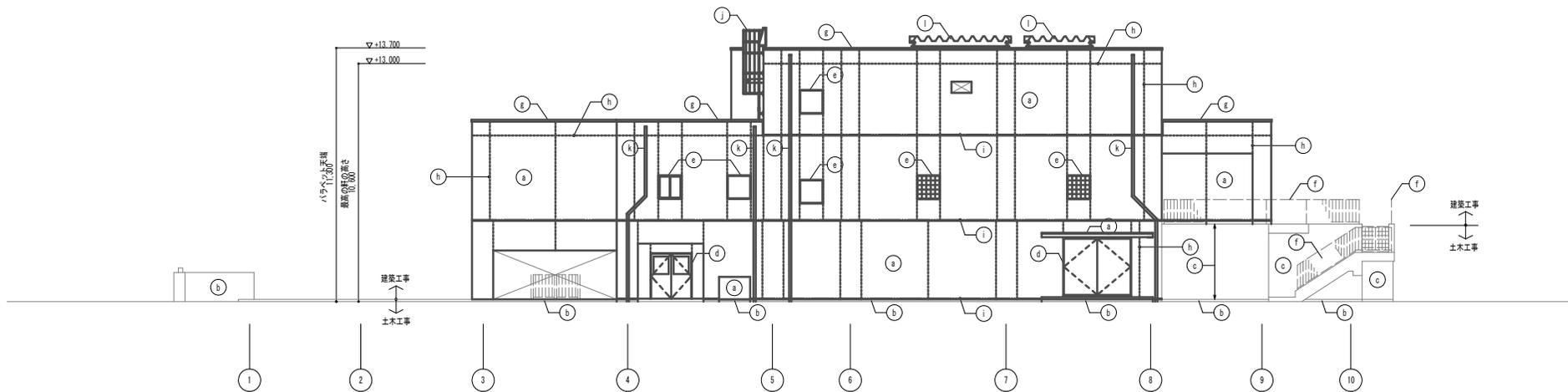
注記)

- P1は縦樋100φを示す。
- RD1はルーフトレイン（横引型）100Aを示す。

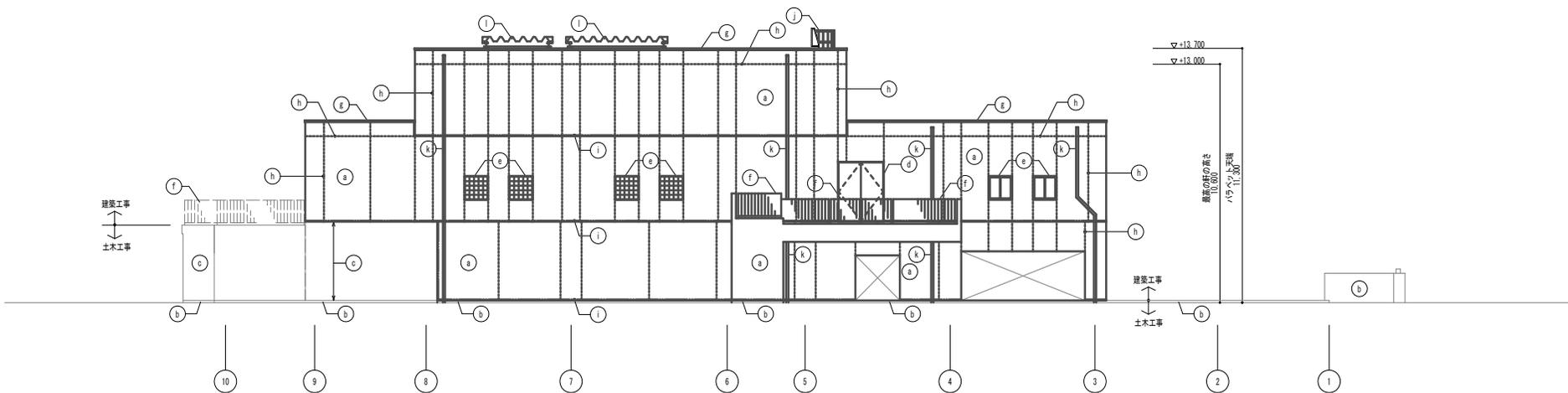
RF 平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	RF 平面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-21
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



東立面図 S=1/100



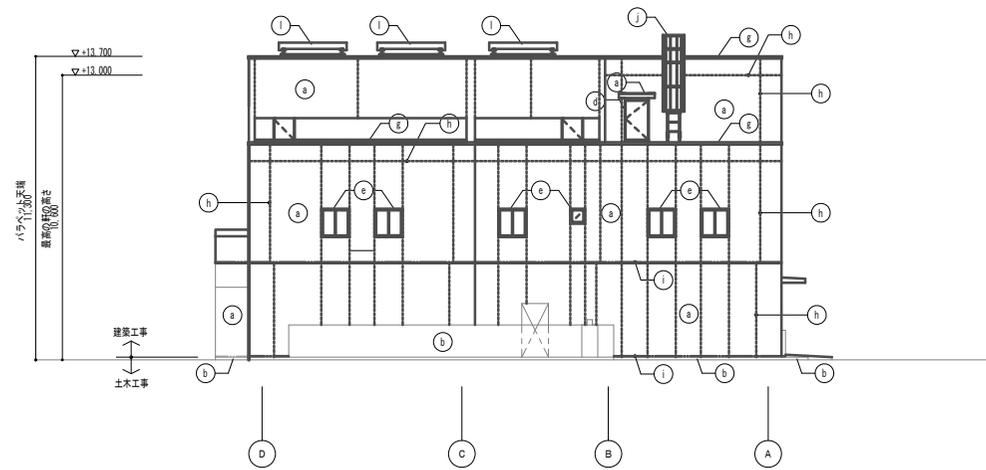
西立面図 S=1/100

仕上凡例	
(a) コンクリート打放しの上被覆塗材 (RE)	(e) アルミ製窓木 (B-1)
(b) <コンクリート打放し> (C)	(h) 誘導目地
(c) <コンクリート打放し> (C) の上被覆塗材 (RE)	(i) 打継目地
(d) 鋼製建具 DP	(j) ステンレス製安全ガード付タラップ
(e) アルミ製建具 (B-1)	(k) 配管用鋼管 (白管) SIP100A DP
(f) アルミ製手摺 (B-1)	(l) 屋根出入口差折版置き

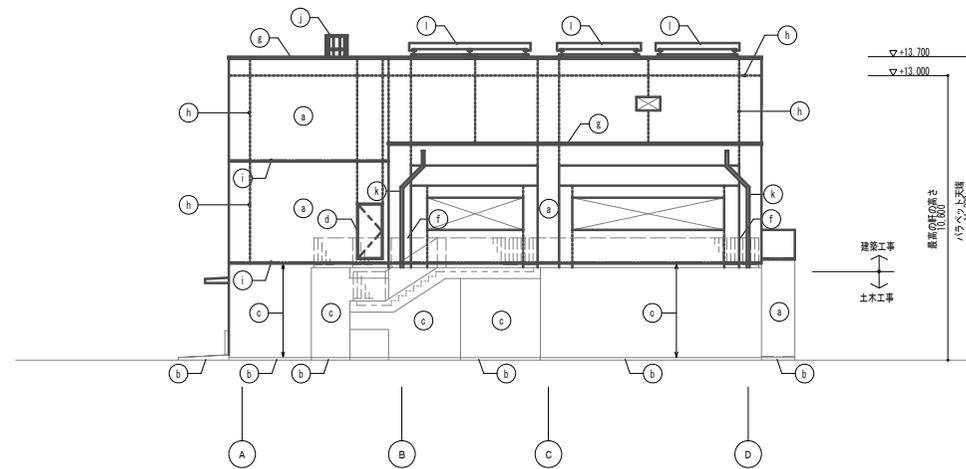
凡例	
——	ラインは、打継目地部分を示す。
---	破線ラインは、誘導目地部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	立面図(1)
縮尺	1:100 図面番号 A-22
事業所名	津市下水道局下水道建設課



南立面図 S-1/100



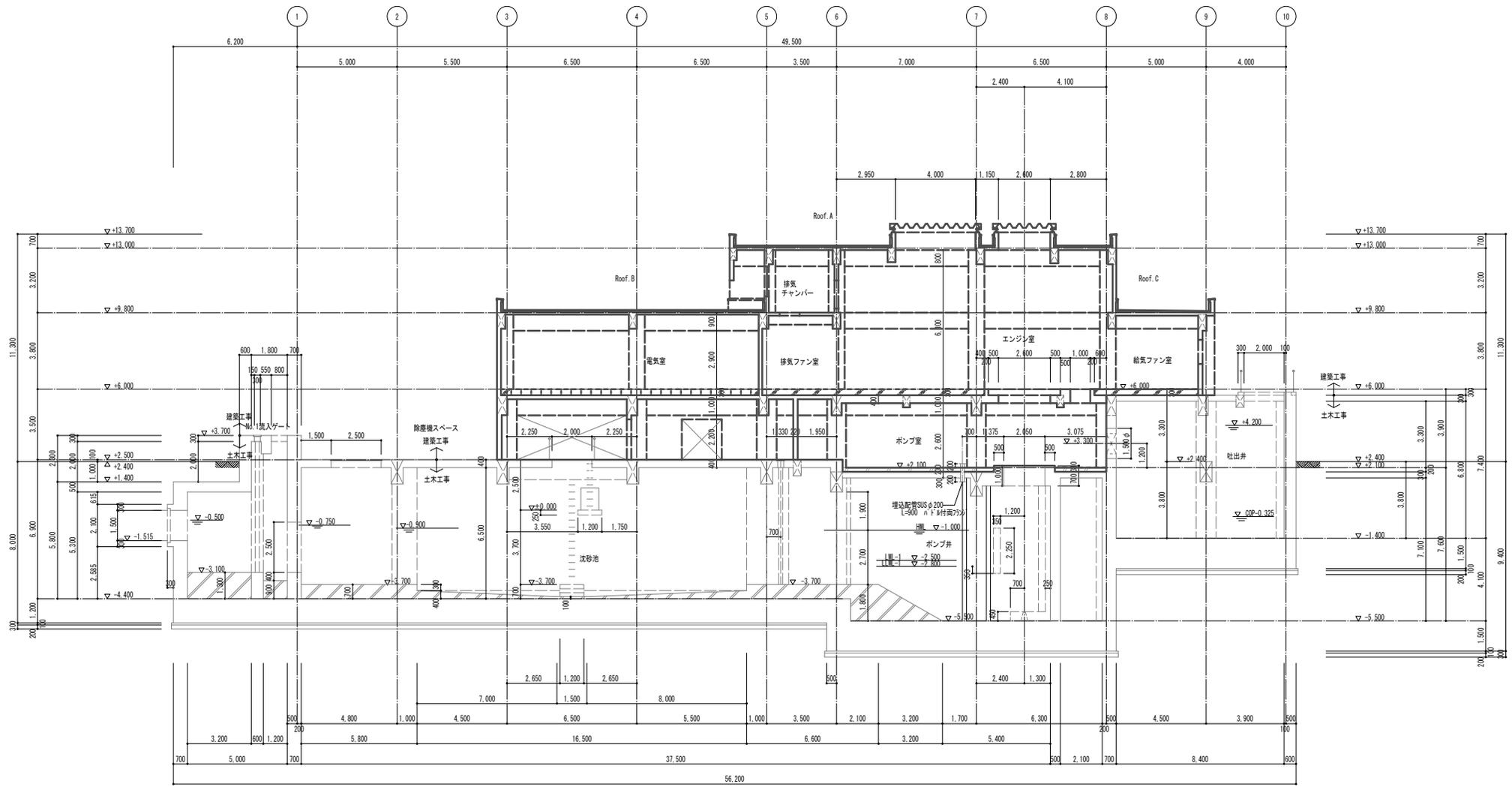
北立面図 S-1/100

仕上凡例	
(a) コンクリート打放しの上塗り塗材 (RE)	(e) アルミ製窓木 (B-1)
(b) <コンクリート打放し> (C)	(h) 誘発目地
(c) <コンクリート打放し> (C) の上塗り塗材 (RE)	(i) 打継目地
(d) 鋼製建具 DP	(j) ステンレス製安全ガード付タラップ
(e) アルミ製建具 (B-1)	(k) 配管用鋼管 (白管) SIP100A DP
(f) アルミ製手摺 (B-1) 脱着式	(l) 屋根出入口差折版葺き

凡例	
——	ラインは、打継目地部分を示す。
---	破線ラインは、誘発目地部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

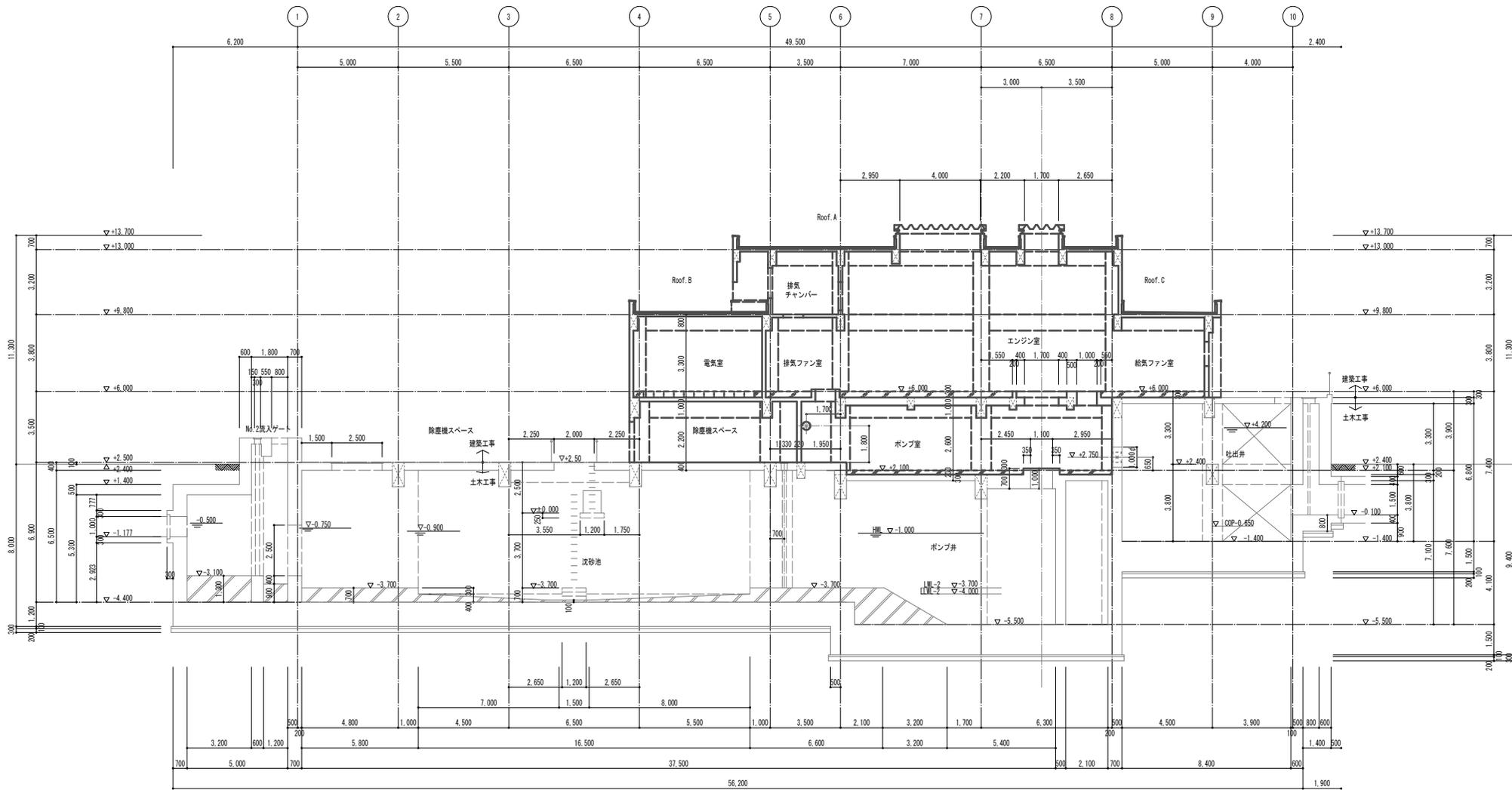
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	立面図(2)
縮尺	1:100 図面番号 A-23
事業所名	津市下水道局下水道建設課



A-A断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

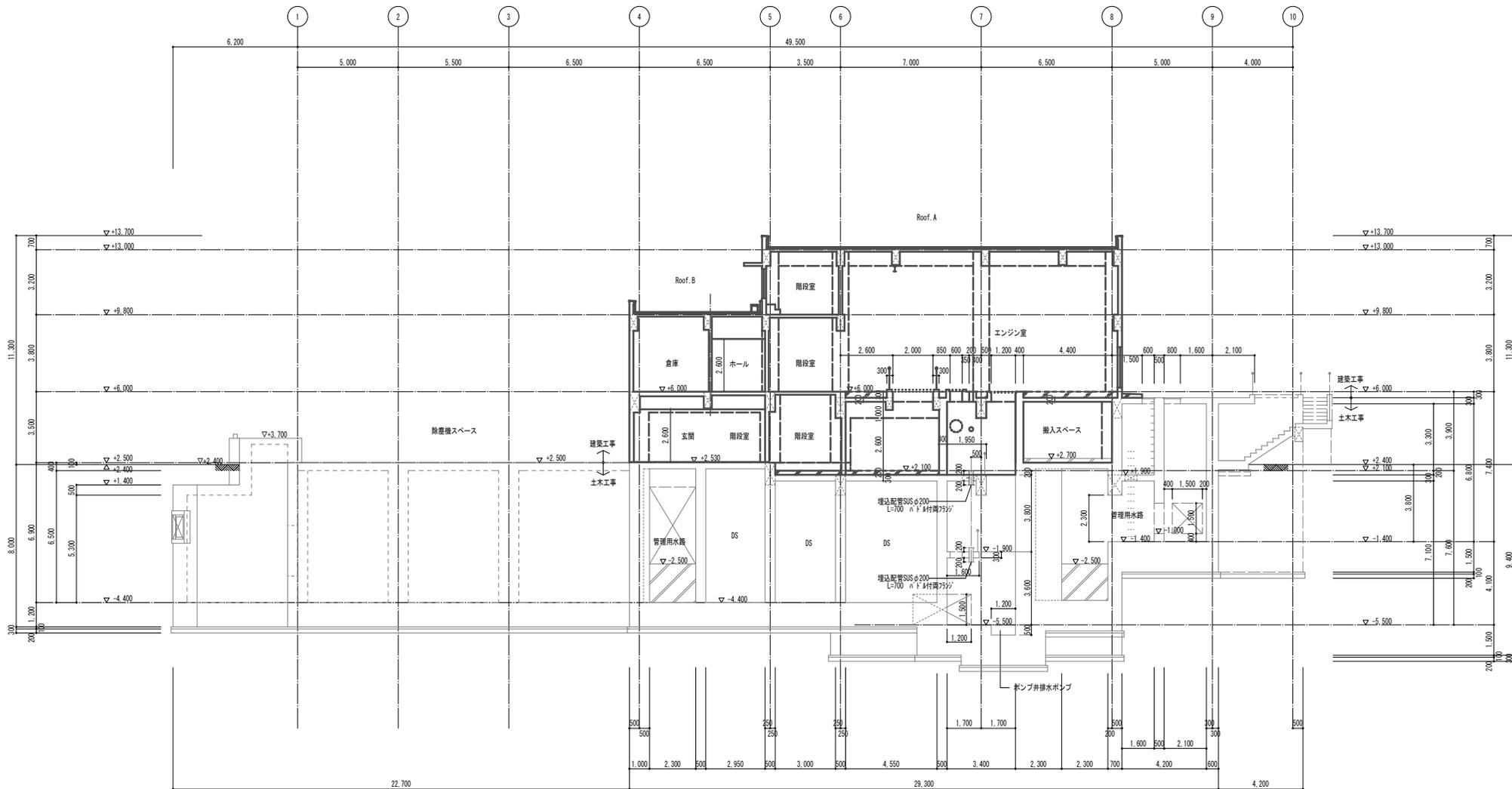
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	A-A断面図
縮尺	1:100 図面番号 A-24
事業所名	津市下水道局下水道建設課



B-B断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

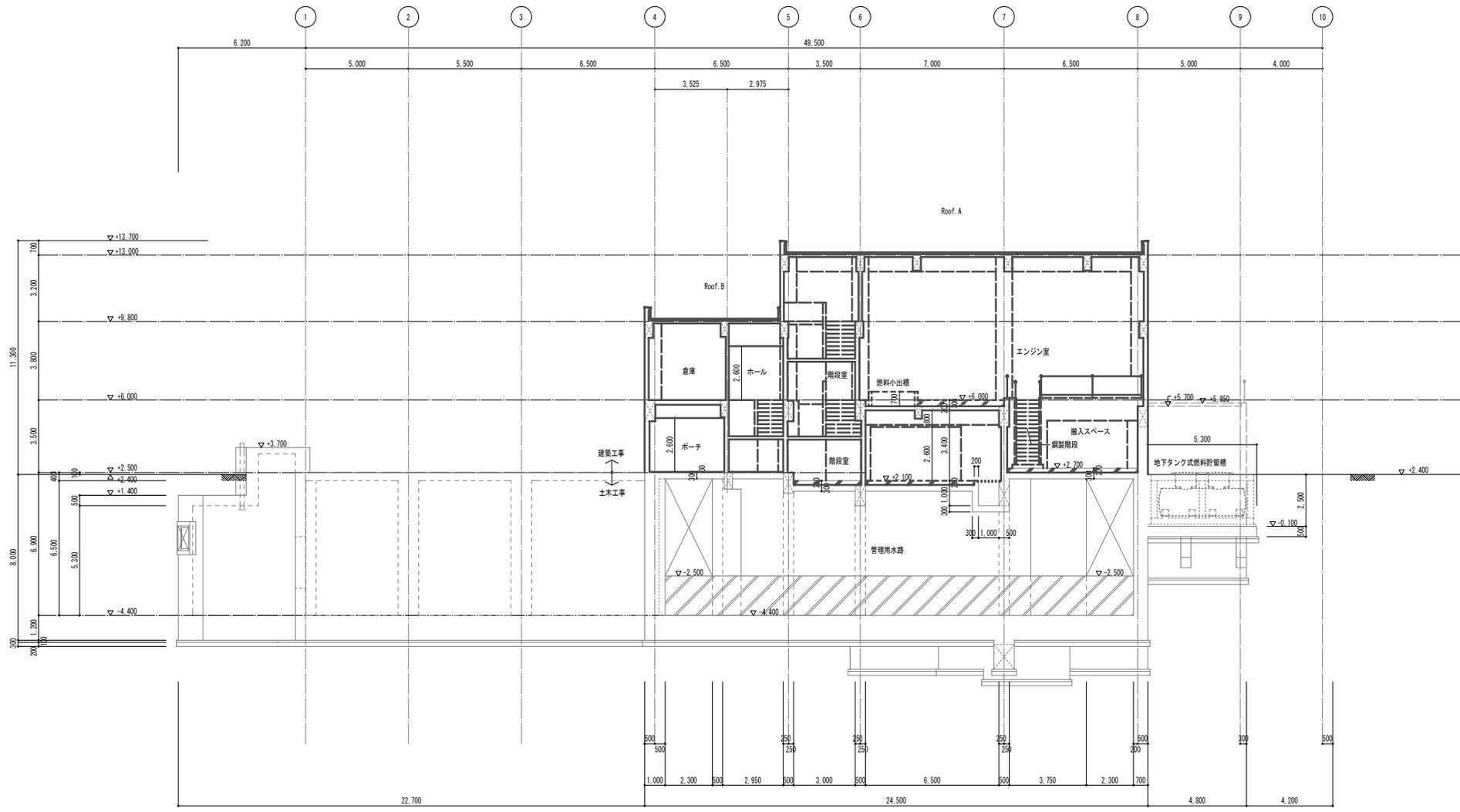
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	B-B断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-25
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



C-C断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

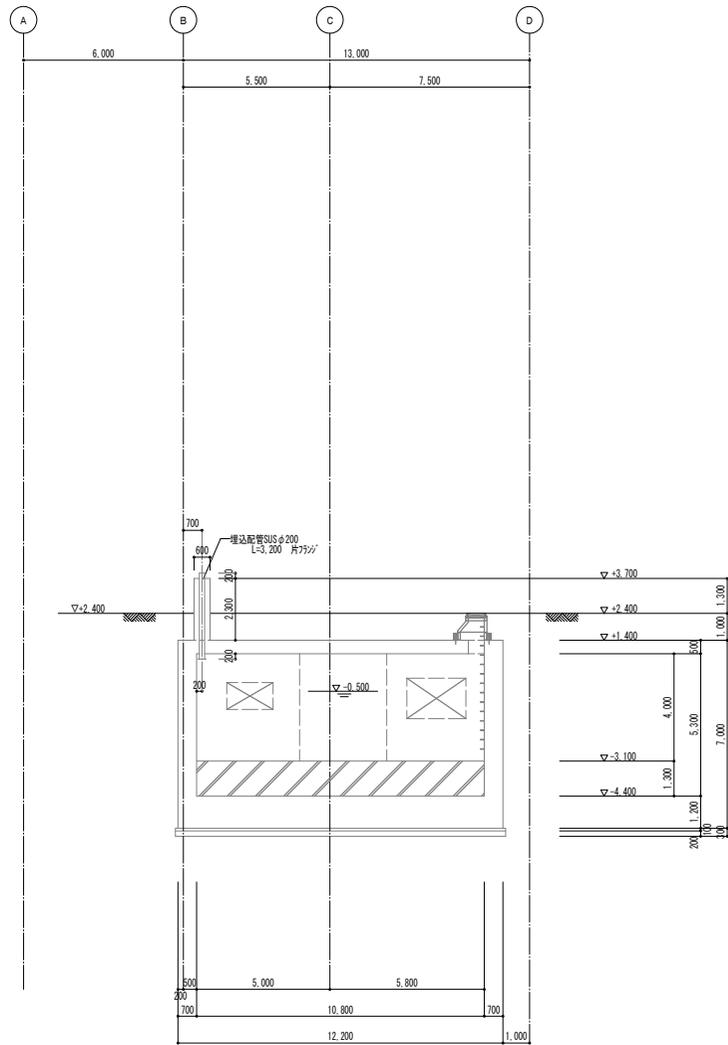
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	C-C断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-26
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



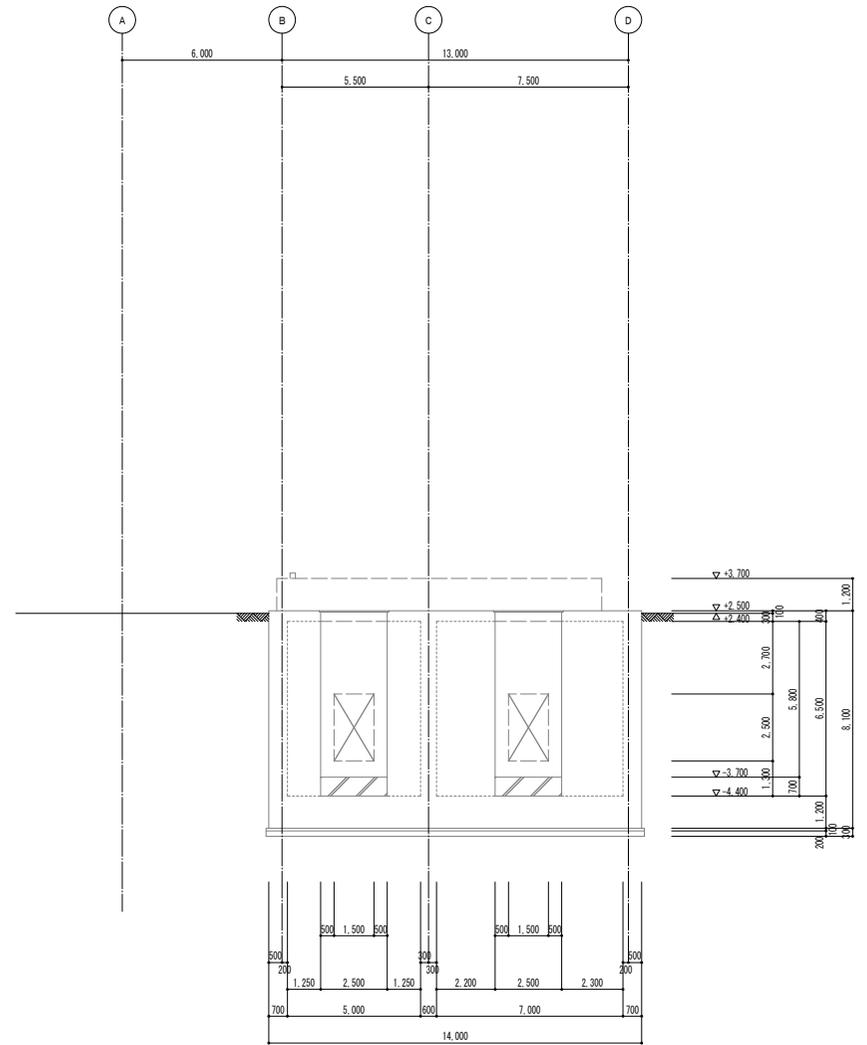
D-D断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	D-D断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-27
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



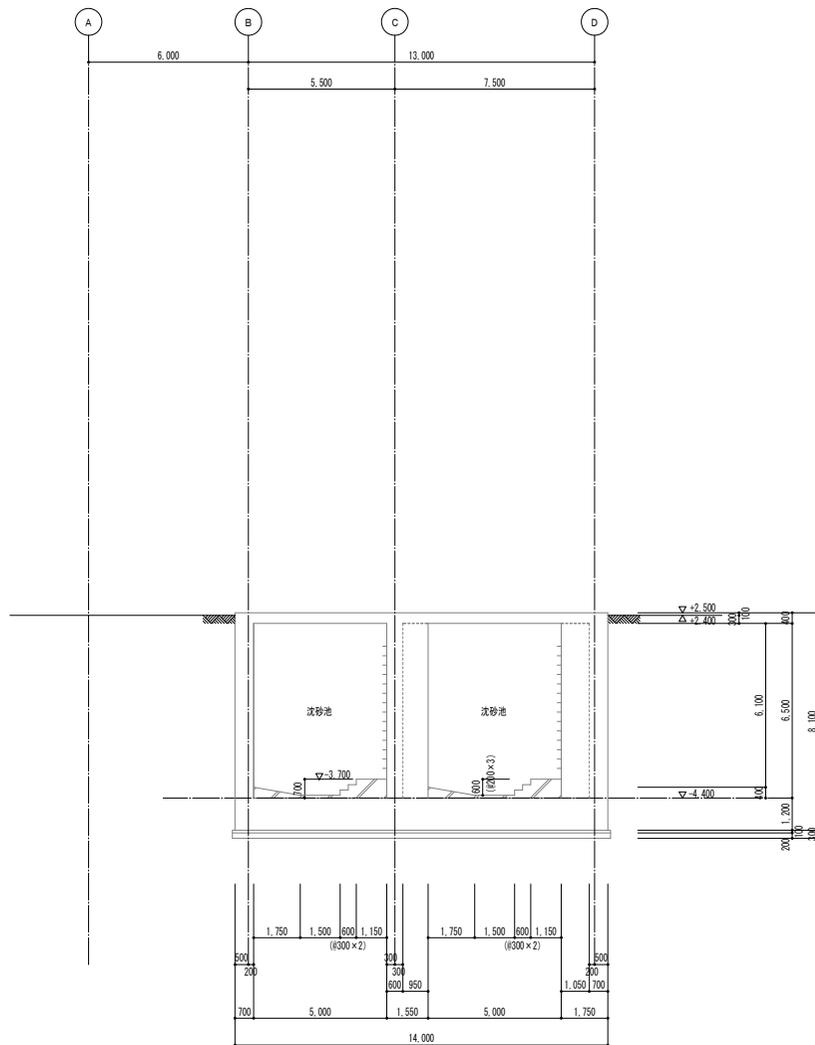
E-E断面図 S=1/100 【参考図】



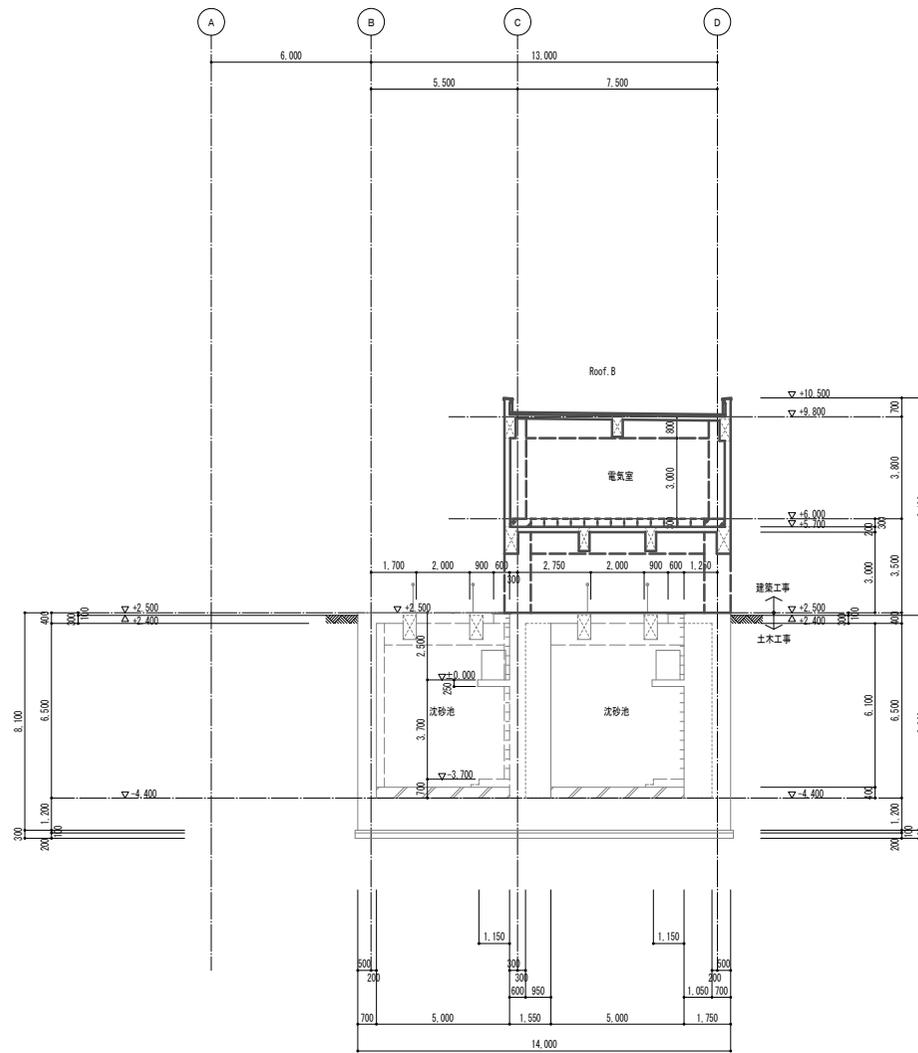
F-F断面図 S=1/100 【参考図】

※土木工事施工済【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	E-E・F-F断面図 【参考図】		
縮尺	1:100	図面番号	A-28
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



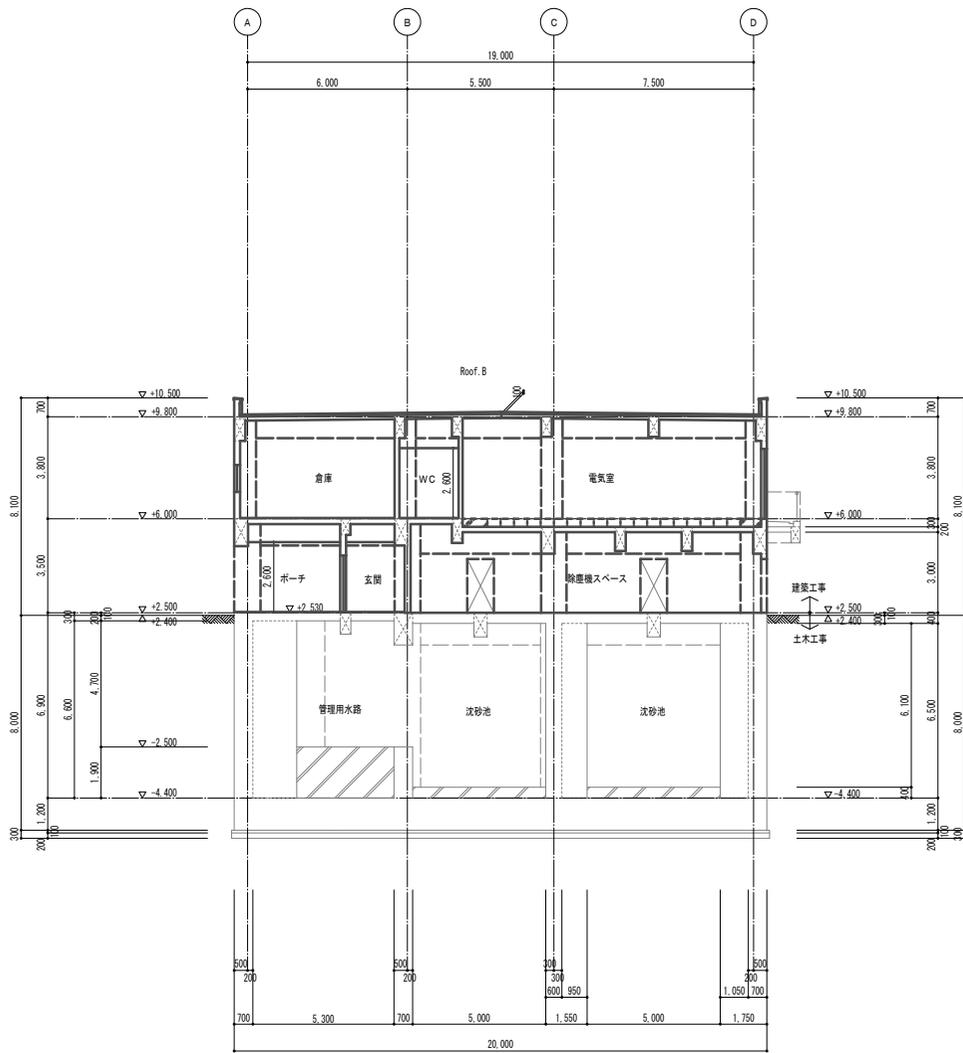
G-G断面図 S=1/100【参考図】



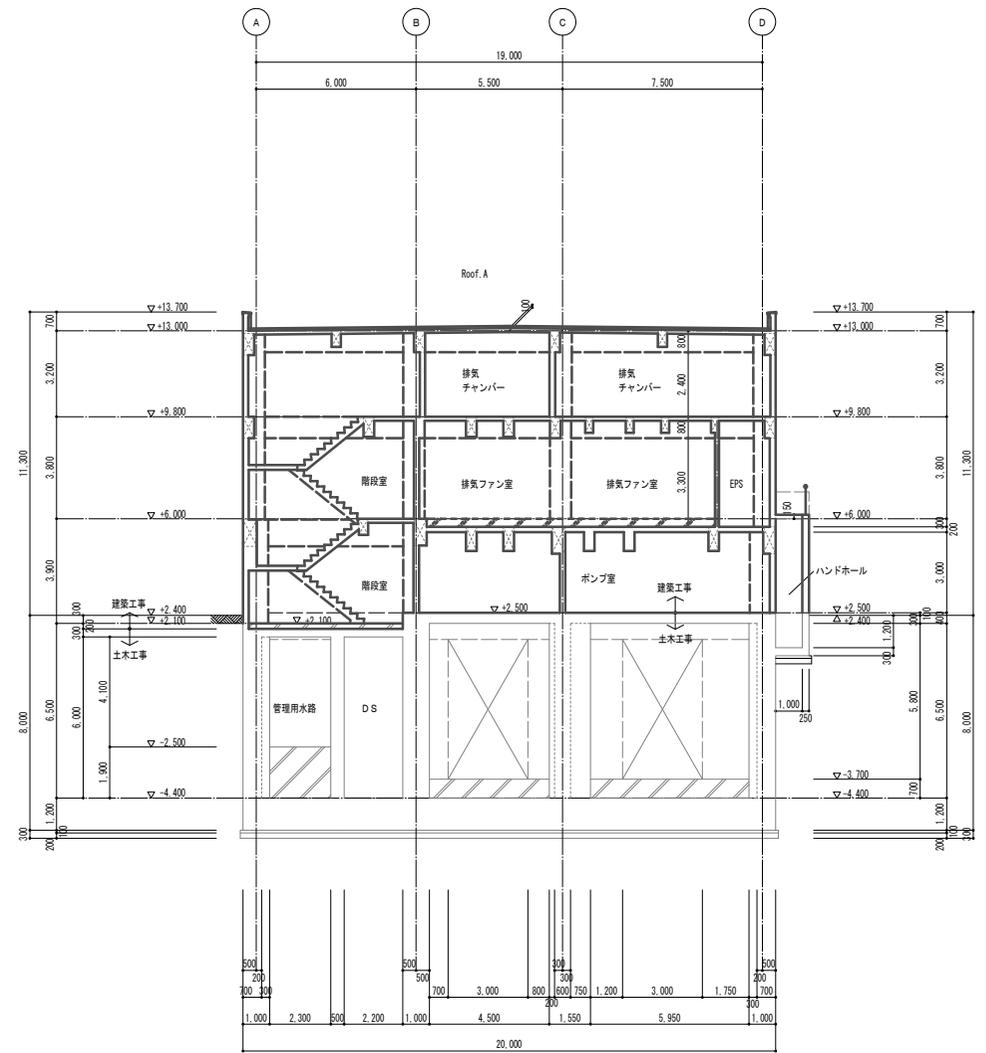
H-H断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	G-G【参考図】・H-H断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-29
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



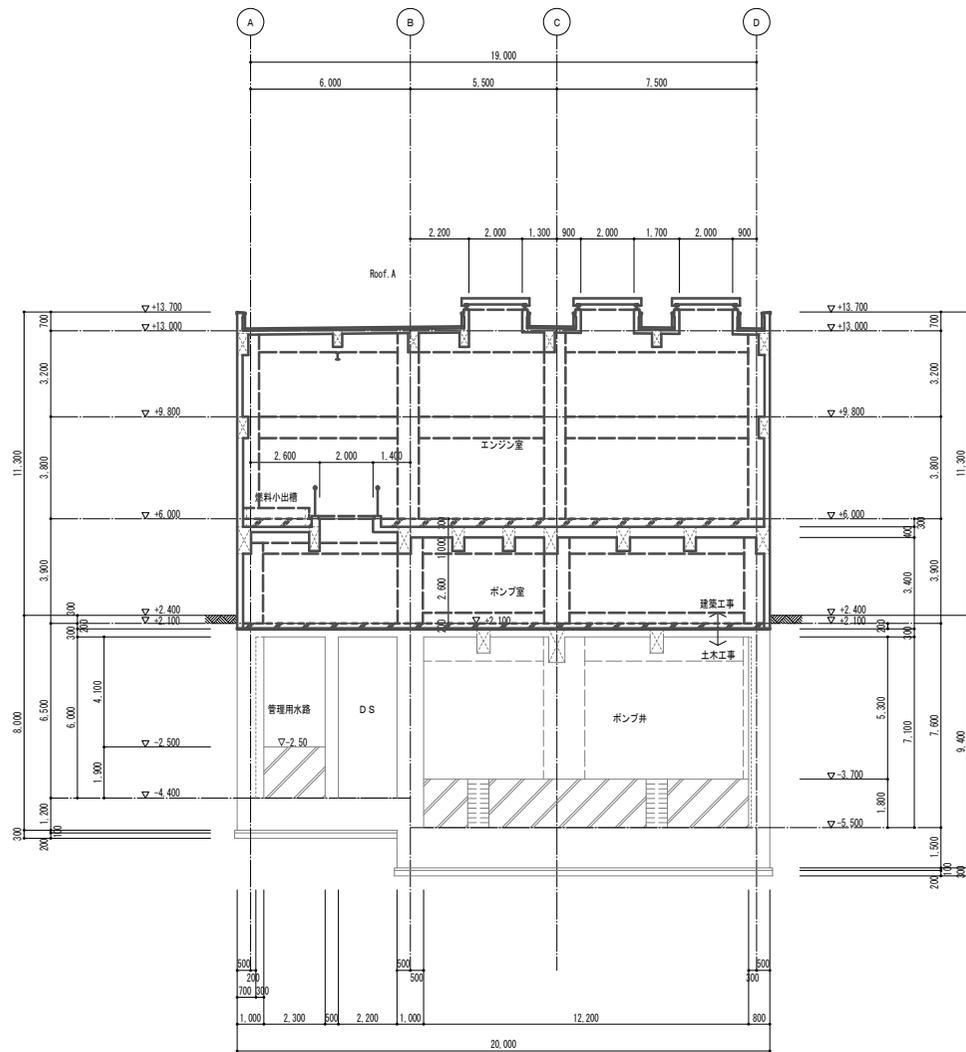
I-I断面図 S=1/100



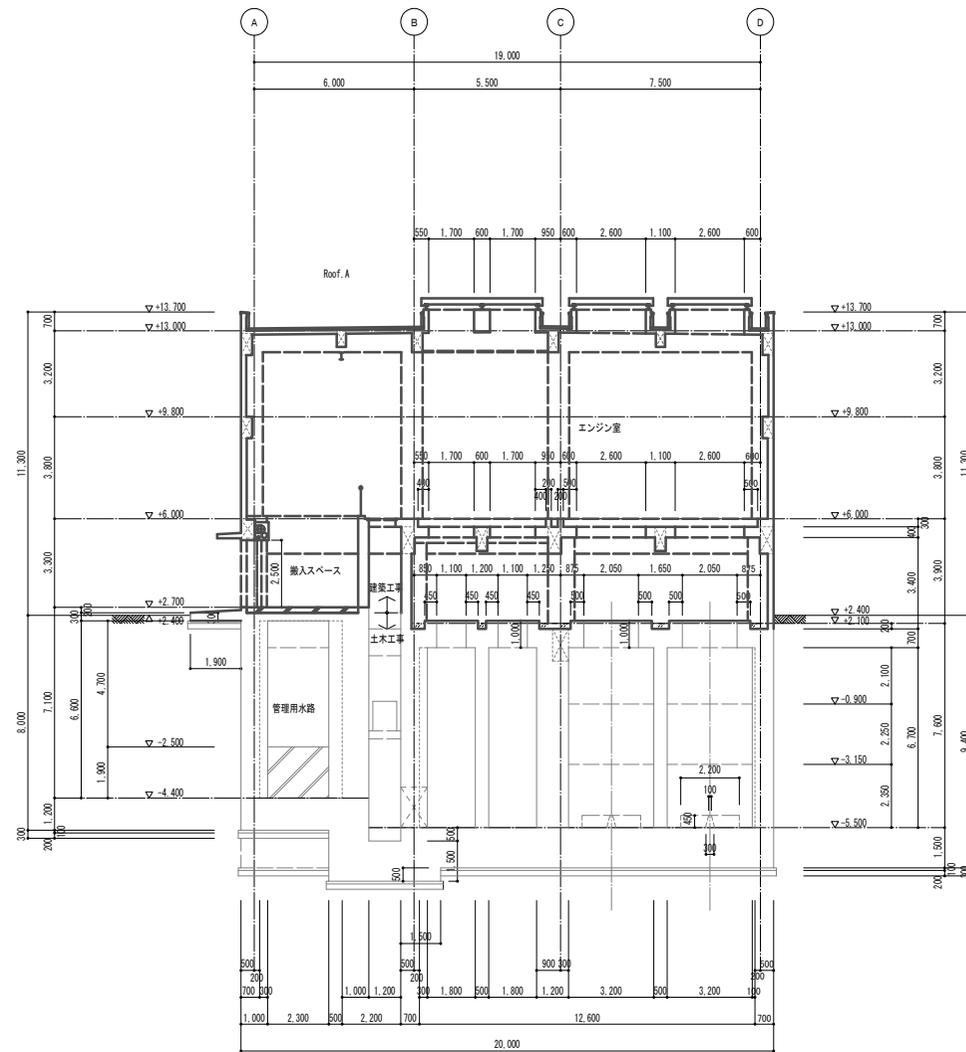
J-J断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	I-I・J-J断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-30
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



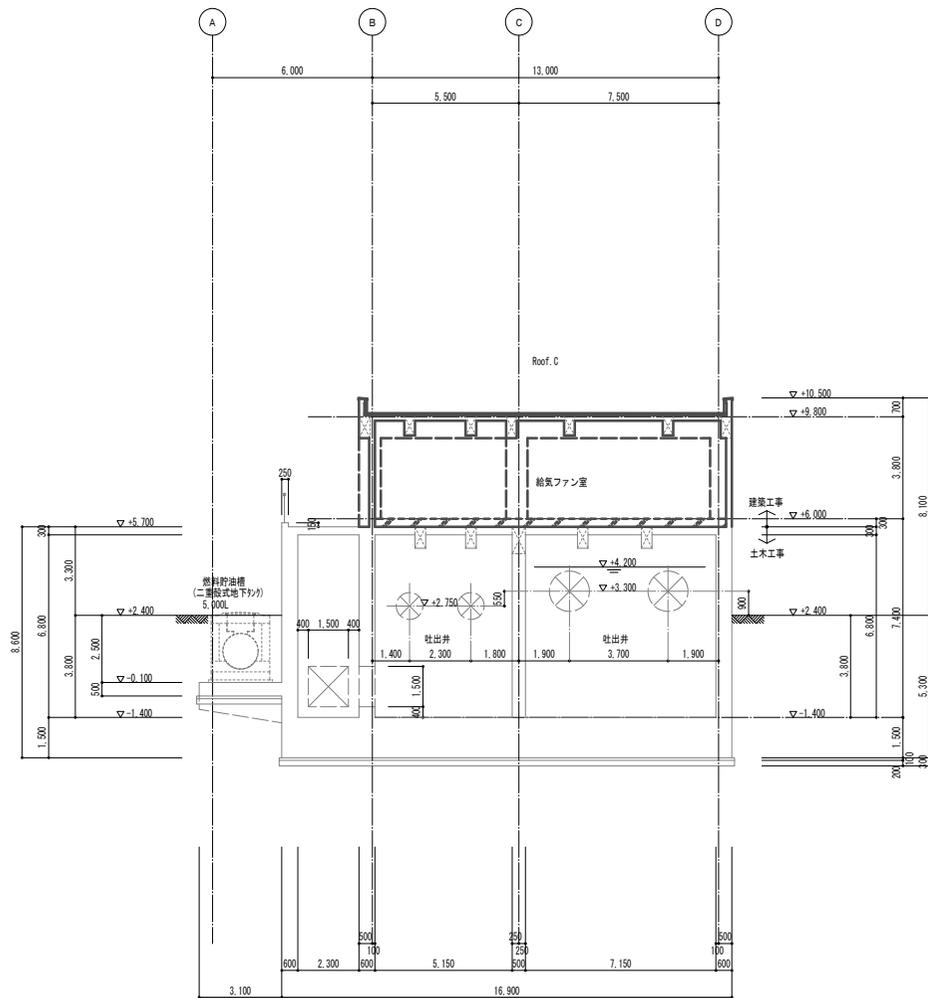
K-K断面図 S=1/100



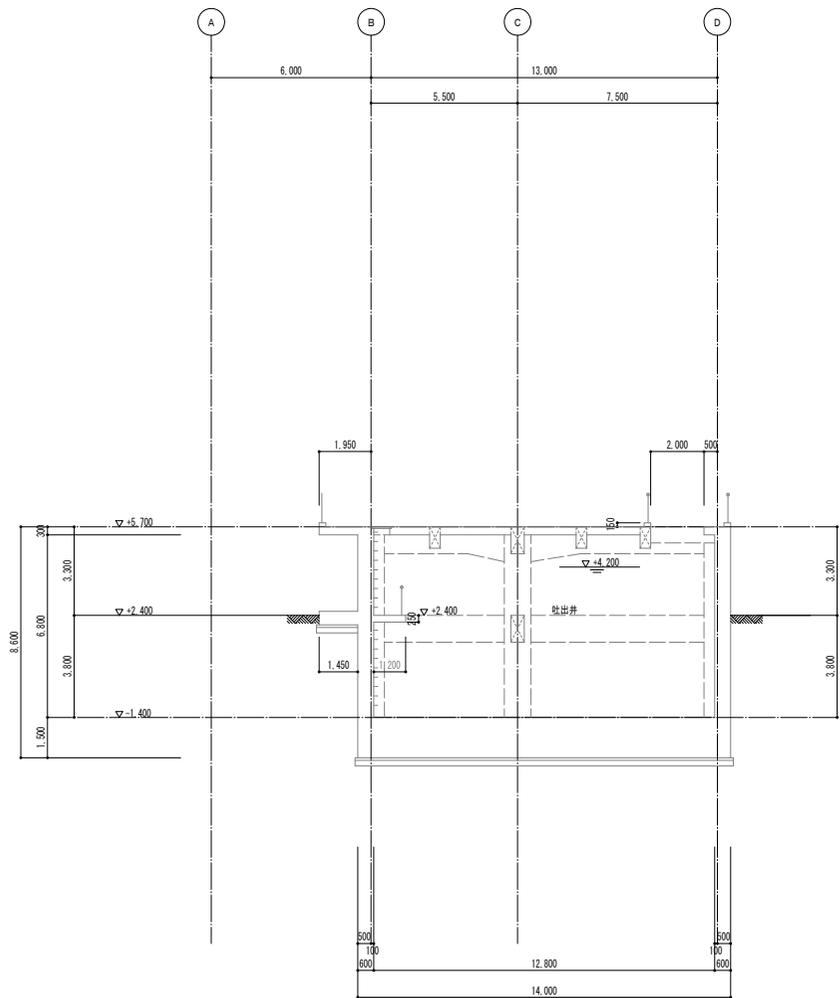
L-L断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	K-K・L-L断面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-31
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



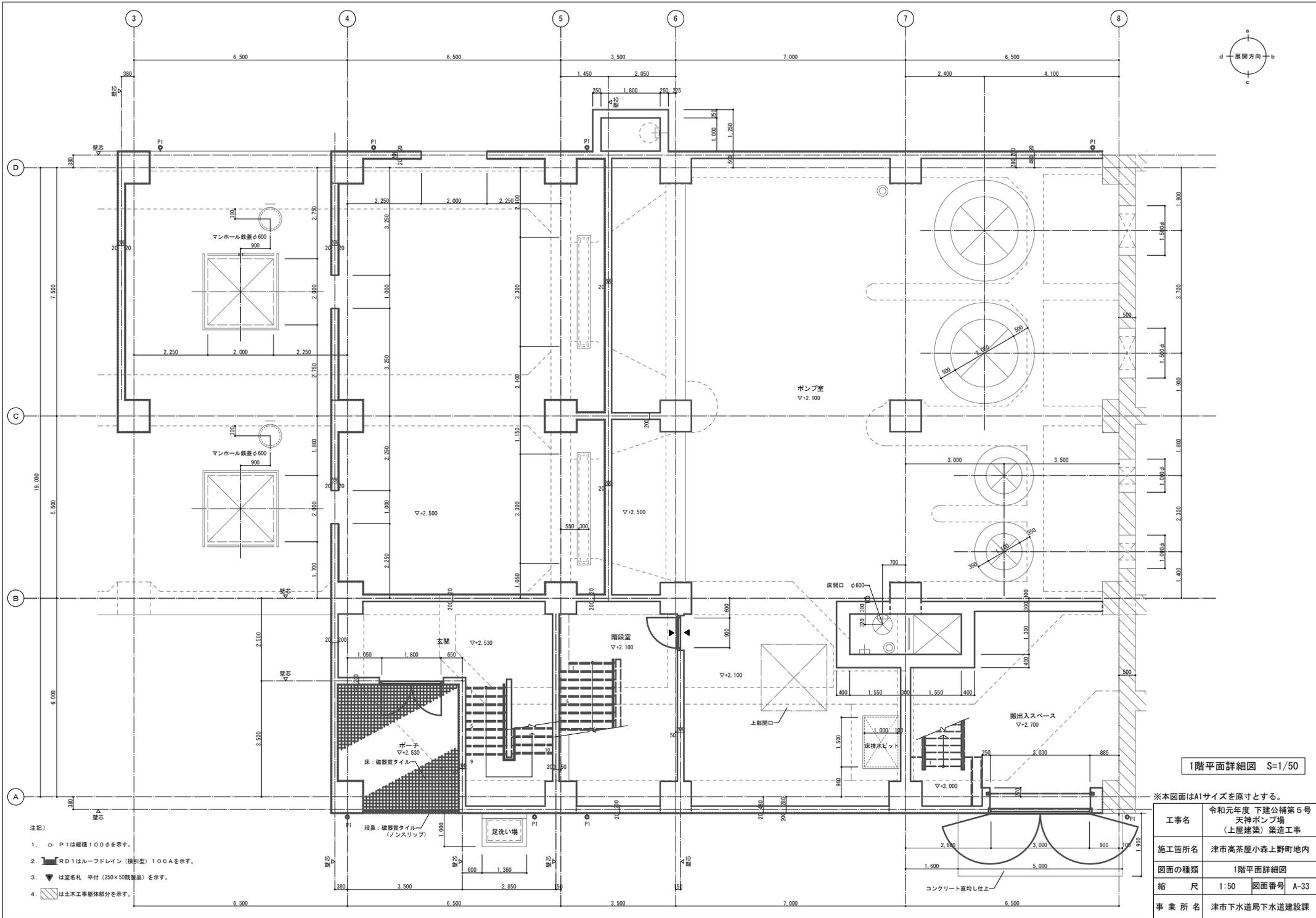
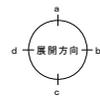
N-N断面図 S=1/100



N-N断面図 S=1/100 【参考図】

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	M-M・N-N断面図 【参考図】		
縮尺	1:100	図面番号	A-32
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

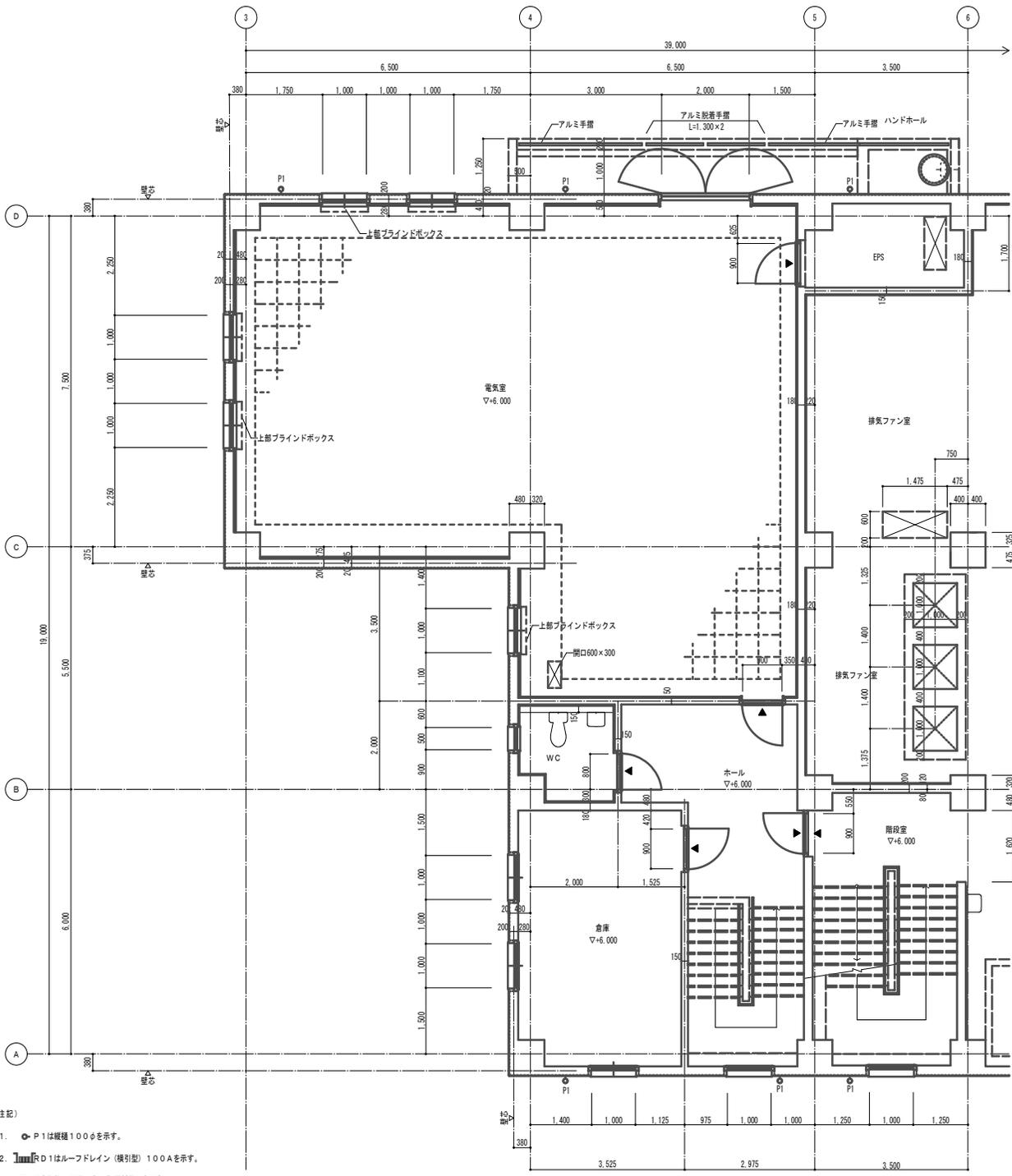
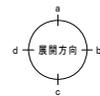


1階平面詳細図 S=1/50

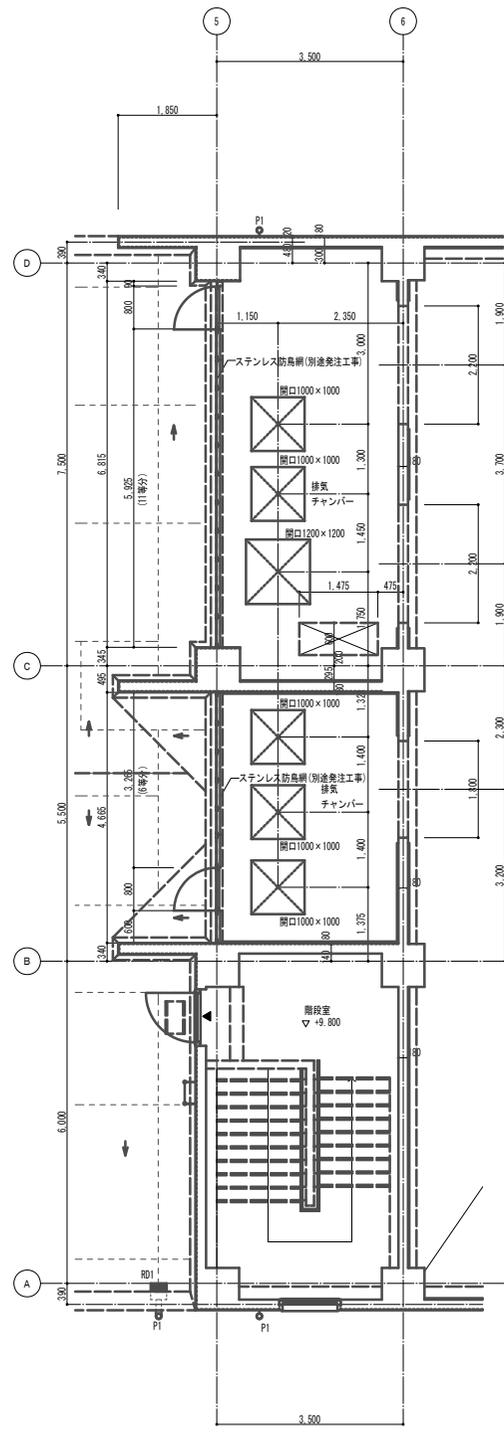
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階平面詳細図
縮尺	1:50 図面番号 A-33
事業所名	津市下水道局下水道建設課

- 注記)
- P1は縦樋100φを示す。
  - RD1はルーフトレイン(横型)100Aを示す。
  - ▼ は室名札 平付(250×50既製品)を示す。
  - ▨ は土木工事躯体部分を示す。



2階平面詳細図 S=1/50

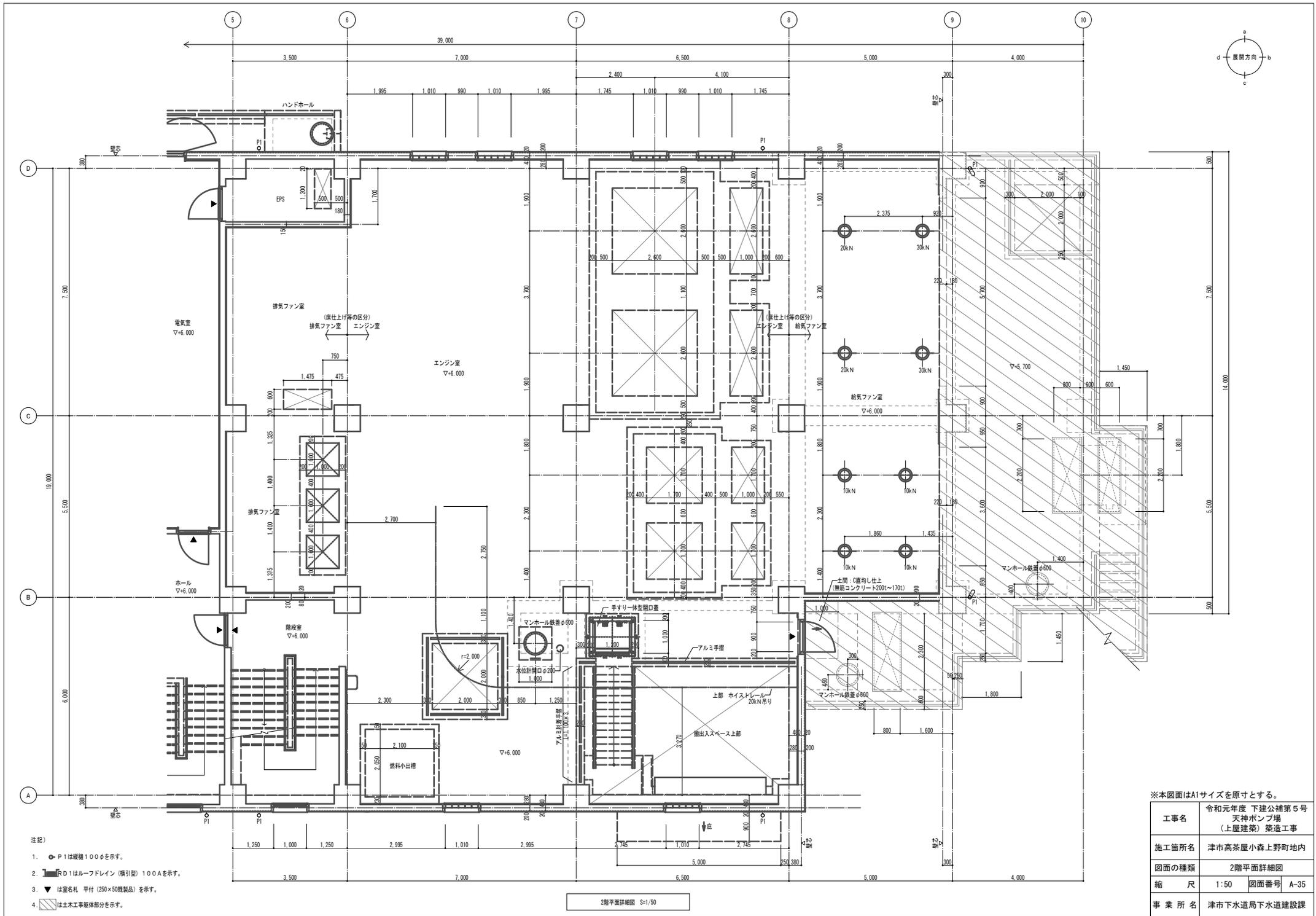


PH階平面詳細図 S=1/50

- 注記)
1. P1は縦径100φを示す。
  2. RD1はルーフレイン(横引型)100Aを示す。
  3. ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階・PH階平面詳細図
縮尺	1:50 図面番号 A-34
事業所名	津市下水道局下水道建設課

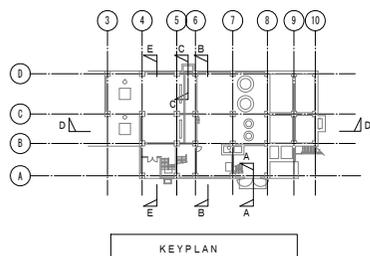
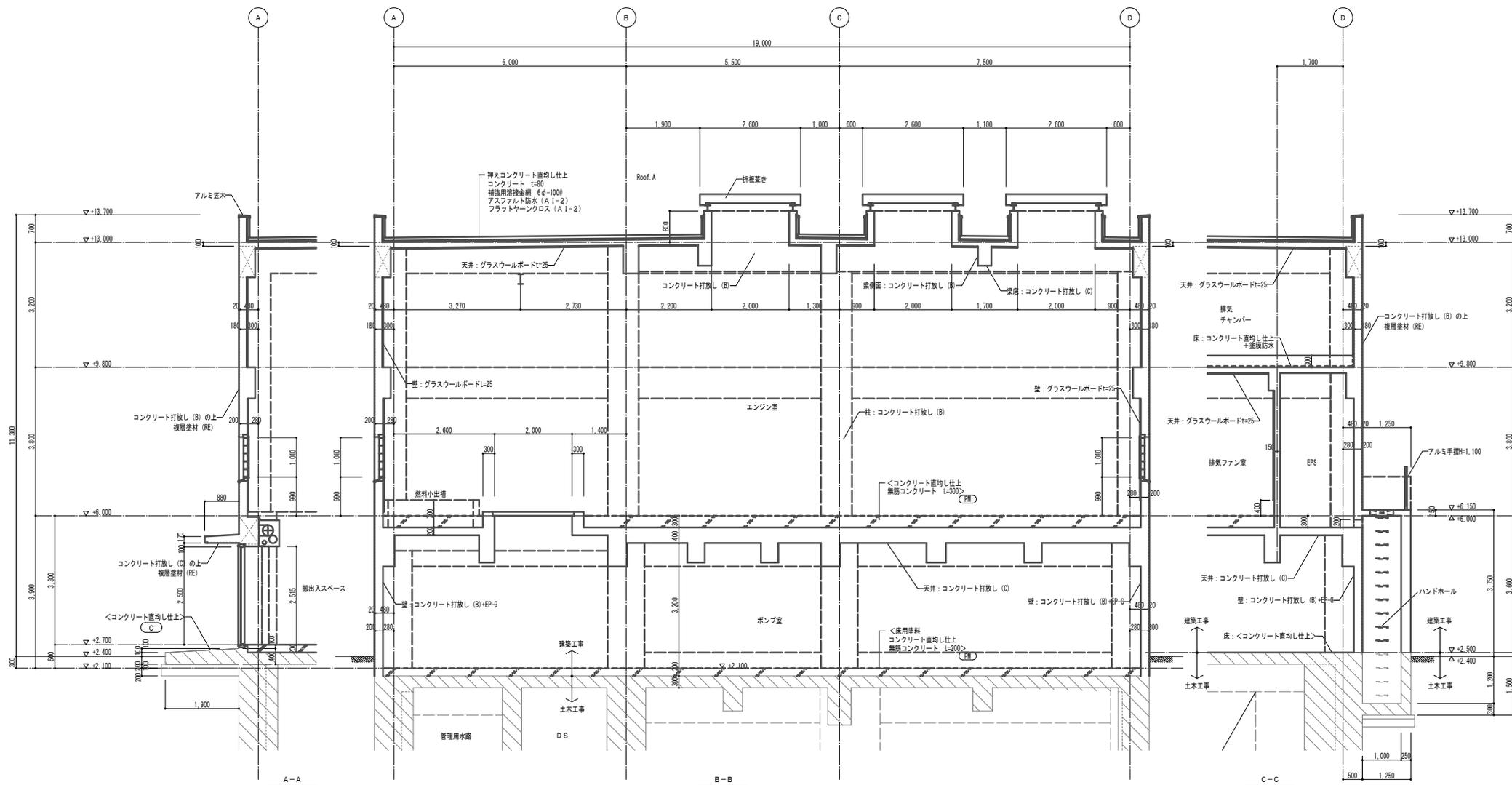


- 注記
- P1は縦横100φを示す。
  - RD1はルーフトレイン（横引型）100Aを示す。
  - ▼ は室名札 平付（250×50既製品）を示す。
  - ▨ は土木工事躯体部分を示す。

2階平面詳細図 S=1/50

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階平面詳細図
縮尺	1:50 図面番号 A-35
事業所名	津市下水道局下水道建設課

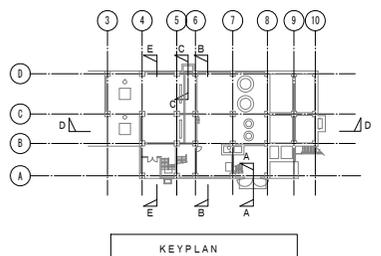
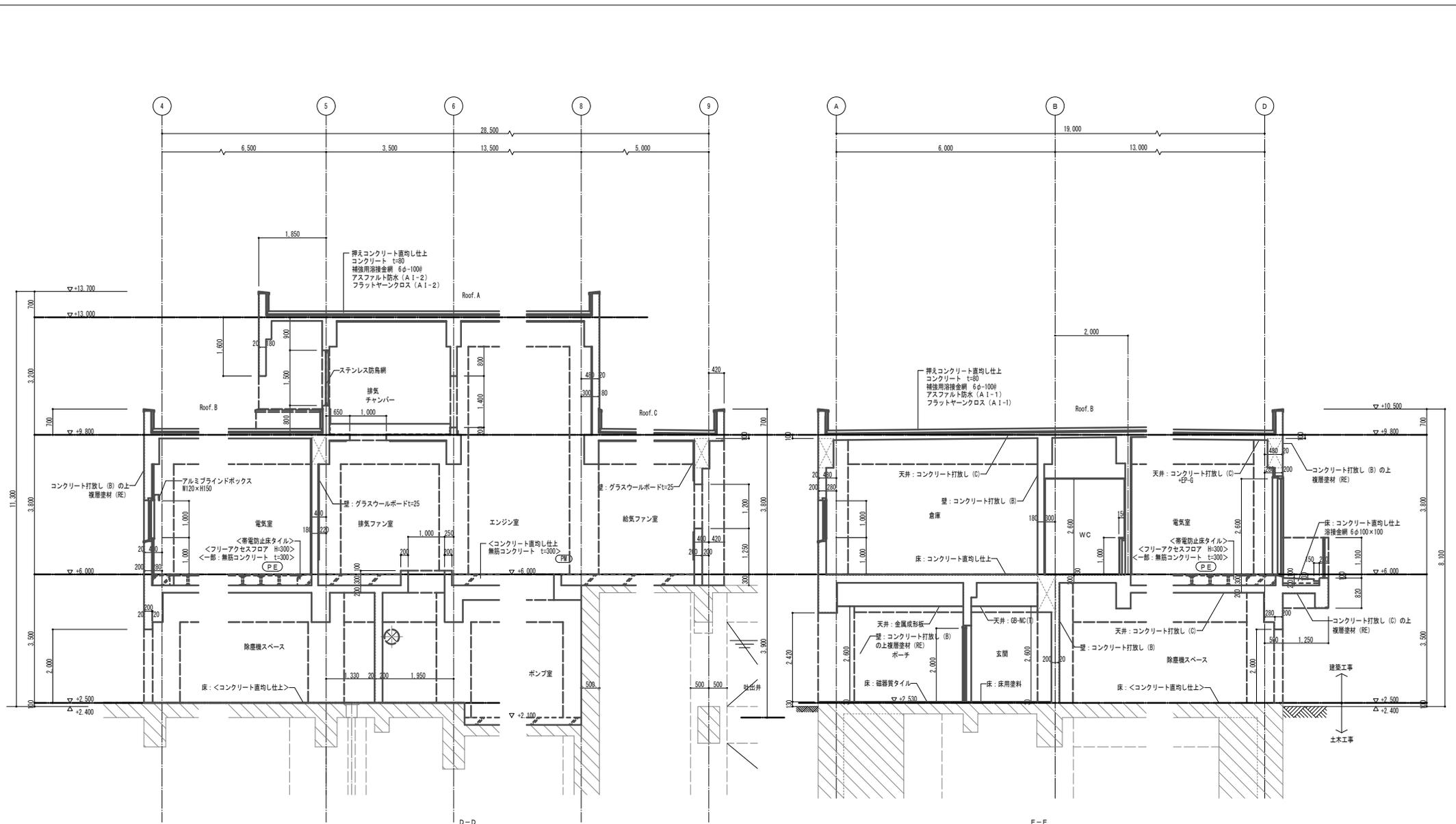


注記)  
 1. は土木工事躯体部分を示す。

断面詳細図(1) S=1/50

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	断面詳細図(1)
縮尺	1:50 図面番号 A-36
事業所名	津市下水道局下水道建設課

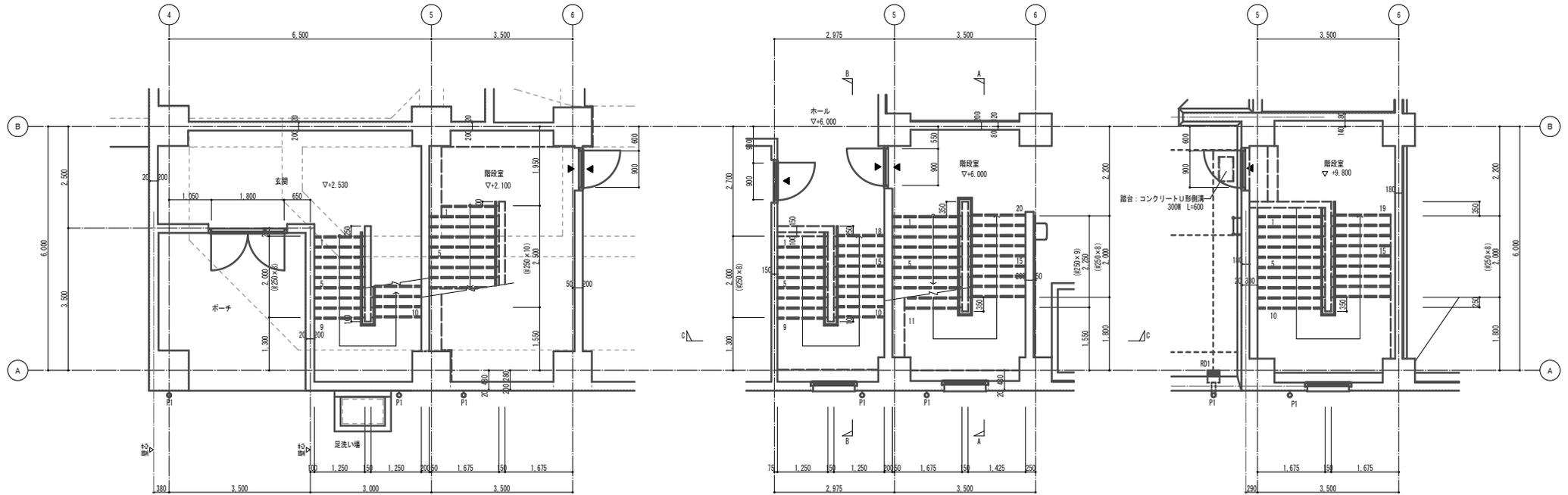


注記)  
 1. 斜線は土工工事躯体部分を示す。

断面詳細図(2) S=1/50

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	断面詳細図(2)
縮尺	1:50 図面番号 A-37
事業所名	津市下水道局下水道建設課



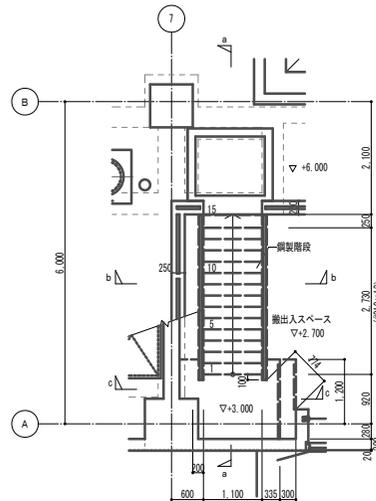
注記)

- P1は縦樋100φを示す。
- R01はルーフドレイン(横引型)100Aを示す。
- ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。

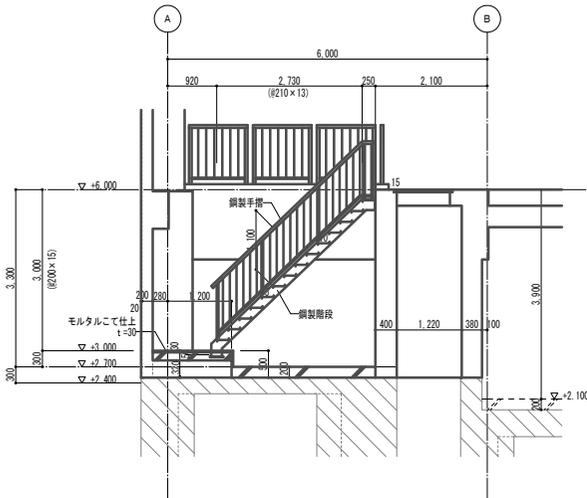
1階平面詳細図 S=1/50

2階平面詳細図 S=1/50

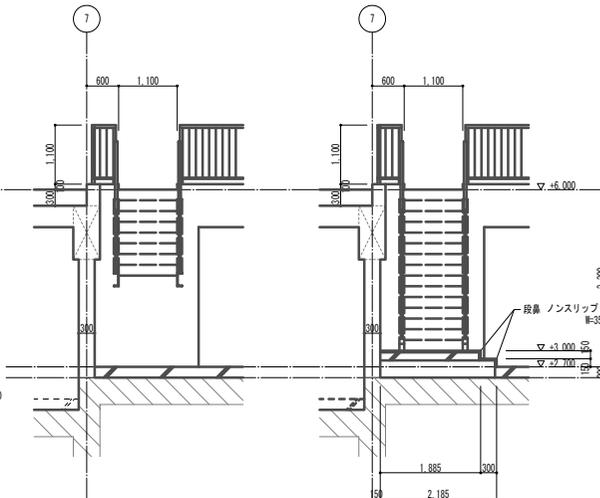
3階平面詳細図 S=1/50



平面詳細図 S=1/50

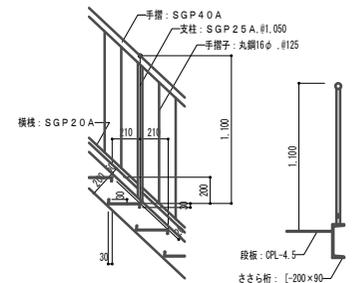


a-a断面図 S=1/50



b-b断面図 S=1/50

c-c断面図 S=1/50



鉄骨階段詳細図 S=1/20

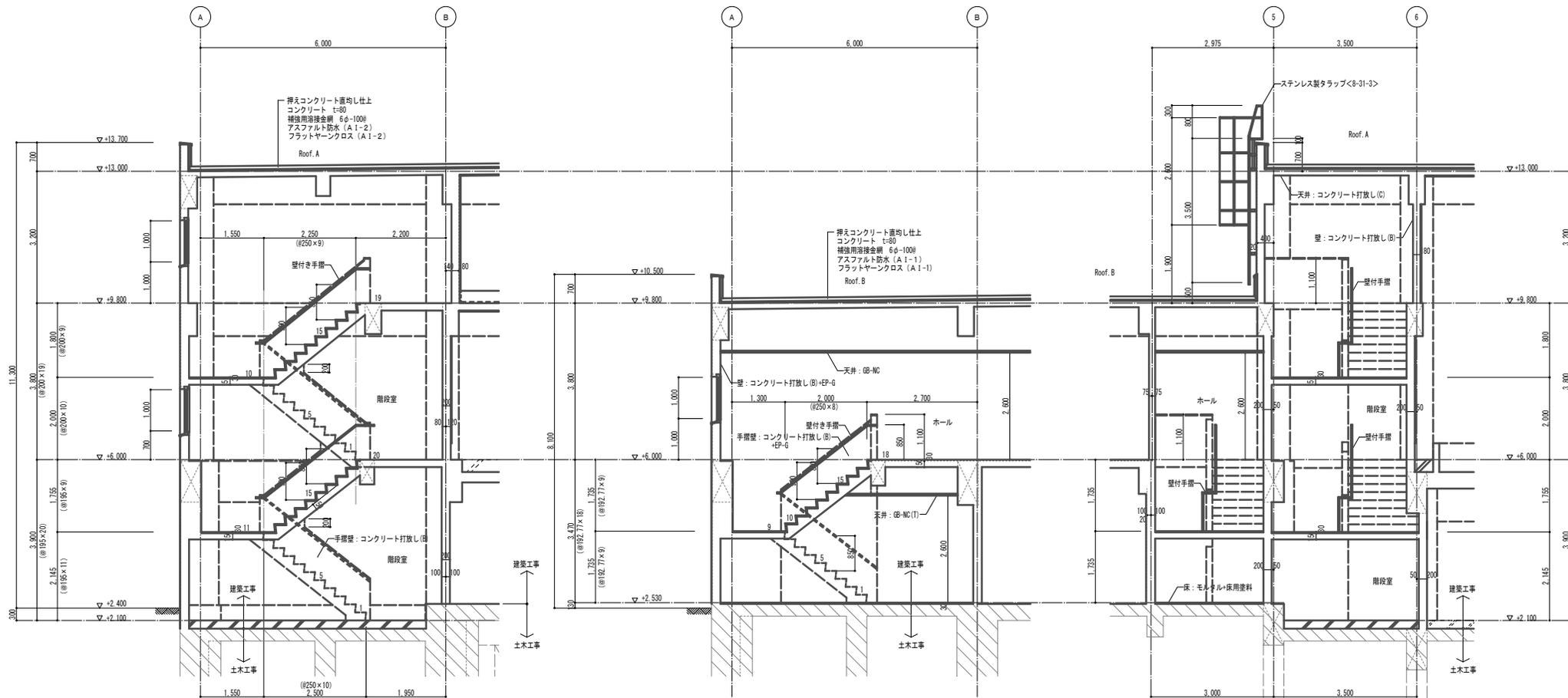
注記) 鉄部: SOP塗りとする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	階段詳細図(1)
縮尺	1:50 図面番号 A-38
事業所名	津市下水道局下水道建設課

注記)

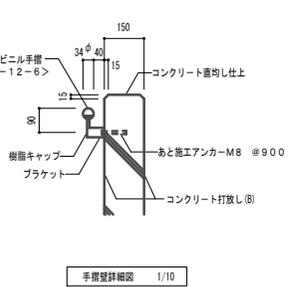
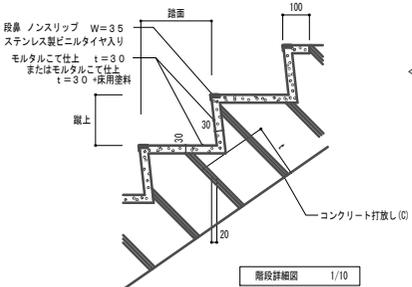
- は土木工事躯体部分を示す。



A-A断面図 S=1/50

B-B断面図 S=1/50

C-C断面図 S=1/50



段鼻 ノンスリップ W=35  
 ステンレス製ビニルタイヤ入り  
 モルタルこて仕上 t=30  
 またはモルタルこて仕上  
 t=30 床用塗料

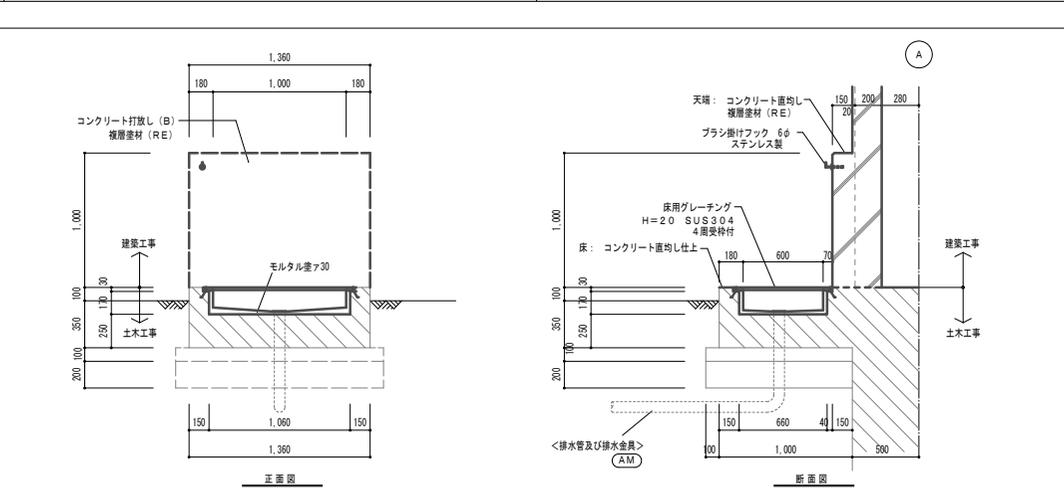
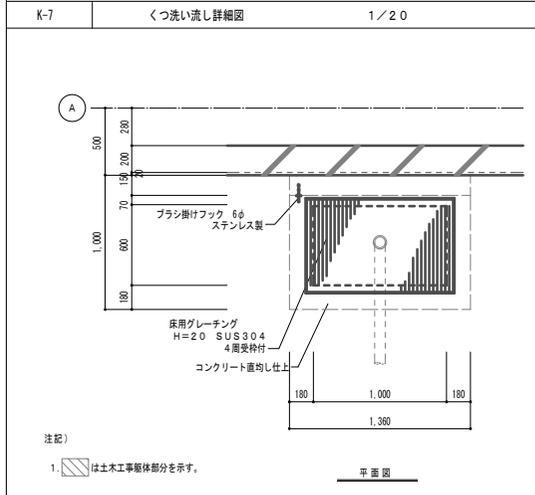
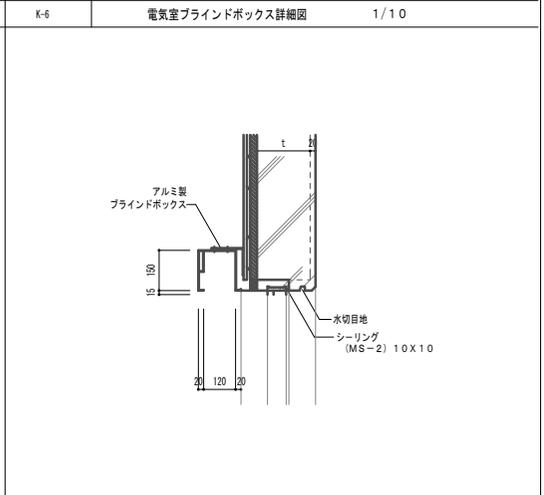
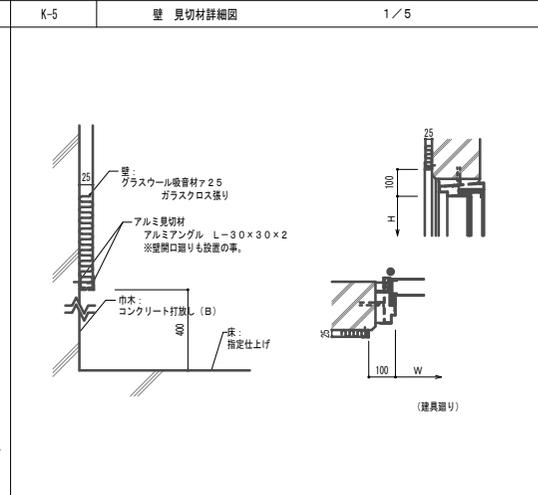
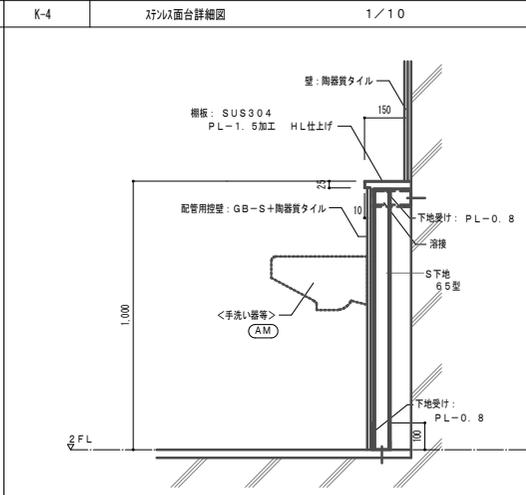
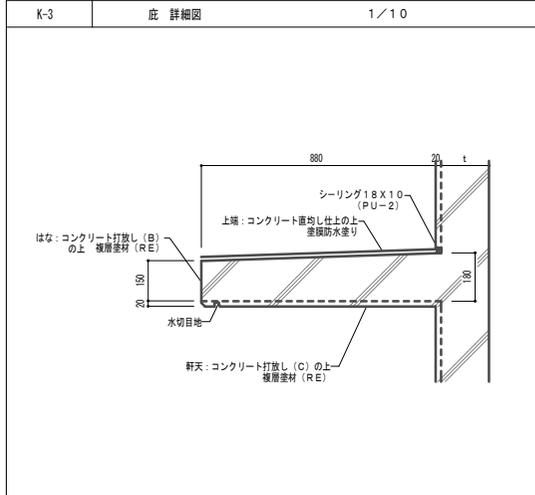
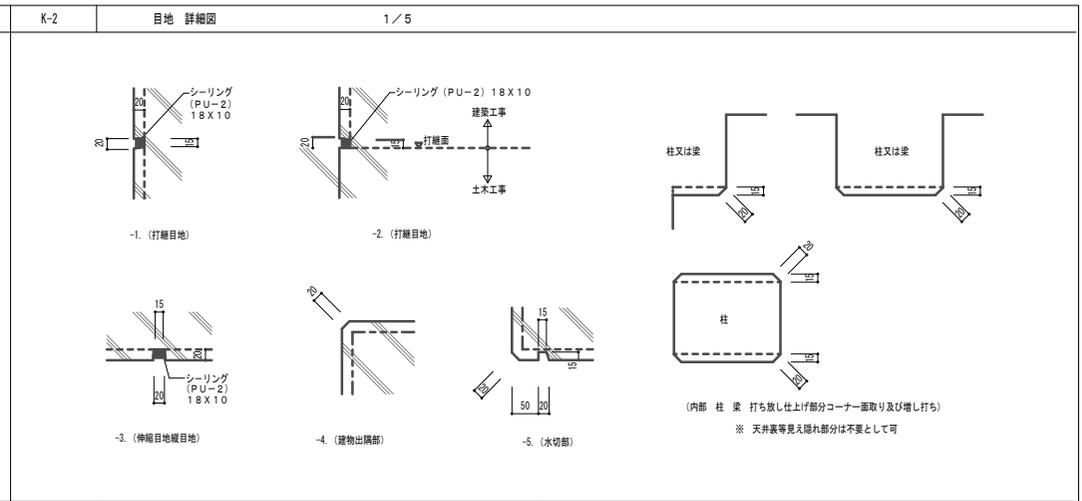
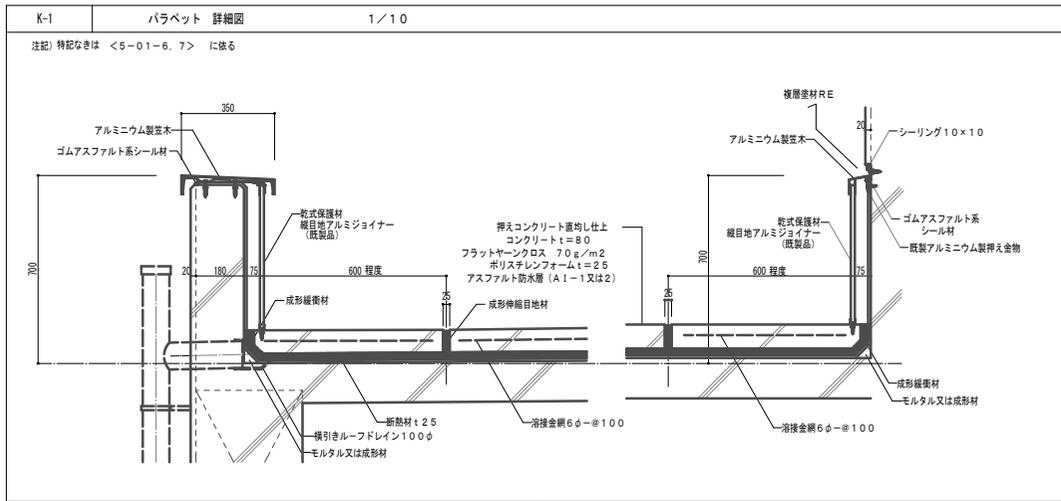
ビニル手摺  
 <7-12-6>  
 樹園キャップ  
 プラケット  
 あと施工アンカーM8 @900  
 コンクリート打放し(B)

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	階段詳細図(2)
縮尺	1:50 図面番号 A-39
事業所名	津市下水道局下水道建設課

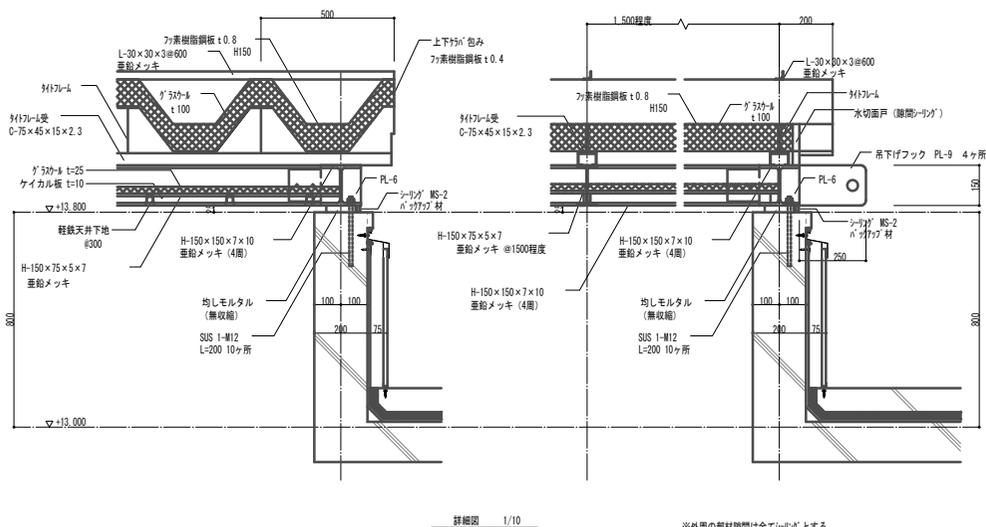
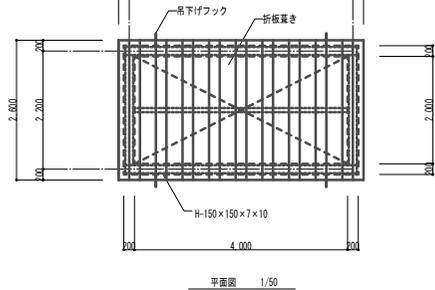
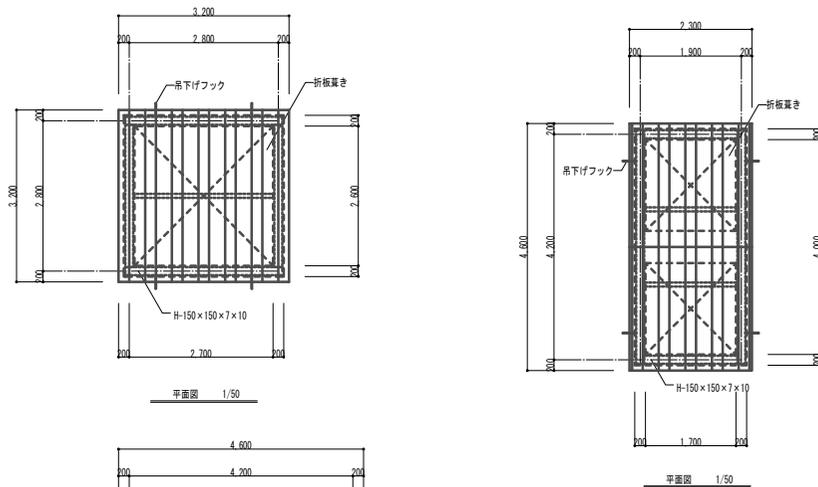
注記  
 1. 土木工事躯体部分を示す。



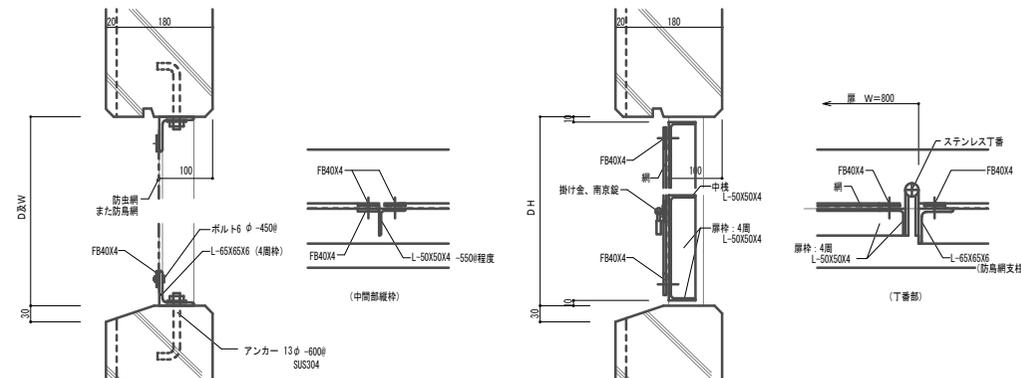


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	部分詳細図(1)
縮尺	図示 図面番号 A-41
事業所名	津市下水道局下水道建設課

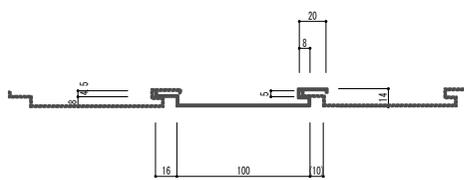


※外周の部材間隙は全てシール材とする  
 ※屋根1時間耐火仕様とする

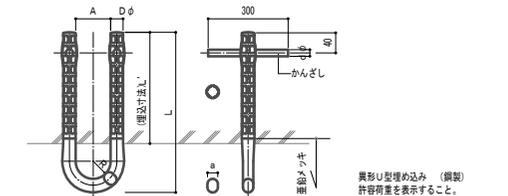


※材質は全てSUS304とする。  
 ※防鳥網は、ガラス繊維入り合成樹脂製16メッシュとする。  
 ※防鳥網は、織金物 ステンレス線径1.5mm、網目15mmとする。

断面 詳細図



※材質 アルミ押出成形品 板厚1.0mm  
 ※形状 スパンドレル形



異形は型埋め込み (鋼製)  
 許容荷重を表示すること。

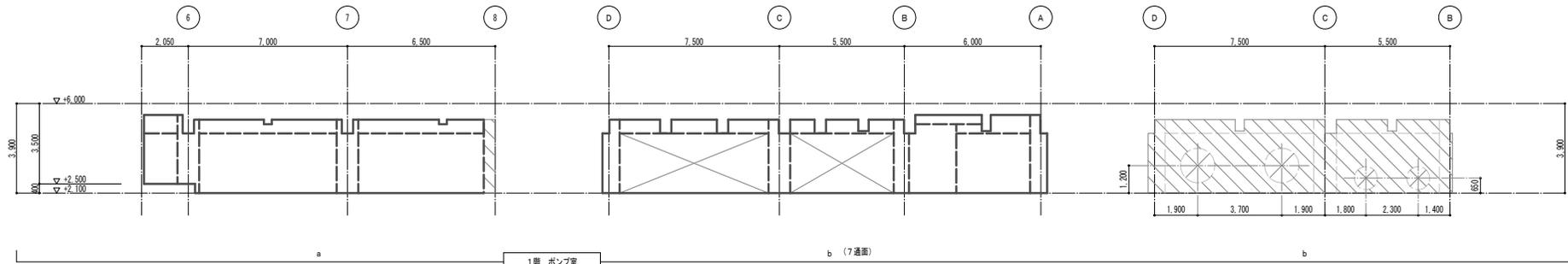
形状寸法表

(単位mm)

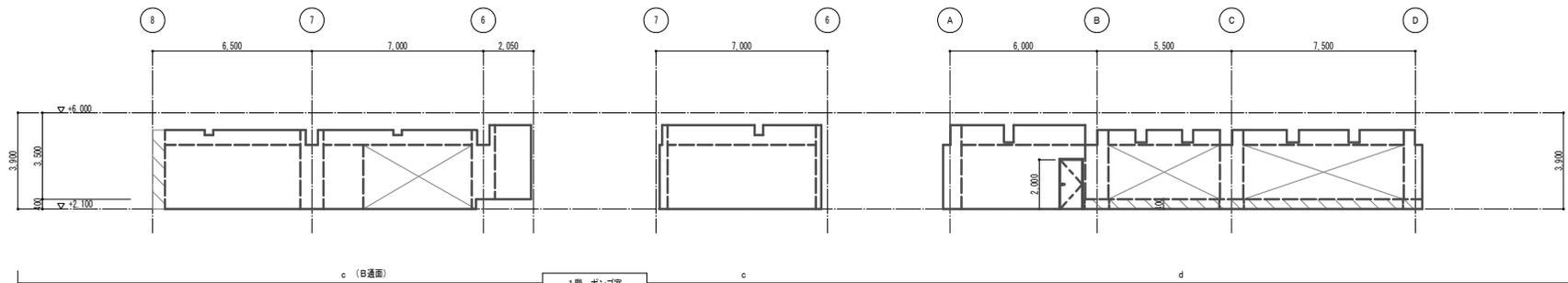
	A	Dφ	R	L	L'	φ	a
10kN	60	22	30	216	150	9	18
20kN	70	25	35	317	220	13	21
30kN	80	32	40	364	250	16	28

※本図面はA1サイズを原寸とする。

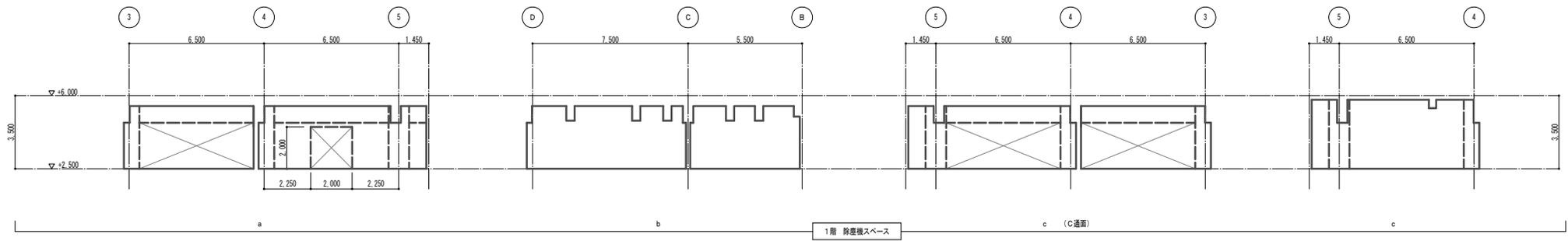
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	部分詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	A-42
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



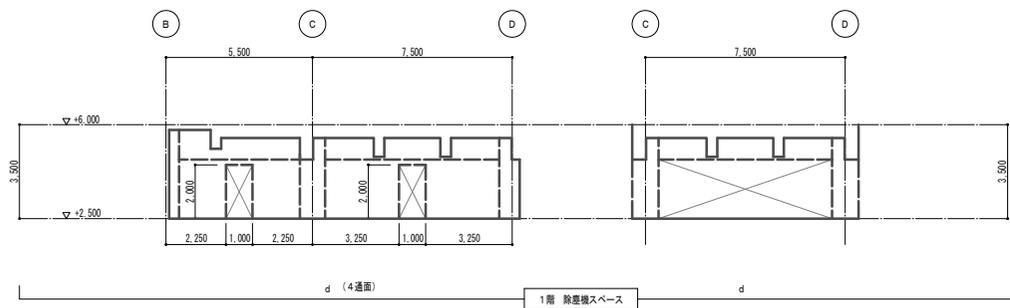
1階 ポンプ室



1階 ポンプ室



1階 除塵機スペース



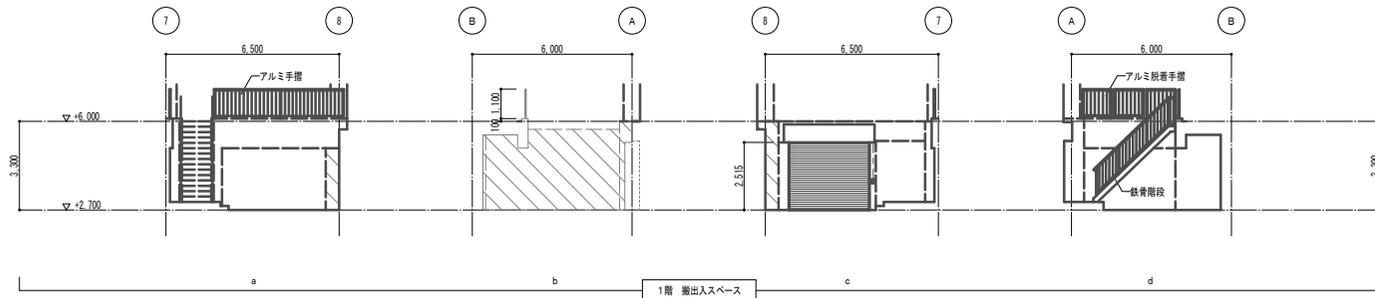
1階 除塵機スペース

注記

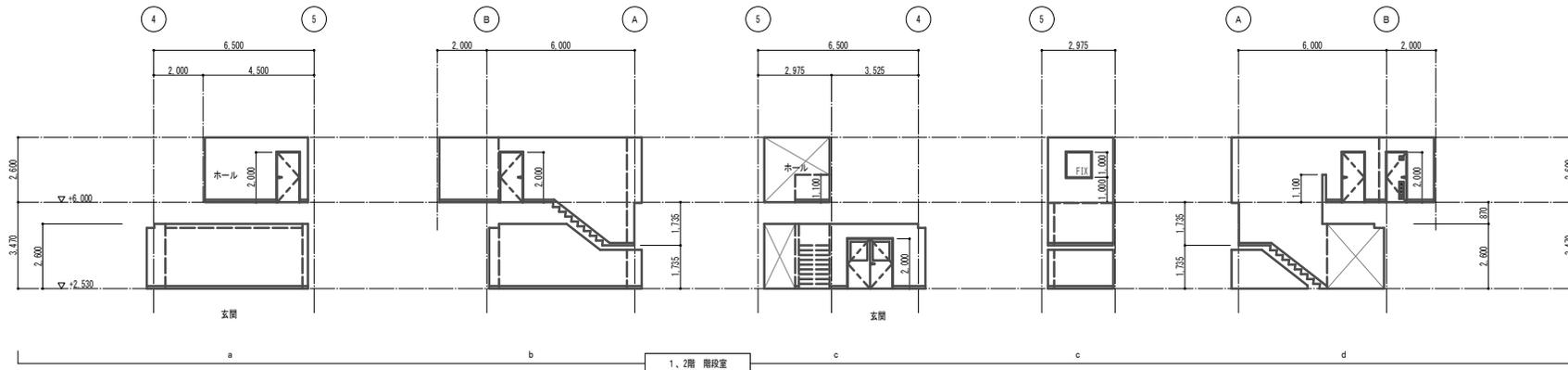
1.  は土木工事躯体部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

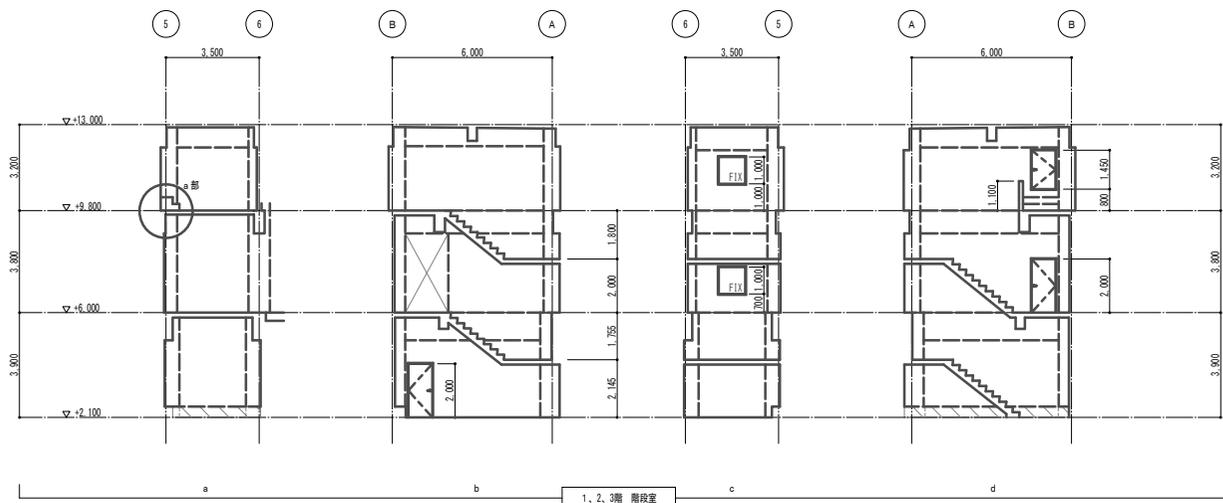
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	展開図(1)		
縮尺	1:50	図面番号	A-43
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



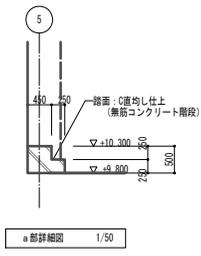
1階 搬出入スペース



1、2階 階段室



1、2、3階 階段室

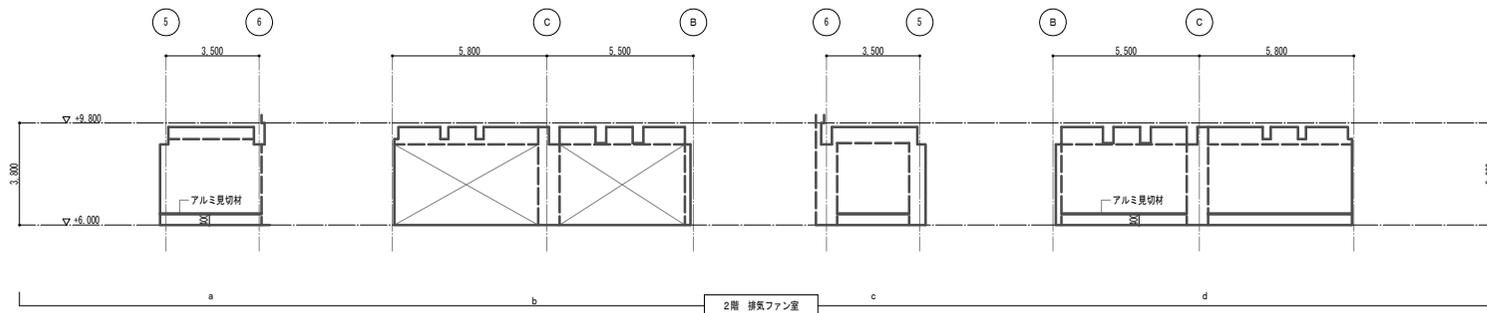
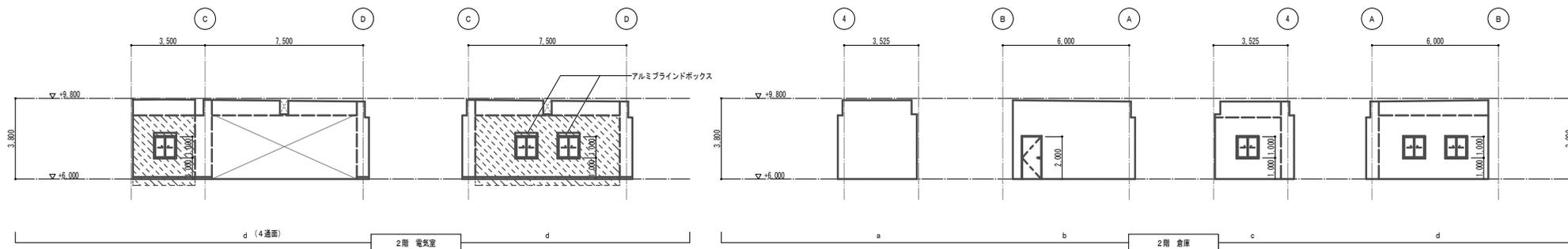
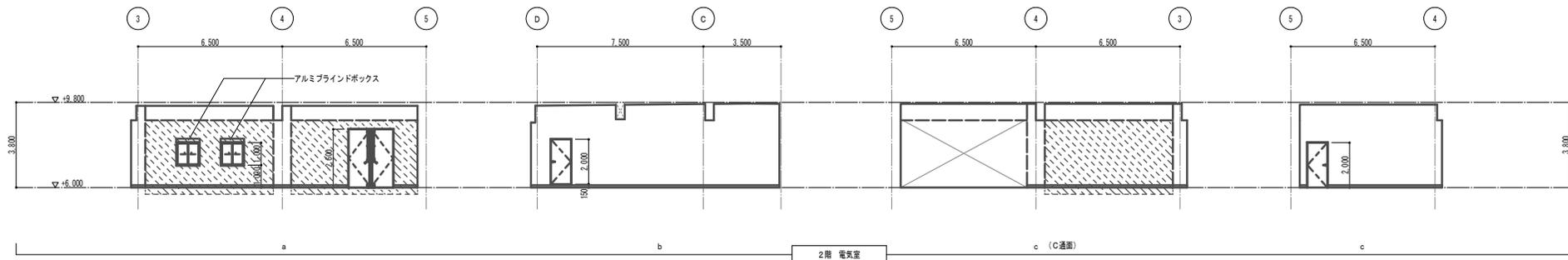


a 部詳細図 1/50

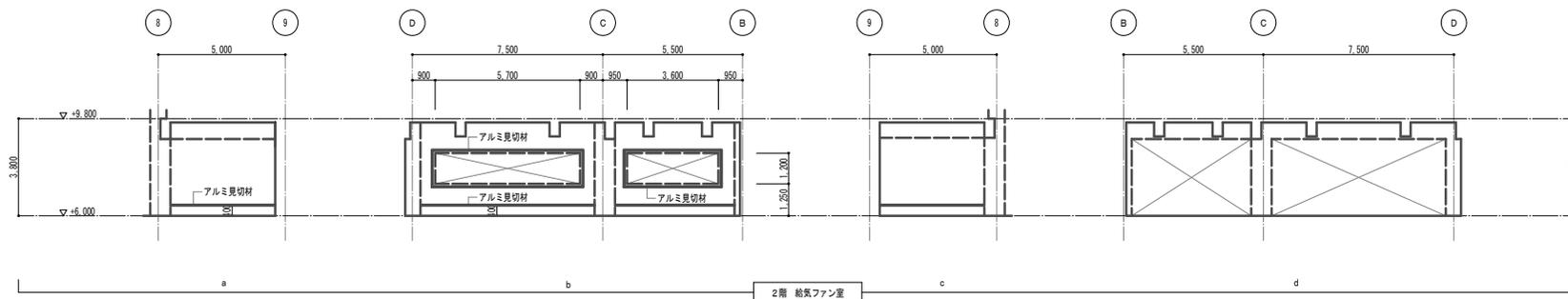
注記)  
1. は土木工事躯体部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	展開図(2)
縮尺	1:50 図面番号 A-44
事業所名	津市下水道局下水道建設課

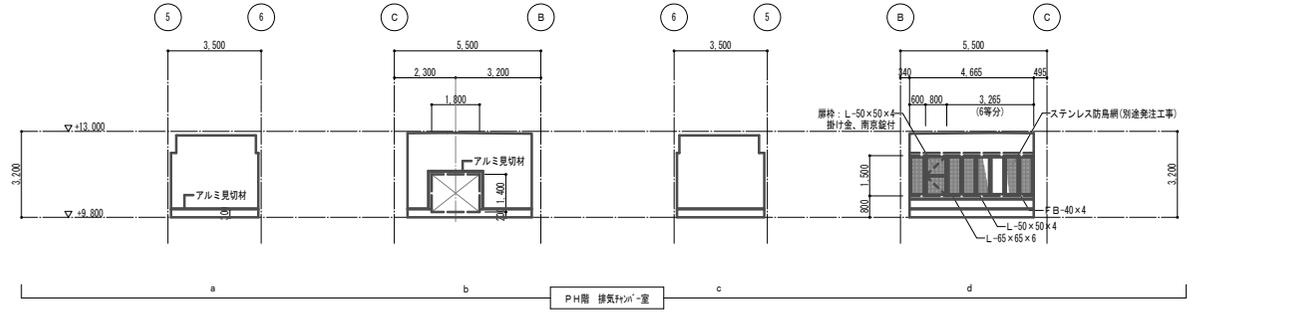
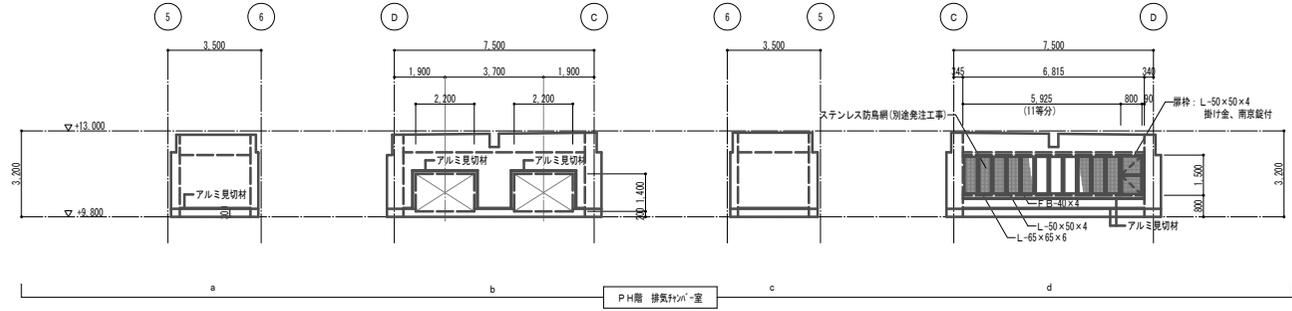
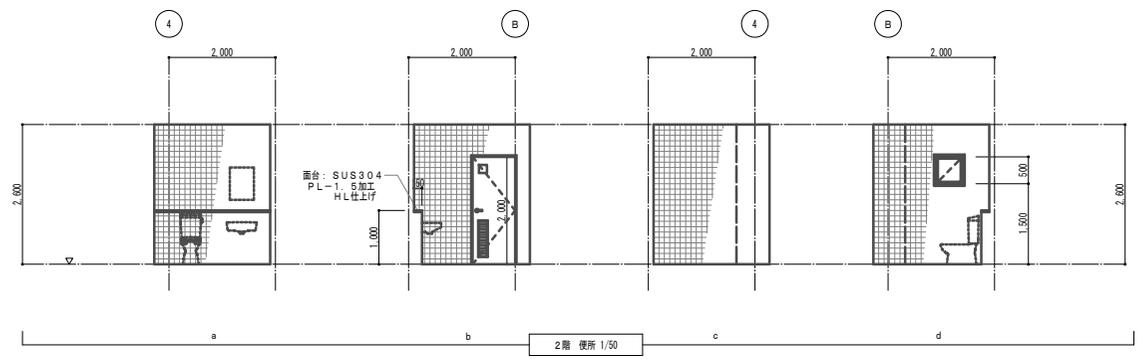
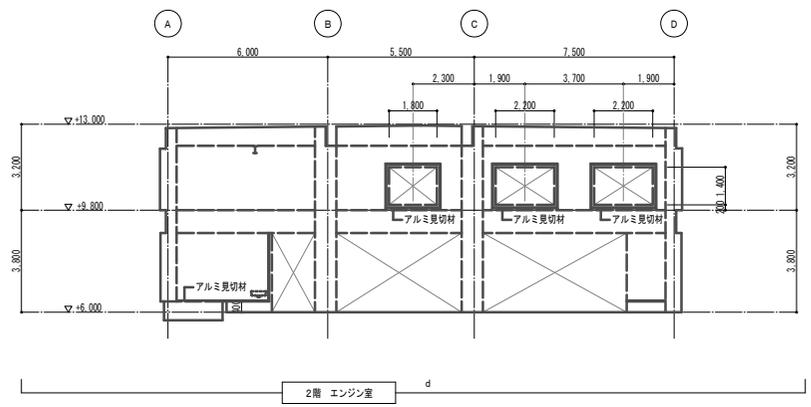
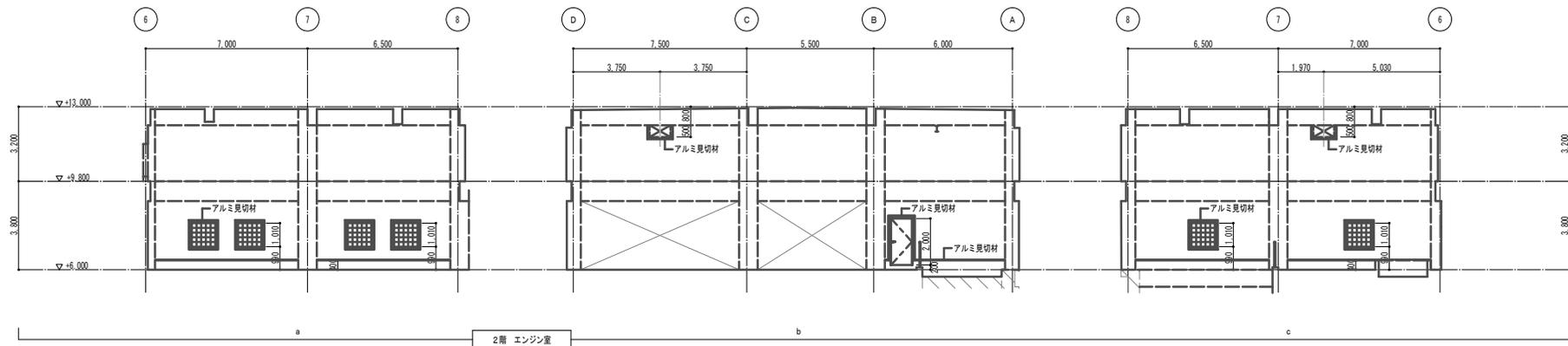


注記)  
1. は電気室外壁面、PF板打込み部分を示す。



※本図面はA1サイズを原寸とする。

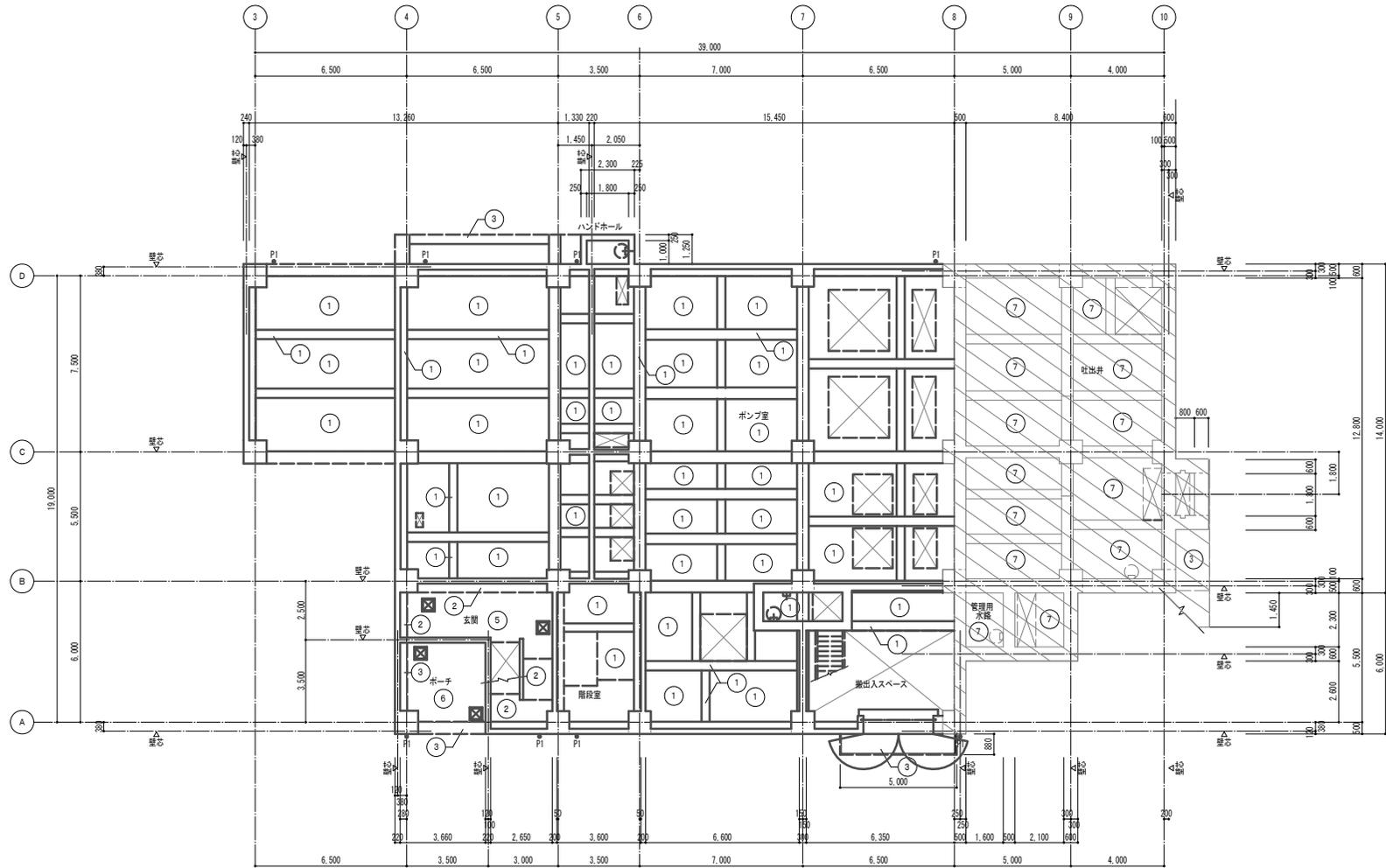
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	展開図(3)
縮尺	1:50 図面番号 A-45
事業所名	津市下水道局下水道建設課



注記)  
1 は土木工事躯体部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	展開図(4)
縮尺	1:50 図面番号 A-46
事業所名	津市下水道局下水道建設課



(仕上凡例)

符号	仕上	符号	仕上
①	コンクリート打放し (C)	⑤	GB-NC(T)
②	コンクリート打放し (C) +EP-G	⑥	金属成形板 (783x714)
③	コンクリート打放し (C) +複層塗材 (RE)	⑦	コンクリート打放し (土床)
④	ガラスウールボード t=25	☒	天井点検口 600 □ アルマイト

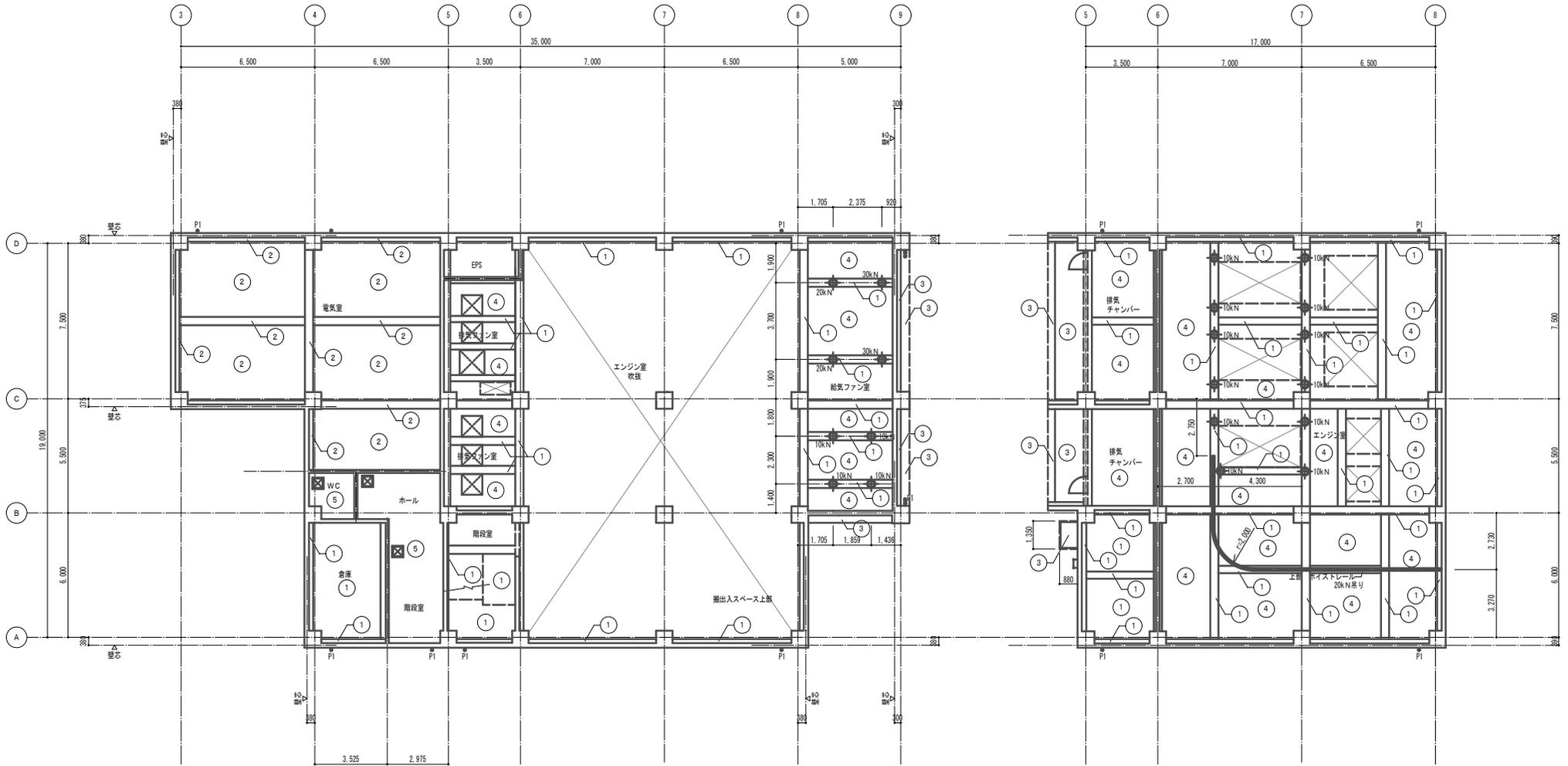
天井開口部下地補強 <3-4-1> <3-4-2-2>

☒ は土木工事躯体部分を示す。

1階天井伏図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階天井伏図
縮尺	1:100 図面番号 A-47
事業所名	津市下水道局下水道建設課



(仕上凡例)

符号	仕上	符号	仕上
①	コンクリート打放し (C)	⑤	GB-NC(T)
②	コンクリート打放し (C) +EP-G	⑥	金属成形板 (783x714)
③	コンクリート打放し (C) +種屋塗材 (RE)	⑦	コンクリート打放し (土木)
④	グラスウールボード t=25	☒	天井点検口 600 □ アルマイト

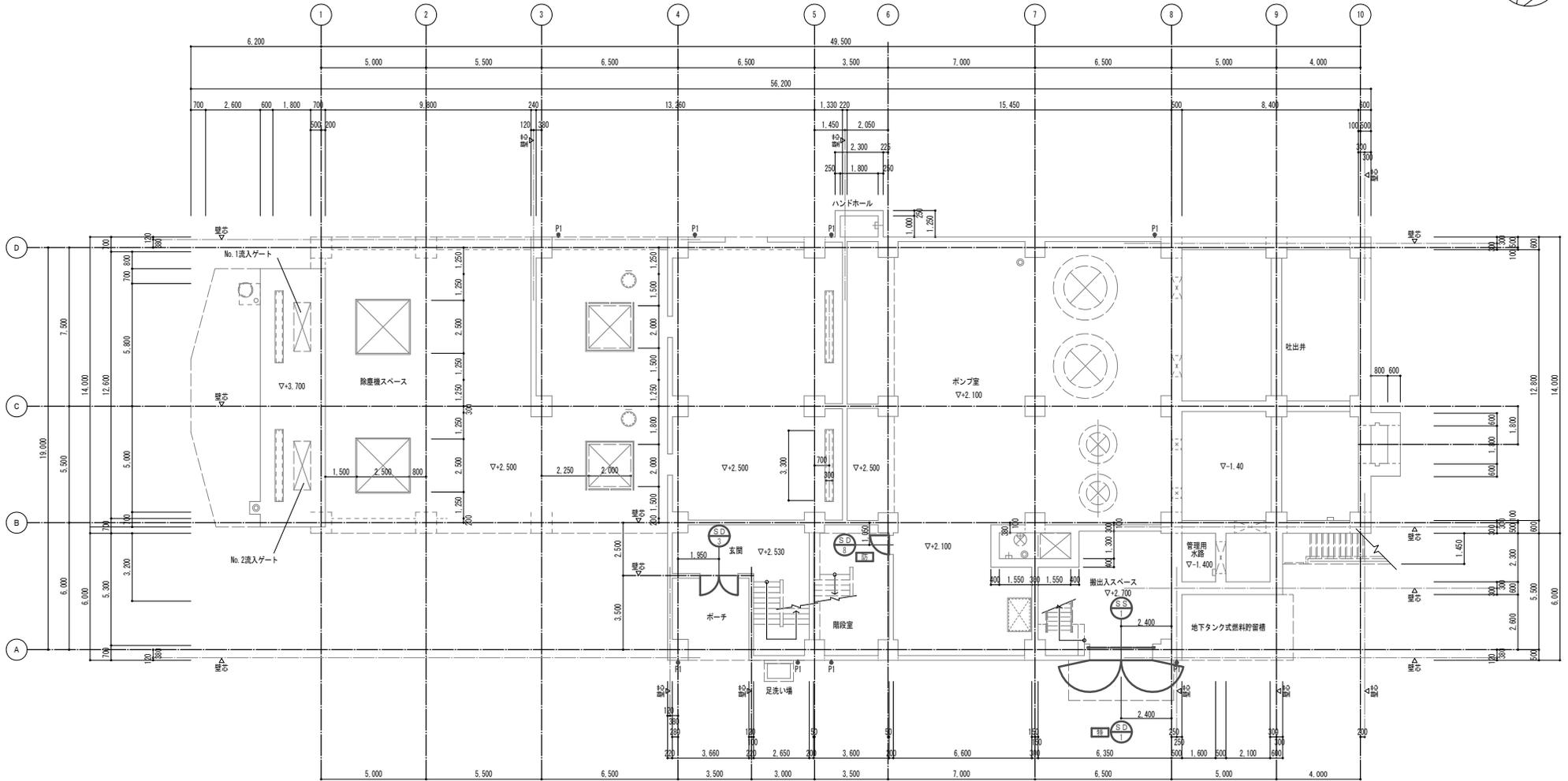
天井開口部下地補強 <3-41> <3-42-2>

2階天井伏図 S=1/100

PH階天井伏図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階 PH階天井伏図
縮尺	1:100 図面番号 A-48
事業所名	津市下水道局下水道建設課

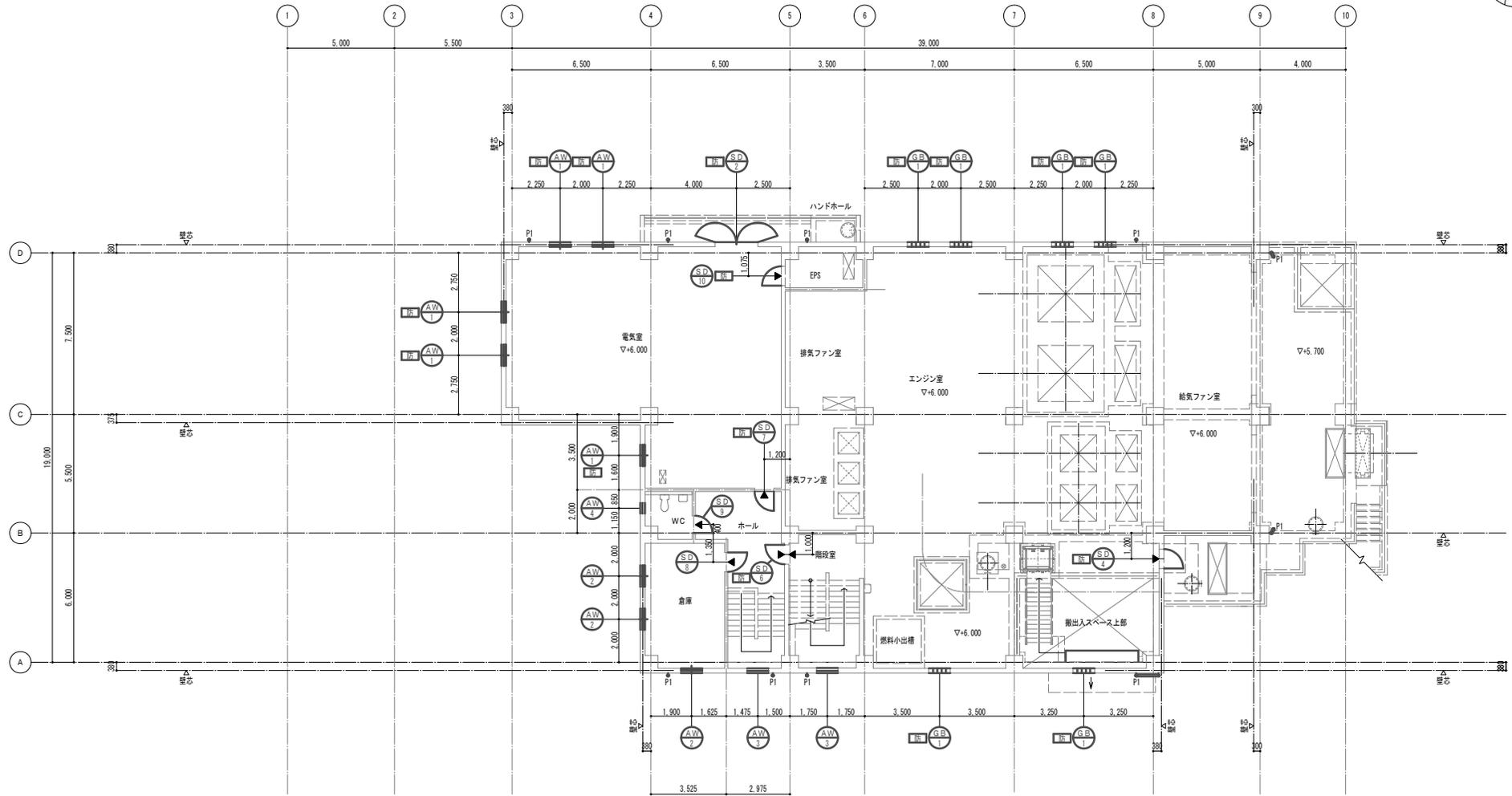


1階建具平面図 S=1/100

注記  
 1. 図中 防火扉 は特定防火設備・防火設備の防火戸を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階建具平面図
縮尺	1:100 図面番号 A-49
事業所名	津市下水道局下水道建設課

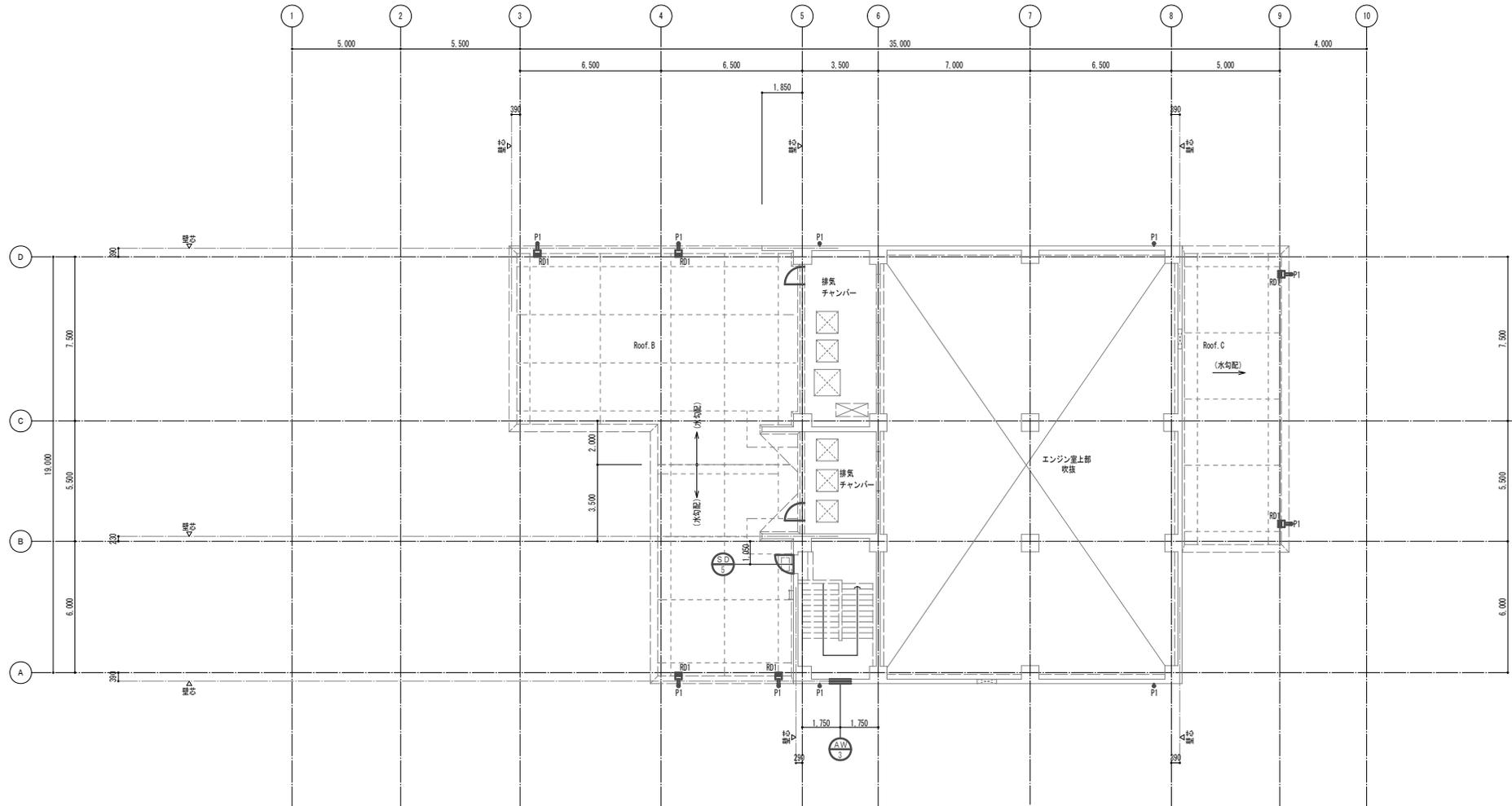


2階建具平面図 S=1/100

注記  
1. 図中 [防] は防火設備の防火戸を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階建具平面図
縮尺	1:100 図面番号 A-50
事業所名	津市下水道局下水道建設課



PH建具平面図 S=1/100

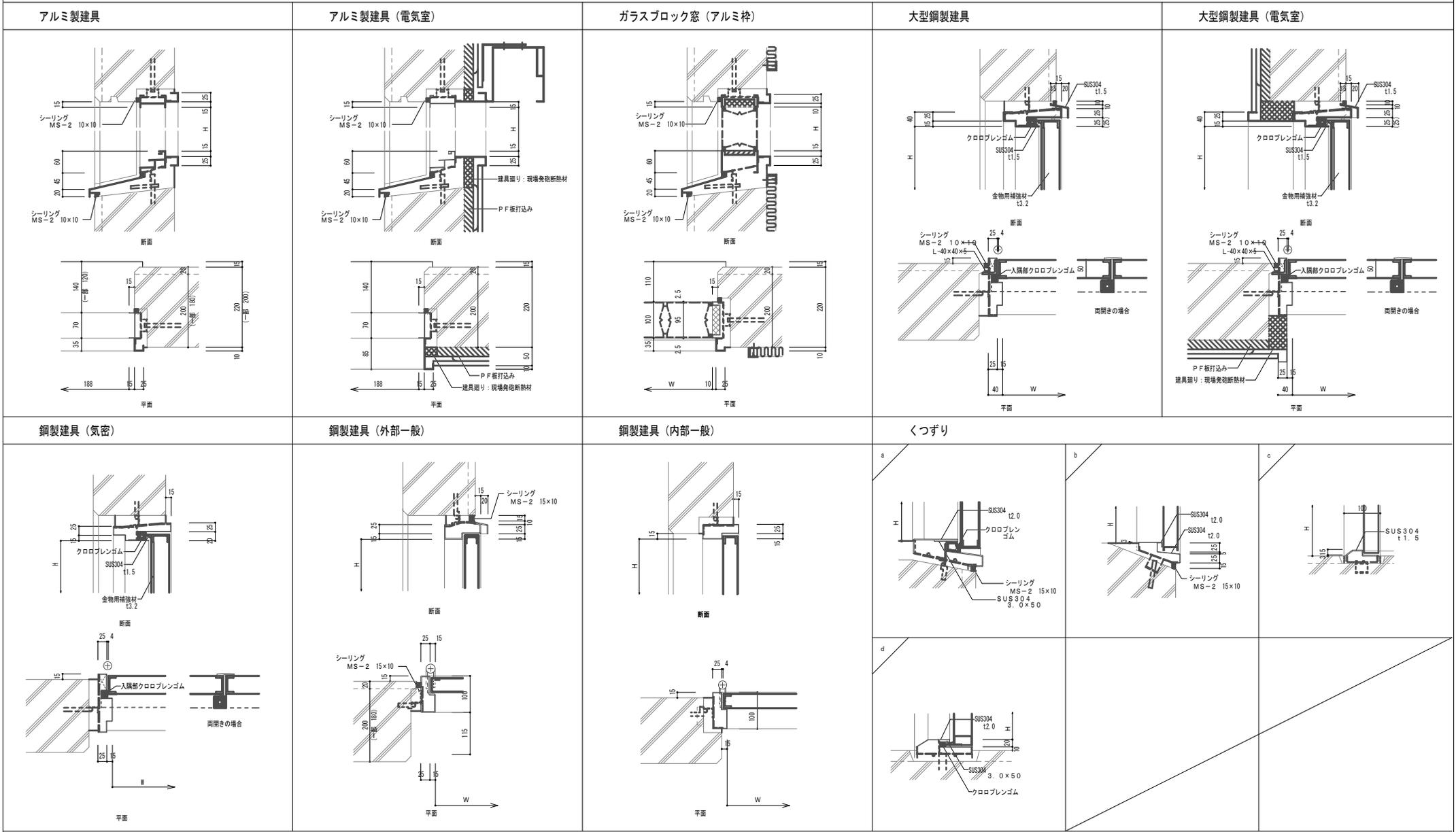
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	PH階建具平面図		
縮尺	1:100	図面番号	A-51
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

建具 リスト

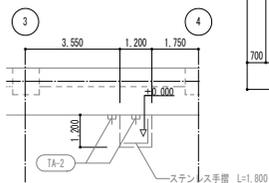
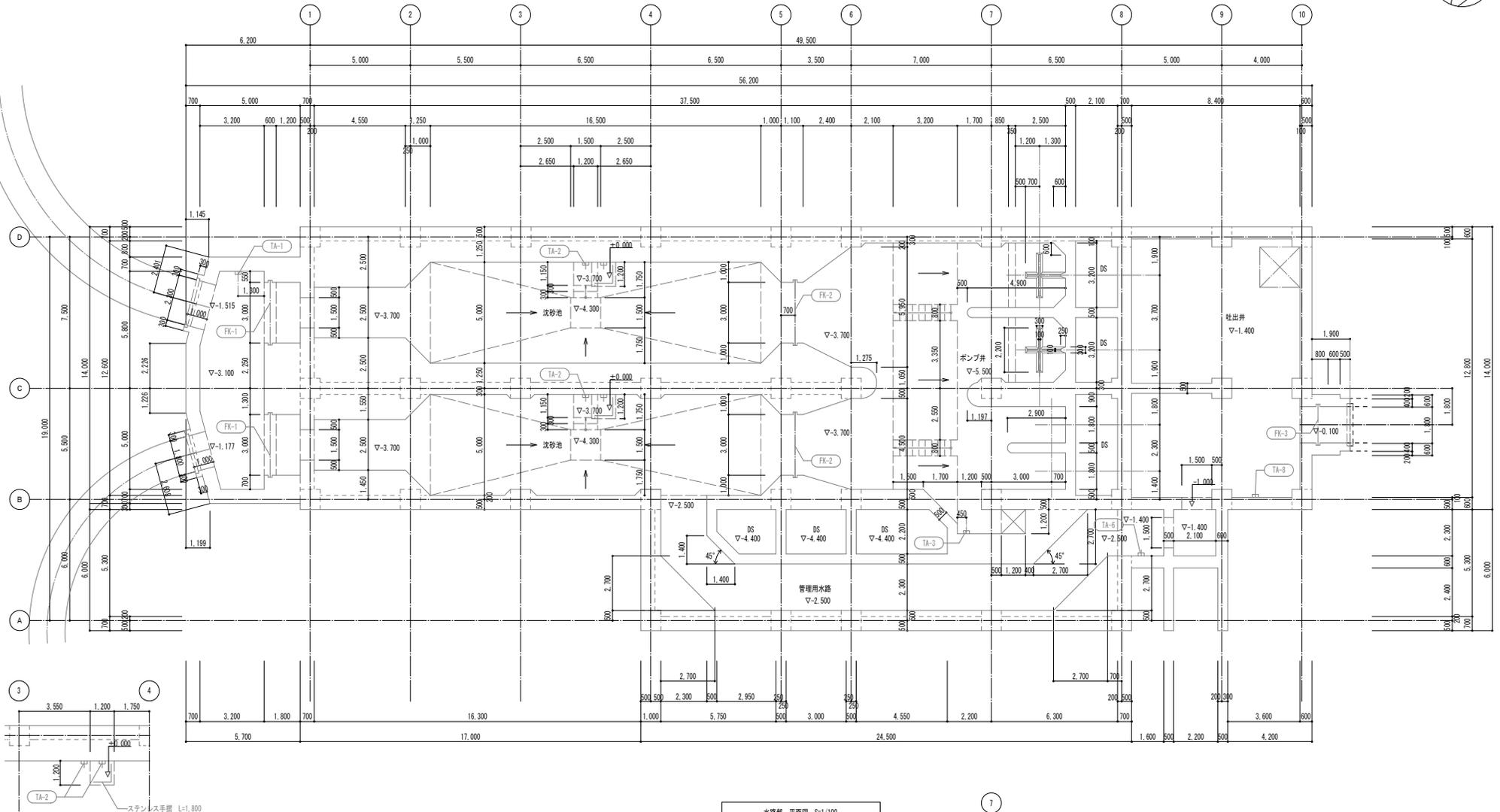
符号・名称・個数	鋼製両開き大型フラッシュ戸 (気密戸) (外) -1-1	鋼製両開き大型フラッシュ戸 (気密戸) (外) -1-1	鋼製両開きフラッシュドア (外) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (気密戸) (外) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (外) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (気密戸) (内) -1-1																																															
場所	1階 搬出入スペース	2階 電気室	1階 玄関	2階 エンジン室	PN階 階段室	2階 階段室																																															
仕上 (特共)	DP	DP	DP	DP	DP	SOP																																															
建具	見込 (ランマ)	60	60	40	50	40																																															
	硝子 (ランマ)	—	—	N-6.8	—	—																																															
	ガラリ	—	—	—	—	—																																															
建具枠	見込 取合	170	170	100	160	100																																															
枠記号	容措 (水切) 記号	詳細図による a	詳細図による a	詳細図による c	詳細図による a	詳細図による b																																															
建具金物	大型丁番 面付け3点面締りハンドル 面付け2点片面締りハンドル 大型戸当り×2 シリンダー本締り錠 (内部サムターン)	大型丁番 面付け3点面締りハンドル 面付け2点片面締りハンドル 大型戸当り×2 シリンダー本締り錠 (内部サムターン)	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.C、フランシス無し 戸当り、レバーハンドル	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.C、戸当り	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.C	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.C																																															
その他	(特定防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式、遮音性能T-2仕様)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)																																															
形状・寸法																																																					
符号・名称・個数	鋼製片開きフラッシュドア (内) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (内) -2-1	鋼製片開きフラッシュドア (内) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (内) -1-1	鋼製片開きフラッシュドア (内) -1-1	上部電動式鋼製防音シャッター (外) -1-1																																															
場所	2階 電気室	1階 階段室 2階 倉庫	2階 便所	2階 EPS	1階 搬出入スペース																																																
仕上 (特共)	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP																																															
建具	見込 (ランマ)	40	40	40	40	ストラット t=1.6																																															
	硝子 (ランマ)	—	—	F-4	—	—																																															
	ガラリ	—	—	Λ型 開口率 30%	—	—																																															
建具枠	見込 取合	100	100	100	100	—																																															
枠記号	容措 (水切) 記号	詳細図による c	詳細図による c	詳細図による c	詳細図による c	詳細図による																																															
建具金物	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.Cストッパー無し 戸当り、レバーハンドル	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.C 戸当り、レバーハンドル	丁番、表示錠、D.C、戸当り、レバーハンドル	丁番、シリンダー指錠 (内部サムターン)、D.Cストッパー無し 戸当り、レバーハンドル	付属金物一式	ガイドレール、扉板、まがきSUS304とし、クロロレンゴム付する。(遮音性能T-1仕様)																																															
その他	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)	(防火設備：常時閉鎖式)																																																
形状・寸法																																																					
符号・名称・個数	アルミ引違い窓 (外) -5-1	アルミ引違い窓 (外) -3-1	アルミF1X窓 (外) -3-1	アルミすべり出し窓 (外) -1-1	ガラスブロック窓 (アルミ枠) (外) -6-1																																																
場所	2階 電気室	2階 倉庫	2階 PN階 階段室	2階 便所	2階 エンジン室																																																
仕上 (特共)	アルミ B-1種	アルミ B-1種	アルミ B-1種	アルミ B-1種	アルミ B-1種																																																
建具	見込 (ランマ)	—	—	—	—																																																
	硝子 (ランマ)	N-6.8	N-6.8	N-6.8	ガラスブロック190×190×95																																																
	ガラリ	—	—	—	—																																																
建具枠	見込 取合	70	70	70	100																																																
枠記号	容措 (水切) 記号	詳細図による	詳細図による	詳細図による	詳細図による																																																
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	—	付属金物一式	付属金物一式																																																
その他	アルミ網縁 (3方)アルミ水切 アルミブラインドボックス付 (防火設備)	アルミ網縁 (4方) アルミ水切	アルミ網縁 (4方)アルミ水切 (防火設備)	アルミ網縁 (4方) アルミ水切	アルミ網縁 (4方) アルミ水切 (防火設備)																																																
形状・寸法																																																					
共通事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>特記なき限り外部はシリンダ指錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。</li> <li>バイパススペース、ダクトスペースの点検扉はシリンダ本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。(内部はサムターン付)</li> <li>便所等の施設を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。</li> <li>AH、FHを除きD.Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、および止め (防火戸を除く) をつける。壁仕上げボード取等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)</li> <li>特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。</li> <li>アルミニウム製窓の締り金物、掛樋口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。</li> <li>大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。</li> <li>特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(特選り詳細による。)</li> <li>特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。</li> <li>防火戸の位置は建具配置図による。</li> <li>特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行わないものとする。</li> <li>階段室の施設を必要としない箇所は空錠とする。</li> <li>特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。</li> <li>特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。</li> </ol>																																																				
建具略号	<table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>戸</td> <td>窓</td> <td>ガラリ</td> <td>紙障子</td> <td>ふすま</td> <td>シャッター</td> <td>網戸</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>A D</td> <td>A W</td> <td>A G</td> <td>A O D</td> <td></td> <td>A S</td> <td>a W</td> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>S D</td> <td>S W</td> <td>S G</td> <td>S O D</td> <td></td> <td>S S</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製軽量</td> <td>L D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L S</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>S S D</td> <td>S S W</td> <td>S S G</td> <td></td> <td></td> <td>S S S</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>W D</td> <td>W W</td> <td>W G</td> <td></td> <td>P</td> <td>H</td> <td></td> </tr> </table>					種類	戸	窓	ガラリ	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D		A S	a W	鋼製	S D	S W	S G	S O D		S S		鋼製軽量	L D					L S		ステンレス製	S S D	S S W	S S G			S S S		木製	W D	W W	W G		P	H	
種類	戸	窓	ガラリ	紙障子	ふすま	シャッター	網戸																																														
アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D		A S	a W																																														
鋼製	S D	S W	S G	S O D		S S																																															
鋼製軽量	L D					L S																																															
ステンレス製	S S D	S S W	S S G			S S S																																															
木製	W D	W W	W G		P	H																																															
ガラス略号	<table border="1"> <tr> <td>F</td> <td>型板ガラス</td> <td>金物</td> <td>D</td> <td>C</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>フロント板ガラス</td> <td>物</td> <td>A</td> <td>H</td> <td>オートヒンジ</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>網入型板ガラス</td> <td>略</td> <td>F</td> <td>H</td> <td>フロアヒンジ</td> </tr> <tr> <td>NP</td> <td>網入みがき板ガラス</td> <td>号</td> <td>P</td> <td>H</td> <td>ピボットヒンジ</td> </tr> </table>					F	型板ガラス	金物	D	C	ドアクローザー	P	フロント板ガラス	物	A	H	オートヒンジ	N	網入型板ガラス	略	F	H	フロアヒンジ	NP	網入みがき板ガラス	号	P	H	ピボットヒンジ																								
F	型板ガラス	金物	D	C	ドアクローザー																																																
P	フロント板ガラス	物	A	H	オートヒンジ																																																
N	網入型板ガラス	略	F	H	フロアヒンジ																																																
NP	網入みがき板ガラス	号	P	H	ピボットヒンジ																																																
事項	<p>※本図面はA1サイズを原寸とする。</p>																																																				
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事																																																				
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内																																																				
図面の種類	建具標準図																																																				
縮尺	- 図面番号 A-52																																																				
事業所名	津市下水道局下水道建設課																																																				

建具 標準図



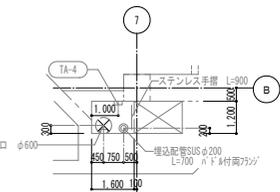
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	建具廻り詳細図
縮尺	1:5 図面番号 A-53
事業所名	津市下水道局下水道建設課



±0.000平面図 S=1/100

水路部 平面図 S=1/100

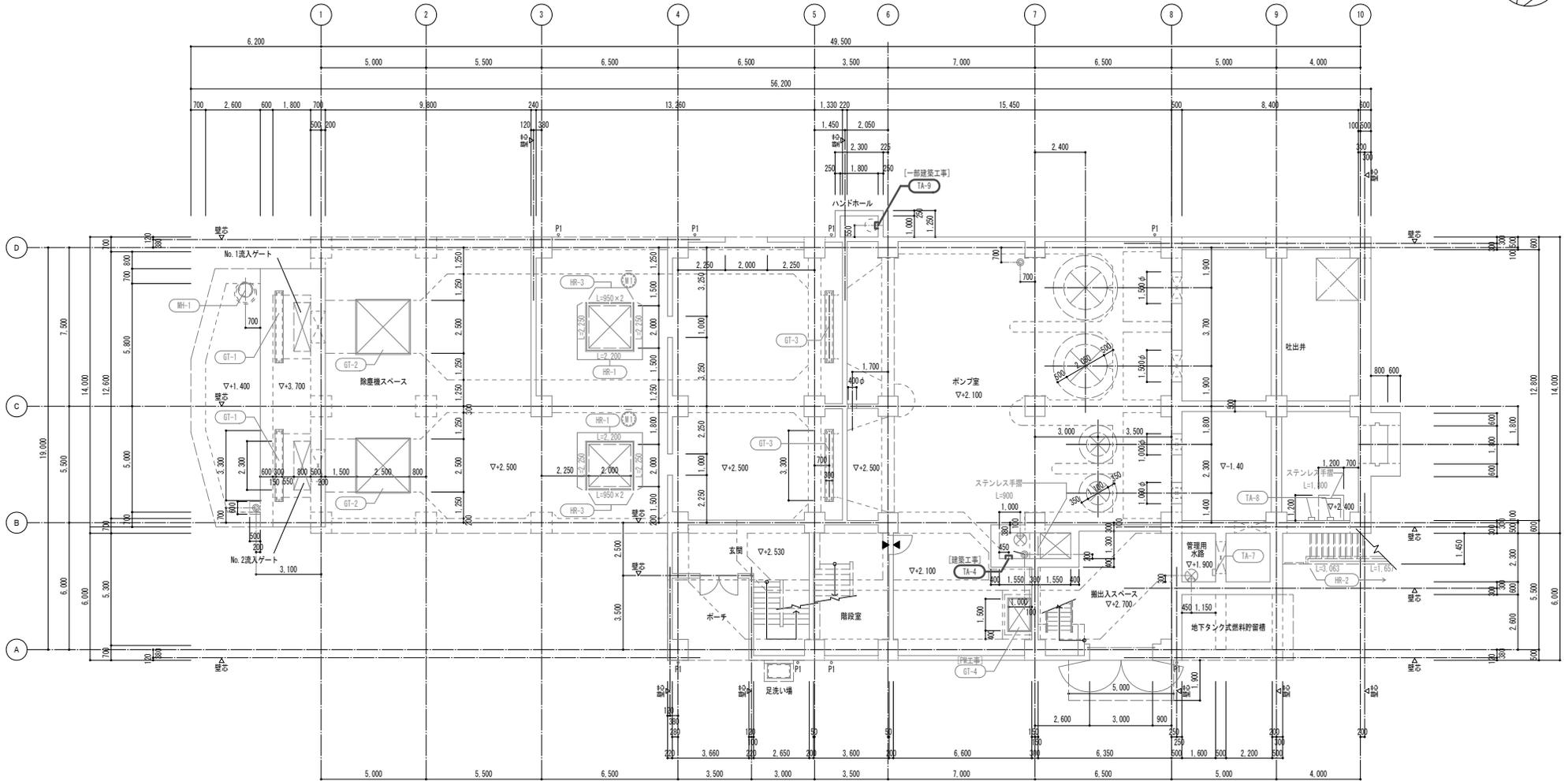


-1.900平面図 S=1/100

符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GT-	床用グレーチング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般部) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆装	MR-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段部) H=900	(M1)	鋼鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T=2)	(M2)	鋼鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール兼用
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100				

※土木工事施工済【参考図】  
 ※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水槽部付帯設備配置図【参考図】
縮尺	1:100 図面番号 A-54
事業所名	津市下水道局下水道建設課

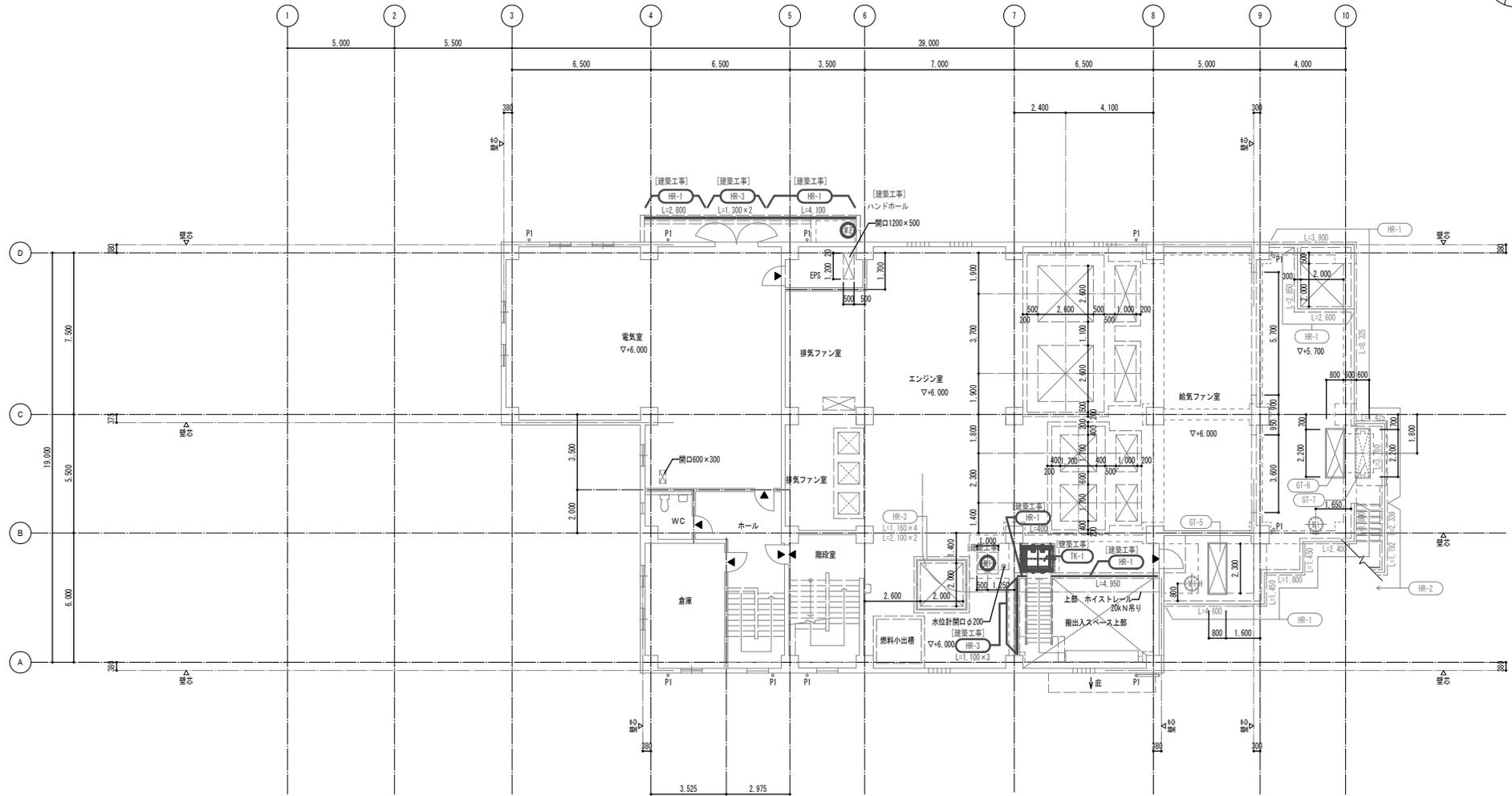


1階 平面図 S=1/100

符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GT-	床用グレーティング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般部) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆装	HR-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段部) H=900	(H1)	鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T=2)		
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100	(H2)	鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール蓋用		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階付帯設備配置図
縮尺	1:100 図面番号 A-55
事業所名	津市下水道局下水道建設課



2階 平面図 S=1/100

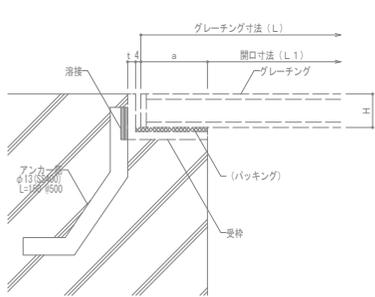
符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GI-	床用グレーチング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般用) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製	HR-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段用) H=900	■(M)	鋼鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T=2)		
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100	■(M2)	鋼鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール専用		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	2階付帯設備配置図		
縮尺	1:100	図面番号	A-56
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

GT-

床用グレーティング蓋及び受枠標準図 ※土木工事施工【参考図】及びPM工事



グレーティング形式選定表 (参考)  
 注) パーピッチ、H、B、L、は床用 (歩行用) の参考値である。  
 A. 鋼製: 設計荷重3.5kN/m<sup>2</sup>

L (mm)	パーピッチ (mm)	H (mm)	B (mm)	t (mm)
~ 500	30	19	50	4.5
501~1,200	30	25	50	6.0
1,201~1,500	30	32	50	6.0
1,501~1,700	30	38	50	6.0
1,701~1,900	30	44	50	6.0
1,901~2,100	30	50	50	6.0

仕様・注記

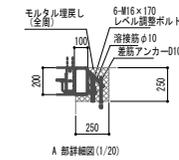
- 1) グレーティング、枠は製造メーカーの仕様による。
- 2) グレーティング、枠は同材質のものを使用する。
- 3) 鋼製グレーティング及び受枠は、JIS H 8541の2種S5の溶融亜鉛メッキとする。
- 4) パッキンが必要な場合は受枠側に接着する。
- 5) 蓋には荷重表示を行う。
- 6) 受枠はアンカー筋で躯体の鉄筋に溶接し固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。
- 7) 設計荷重は、歩行用3.5kN/m<sup>2</sup>とする。
- 8) 許容たわみ量は、歩行用L/300以下 (Lはスパン長) とする。
- 9) 多雪地域は、ラバー付を標準とする。
- 10) 本図は歩行用に適用し、車両用は、別途T荷重仕様とする。
- 11) スペリ止めの有無を明記すること。

採用グレーティング蓋リスト

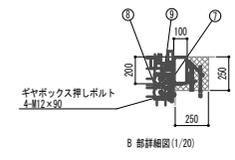
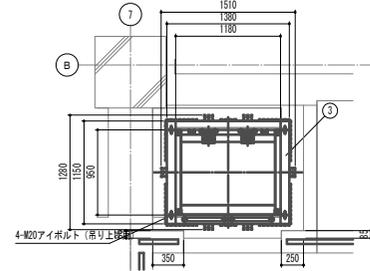
符号	開口寸法		蓋寸法		H	受枠 (t)	割付枚数 (参考)	箇所数	滑り止め	備考
	L1	B1	L	B						
GT-1	300	3,300	400	3,400	19	4.5	3	2	有り	蓋、受枠共土木工事
GT-2	2,500	2,500	(2,600)	(2,600)	50	6.0	(4)	2	有り	図示、受枠共土木工事
GT-3	300	3,300	400	3,400	19	4.5	3	2	有り	蓋、受枠共土木工事
GT-4	1,000	1,500	(1,100)	(1,600)	25	6.0	(3)	1	有り	図示、受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-5	800	2,300	(900)	(2,400)	25	6.0	(3)	1	有り	図示、受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-6	800	2,200	(900)	(2,300)	25	6.0	(3)	1	有り	図示、受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-7	600	2,200	700	2,300	25	6.0	3	1	有り	蓋、受枠共土木工事

TK-

手すり一体型開口蓋



A 部詳細図 (1/20)

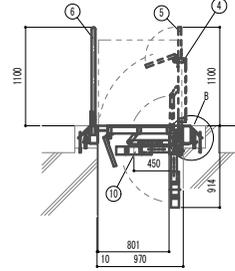
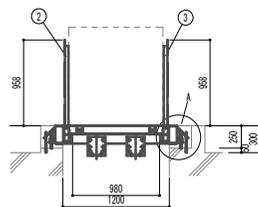


B 部詳細図 (1/20)

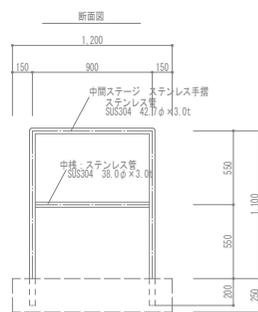
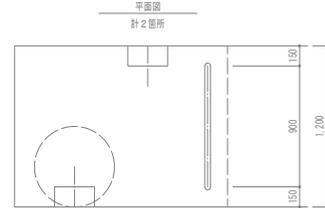
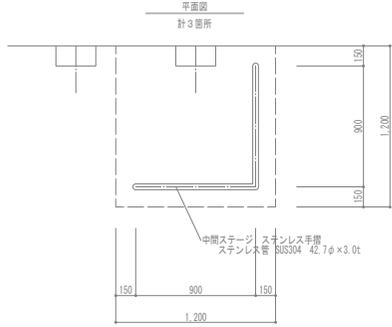
項目	名称	数量	材料
1	本体枠	1	SS400
2	安全枠1	1	SS400
3	安全枠2	1	SS400
4	床板	1	SS400
5	床板補助棒	1	SS400
6	差し込み式安全網	2	SS400
7	ギヤボックス	2	SS400
8	ギヤ	2	SUS304
9	ギヤシャフト	2	SUS304
10	バランスウェイト	2	SS400

仕様

設置場所	屋内 (ドライエリア)
設置方式	蓋抜き埋戻し方式
床板種類	鋼板
許容荷重	4.9kN/m <sup>2</sup> ※重物を積載する場合は別途要生が必要になります。 ※異常荷重が負荷する場合は別途検討が必要になります。
塗装	1種ケレン フタル樹脂系塗装125μm ご指定色塗装 ※ウエイトは溶融亜鉛メッキ (HD235) (塗装は表面のみ) ※ボルト、ギヤ歯面、駆動部は未塗装 (SUS304もしくは溶融亜鉛メッキ品)
その他	一枚床方式 引き棒方式

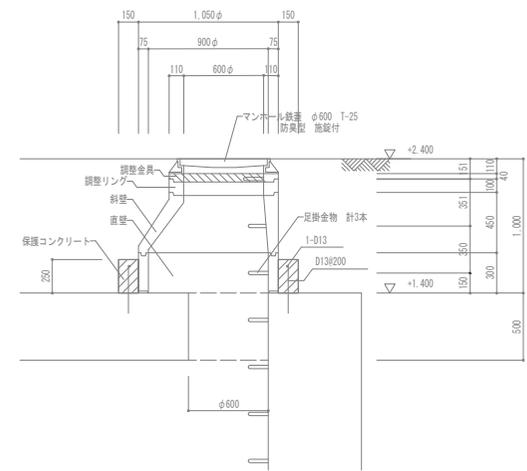


中間ステージ ステンレス手摺 詳細図 ※土木工事施工【参考図】



MH-

1号組立マンホール 詳細図 ※土木工事施工【参考図】

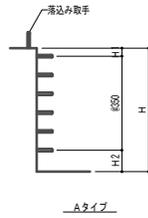
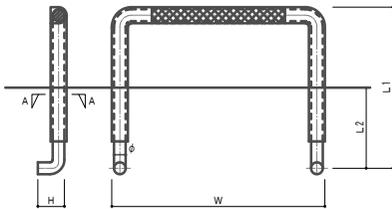
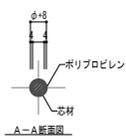


※本図面はA1サイズを原寸とする。

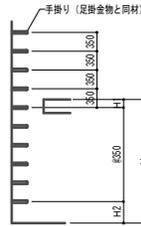
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	付帯設備詳細図 (1)
縮尺	図示 図面番号 A-57
事業所名	津市下水道局下水道建設課



足掛金物：ポリプロピレン製



Aタイプ



Bタイプ

形状寸法表 (参考)

W	L1	L2	H	φ
◎ 300	250	100	50	19
* 400	300	150	50	22

仕様・注記

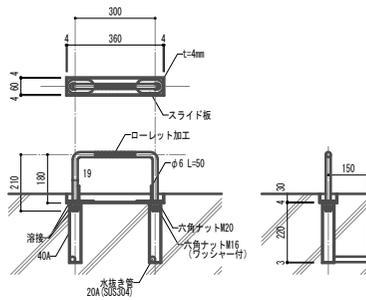
- 1) ポリプロピレン製の形状寸法は製造メーカーの仕様による。
- 2) 芯材の材質は、SNCM12R、SUS304又はSUS403とする。
- 3) 壁に100mm以上埋め込む。
- 4) 足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。
- 5) 足掛金物の取付間隔は350mmを標準とする。
- 6) ポリプロピレン製の芯材の材質は設置場所の環境条件を考慮して選定する。
- 7) 形状寸法表のうち ◎のものを適用する。
- 8) 手掛金物として落下込み取手を設置する。ただし、足掛金物が何かいっ合って設置される場合は1箇所のみ設置する。

足掛金物リスト：ポリプロピレン製

符号	タイプ	H	H1	H2	本数 (1箇所当り)	落下込み取手 (1箇所当り)	手掛り (1箇所当り)	箇所数	備考
TA-1	A	5,500	1,200	450	12	—	—	1	組立マンホール内を除く
TA-2上部	A	2,500	200	200	7	1	—	2	
TA-2下部	B	3,700	150	400	10	—	4	2	
TA-3	B	3,600	200	250	10	—	4	1	
TA-4	B	3,800	200	450	10	—	4	1	建築工事4本 土木工事10本
TA-5	A	4,100	200	400	11	1	—	1	
TA-6	B	3,300	200	300	9	—	4	1	
TA-7	A	3,800	200	450	10	1	—	1	
TA-8上部	A	3,300	200	300	9	1	—	1	
TA-8下部	B	3,800	50	250	11	—	4	1	
TA-9	A	4,950	200	200	14	1	—	1	建築工事11本 土木工事4本

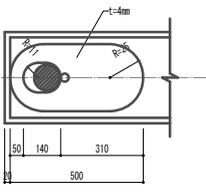
落下込み取手標準図

S=1/10



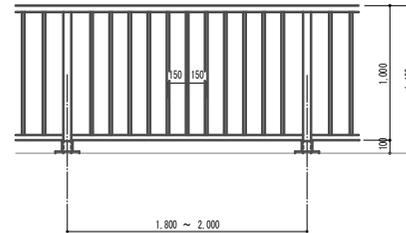
仕様・注記

- 1) 材料はすべてSUS304を用いる。
- 2) 原則として全ての足掛金物上部には、手掛け用取手を設ける。
- 3) 水抜き管は、水路又は地側へ設ける。

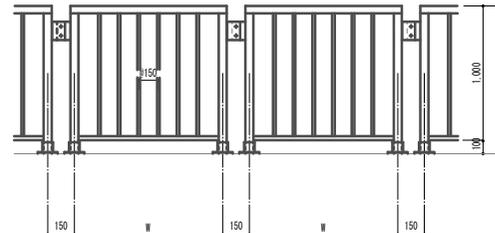


スライド板詳細図 S=1/2

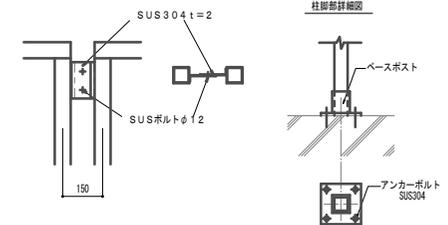
HR-1 (一般部)



HR-3 (脱着式)



HR-2 (階段部) 【土木工事施工済】  
L=3.25m



注記

- 1) 材質は、JIS H4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし押出し形材を使用する
- 2) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 14.2.1表のB-1種とする
- 3) 支柱、笠木、控柱には補強材を使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G3101によるSS400とし亜鉛メッキはJIS H8610の5級 (クロメート被覆はJIS H8625のCM2C) 以上とする
- 4) 小ネジの類はステンレス製 (SUS304、SUS305J1またはSUSXM7) とする
- 5) 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける
- 6) 切断面の処理は、リヤを適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる
- 7) 設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る
- 8) 柱脚部はベースポストタイプとする。仕様は、製造メーカーの仕様によるものとする。

形状寸法表

(単位:mm)

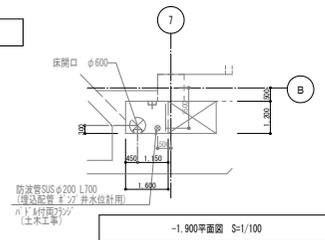
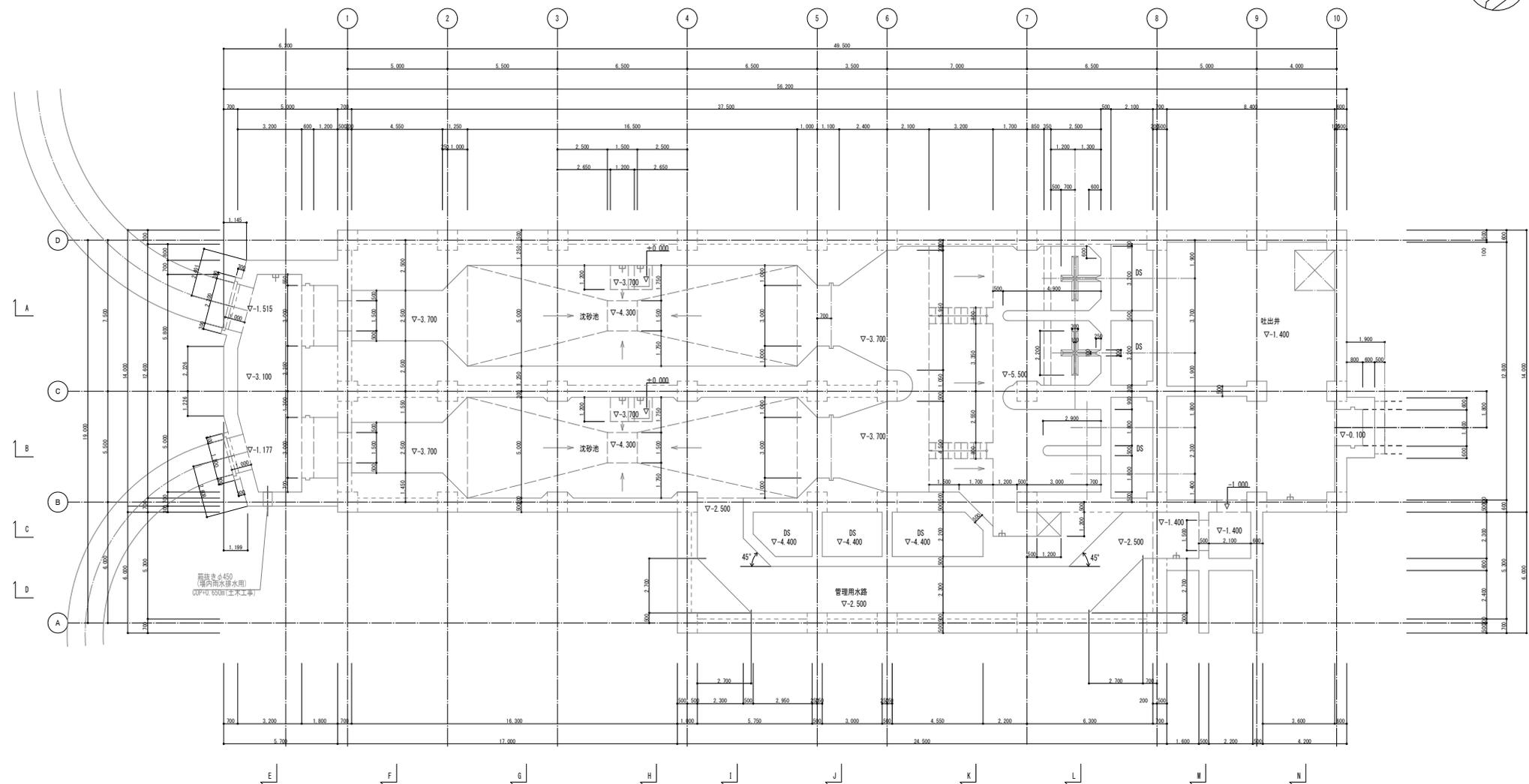
	支柱間隔	笠木	手摺り間隔	高さ	下部の隙間	控柱
廊下・バルコニー	1,800 又は2,000	—	φ150	1,100	100	—
屋上	1,800 又は2,000	—	φ150	1,100	100	φ3,600
階段	1,500内外	—	φ125以内	900	50	—
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

設計条件

部材名	荷重方向	設計条件
笠木	水平方向	設計耐力 1.5 kN/m
		たわみ量 500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力 1.0 kN/m
		たわみ量 500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
支柱	水平方向	設計耐力 2.7 kNまたは3.0 kN
		たわみ量 局部荷重500Nで1/100以下

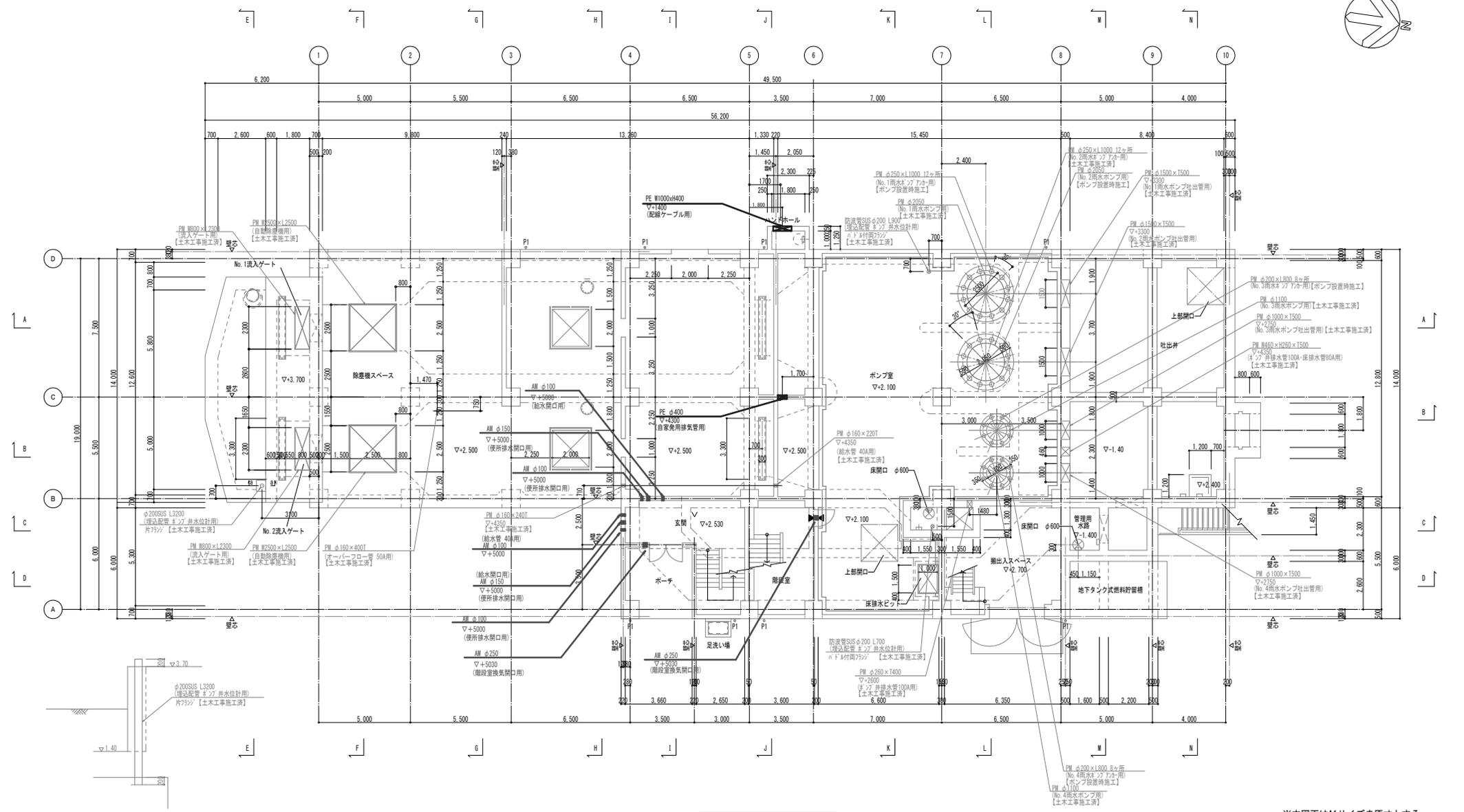
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	付帯設備詳細図 (3)
縮尺	図示 図面番号 A-59
事業所名	津市下水道局下水道建設課



※土木工事施工済【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水構部 雨抜き・埋込配管 【参考図】
縮尺	1:100 図面番号 A-60
事業所名	津市下水道局下水道建設課



a-a断面

1階 平面図 S=1/100

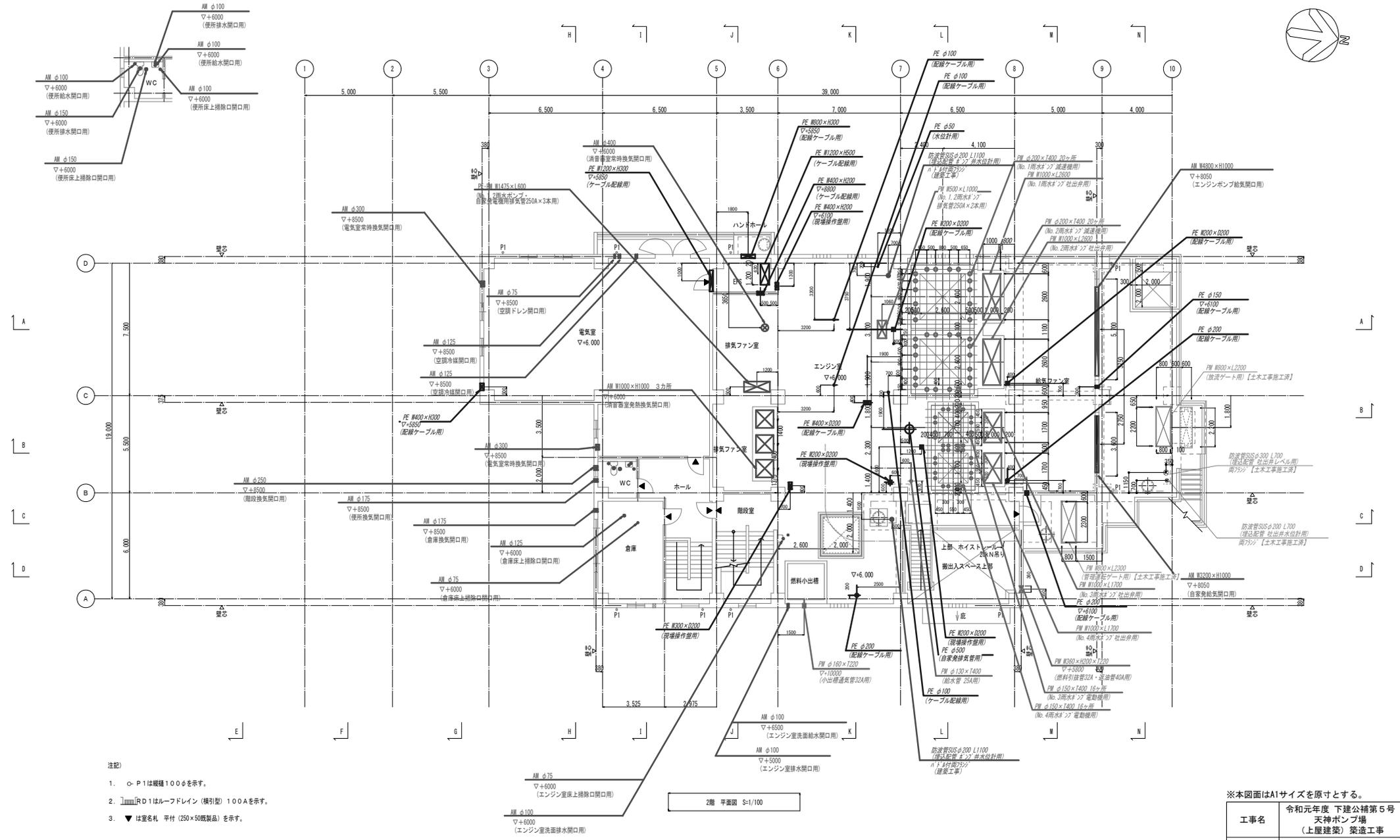
注記

- P-1は縦樋100φを示す。
- FD 1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
- ▼ は置名札 平付(250×50既製品)を示す。



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階 箱抜き・埋込配管図
縮尺	1:100 図面番号 A-61
事業所名	津市下水道局下水道建設課



- 注記)
- P1は縦樋100φを示す。
  - R D1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
  - ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階 箱抜き・埋込配管図
縮尺	1:100 図面番号 A-62
事業所名	津市下水道局下水道建設課



# 構造細目共通図(複合構造物)

## 1 特記事項

### 1.1 適用範囲

- (1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。
- (2) 土木工事と建築工事の区分は図面による。
- (3) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	1) 土木工事特記仕様書 2) 土木工事一般仕様書・土木工事必須 3) コンクリート標準示方書	(別紙による。) (最新版) (2018年版)
建築工事	1) 建築工事特記仕様書 2) 建築工事一般仕様書 3) 公共建築工事標準仕様書(建築工事情) 国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁	(別紙による。) (最新版) (平成 28 年版)

- (4) 項目は○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。◎印と⊗印のある場合は、共に適用する。

### 1.2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は 1. 2. 1 表による。

1. 2. 1 表 鉄筋の種類及び継手

区分	種別	径	
		土木	建築
鉄筋の種類	SD 295A	—	※ D16 以下
	※SD 345 ・SD 390 ・SD 490	※ D13 以上	—
	SD 345	—	※ D19 以上
	重ね継手	下記以外	
鉄筋の継手	ガス圧接	※D19以上の柱、梁主筋 ※D16以上の増設端の床、壁鉄筋	※D19以上の、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	図面による。	

### 1.3 コンクリートの仕様

コンクリートは 1. 3. 1 表による。

1. 3. 1 表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	セメントの種類	
土木	鉄筋コンクリート	※ 24 ・ 30	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント	
建築	鉄筋コンクリート	地上	※ 24 ・ 21	※ 18 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
		地下 (基礎、壁、床)	※ 24 ・ 21	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
土木	無筋コンクリート	※ 18 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント	
建築	無筋コンクリート	※ 18 ・	※ 15 ・	・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB	

注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

## 1.4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは 1. 4. 1 表による。

1. 4. 1 表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部位	種別	厚さ (mm)
土木工事	砂利または砕石	※ 200
	均しコンクリート	※ 100
建築工事	砂利または砕石	※ 60
	捨てコンクリート	※ 50

## 2 共通事項

### 2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1. 1 表及び 2. 1. 2 表を標準とする。

2. 1. 1 表 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		●	×	⊘	●	○	⊗	⊗	⊗
土木					●				

●又は建築による。

2. 1. 2 表 一般凡例

記号符号	内容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向 1, 2, 3, ... Y方向 A, B, C, ...
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を軽く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚 (cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別 (英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 ※2 配筋種別 (数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)
	打ち増し範囲	
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準F以上の+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m <sup>2</sup> )
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、床板

### 2.2 一般注意事項

- (1) 設計図は市監督員の承認を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、市監督員と協議すること。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物細目共通図(1)
縮尺	- 図面番号 S-1
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事施工【参考図】

3.4 鉄筋相互のあき

- 3.4.1 梁・壁・床版
- 鉄筋相互のあきは、下記(1)。(2)。(3)の最大値以上とする。
- 1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
  - 2) 最小のあき20mm
  - 3) 異形鉄筋の直径(呼び名)以上

- 3.4.2 柱
- 鉄筋相互のあきは、下記(1)。(2)。(3)の最大値以上とする。
- 1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
  - 2) 最小のあき40mm
  - 3) 異形鉄筋の直径(呼び名)の1.5倍以上



(注) D: 鉄筋の最大径 d: 鉄筋直径(呼び名)

3.4.1図 鉄筋のあき

3.4.1表 鉄筋及び鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 d	最大径 D	鉄筋相互のあき: a			最小鉄筋の間隔		
		(1) 粗骨材×4/3倍	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.0	(梁) a+D	(柱) a+D	
D13	14	33mm [粗骨材最大径 25mmの場合]	梁: 20mm 柱: 40mm	1.3mm	2.0mm	4.7mm	5.4mm
D16	18			1.6mm	2.4mm	5.1mm	5.8mm
D19	21			1.9mm	2.9mm	5.4mm	6.1mm
D22	25			2.2mm	3.3mm	5.8mm	6.5mm
D25	28			2.5mm	3.8mm	6.1mm	6.8mm
D29	33	2.9mm	4.4mm	6.6mm	7.7mm		

3.5 鉄筋の継手及び定着

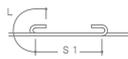
3.5.1 継手長さ及び定着長さの基本

- (1) 鉄筋の継手及び定着の長さは、3.5.1表による。なお、定着長 S 2 S は33、1項による曲げ加工後の直線部分で確保する。ただし、主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途継手及び定着の長さを算定し図面に示すものとする。

3.5.1表 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ(主鉄筋中心間隔100mm以上)

鉄筋の種別	鉄筋径区分	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	フックなし			フックあり		
			S1重ね継手長さ	S2定着長	S3定着長	S1重ね継手長さ	S2定着長	S3定着長
SD345	D22以下	2.4以上	40・d	35・d	25・d	30・d	25・d	20・d
	D25~D32	2.7未満	45・d	35・d	30・d	35・d	25・d	20・d
	D35以上		50・d	40・d	30・d	40・d	30・d	20・d

- (2) 径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 継手は相互にずらすことを原則とする。
- (4) フックのある場合の継手長さ及び定着長には、3.5.1図に示すようにフック部分も含めない。

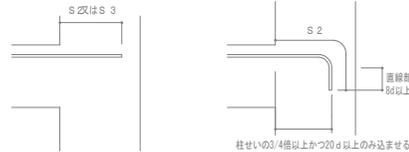


3.5.1図 フックのある場合の継手及び定着要領

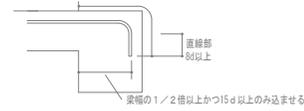
3.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。
- (2) 異径種の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

3.5.3 梁主筋の柱内定着



3.5.2図 梁主筋の柱内定着要領

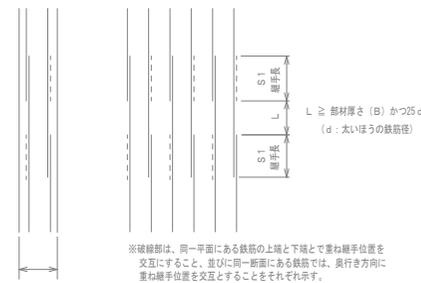


3.5.3図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲定着要領

3.6 隣り合う継手の位置

3.6.1 主鉄筋の重ね継手

- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下(相互にずらす)とする。
- (2) 継手長さは、軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ずらす距離(L)は、部材厚(B)、かつ、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 前記(1)を確保できない場合は、基本定着長の1.7倍の継手長さとし、横方向の鉄筋で補強する。
- (5) 前記(1)を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。
- (6) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



3.6.1図 重ね継手工法

3.6.2 主鉄筋のガス圧接および機械式継手

- 主鉄筋、配力鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は以下のとおりとする。機械式継手は、ねじ筋継手工法とし、土木学会「鉄筋継手指針(1992)」による。また、ねじ筋継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

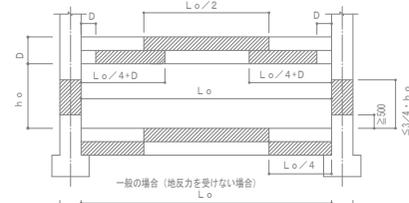
- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下とする。
- (2) 継手は軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 機械式継手の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の3.0倍以上とする。



3.6.2図 各種継手工法

3.7 継手及び圧接中心位置(柱、大梁)

- 継手及び圧接中心位置は図面ではない場合は、3.7.1図による。
- (1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4h(hは柱の内法高さ)以下とする。
- (2) 梁の継手及び圧接中心位置は下記による。  
上端筋 中央: L<sub>o</sub>/2以内  
下端筋 両端: 柱面より梁せい(D)以上離し、L<sub>o</sub>/4を加えた範囲以内
- (3) 通常の応力と異なる場合の継手位置は、3.7.1図によらず図面による。

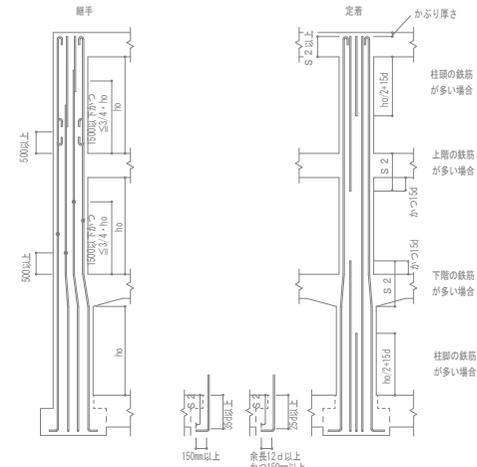


3.7.1図 継手及び圧接中心位置

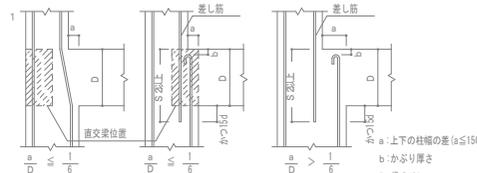
3.8 柱筋の継手及び定着

3.8.1 一般事項

- (1) 継手長さはSとし、定着及び余長は、3.8.1図による。
- (2) 柱筋定着長さSが確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3.8.2図による。
- (4) 柱脚定着長さ25d(余長12d以上)または35dが確保出来ない場合は、図面による。



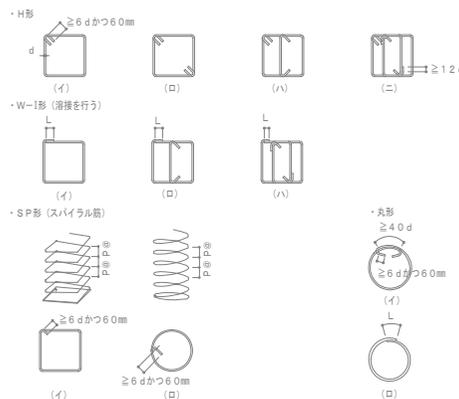
3.8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長



3.8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

3.9 帯筋の形状

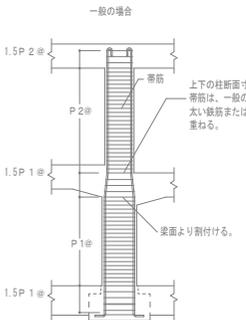
- (1) 帯筋の形状は、3.9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
- (a) H形とする。
- (b) H形の1.35倍の曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
- (c) 溶接する場合の溶接長さしは、両面フラア溶接の場合は5d以上、片面フラア溶接の場合は1.0d以上とし、端立前に行う。
- (d) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の溶接を行う。



3.9.1図 帯筋組立の形

3.10 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- (2) 帯筋の割付けは、3.10.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- (3) 柱、梁の交差部(ハネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



3.10.1図 帯筋の割付け

柱幅(cm)	ハネルゾーン
≤45	D13 @150
≤55	D13 @150
≤70	D13 @150
≤80	D13 @150
≤100	D13 @125
≤125	D13 @100
≤130	D16 @150
≤155	D16 @125

※P1.P2のピッチは100以下とする。

※土木工事施工【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物目録通図(2)【参考図】
縮尺	- 図面番号 S-2
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事施工【参考図】

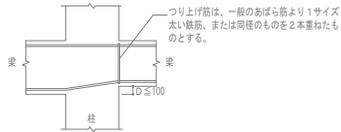
3. 1 大梁筋の継手及び定着

3. 1. 1 一般事項

- 継手手長さ、定着長さ及び余長は、3. 1. 1 図から 3. 1. 1 0 図による。
- 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 1. 1 図のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次に示す。
  - 上端筋：曲げ下ろす
  - 下端筋：原則として曲げ上げる。
 梁主筋のみ込み長さは、柱せいりの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)
- 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ 1: 4 とする。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。
3. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- 段違い梁は 3. 1. 2 図による。



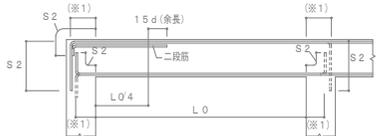
3. 1. 1 0 図 梁主筋を柱内定着



3. 1. 1 2 図 段違い梁

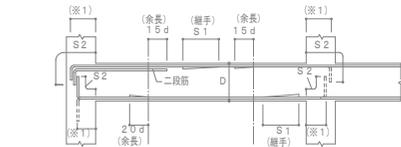
3. 1. 1. 2 ハンチのない場合

(1) 最上層の場合

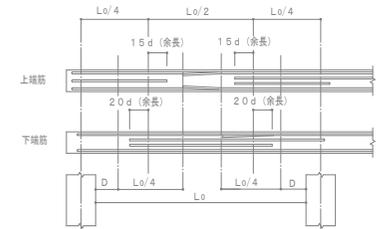


3. 1. 1. 2 0 図 大梁の重ね継手、定着及び余長 (最上層)

(2) 一般層の場合



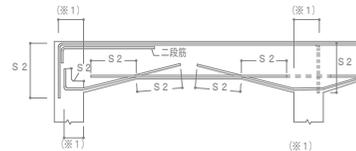
3. 1. 1. 2 1 図 大梁の重ね継手、定着及び余長 (一般層その1)



3. 1. 1. 2 2 図 大梁の重ね継手、定着及び余長 (一般層その2)

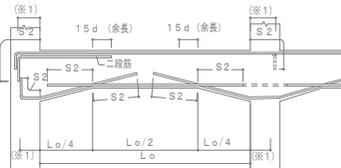
3. 1. 1. 3 ハンチのある場合

(1) 最上層の場合



3. 1. 1. 3 0 図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (最上層)

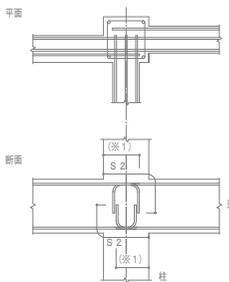
(2) 一般層の場合



3. 1. 1. 3 1 図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (一般層)

3. 1. 1. 4 水平段差のある場合

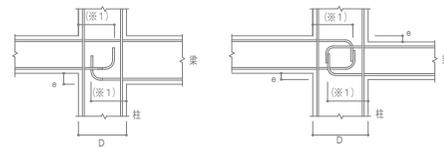
(1) 水平段差のある場合



3. 1. 1. 4 0 図 大梁の定着及び余長 (水平段差のある場合)

3. 1. 1. 5 鉛直段差 (e) のある場合

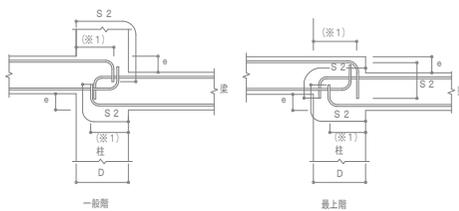
(1)  $e/D \leq 1/6$  の場合



3. 1. 1. 5 0 図 定着の長さは、3. 1. 1. 2 図に準ずる

3. 1. 1. 5 0 図 鉛直段差梁 (その1)

(2)  $e/D > 1/6$  の場合



3. 1. 1. 5 1 図 鉛直段差梁 (その2)

3. 1. 2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3. 1. 2. 1 一般事項

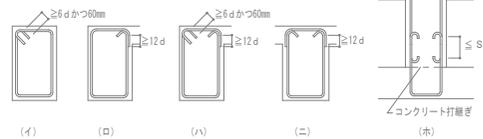
- 腹筋に継手を設ける場合の継手手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の継手手長さはS、定着長さをSとする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13~1000mmピッチ程度とする。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1. 2. 2 あばら筋立上の形及びフックの位置

- 形は、3. 1. 2. 1 図 (イ) を標準とする。ただし、(イ) によることが出来ない場合は、下記の方法によること出来る。
  - 鉄板が片側に付く場合は、(ロ) 又は (ハ)
  - 鉄板が両側に付く場合は、(ニ) ~ (ヒ)

(2) フックの位置

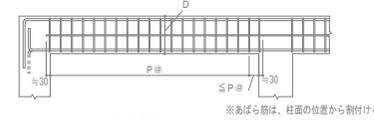
- (イ) の場合は交互とする。
- (ロ) の場合 鉄板が片側に付く場合は鉄板の付く側 鉄板が両側に付く場合は交互
- (ハ) の場合は鉄板の付く側を90°折曲げる。
- (ホ) は梁の上下にスラップが付く場合で、かつ梁せいりが1.5m以上の場合に適用することが出来る。(基礎梁)



3. 1. 2. 2 0 図 あばら筋立上の形及びフックの位置

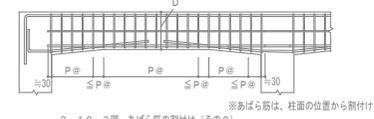
3. 1. 2. 3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一律でハンチのない場合



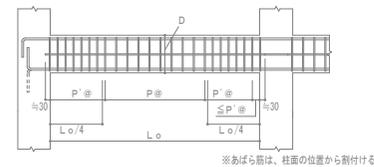
3. 1. 2. 3 0 図 あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

(2) 間隔が一律でハンチのある場合



3. 1. 2. 3 1 図 あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

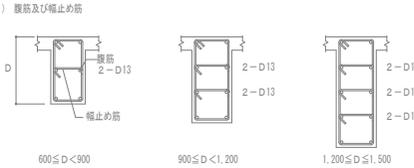


3. 1. 2. 3 2 図 あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1. 2. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



3. 1. 2. 4 0 図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

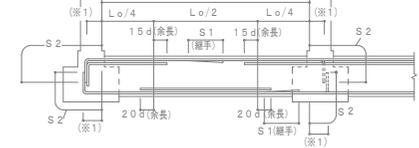
3. 1. 3 基礎梁及び底筋の継手及び定着

3. 1. 3. 1 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- 底筋を柱内に定着する場合は、3. 1. 3. 1 (3) による。
- 柱幅<梁幅の場合の定着は、3. 1. 3. 3 図による。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1. 3. 2 基礎梁の場合

(1) 基礎梁の継手及び定着



3. 1. 3. 2 0 図 主筋の継手、定着及び余長 (その1)

3. 1. 3. 3 連続基礎及びべた基礎の場合

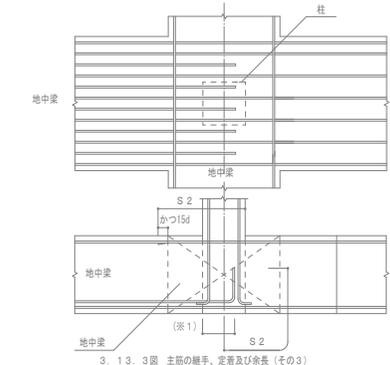
(1) 柱幅<梁幅の場合



3. 1. 3. 3 0 図 主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(2) 柱幅<梁幅の場合

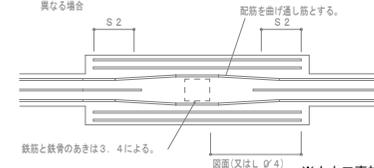
(a) 交差部のスタールップを設ける場合は、図面による。



3. 1. 3. 3 1 図 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

3. 1. 3. 4 梁形を設けない場合の基礎底版

- 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3. 1. 3. 4 0 図 主筋の継手、定着及び余長 (その4)

※土木工事施工【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

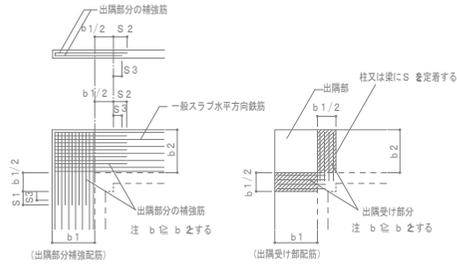
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造物細目共通図(3)【参考図】		
縮尺	-	図面番号	S-3
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



3 土木工事施工【参考図】

3.18.3 出隅部の配筋方法

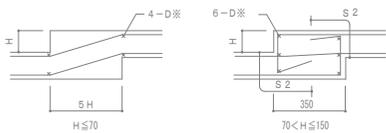
- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記しない場合は、D13@100ダブル程度とする。
- (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b/2$ とする)による。



3.18.6図 片持スラブ出隅部の補強配筋

3.18.4 段差床版の補強

- (1) 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。

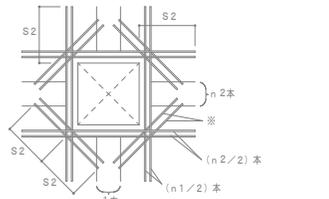


3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

D※: 鉄筋径は、図面による。

3.18.5 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径 $\leq 700$ の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下層の内側に配筋する。(3.18.8図) 開口の最大径 $> 700$ の場合は図面による。



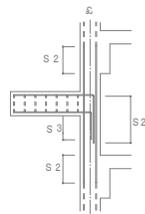
3.18.8図 床版開口部の補強配筋

※鉄筋径及び本数は、図面による

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3.19 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に曲げ降ろす。

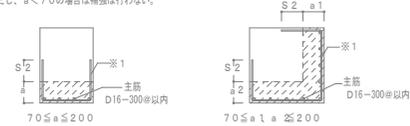


3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

3.20 柱及び梁の増し打ち要領

3.20.1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。ただし、 $a < 70$ の場合は補強は行わない。

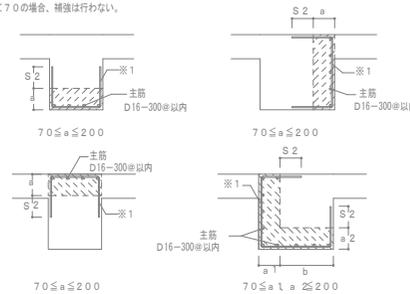


3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、S以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

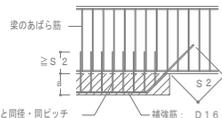
3.20.2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a < 70$ の場合、補強は行わない。



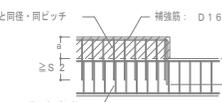
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、S以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)

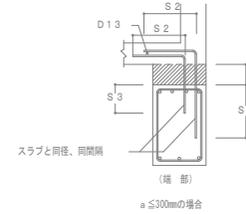
- (6) 梁の側面の増し打ち打ち打ち補強筋(途中で終わる場合)。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- (1) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

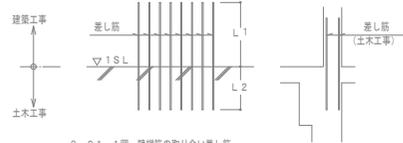


3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋(ダブル)

3.20.1 土木部分と建築部分の取り合い

3.20.1.1 壁鉄筋の取り合い

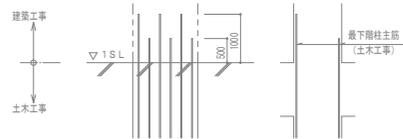
- (1) 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)
- (2) L及びL'は4.02.1表による。



3.20.1.1図 壁鉄筋の取り合い差し筋

3.20.1.2 柱主筋の取り合い

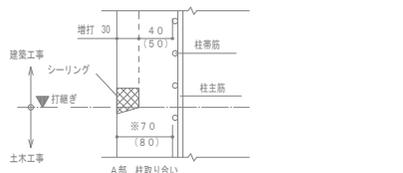
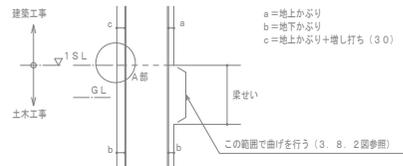
- (1) 最上層の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.20.1.2図の圧接位置まで延ばすこと。



3.20.1.2図 柱主筋の取り合い差し筋

3.20.1.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- (1) 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶり厚は、3.3.1表によらず、3.20.1.3図による。



- ※ かぶり厚 $\geq 70$ (80)mmは、柱部材の外壁に面する部分のみに適用する。( )内は、地盤対策地域に適用する。

3.20.1.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

土木工事施工【参考図】	
※本図面はA1サイズを原寸とする。	
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物細目共通図(5)【参考図】
縮尺	- 図面番号 S-5
事業所名	津市下水道局下水道建設課



## 4 建築工事

### 4.1 鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、4.1.1表及び4.1.2表を標準とする。

- (1) Dは、曲げ内法直径を示す。  
(2) dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

#### 4.1.1表 末端部

曲げ 角度	曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SD295A SD345			
		D16 以下	D19 ~D38		
180°		3d以上	4d以上		柱、梁の主筋 転座のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上		D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スライラル筋
90°		3d以上	4d以上		T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上		幅止め筋

- (注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4dとする。  
2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

#### 4.1.2表 中間部

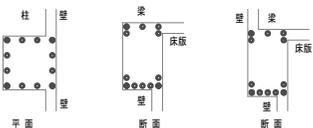
曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SD295A SD345			
		D16 以下	D19 ~D25	D29 ~D38	
90° 以下		3d以上	4d以上	-	あばら筋、帯筋 スライラル筋
		4d以上	6d以上	8d以上	その他の鉄筋

### 4.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、4.2.1表によりフックを付ける。

#### 4.2.1表 フック付ける位置

部 位	継手方式		備 考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	1) 最上層の柱頭 2) 継手部	1) 最上層の柱頭 4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
	上下層の柱断面が異なる場合	1) 下層の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	1) 下層の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部 4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.8.1 図参照
梁	主筋	1) 出隅及び下端筋の出隅(基礎梁は除く)	4.2.1 図の●印
	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	4.11.1 図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋			4.1.1 表参照

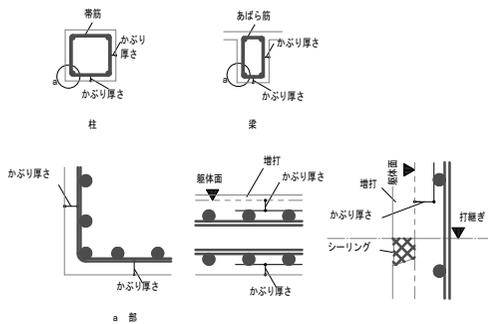


4.2.1図 異形鉄筋の末端部

### 4.3 鉄筋のかぶり及び間隔

#### 4.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外側から断面までの距離(4.3.1図)をいう。  
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

#### 4.3.2 最小かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、4.3.1表による。  
(1) 床版、梁、基礎及び階段で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。  
(2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。  
(3) 溶接金網にも適用する。

#### 4.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

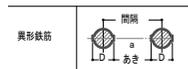
構造部分の種別	通常の施工の場合	塩害対策を必要とする場合	
一般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
	土、水に接する部分	40	50
煙突等高温を受ける部分	60	70	

1: 打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。  
2: 仕上なしの場合を標準とする。  
3: 塩害対策地域区分は、建築工事特記仕様書による。

### 4.4 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合はあきは、図面による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍  
(2) 最小のあき25mm  
(3) 異形鉄筋の直径(呼び名の数値)の1.5倍以上



(注) D: 鉄筋の最大径 d: 鉄筋直径(呼び名)

#### 4.4.1図 鉄筋のあき

#### 4.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 d	最大径 D	鉄筋相互のあき : a		最小鉄筋の間隔 a+D	
		(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき		
D10	11	31mm	25mm	15mm	42mm
D13	14			20mm	45mm
D16	18			24mm	49mm
D19	21			29mm	52mm
D22	25			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

粗骨材最大径 25mm の場合

### 4.5 継手及び定着

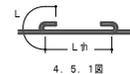
#### 4.5.1 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、4.5.1表による。  
(2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。  
(3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と4.5.1表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

#### 4.5.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm2)	L1 (フックなし)		L1h (フックあり)
		L1	L2	L1h
SD295A	21	40d	35d	30d
	24, 27	35d	30d	25d
	30	35d	25d	25d
SD345	21	45d	40d	30d
	24, 27	40d	35d	30d
	30	35d	25d	25d

- (注) 1. L1 L2 L3: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のLhは、4.5.1図に示すようにフック部分Lを含まない。



4.5.1図

#### 4.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は、耐力力の小さい位置に設ける。  
(2) 異種の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の重直の範囲内とする。

#### 4.5.3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、4.5.2表による。  
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と4.5.2表の定着の長さのうち大きい値とする。

#### 4.5.2表 鉄筋の定着の長さ

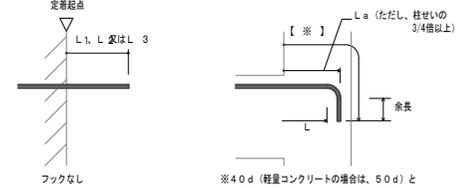
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm2)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3	L1h	L2h	L3h	L1h	L2h
SD295A	21	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	-
	24, 27	35d	30d			25d	20d		
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	21	45d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	-
	24, 27	40d	35d			30d	25d		
	30	35d	30d			25d	20d		

#### 4.5.4 定着の方法

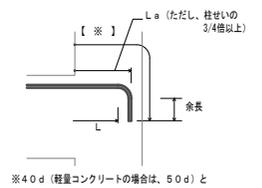
定着の方法は4.5.2図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、4.5.2表のフックあり定着の長さ確保できない場合は、全長を4.5.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4.5.3表に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上、小梁の場合は1/2以上)をのみ定める。

- (注) 1. La, Lbは、4.5.3表の鉄筋の投影定着長さを示す。

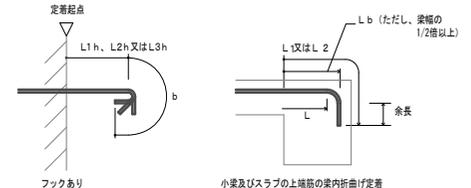


フックなし

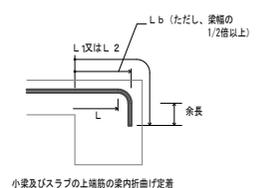


※40d(軽量コンクリートの場合は、50d)と4.5.2表のフックなし定着長さのうち大きい値とする

梁主筋の柱内曲げ定着



フックあり



小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着

(イ) 直継定着

(ロ) 折曲げ定着

4.5.2図 定着の方法

#### 4.5.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm2)	La	Lb
SD295A	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30	15d	15d

- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ちスラブを含む。)

2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物細目共通図(7)
縮 尺	- 図面番号 S-7
事業所名	津市下水道局下水道建設課

## 4 建築工事

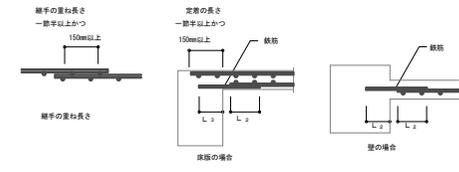
### 4. 5 5 隣り合う継手の位置及び定着

隣り合う継ぎ手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ることに。  
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

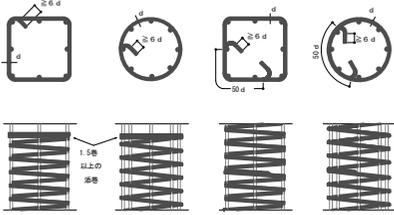
条件	重ねる場合	継手場合
重ね継手	フック有りの場合	$a \geq 0.5L_h$
	フックなしの場合	$a \geq 0.5L_l$
圧接継手		$a \geq 400\text{mm}$

### (1) 溶接金網の継手及び定着



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

### (2) スパイラル筋の継手及び定着



4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

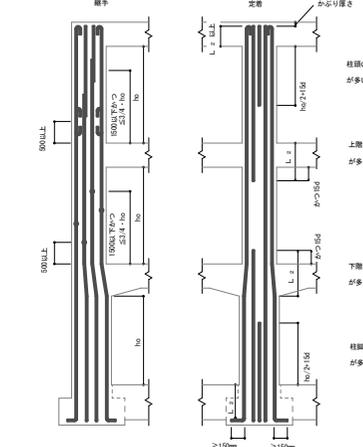
### 4. 6 継手及び圧接中心位置 (柱)

柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ  $3/4h_o$  ( $h_o$ は柱の内法高さ) 以下とする。

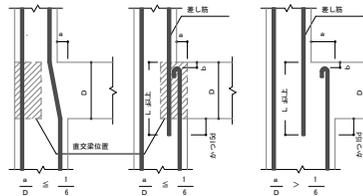
### 4. 7 柱筋の継手及び定着

#### 4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

- 継手長さLとし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。
- 柱頭定着長さLが確保出来ない場合は、図面による。
- 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

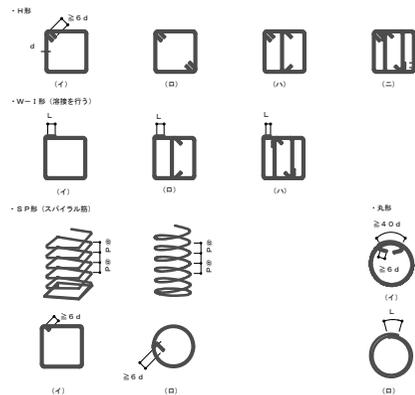


4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着

### 4. 8 帯筋の形状

(1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

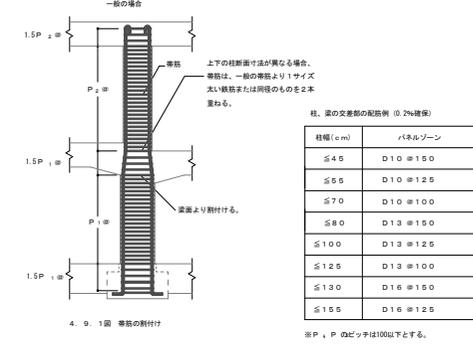
- H形とする。
- H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
- 溶接する場合の溶接長さLは、両面フラップ溶接の場合は5d以上、片面フラップ溶接の場合は10d以上とし、相立筋に行う。
- S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



4. 8. 1図 帯筋種別の形

### 4. 9 帯筋の割付け

- フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- 柱、梁の交差部 (ハネルゾーン) の帯筋のせん断補強比は、0. 2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



4. 9. 1図 帯筋の割付け

(4) 土に接する柱周囲の打増しは4. 9. 2図による。

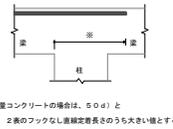


4. 9. 2図 柱打増し部

### 4. 10 大梁筋の継手及び定着

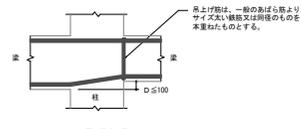
#### 4. 10. 1 大梁 (基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

- 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
  - 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、むね得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。



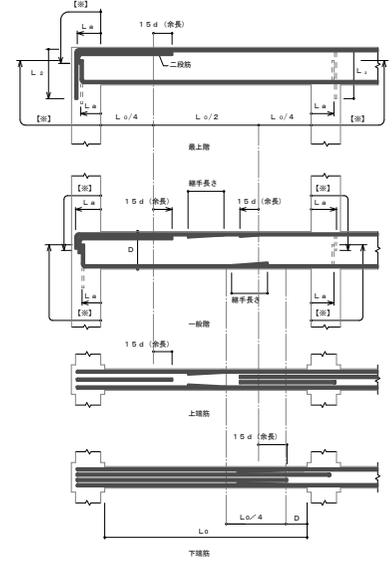
4. 10. 1図 大梁筋の継手及び定着要領

- 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は、4. 5. 4による。
  - 上端筋：曲げ下ろす。
  - 下端筋：原則として曲げ上げる。
- 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

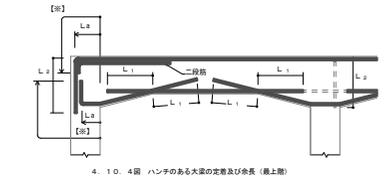
#### 4. 10. 2 ハンチのない場合



- 継手中心位置は次による。
  - 上端筋：中央L/2以内
  - 下端筋：柱梁よりせい(O)以上とし、L/4を加えた範囲以内
- 異形鉄筋の束端部(2)で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 鉄筋は、継手及び余長を許す。
- 鉄筋は、柱内定着の場合を許す。
  - ※40d (軽質コンクリートの場合は、50d) と4. 5. 2表フックなし定着長さのうち大きい値とする。

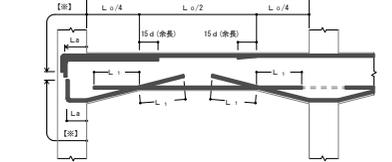
#### 4. 10. 3 ハンチのある場合

##### (1) 畳上階の場合



4. 10. 3図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (畳上階)

##### (2) 一般階の場合



- 畳上階の場合、ハンチのある大梁の定着及び余長 (一般階)
  - 異形鉄筋の束端部(2)で定めた鉄筋には、フックを付ける。
  - 鉄筋は、継手及び余長を許す。
  - 梁内定着の端部が確保できないときは、= のように引き通すことができる。
  - 鉄筋は、梁内定着の場合を許す。
    - ※40d (軽質コンクリートの場合は50d) と6. 2表のフックなし定着長さのうち大きい値とする。

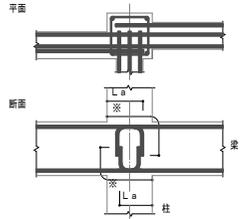
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物細目共通図(8)
縮尺	- 図面番号 S-8
事業所名	津市下水道局下水道建設課

## 4 建築工事

### 4.10.4 水平段差のある場合

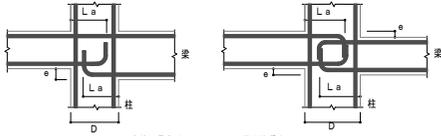
#### (1) 水平段差のある場合



4.10.6図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

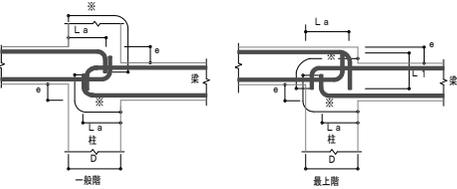
### 4.10.5 鉛直段差（e）のある場合

#### (1) $e/D \leq 1/6$ の場合



定着の長さは、4.10.2図に準ずる  
4.10.7図 鉛直段差梁（その1）

#### (2) $e/D > 1/6$ の場合



4.10.8図 鉛直段差梁（その2）

### 4.11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止り筋

#### 4.11.1 一般事項

- 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、Lとする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止り筋及び受け用幅止り筋は、D10-1000mmピッチ程度とする。

#### 4.11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

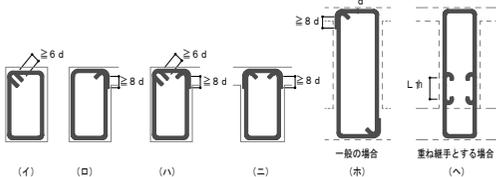
##### (1) 形は、11.1図（イ）を標準とする。

ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることができる。

- 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
- 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

##### (2) フックの位置

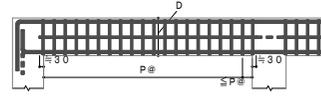
- （イ）の場合は交互とする。
- （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側 床版が両側に付く場合は交互
- （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d露出する。
- （ホ）（ヘ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁）



4.11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

### 4.11.3 あばら筋の割付け

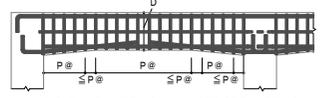
#### (1) 間隔が一律でハンチのない場合



- あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
- 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.2図 あばら筋の割付け（その1）

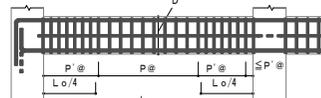
#### (2) 間隔が一律でハンチのある場合



- あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
- 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.3図 あばら筋の割付け（その2）

#### (3) 梁の端部で間隔の異なる場合



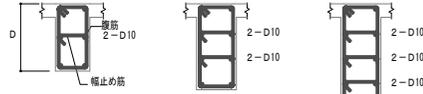
- あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
- 図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.4図 あばら筋の割付け（その3）

### 4.11.4 腹筋及び幅止り筋

#### (1) 一般の梁

##### a) 腹筋及び幅止り筋



4.11.5図 腹筋及び幅止り筋

#### (2) 特殊な梁

腹筋及び幅止り筋は、図面による。

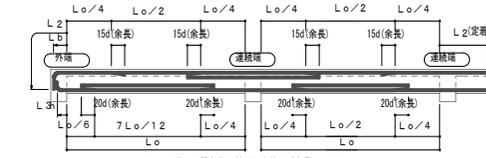
### 4.12 小梁及び片持梁の配筋要領

#### 4.12.1 一般事項

- 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。
- 印は、継手及び余長を示す。

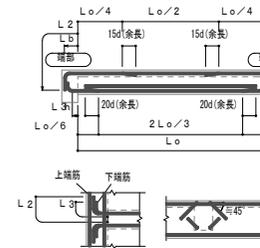
#### 4.12.2 小梁

##### (1) 連続小梁の場合



4.12.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

##### (2) 単独小梁の場合



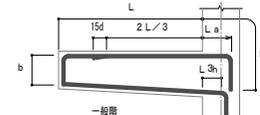
4.12.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

- 印は、継手及び余長を示す。
- 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
- 図示のない事項は、4.10に準ずる。

#### 4.12.3 片持梁部の定着

##### (1) 先端に小梁のない場合

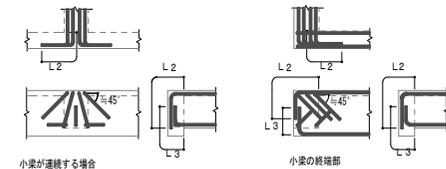
- 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかなり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



4.12.3図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

##### (2) 先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



小梁が連続する場合

小梁の終端部

小梁外端部

小梁連続端部

小梁外端部

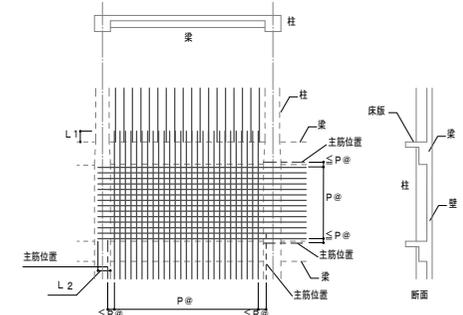
小梁連続端部

4.12.4図 片持梁主筋の定着

### 4.13 壁の配筋要領

#### 4.13.1 一般事項

- 壁配筋の継手の長さは、Lとする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをL、定着長さをLとする。ただし耐震壁の重ね継手の長さは、4.0dと4.5.2表のフックなし重ね継手長さのうち大きい値とする。
- 幅止り筋は、縦、横ともD10-1000を標準とする。
- 一般部壁筋は、4.13.1図による。



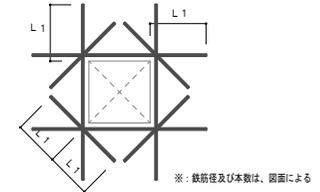
4.13.1図 壁の配筋

#### 4.13.2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面に示すもの以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

#### 4.13.3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4.13.3図を標準とする。



4.13.3図 壁開口部の補強の定着長さ

- 壁開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を縦やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

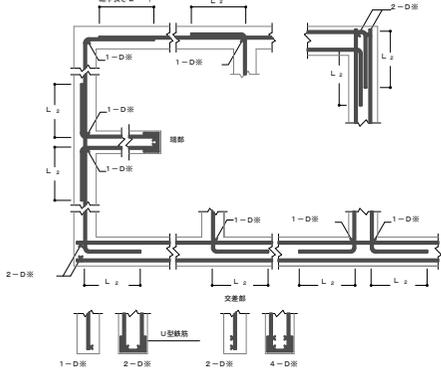
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造物細目共通図(9)		
縮尺	-	図面番号	S-9
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

## 4 建築工事

### 4. 1.3. 4 壁の交差部及び端部

- (1) 壁と壁の交差部は、4. 1.3. 4図による。  
 a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。  
 b. ( )内は、土圧、水圧及び耐震壁等の継手長さを示す。  
 c. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び間隔とする。

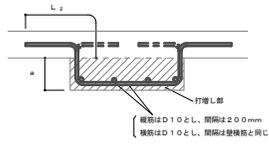


4. 1.3. 4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋特記」(特記字表)に基づき図面による。

### 4. 1.4 壁の打増し要領

- (1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4. 1.4. 1図による。  
 打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。  
 200mmを超える場合は、特記による。

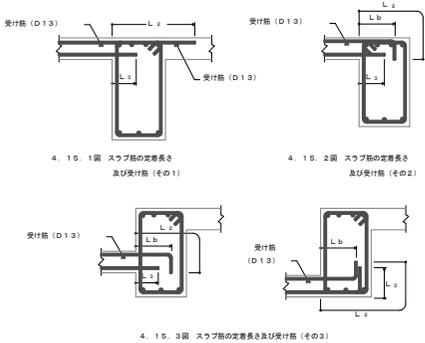


4. 1.4. 1図 壁の打増し補強配筋

### 4. 1.5 床の配筋要領

#### 4. 1.5. 1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、Lとする。  
 (2) 定着長さ及び受け筋は、4. 1.5. 1図による。ただし、引き通すことができないう場合は、4. 1.5. 2図、4. 1.5. 3図により梁内に定着する。  
 (3) 基礎梁と床版を一体打ちしないので、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



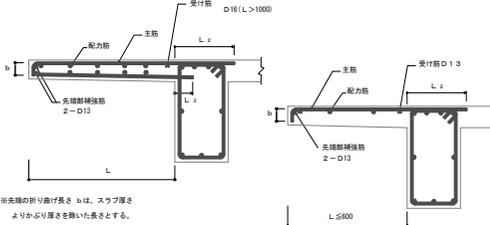
4. 1.5. 1図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)

4. 1.5. 2図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

4. 1.5. 3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その3)

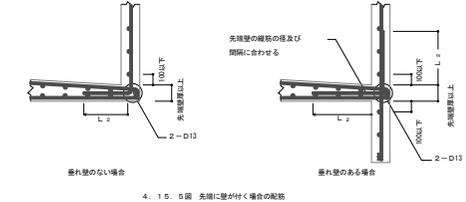
### 4. 1.5. 2 片持スラブ

#### (1) 片持スラブの配筋



4. 1.5. 2図 片持スラブの配筋

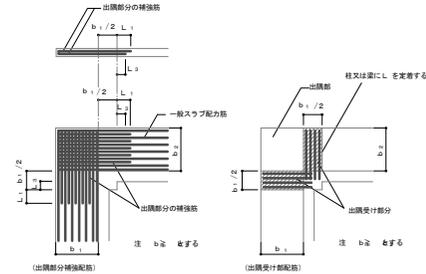
#### (2) 先端に小梁がなく壁に取り付く場合



4. 1.5. 2図 先端に壁が付く場合の配筋

### 4. 1.5. 3 出隅部の配筋方法

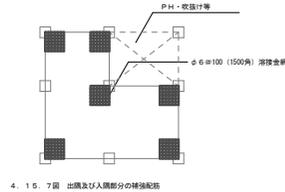
- (1) 補強の配筋体図面による。配筋方法は、4. 1.5. 6図による。特記がない場合は、D10@100ダブルとする。  
 (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅はb/2とする)による。



4. 1.5. 3図 片持スラブ出隅部の補強配筋

### 4. 1.5. 4 地上部最上階の屋根床版

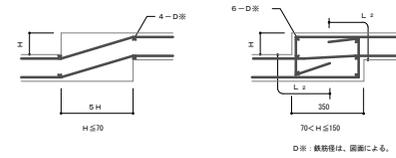
- (1) 出隅及び入隅部分には、4. 1.5. 7図により、補強筋(溶接鋼網)を上補筋の下側に配筋する。  
 (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4. 1.5. 7図 出隅及び入隅部分の補強配筋

### 4. 1.5. 5 段差床版の補強

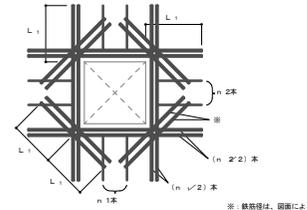
- (1) 同一床版に段差がある場合、4. 1.5. 8図の補強を行う。ただし、H>150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4. 1.5. 8図 段差のある床版の補強配筋

### 4. 1.5. 6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径≤700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(4. 1.5. 9図)  
 開口の最大径>700の場合は図面による。

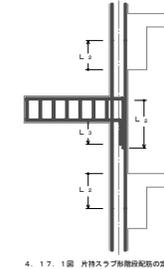


4. 1.5. 9図 床版開口部の補強配筋

- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

### 4. 1.7 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。  
 (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

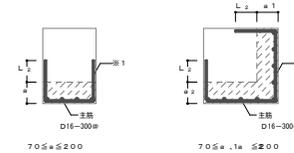


4. 1.7. 1図 片持スラブ階段配筋の定着

### 4. 1.8 柱及び梁の増し打ち要領

#### 4. 1.8. 1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1.8. 1図による。ただし、a<70mmの場合は補強は行わない。

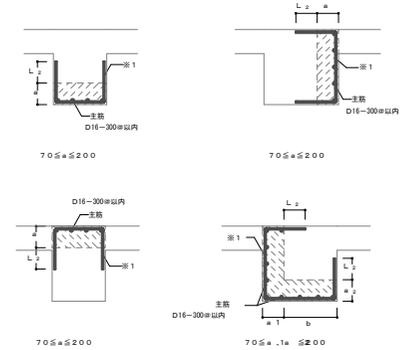


4. 1.8. 1図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。  
 (3) 増し打ち部分の鉄筋の定着長さは、L以上とする。  
 (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

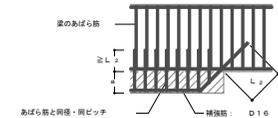
### 4. 1.8. 2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1.8. 2図による。ただし、a<70mmの場合、補強は行わない。



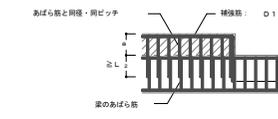
4. 1.8. 2図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。  
 (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L以上とする。  
 (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。  
 (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4. 1.8. 3図 梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)

#### (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



4. 1.8. 4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造物細目共通図(10)		
縮尺	-	図面番号	S-10
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

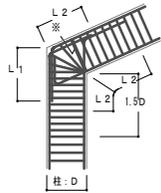
## 4 建築工事

### 4.19 勾配屋根の取り合い

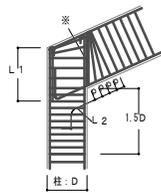
#### 4.19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし $\phi 100$ 以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔 $p$ 以下とする。

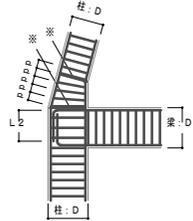
a) 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一



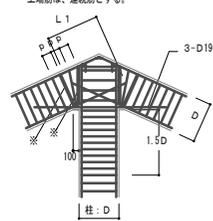
b) 柱幅と斜材幅が異なる



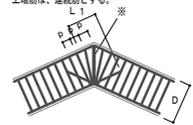
c) 柱脚で斜材となる



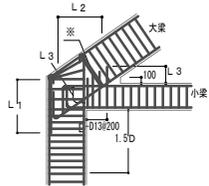
d) 柱脚で斜材となる  
上端筋は、連続筋とする。



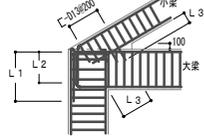
e) 梁が斜材となる  
上端筋は、連続筋とする。



f) 斜め大梁に小梁が接する場合  
柱筋は a)、b) に従う。



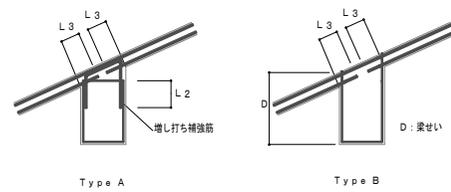
g) 大梁に斜め小梁が接する場合



4.19.1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

### 4.19.2 梁と床版の取り合い

増し打ち補強要領は、16.2による。



4.19.2図 梁と床版の取り合い配筋

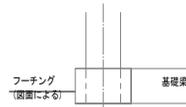
### 4.19.3 円柱の取り合い

(1) 円柱と梁の取り合い



1) 柱頭部で柱芯に梁が  
取り付く場合

2) 柱頭部で柱外面に梁が  
取り付く場合

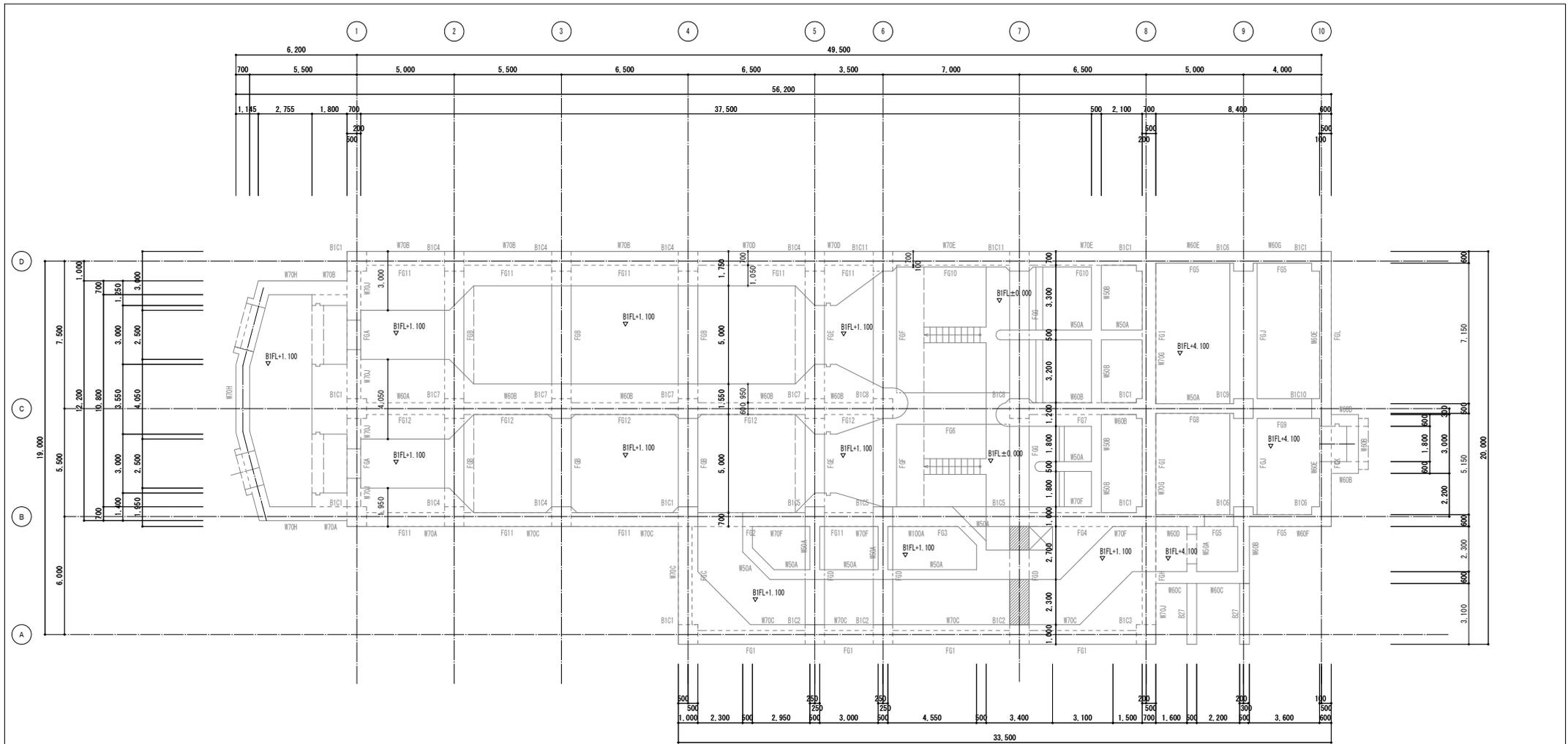


3) 柱脚部の円柱と基礎との  
取合い

4.19.3図 円柱の取り合い配筋

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造物細目共通図(11)
縮尺	- 図面番号 S-11
事業所名	津市下水道局下水道建設課



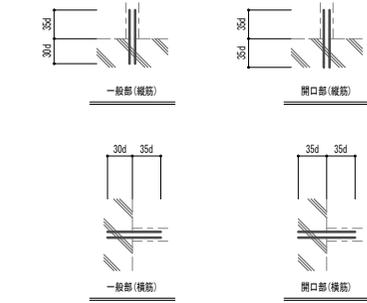
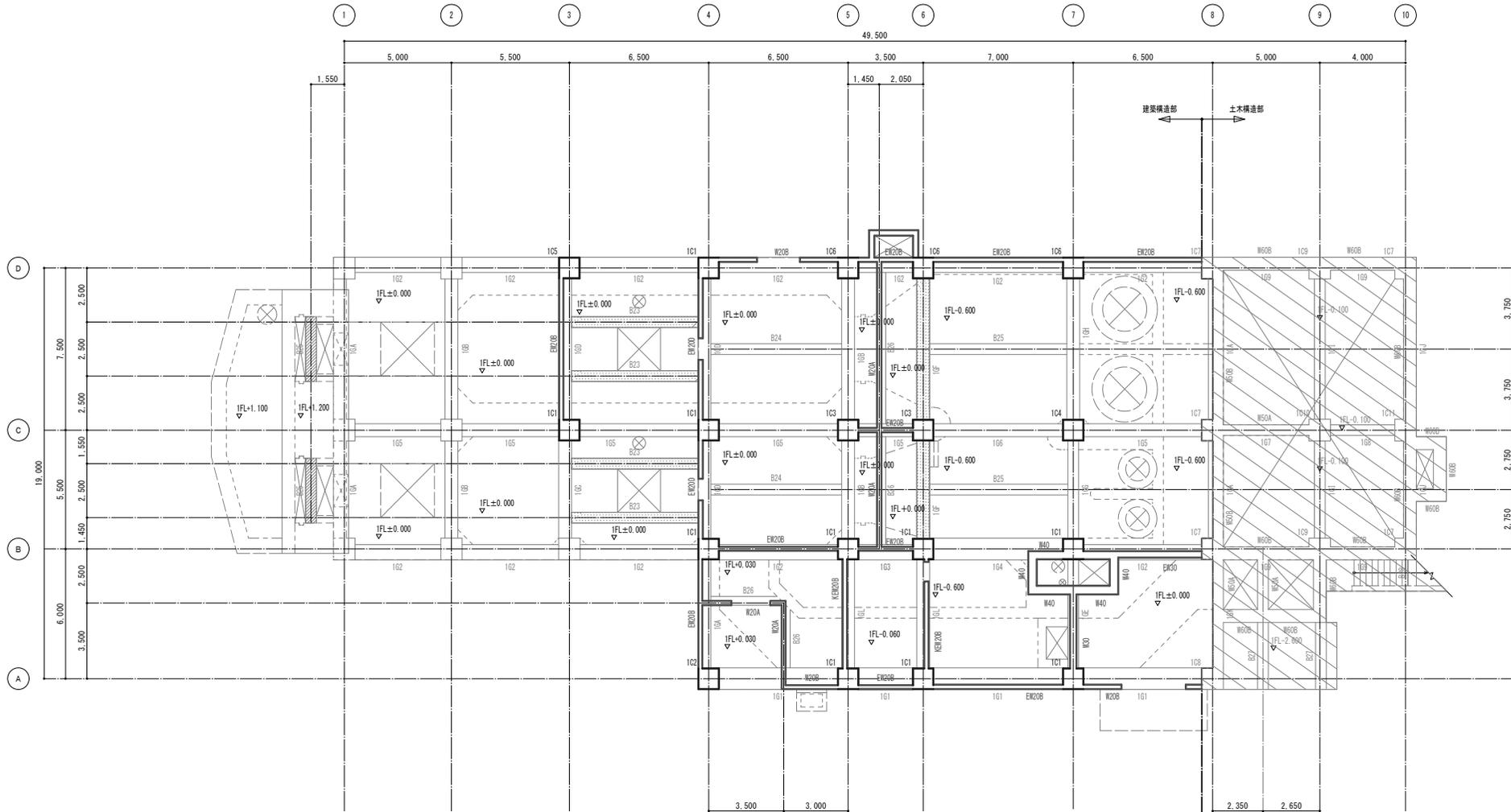
水槽部 伏図 S-1/100

共通事項 (特記なき限り)

1. BIFL = -5.500
2. 斜線は打増しを示す

※土木工事施工済【参考図】  
 ※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水槽部 伏図【参考図】
縮尺	1:100 図面番号 S-12
事業所名	津市下水道局下水道建設課



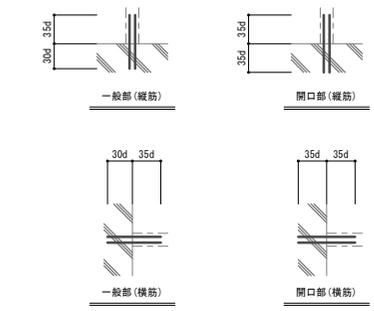
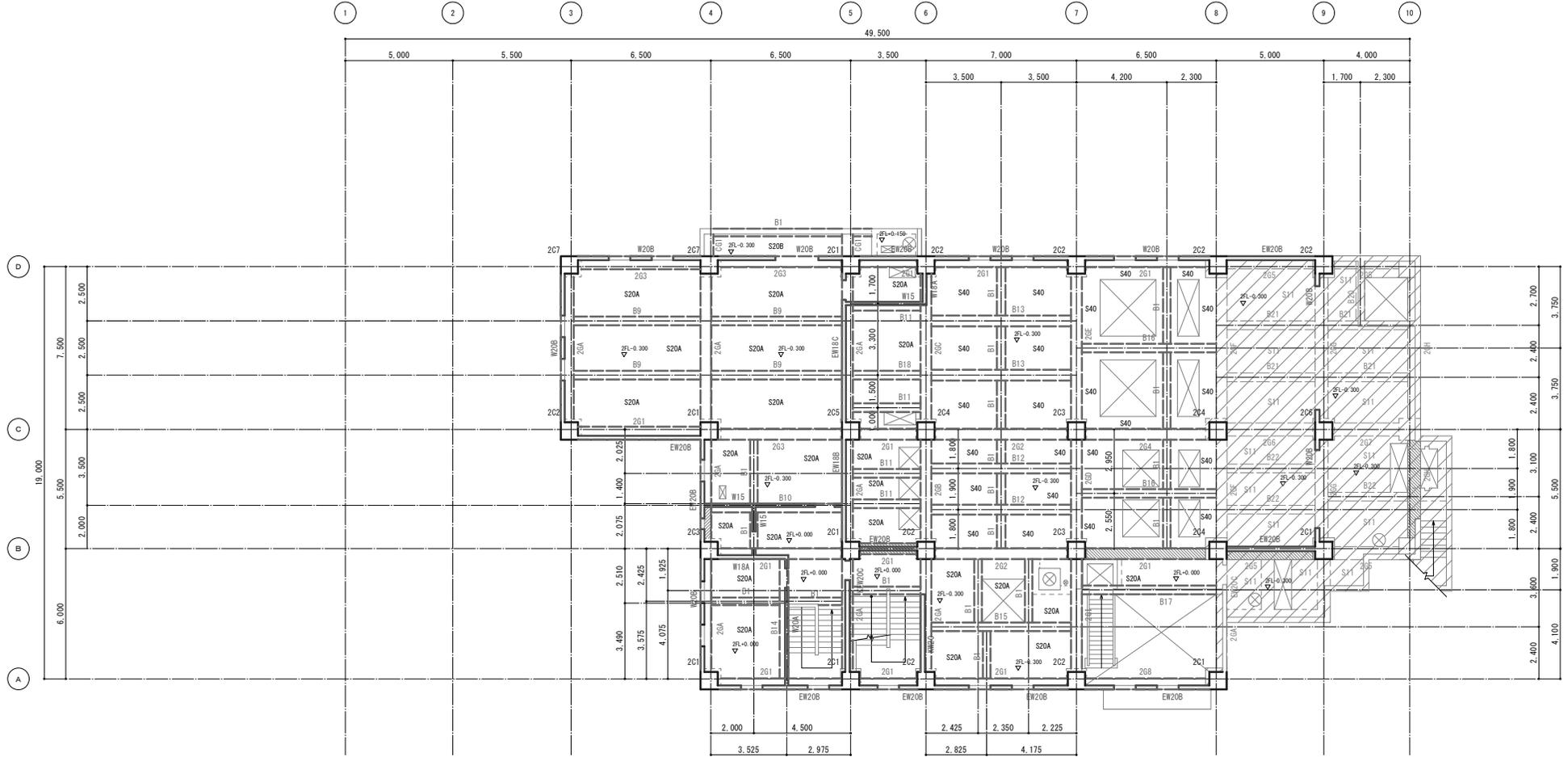
差し筋要領図  
 特記なき限り(共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築番号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

1階 伏図 S-1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
- 1 F.L.=+2.500
  - は打増しを示す
  - 3通り~8通り柱・壁面までの範囲でISLより上部は建築構造部とする。
  - 斜線は土木工事躯体部分を示す。
  - 概略鉄筋と定着を行うこととする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1階 伏図		
縮尺	1:100	図面番号	S-13
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



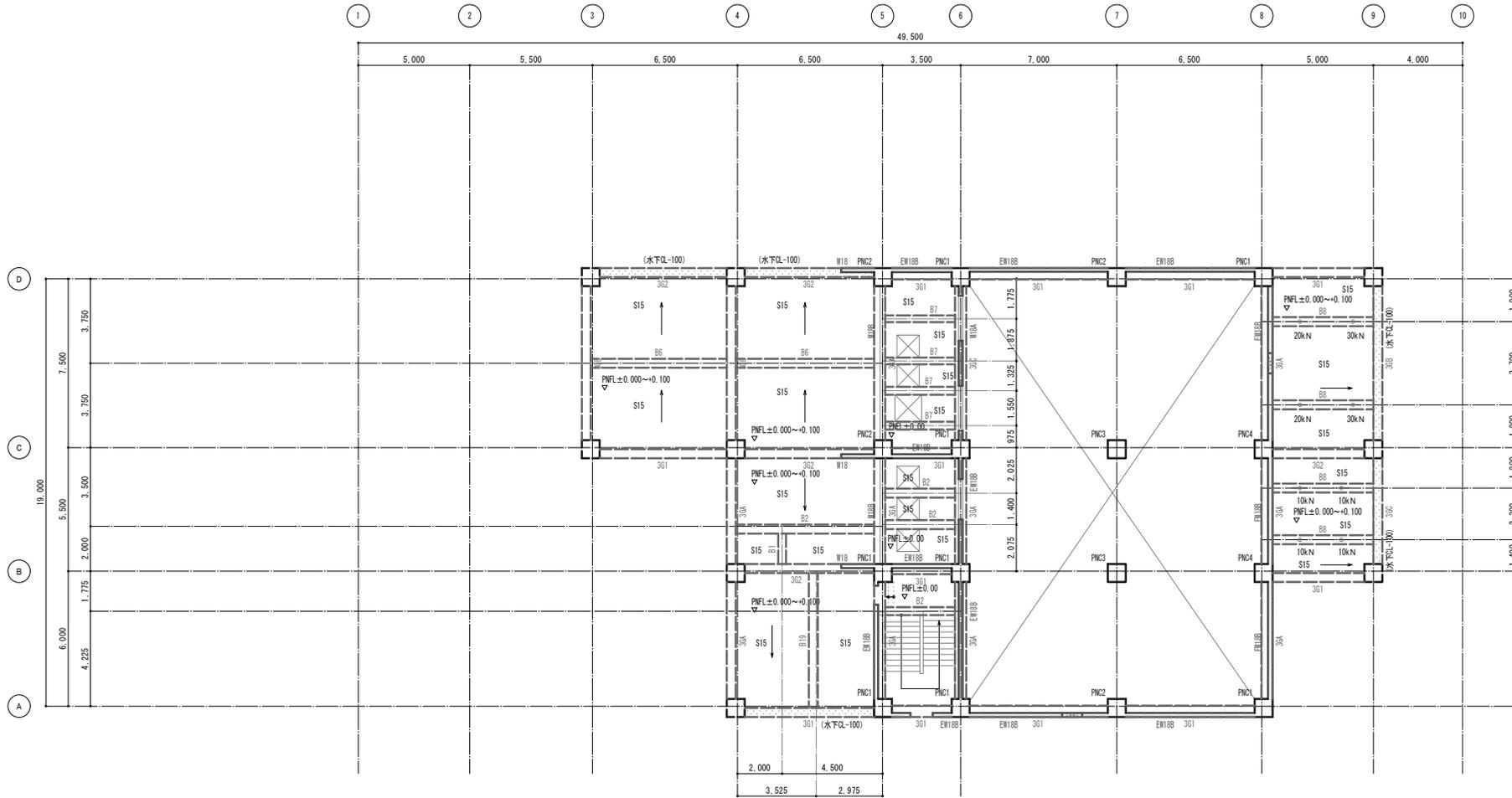
差し筋要領図  
 特記なき限り(共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築記号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

2階 伏図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)  
 1. 2FL=+6.000  
 2. は土木構造物を示す。  
 3. は打増しを示す。  
 4. 既設鉄筋と定着を行うこととする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階 伏図
縮尺	1:100 図面番号 S-14
事業所名	津市下水道局下水道建設課

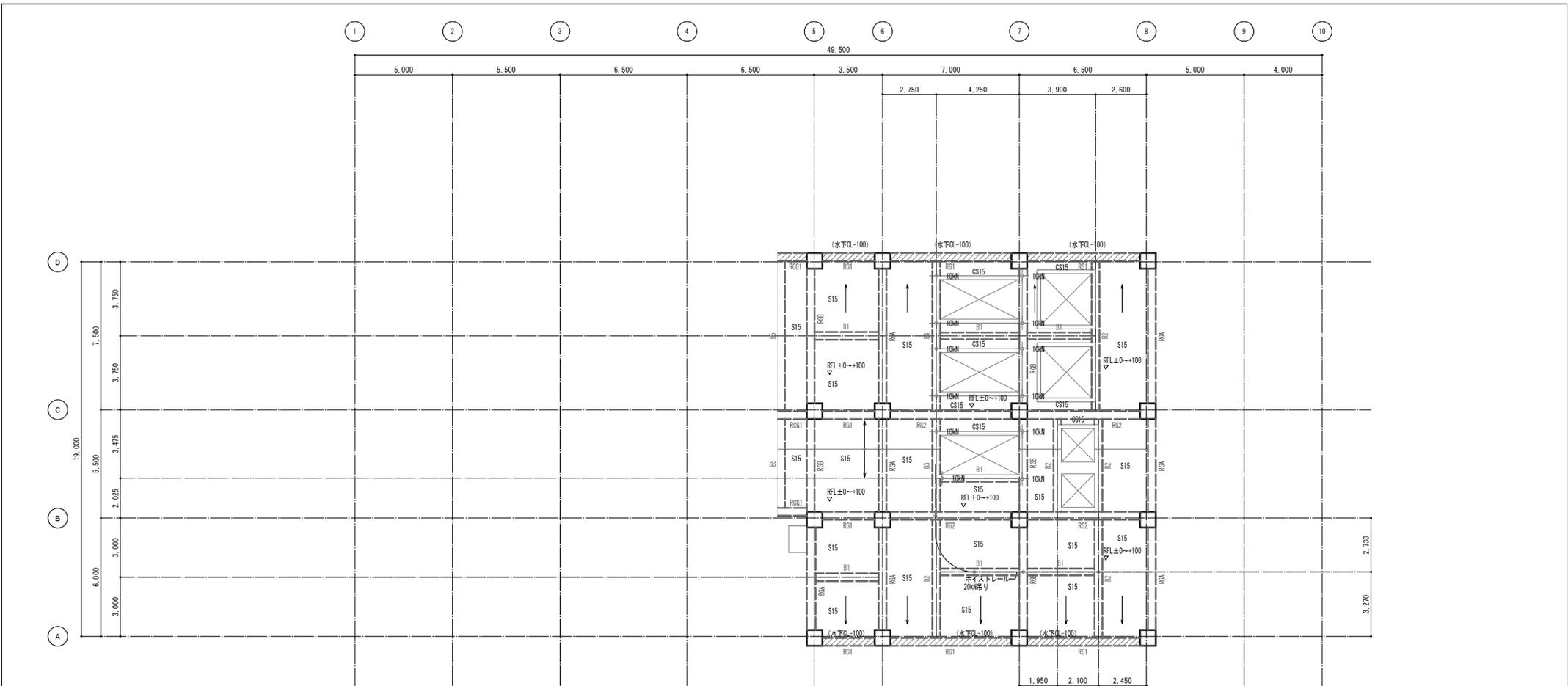


PH階図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
- 2 FL=49.800
  - は打増しを示す。
  - 印は20kN, 30kN用フックを示す
  - 概数鉄筋と定着を行うこととする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	PH階 伏図		
縮尺	1:100	図面番号	S-15
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

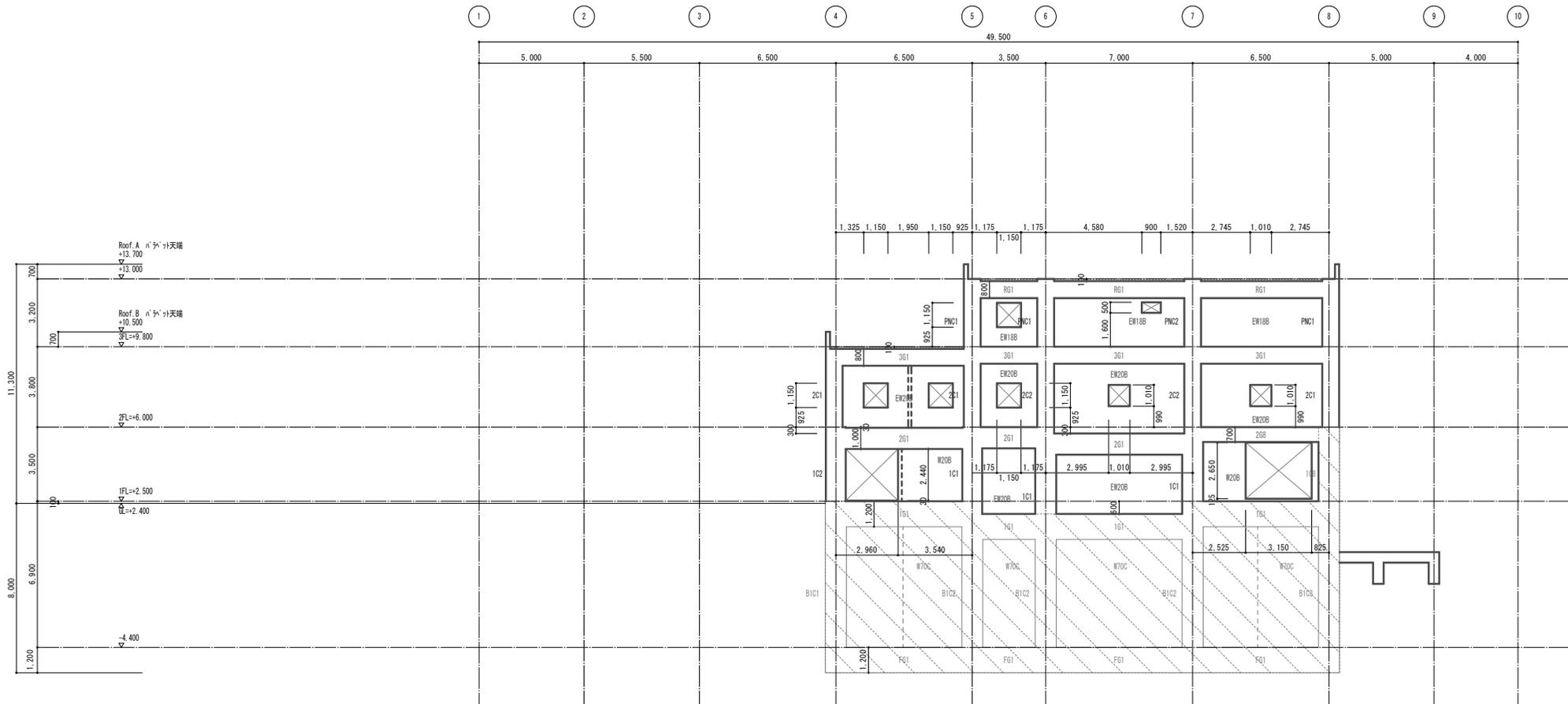


Roof A伏図 S-1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. Roof A 水下CL=+13.000
  2. [Symbol] 鉄打増しを示す
  3. 梁コンクリート天端は水勾配とする。
  4. 床版コンクリート天端は水勾配にそろえる
  5. +印は10kN吊フックを示す

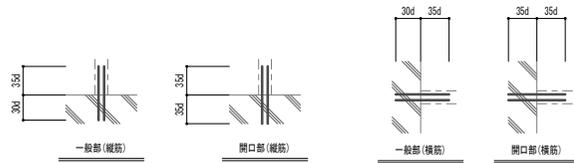
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	RF階 伏図		
縮尺	1:100	図面番号	S-16
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



A通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土不構造部を示す

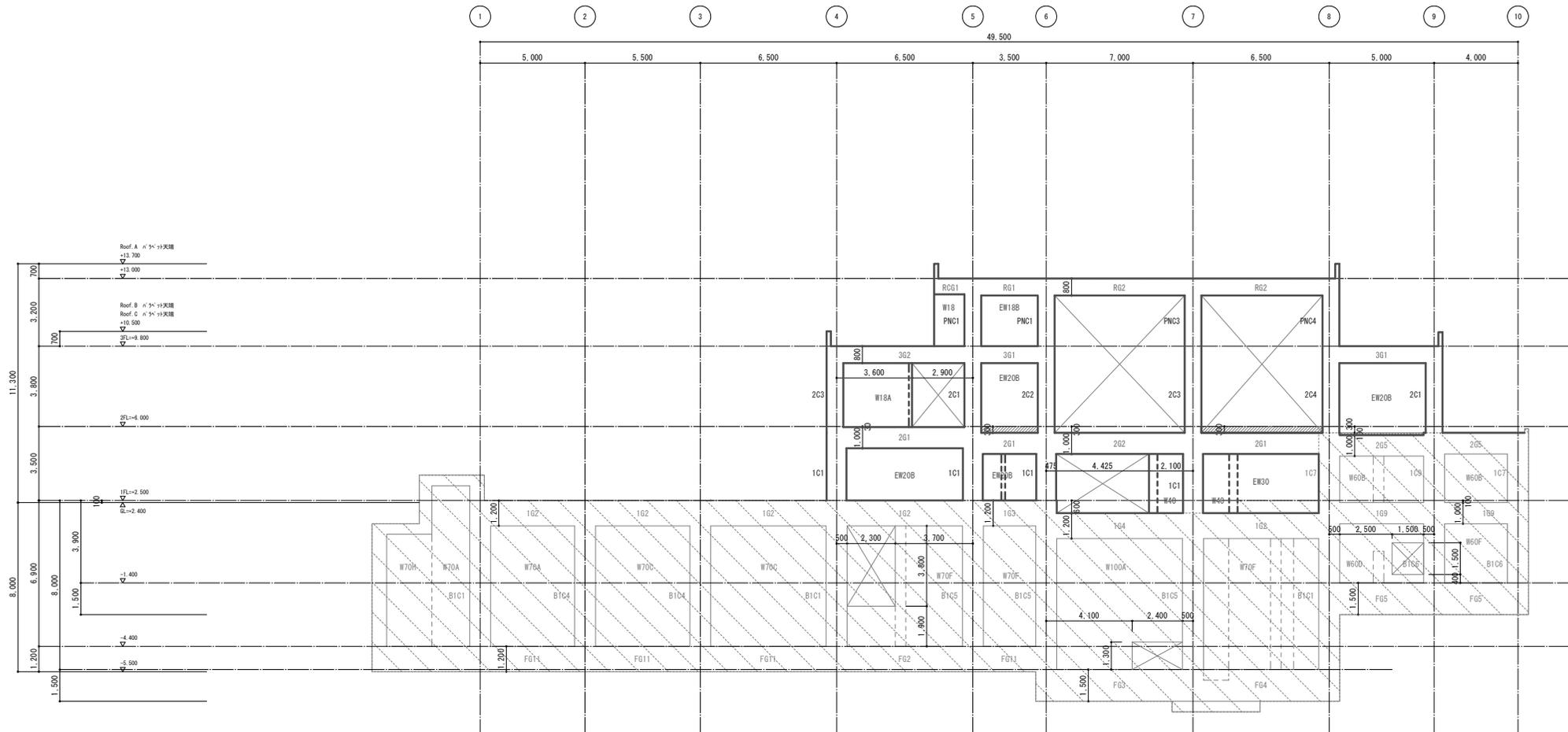


差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築記号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

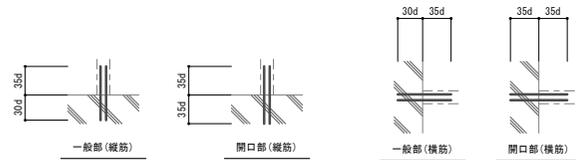
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	A通り軸組図	
縮尺	1:100	図面番号 S-17
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



B通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土木構造部を示す

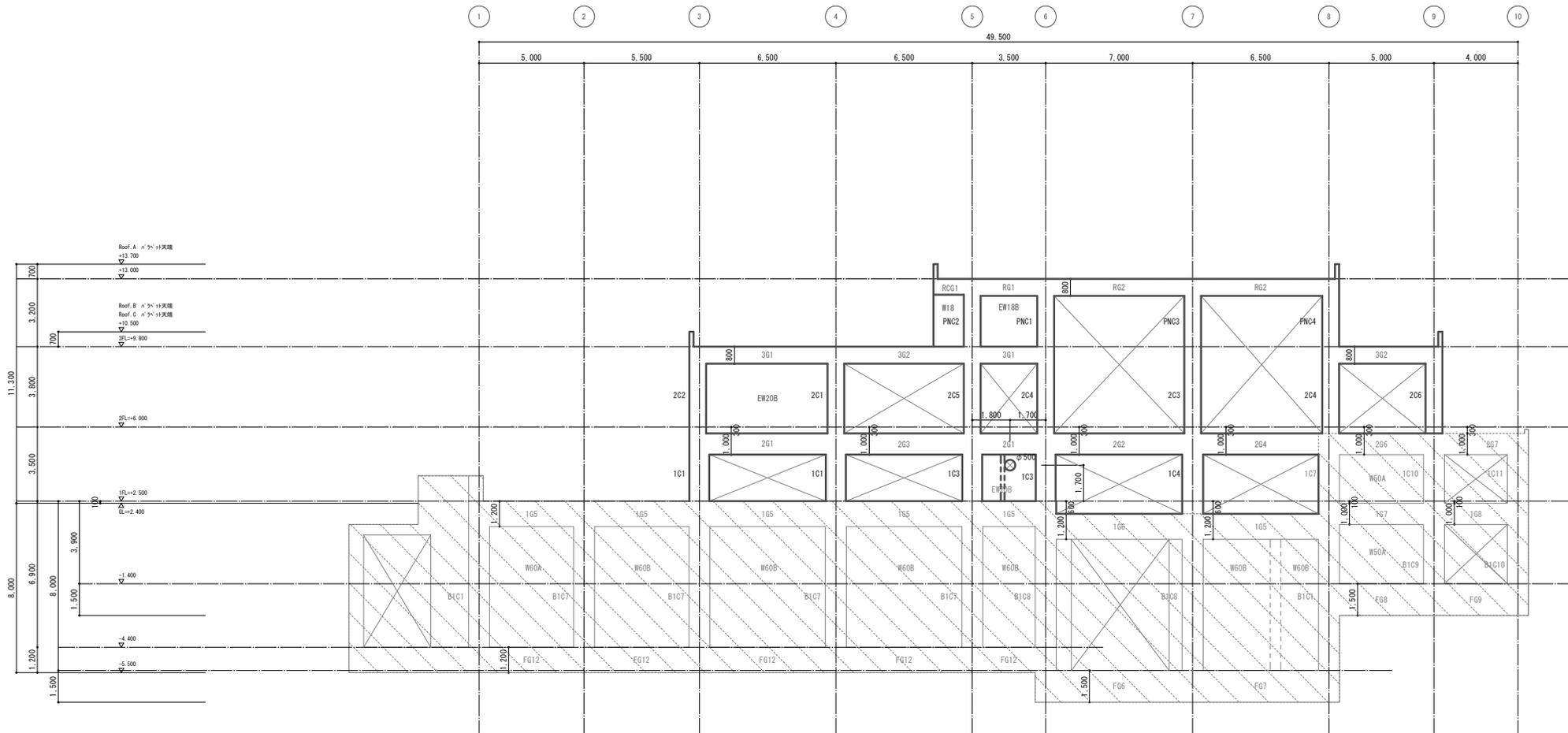


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
  2. 建築図符号及び配筋は「小書・壁・床版リスト」参照。

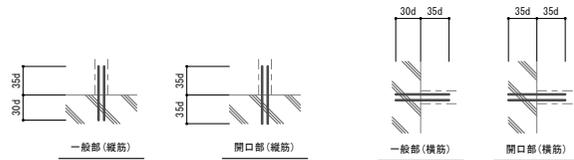
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	B通り軸組図		
縮尺	1:100	図面番号	S-18
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



C通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)  
 1. 柱は土床構造部を示す

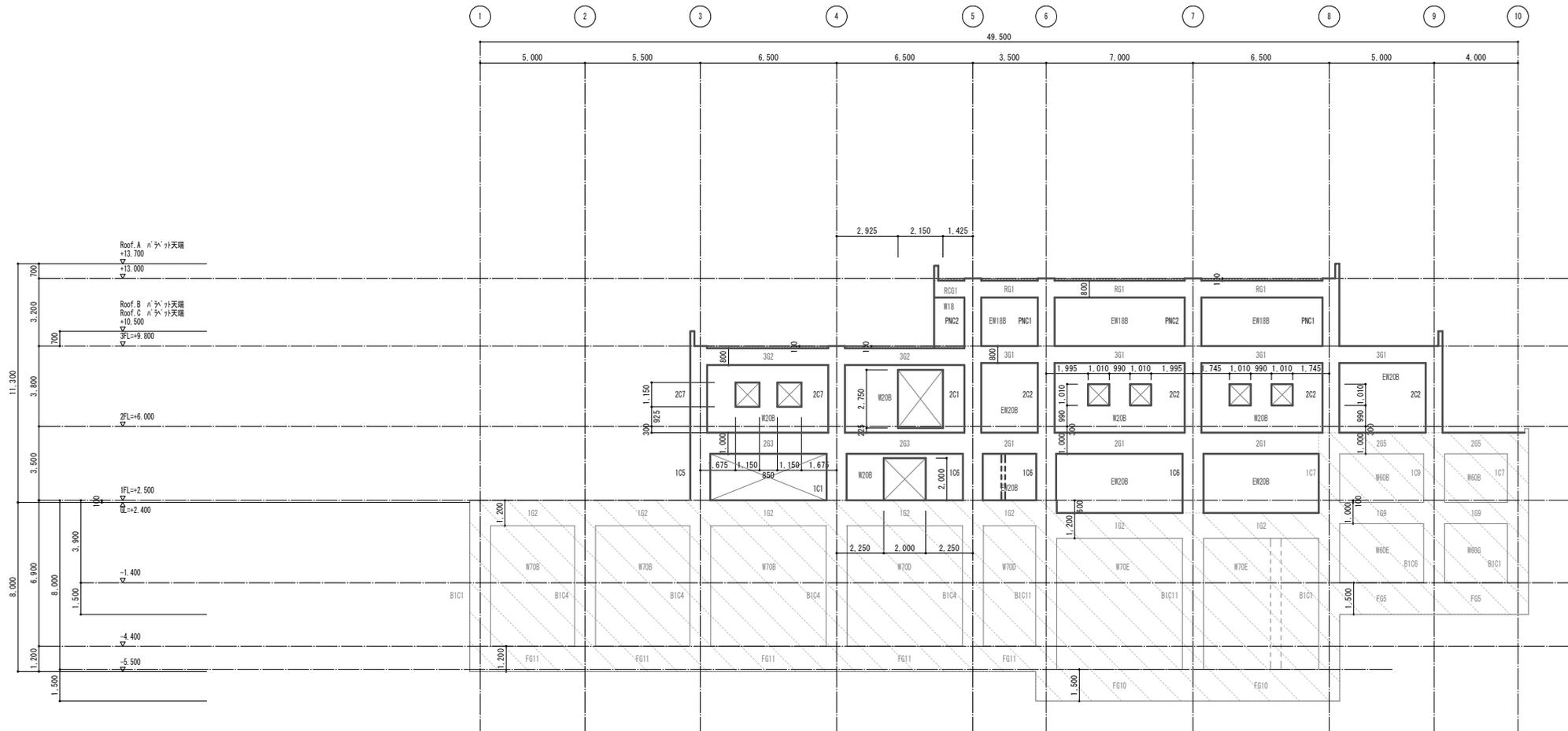


差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 筋量記号及び配筋は「小量・壁・床版リスト」参照。

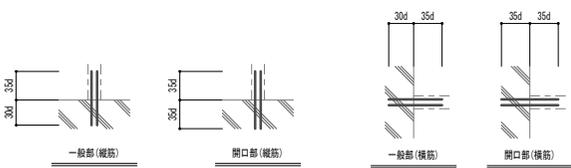
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	C通り軸組図		
縮尺	1:100	図面番号	S-19
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



D通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土木構造部を示す

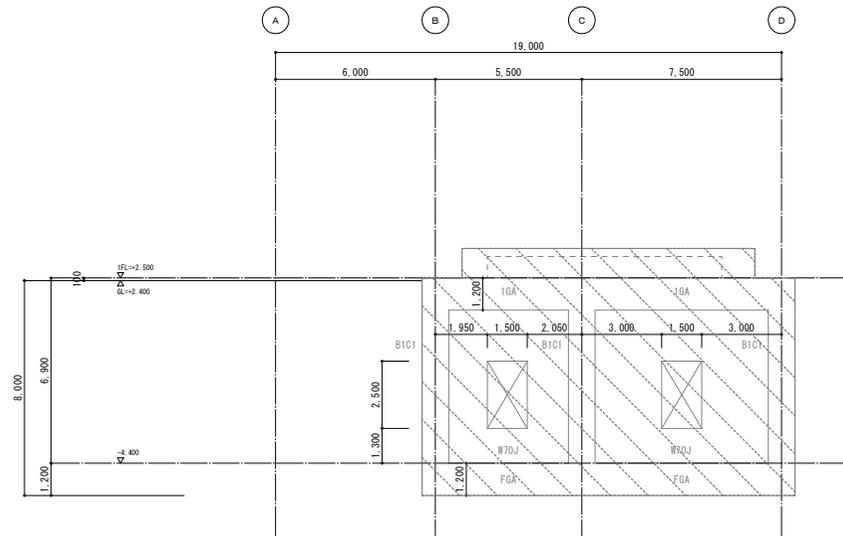


差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築図符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

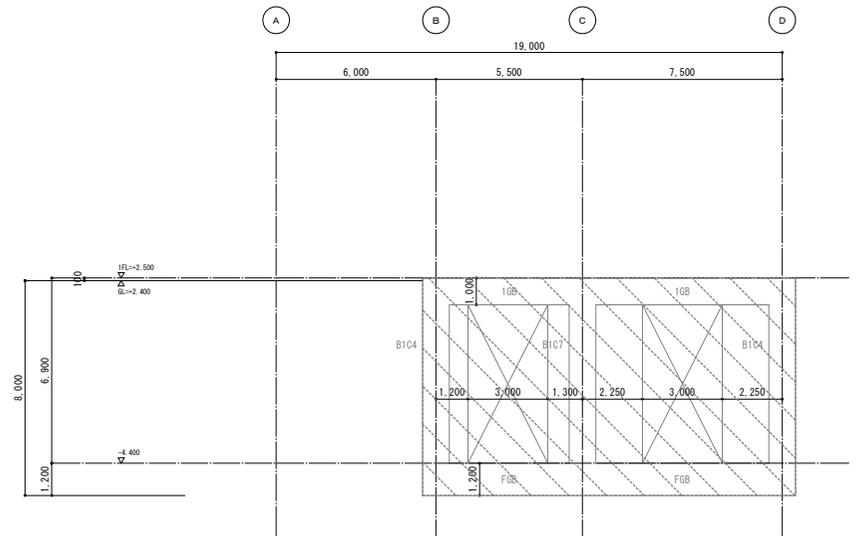
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	D通り軸組図
縮尺	1:100 図面番号 S-20
事業所名	津市下水道局下水道建設課



1通り軸組図 S=1/100

共通事項（特記なき限り）

1. は土木構造部を示す



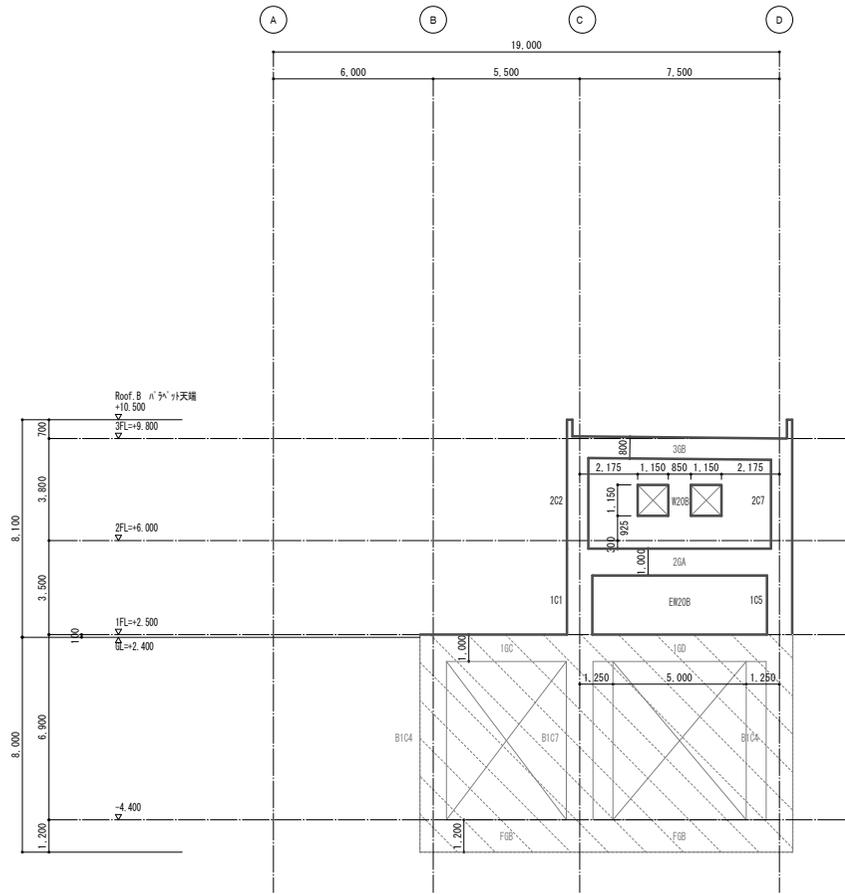
2通り軸組図 S=1/100

共通事項（特記なき限り）

1. は土木構造部を示す

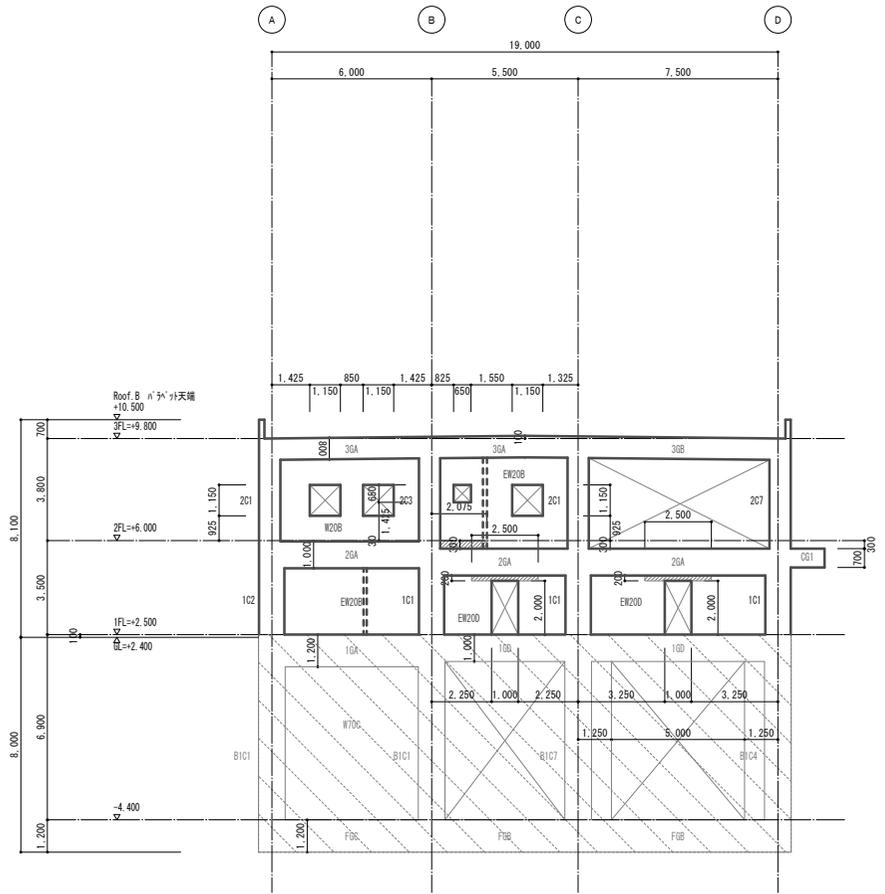
※土木工事施工済【参考図】  
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1・2通り軸組図 【参考図】		
縮尺	1:100	図面番号	S-21
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



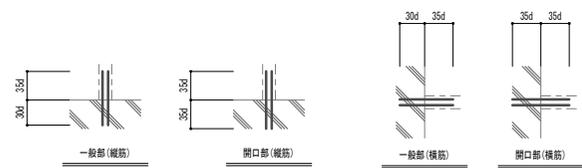
3通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)  
 1. は土木構造部を示す



4通り軸組図 S=1/100

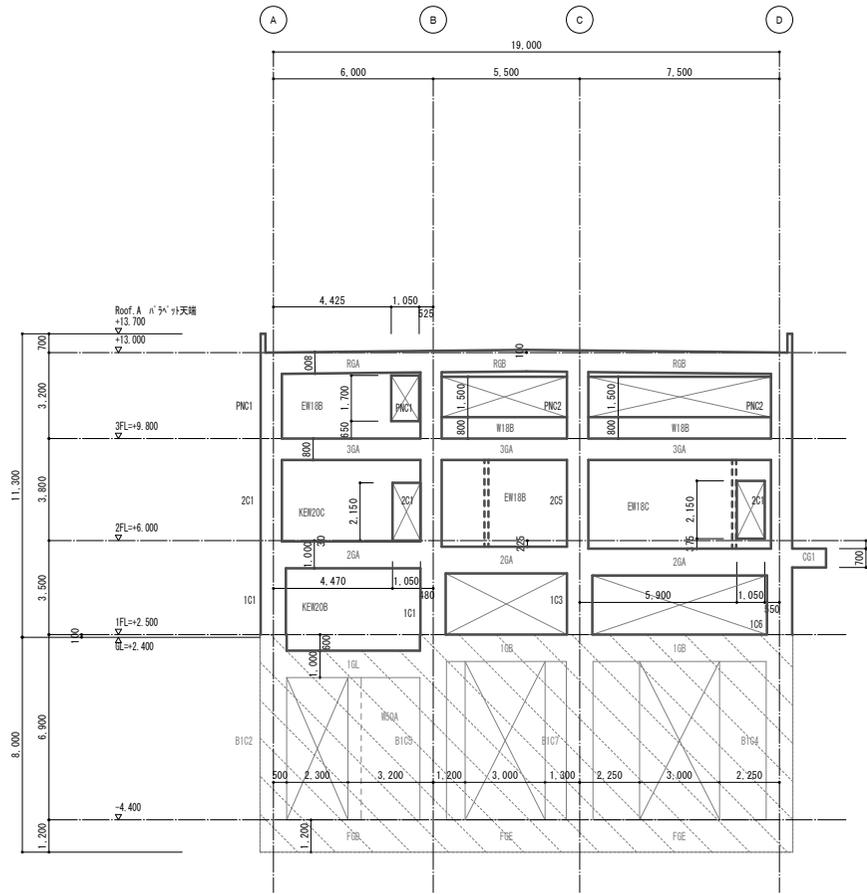
共通事項 (特記なき限り)  
 1. は打増しを示す  
 2. は土木構造部を示す



差し筋要領図  
 特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築表示符及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

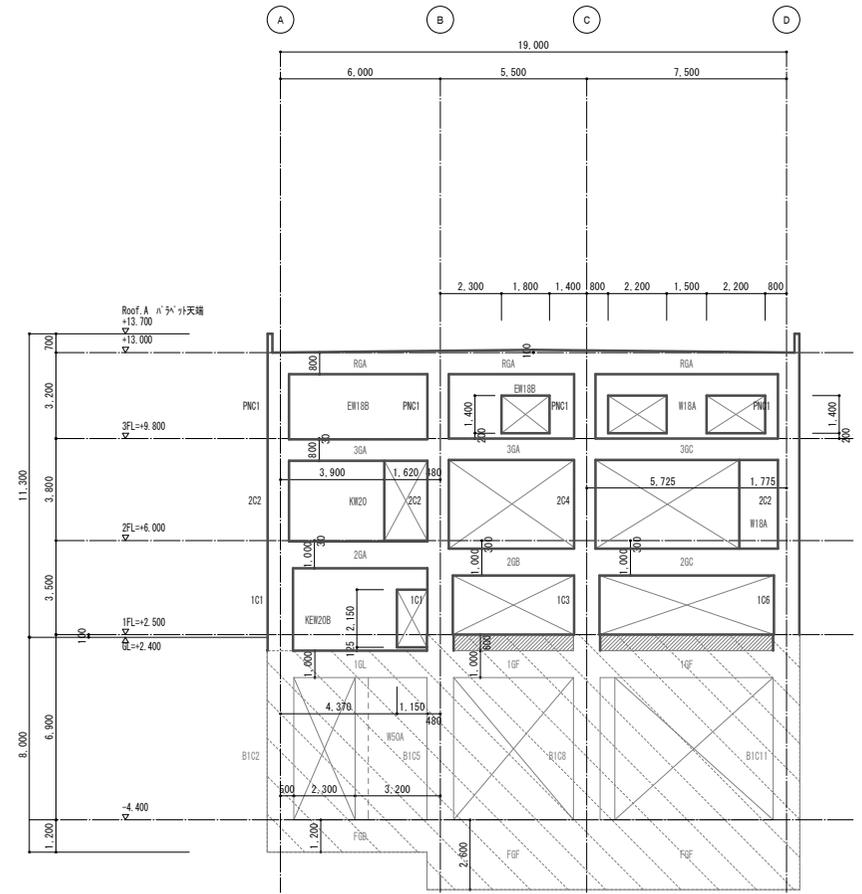
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	3・4通り軸組図
縮尺	1:100 図面番号 S-22
事業所名	津市下水道局下水道建設課



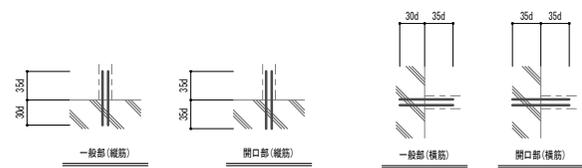
5通り軸組 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)  
 1. は土木構造部を示す



6通り軸組 S=1/100

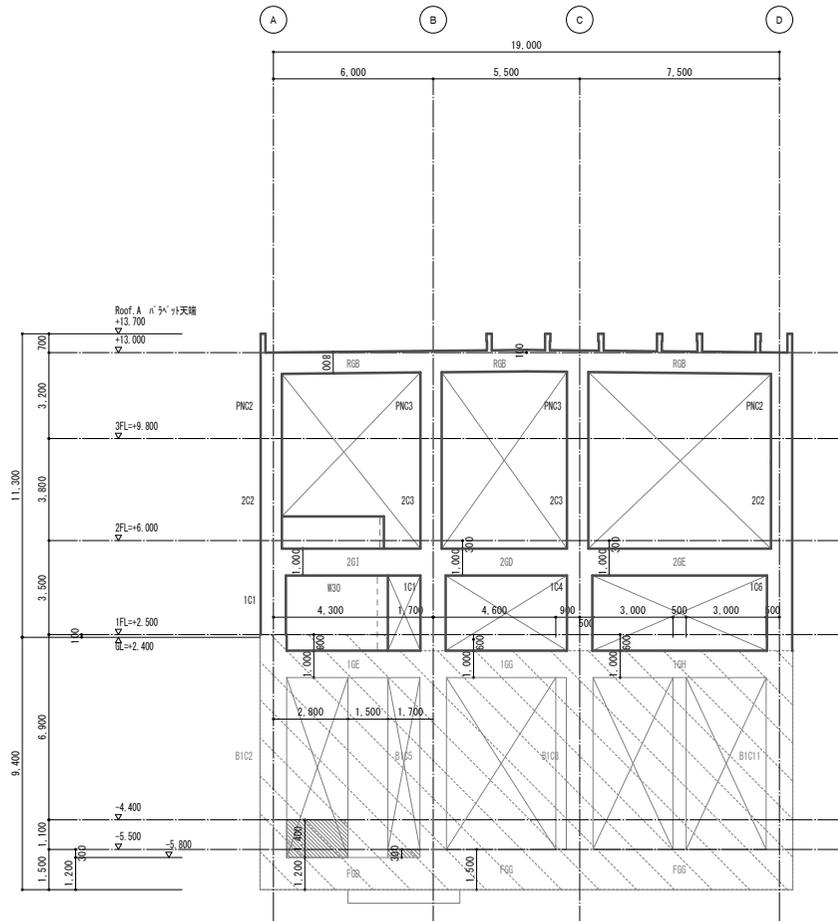
共通事項 (特記なき限り)  
 1. は打増しを示す  
 2. は土木構造部を示す



差し筋要領図  
 特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築図符号及び配筋は、「小梁・壁・床版リスト」参照。

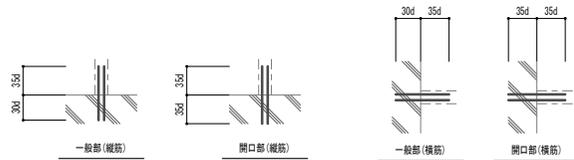
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	5・6通り軸組図
縮尺	1:100 図面番号 S-23
事業所名	津市下水道局下水道建設課



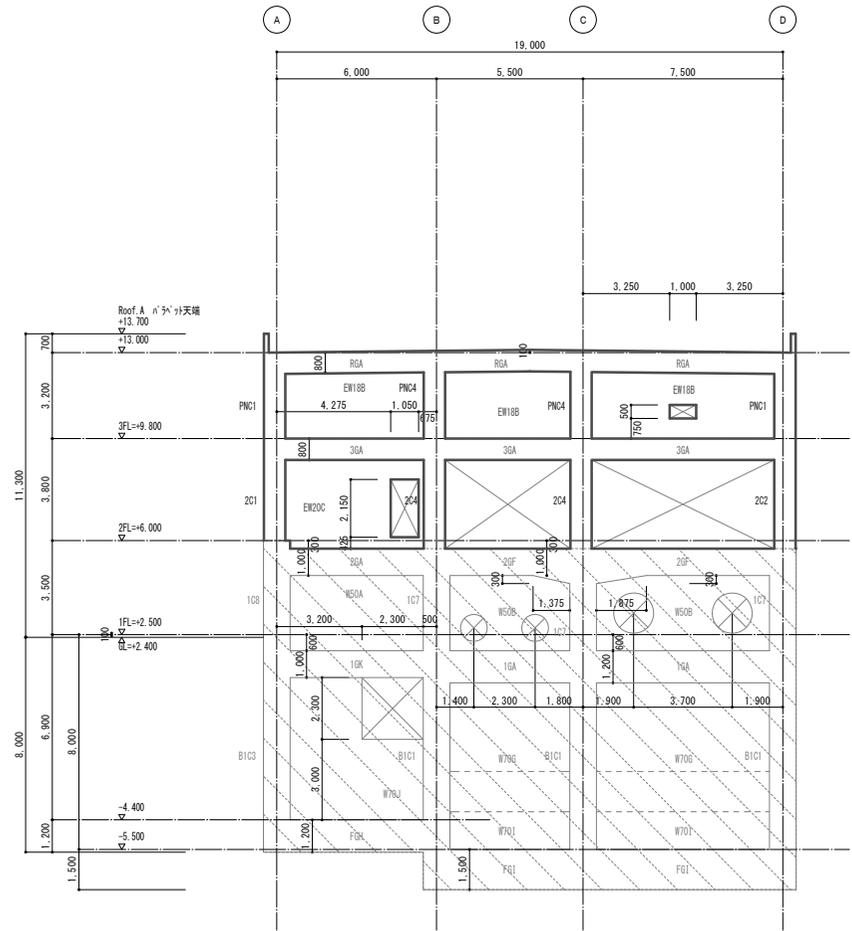
7通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土木構造部を示す



差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築番号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

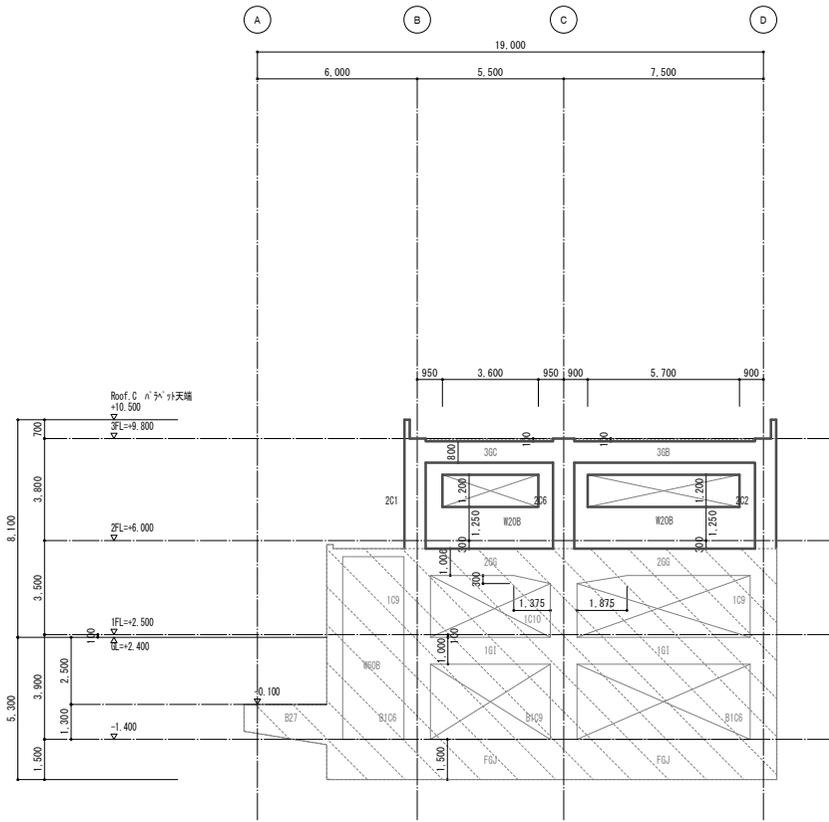


8通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は土木構造部を示す

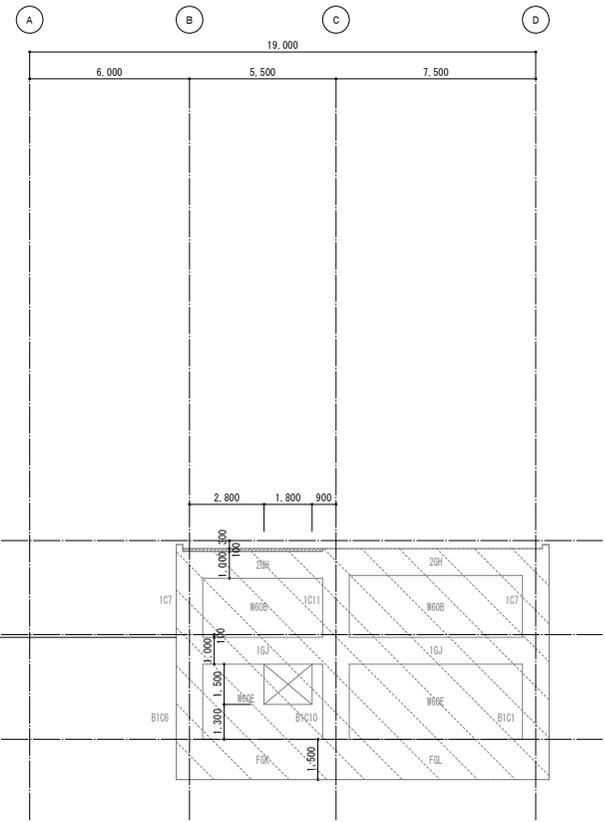
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	7・8通り軸組図
縮尺	1:100 図面番号 S-24
事業所名	津市下水道局下水道建設課



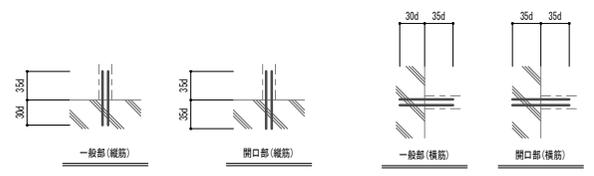
9通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土木構造部を示す



10通り軸組図 S=1/100

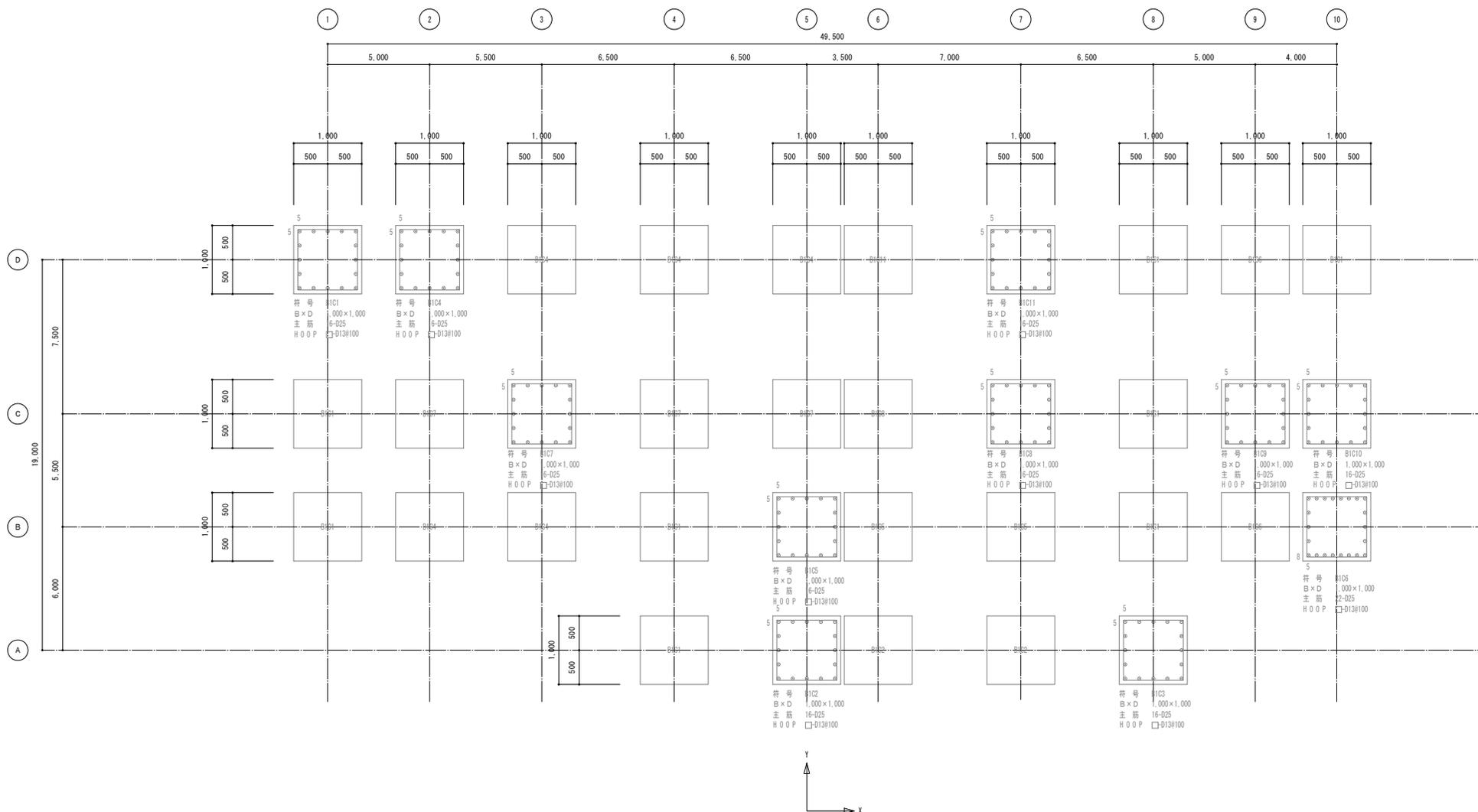
- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
  2. は土木構造部を示す



差し筋要領図  
 特記なき限り (共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築図符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

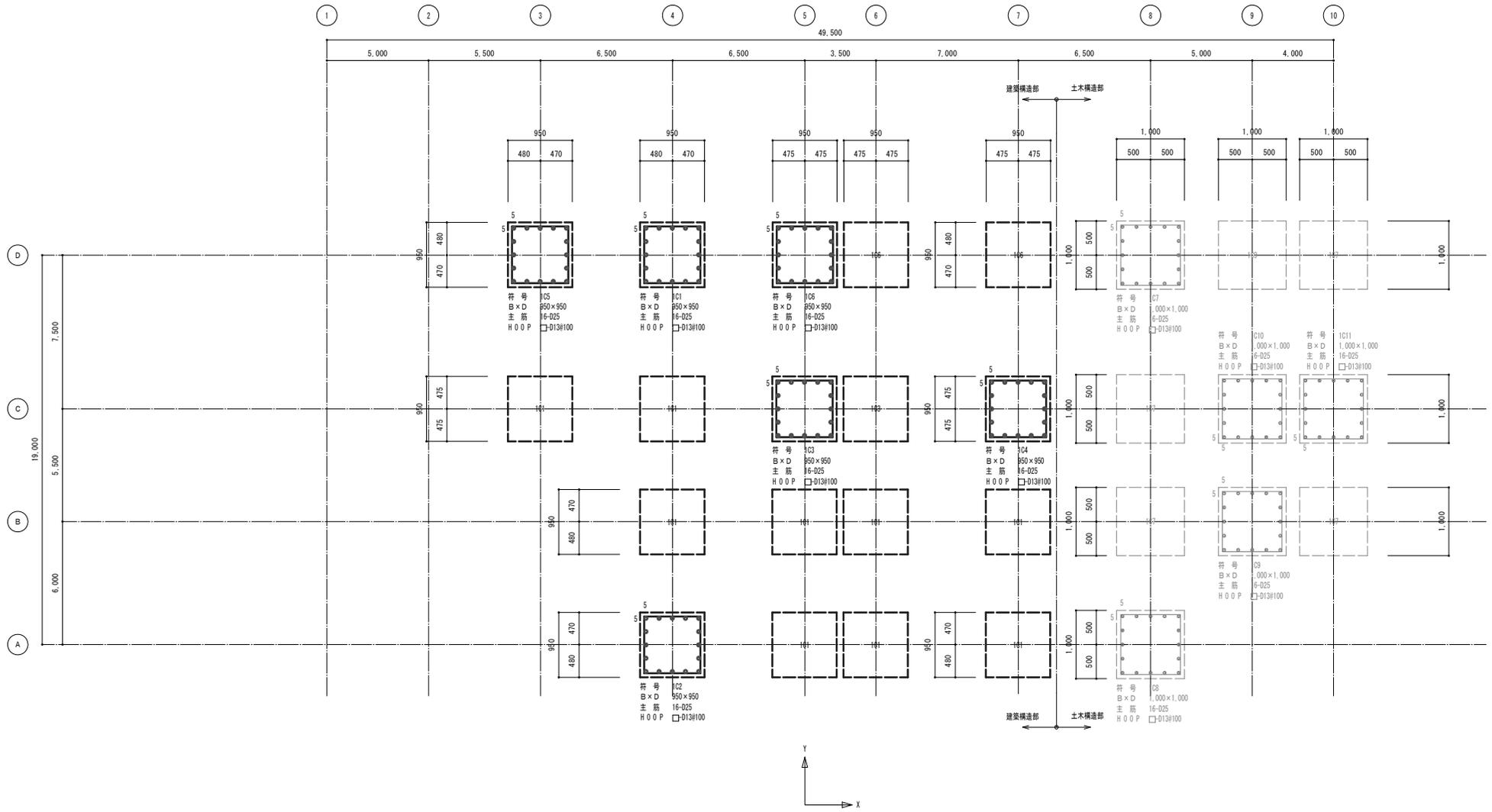
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	9・10通り軸組図		
縮尺	1:100	図面番号	S-25
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



水路部柱リスト 1/30

※土木工事施工済【参考図】  
 ※本図面はA1サイズを原寸とする。

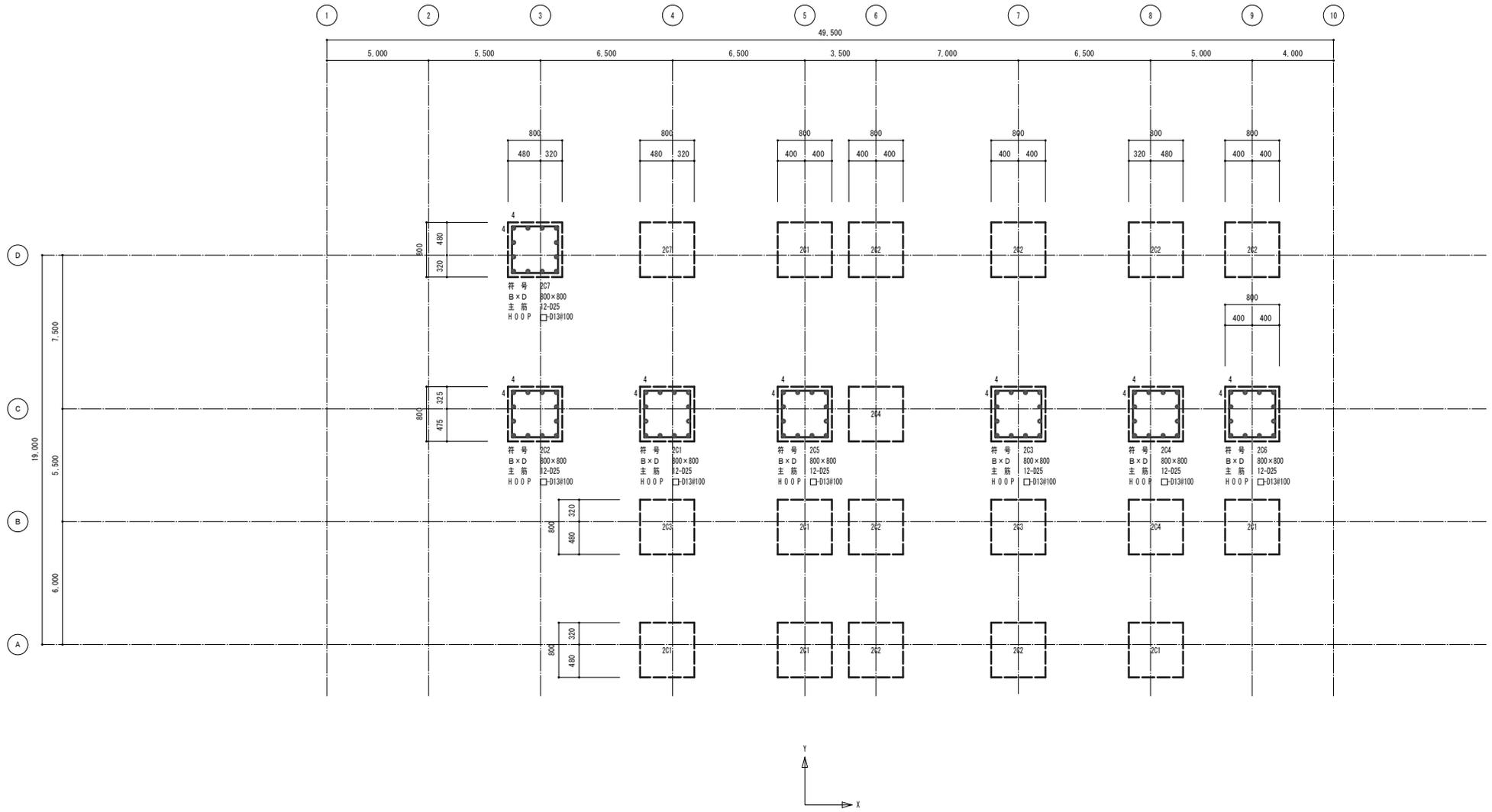
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水槽部 柱リスト 【参考図】
縮尺	1:100 図面番号 S-26
事業所名	津市下水道局下水道建設課



1階柱リスト 1/30

※土木工事施工済【参考図】  
 ※本図面はA1サイズを原寸とする。

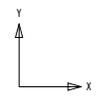
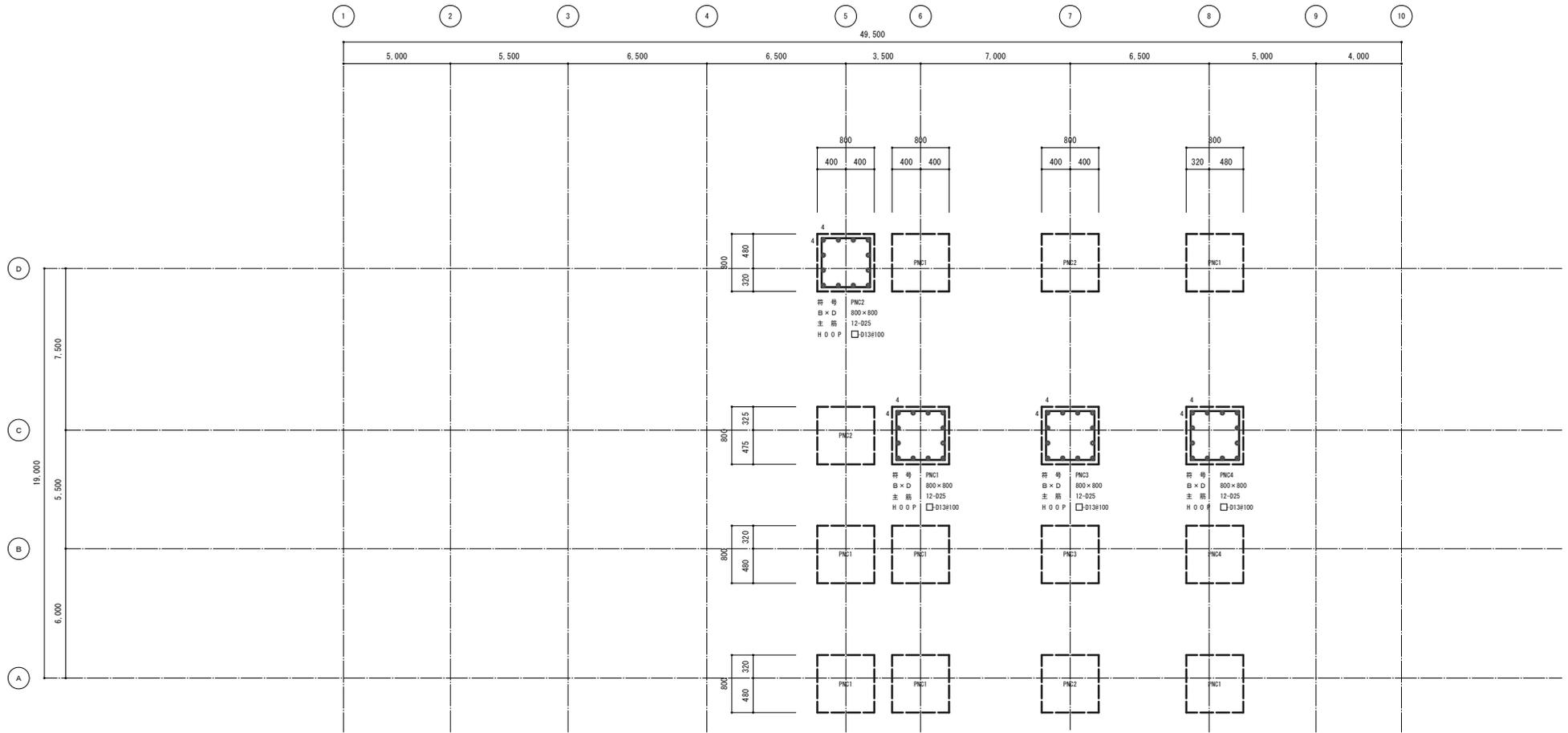
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階 柱リスト
縮尺	1:30 図面番号 S-27
事業所名	津市下水道局下水道建設課



  
 2階柱リスト 1/30

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	2階 柱リスト		
縮 尺	1:30	図面番号	S-28
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



PH柱リスト 1/30

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	PH階 柱リスト		
縮尺	1:30	図面番号	S-29
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

階	符号	R01		R02		R0A		R0B		R0G1						
		全断面		両端部	中央部	全断面		全断面		全断面						
2F	断面															
	B x D	400 x 800														
	上端筋	3-025		5-025	3-025	3-025		4-025		3-025						
	下端筋	3-025		3-025	3-025	3-025		4-025		3-025						
	スターラップ	□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200						
	腹筋	2-D10														
幅止筋	↖ -D10#1,000															
3F	符号	301		302		30A		30B		30C						
	位置	全断面														
	断面															
	B x D	400 x 800														
	上端筋	3-025		4-025	3-025	3-025		5-025		3-025						
	下端筋	3-025		3-025	3-025	3-025		4-025		3-025						
スターラップ	□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200							
腹筋	2-D10															
幅止筋	↖ -D10#1,000															
4F	符号	201		202		203		204		205		206		207		
	位置	全断面		全断面		全断面										
	断面															
	B x D	500 x 1,000		600 x 1,000		500 x 1,000		500 x 1,000								
	上端筋	4-025		4-025	4-025	4-025		4-025		5-025		4-025		4-025		
	下端筋	4-025		4-025	4-025	4-025		4-025		5-025		4-025		4-025		
	スターラップ	□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		
	腹筋	4-D10		4-D10		4-D10		4-D10		4-D13		4-D13		4-D13		
	幅止筋	↖ -D10#1,000		↖ -D10#1,000		↖ -D10#1,000		↖ -D10#1,000		↖ -D13#1,000		↖ -D13#1,000		↖ -D13#1,000		
	符号	208		20A		20B		20C		20D		20E				
	位置	全断面		全断面		全断面		C端部	中央部・D端部	B端部	中央部	C端部	C端部	中央部・D端部		
	断面															
B x D	400 x 700		500 x 1,000		500 x 1,000		700 x 1,000		500 x 1,000		500 x 1,000		700 x 1,000			
上端筋	3-025		4-025	6-025	6-025		9-029	7-029	6-025	4-025	8-025	9-029	7-029			
下端筋	3-025		4-025	4-025	4-025		6-029	6-029	4-025	4-025	4-025	6-029	6-029			
スターラップ	□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#200		□ 2-013#100		□ 2-013#200		□ 2-013#100					
腹筋	2-D13		4-D10													
幅止筋	↖ -D13#1,000		↖ -D10#1,000													

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	大梁リスト(1)		
縮尺	1:30	図面番号	S-30
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



階	符号	F61	F62	F63	F64	F65	F66	
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両端部	中央部
断面	断面							
	B x D	700 x 1,200	700 x 1,200	1,000 x 1,500	700 x 1,500	600 x 1,500	1,600 x 1,500	
	上端筋	6-D29	6-D29	10-D29	7-D29	6-D29	14-D29	14-D29
	下端筋	6-D29	6-D29	10-D29	7-D29	6-D29	23-D29	19-D29
	スターラップ	□ 2-D13#100	■ 4-D13#100	□ 2-D13#100	■ 3-D13#200	□ 2-D13#200	■ 14-D13#100	
	腹筋	6-D13	6-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	
幅止筋	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000		
BIF	符号	F67	F68	F69	F610	F611	F612	F6A
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面							
	B x D	600 x 1,500	500 x 1,500	1,000 x 1,500	700 x 1,500	700 x 1,200	600 x 1,200	700 x 1,200
	上端筋	6-D29	5-D29	5-D29	7-D29	6-D29	5-D29	6-D29
	下端筋	6-D29	5-D29	5-D29	7-D29	6-D29	5-D29	6-D29
スターラップ	□ 2-D13#200	□ 2-D13#200	■ 3-D13#100	□ 2-D13#100	□ 2-D13#100	□ 2-D13#200	□ 2-D13#100	
腹筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	3-D13	6-D13	6-D13	
幅止筋	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	
BIF	符号	F6B	F6C	F6D	F6E	F6F	F6G	F6H
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面							
	B x D	1,000 x 1,200	700 x 1,200	1,000 x 1,200	1,000 x 1,200	1,200 x 2,600	1,000 x 1,500	700 x 1,200
	上端筋	4-D29	6-D29	4-D29	4-D29	10-D29	5-D29	6-D29
	下端筋	6-D29	6-D29	7-D29	7-D29	10-D29	9-D29	6-D29
スターラップ	■ 3-D13#100	□ 2-D13#100	□ 2-D13#100	■ 3-D13#100	■ 6-D13#200	■ 2-D13#200	□ 2-D13#100	
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	14-D13	14-D13	8-D13	6-D13	
幅止筋	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	
BIF	符号	F6I	F6J	F6K	F6L			
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面			
	断面							
	B x D	700 x 1,500	1,400 x 1,500	600 x 1,500	600 x 1,500			
	上端筋	7-D29	14-D29	6-D29	6-D29			
	下端筋	7-D29	19-D29	6-D29	6-D29			
スターラップ	□ 2-D13#100	■ 9-D13#100	□ 2-D13#200	□ 2-D13#200				
腹筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13				
幅止筋	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000	↖ -D13#1,000				

※土木工事施工済【参考図】  
 ※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	大梁リスト(3) 【参考図】
縮尺	1:30 図面番号 S-32
事業所名	津市下水道局下水道建設課

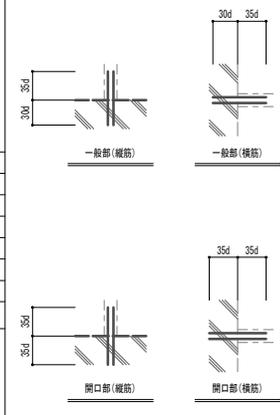
符 号	B1		B2		B3		B4			B5		B6		B7		
位 置	全断面		全断面		B端部・中央部	C端部	C端部	中央部	D端部	内端部	外端部・中央部	3.5端部・中央部	4端部	全断面		
断 面																
B × D	350×600		400×750		400×750		400×750			350×600		400×750		300×600		
上 端 筋	3-D19		3-D22		3-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D19	3-D19	3-D22	4-D22	3-D19		
下 端 筋	3-D19		3-D22		3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D19		
スターラップ	□ 2-D10H200		□ 2-D13H200		□ 2-D13H200		□ 2-D13H200			□ 2-D10H200		□ 2-D13H200		□ 2-D10H200		
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		
幅 止 筋	↷ -D10H1000		↷ -D10H1000		↷ -D10H1000		↷ -D10H1000			↷ -D10H1000		↷ -D10H1000		↷ -D10H1000		
符 号	B8		B9		B10		B11		B12			B13			B14	
位 置	全断面		全断面		両端部	中央部	5端部・中央部	6端部	6端部	中央部	7端部	6端部	中央部	7端部	両端部	中央部
断 面																
B × D	400×700		400×900		400×900		400×900		450×900			500×900			400×800	
上 端 筋	3-D22		4-D22		3-D25	3-D25	3-D25	6-D25	7-D25	5-D25	5-D25	8-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25
下 端 筋	3-D22		4-D22		3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D25	7-D25	4-D25	3-D25	5-D25
スターラップ	□ 2-D13H200		□ 2-D13H200		□ 2-D13H200		□ 2-D13H200		□ 3-D13H200			□ 3-D13H200			□ 2-D13H200	
腹 筋	2-D10		4-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10			2-D10	
幅 止 筋	↷ -D10H1000			↷ -D10H1000			↷ -D10H1000									
符 号	B15		B16		B17		B18		B19		B20		B21			
位 置	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面		中央部・5端部	6端部	両端部	中央部	全断面		全断面			
断 面																
B × D	400×900		400×900		400×600		400×900		400×700		400×600		400×800			
上 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D19		4-D25	6-D25	3-D25	3-D25	3-D19		3-D22			
下 端 筋	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	3-D19		4-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D19		3-D22			
スターラップ	□ 2-D13H200		□ 2-D13H200		□ 2-D13H200											
腹 筋	4-D10		4-D10		2-D10		4-D10		2-D10		2-D13		2-D13			
幅 止 筋	↷ -D10H1000		↷ -D13H1000		↷ -D13H1000											
符 号	B22		B23		B24		B25		B26		G01					
位 置	全断面		両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面		D端部	中央部・先端				
断 面																
B × D	400×800		500×900		500×900		500×900		400×800		500×700					
上 端 筋	3-D22		3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25	3-D19		7-D22	5-D22				
下 端 筋	4-D22		3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	4-D25	7-D25	3-D19		3-D22	3-D22				
スターラップ	□ 2-D13H200		□ 2-D13H200													
腹 筋	2-D13		4-D13		4-D13		4-D13		2-D13		2-D10					
幅 止 筋	↷ -D13H1000		↷ -D10H1000													

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	小梁リスト
縮 尺	1:30 図面番号 S-33
事業所名	津市下水道局下水道建設課

壁リスト 1/30

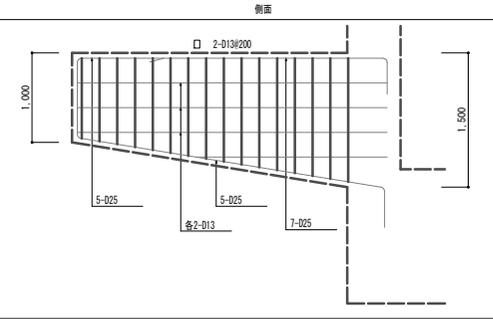
符 号	W15	W18	W18B	EW18B	EW18C
断 面					
壁 厚	150	180	180	180	180
縦 筋	D10H150シングル	D10H200ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル
横 筋	D10H150シングル	D10H200ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	横	1-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	斜め	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13
巾止め	-	↗ -D10H1000	↗ -D10H900	↗ -D10H900	↗ -D10H900
符 号	W20A	W20B	EW20B	EW20C	EW20D
断 面					
壁 厚	200	200	200	200	200
縦 筋	D10H200ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル
横 筋	D10H200ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	横	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	斜め	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
巾止め	↗ -D10H1000	↗ -D10H900	↗ -D10H900	↗ -D10H900	↗ -D10H900
符 号	KW20	KEW20B	KEW20C		
断 面					
壁 厚	200	200	200		
縦 筋	D13H200ダブル	D13H200ダブル	D13H200ダブル		
横 筋	D10H200ダブル	D10H150ダブル	D10H150ダブル		
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	4-D16	
	横	4-D13	4-D13	4-D16	
	斜め	2-D13	2-D13	2-D13	
巾止め	↗ -D10H900	↗ -D10H900			
符 号	N30	EW30	N40		
断 面					
壁 厚	300	300	400		
縦 筋	D16H200ダブル	D16H200ダブル	D16H200ダブル		
横 筋	D16H200ダブル	D16H200ダブル	D16H200ダブル		
開口部 補強筋	縦	4-D19	4-D19	-	
	横	4-D19	4-D19	-	
	斜め	2-D19	2-D19	-	
巾止め	↗ -D10H1000	↗ -D10H1000	↗ -D10H1000		



差し筋要領図  
 特記なき限り(共通事項)  
 1. 開口位置は、建築図を参照。  
 2. 建築壁符号及び配筋は上記「壁リスト」参照。

小梁リスト 1/30

符 号	B27	
位 置	A端部側	B端部側
断 面		
B × D	500 × 1000	500 × 1500
上 端 筋	5-D25	7-D25
下 端 筋	5-D25	5-D25
スターラップ	□ 2-D13H200	
腹 筋	4~8-D13	
幅 止 筋	↗ -D13H1000	
符 号	B28	
位 置	全断面	
断 面		
B × D	400 × 700	
上 端 筋	3-D19	
下 端 筋	3-D19	
スターラップ	□ 2-D13H200	
腹 筋	2-D13	
幅 止 筋	↗ -D13H1000	



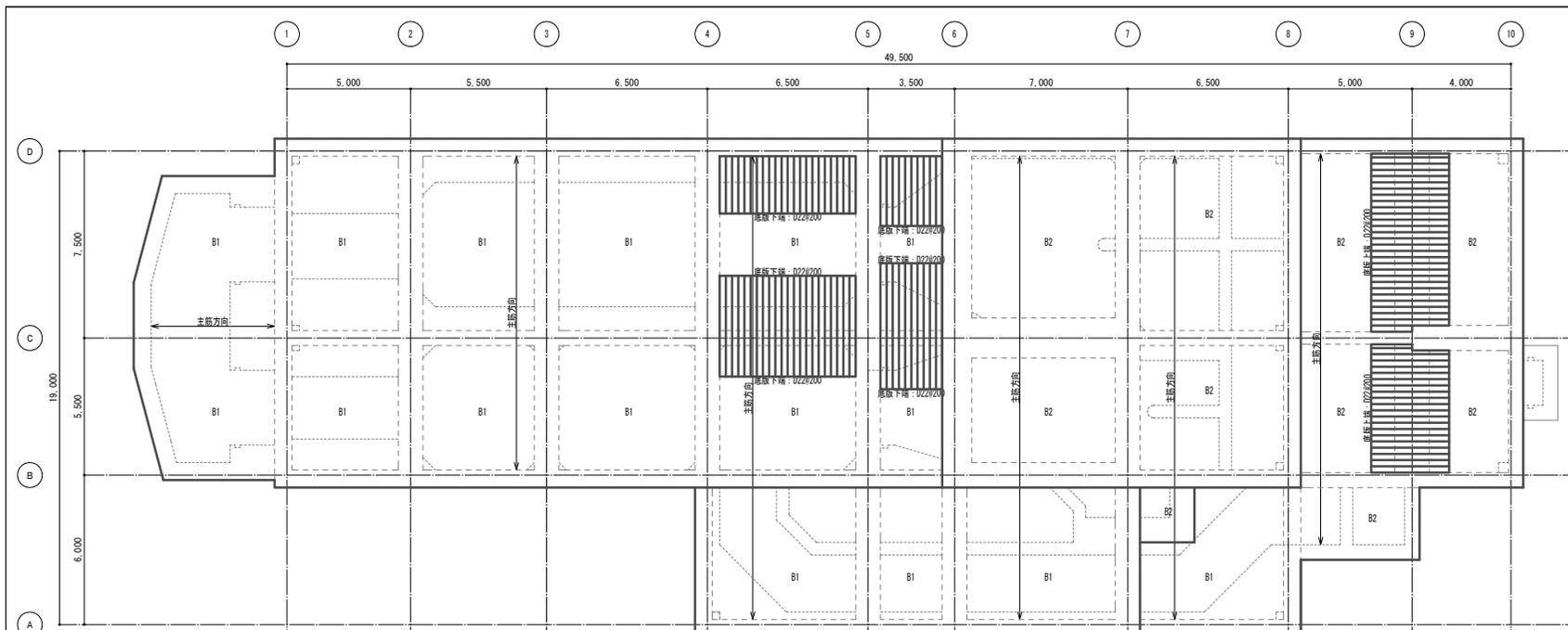
床版リスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向(主筋)		長辺方向(配力筋)		備 考	
			端 部	中央部	端 部	中央部		
S15	150		上端筋	D10013H200	D10013H200	D10013H200	D10013H200	
			下端筋	D10013H200	D10013H200	D10013H200	D10013H200	
S20A	200		上端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
			下端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
S20B	200		上端筋	D13H200	D13H200	D10013H200	D10013H200	
			下端筋	D13H200	D13H200	D10013H200	D10013H200	
CS15	150		上端筋	D13H200	D13H200	D10013H200	D10013H200	
			下端筋	D10013H200	D10013H200	D10013H200	D10013H200	
S40	400		上端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
			下端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
S11	300		上端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
			下端筋	D13H200	D13H200	D13H200	D13H200	
S12	700		上端筋	D19H200	D19H200	D19H200	D19H200	
			下端筋	D19H200	D19H200	D19H200	D19H200	
S13	400		上端筋	D16H200	D16H200	D16H200	D16H200	
			下端筋	D16H200	D16H200	D16H200	D16H200	
S14	300		上端筋	D16H200	D16H200	D16H200	D16H200	
			下端筋	D16H200	D16H200	D16H200	D16H200	
S50	500		上端筋	D19H200	D19H200	D19H200	D19H200	
			下端筋	D19H200	D19H200	D19H200	D19H200	

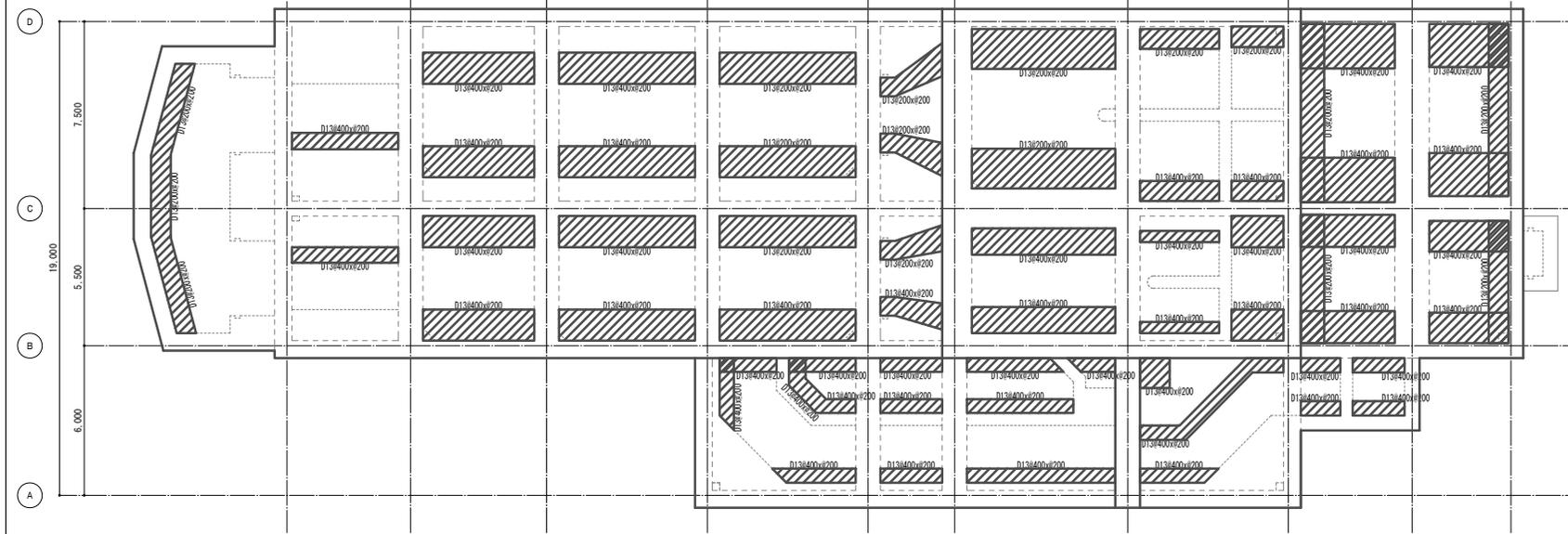
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	壁・小梁・床版リスト
縮 尺	1:30 図面番号 S-34
事業所名	津市下水道局下水道建設課





主筋案内図 S=1/100



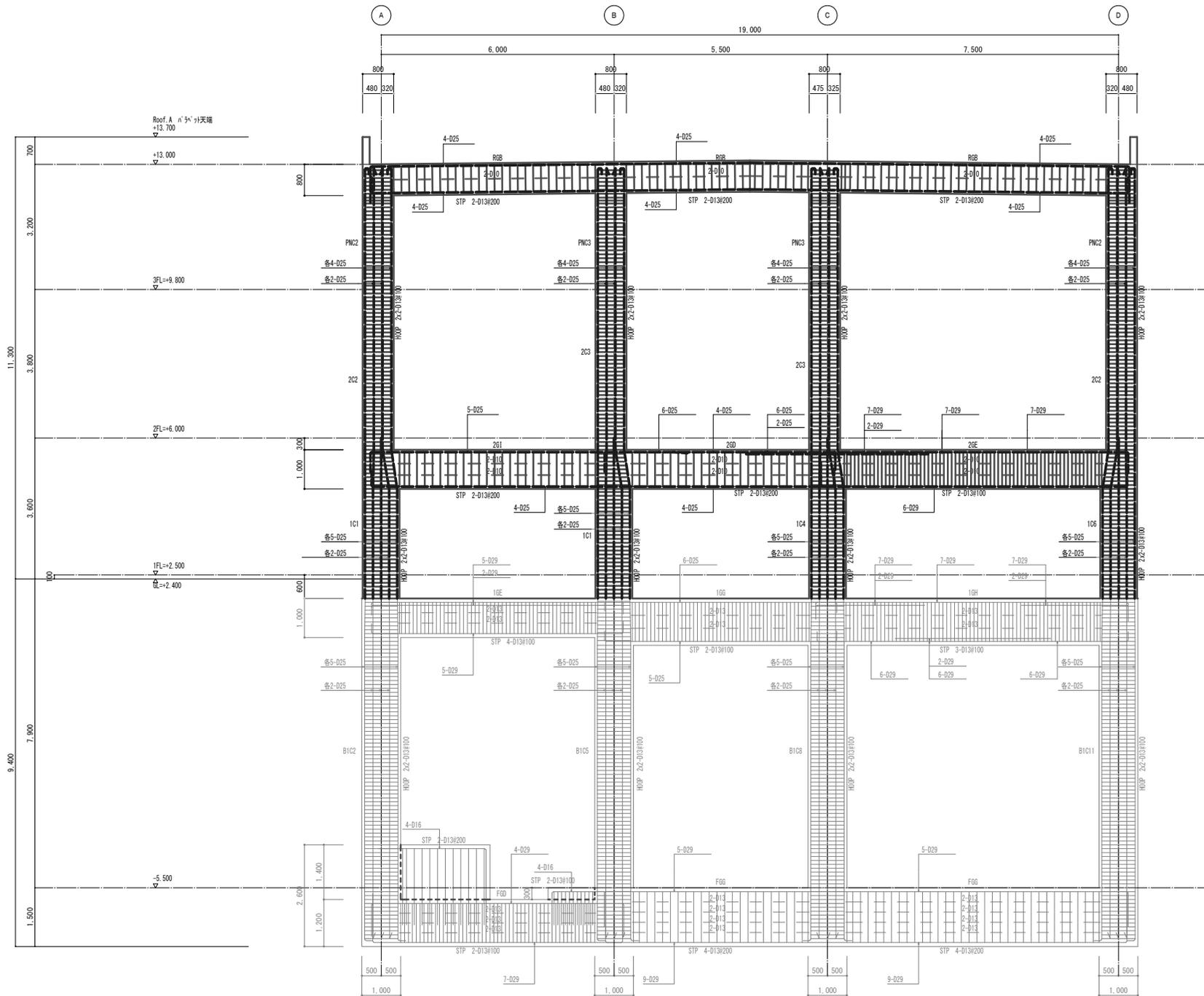
せん断補強筋案内図 S=1/100

底板リスト

符号	板厚	位置	主筋方向	配筋方向
B1	1200	上端筋	D25@200	D25@200
		下端筋	D25@200	D25@200
B2	1500	上端筋	D29@200	D29@200
		下端筋	D29@200	D29@200

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	底板リスト		
縮尺	1:100	図面番号	S-36
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

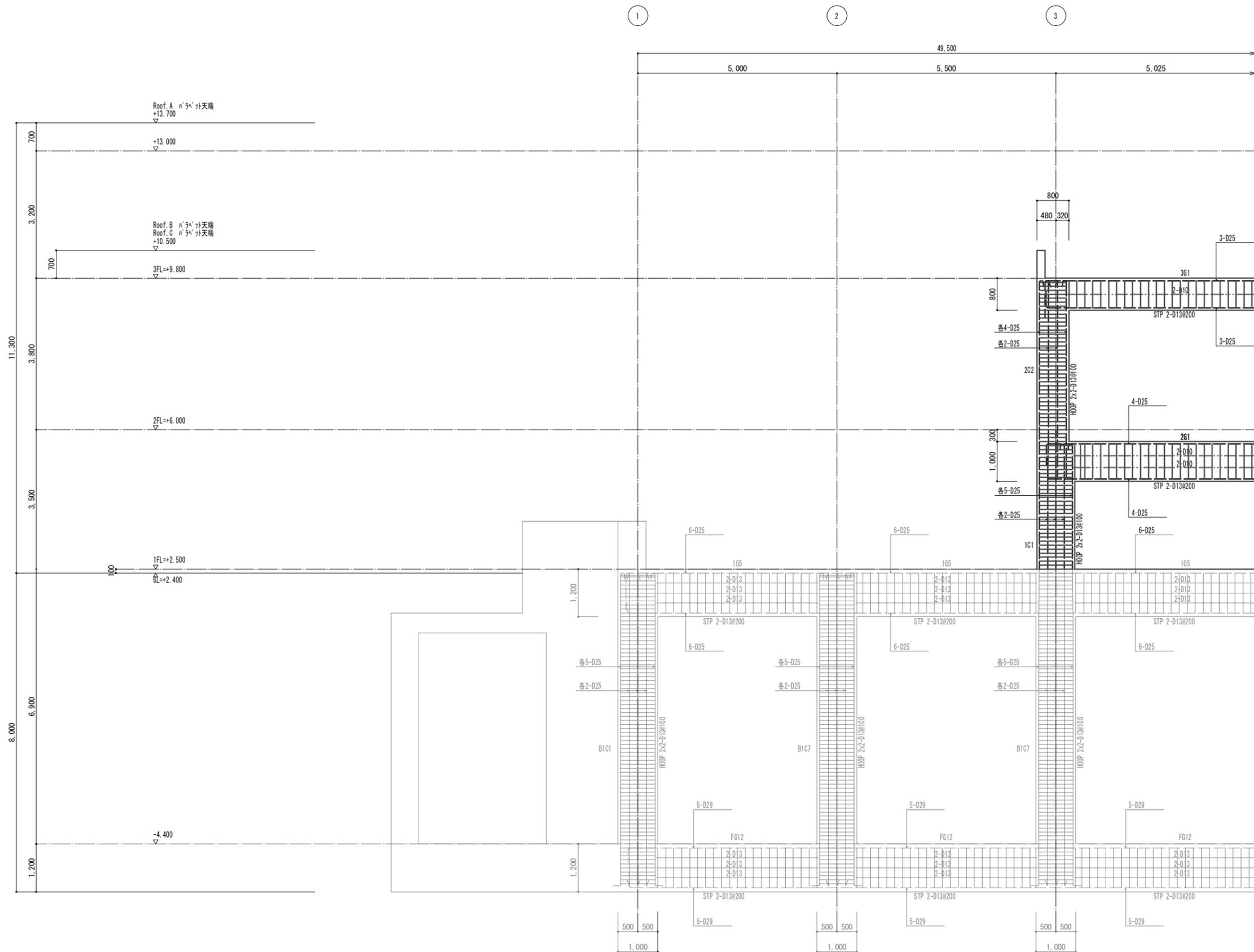


7通りラーメン図 S=1/50

共通事項 (特記なき限り)  
 1. 柱主筋のR層柱頭部は全頭フックとする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	7通りラーメン図		
縮尺	1:50	図面番号	S-37
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

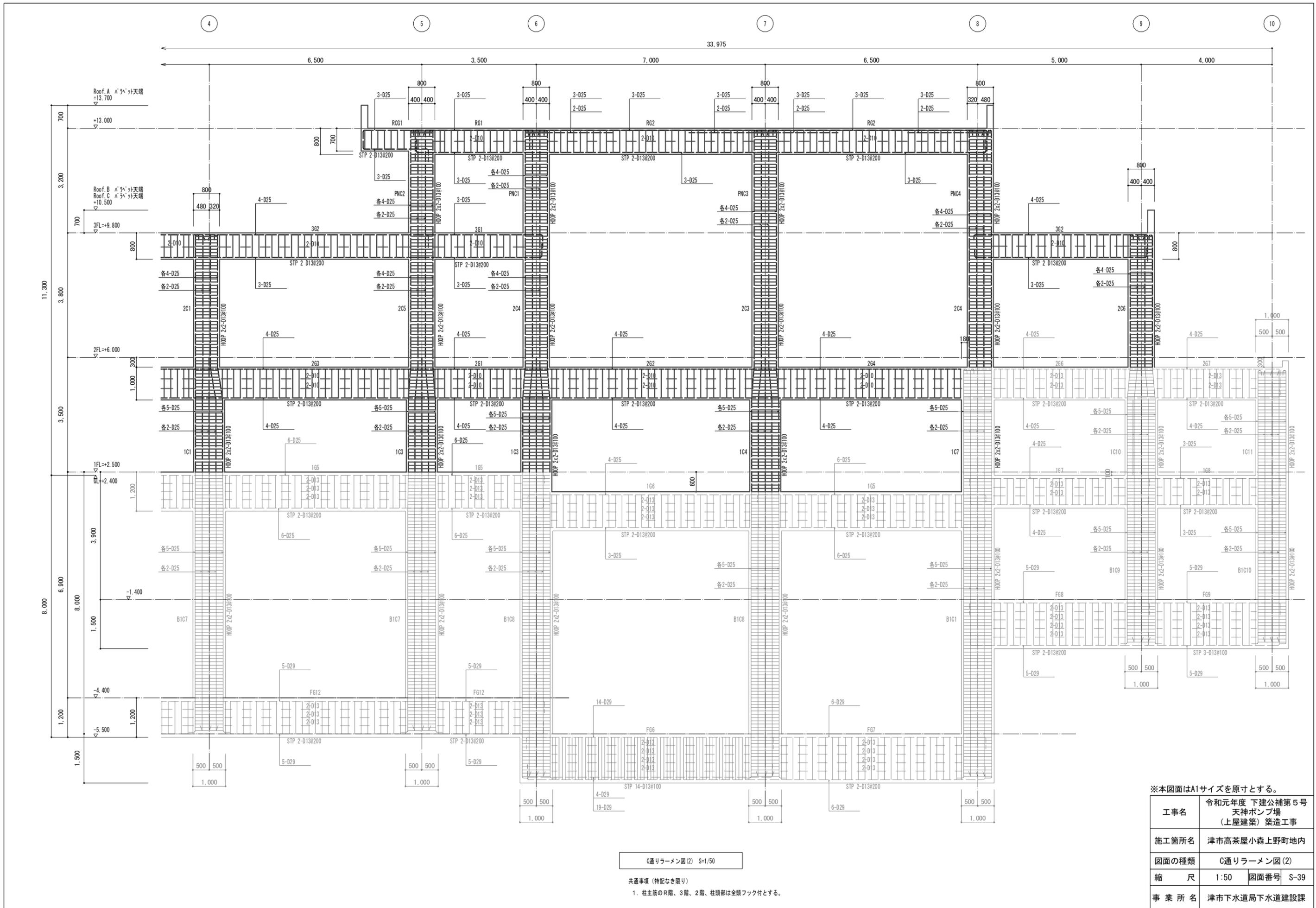


C通りラーメン図(1) S=1/50

共通事項 (特記なき限り)  
 1. 柱主筋の3階柱頭部は全頭フック付とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	C通りラーメン図(1)		
縮尺	1:50	図面番号	S-38
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

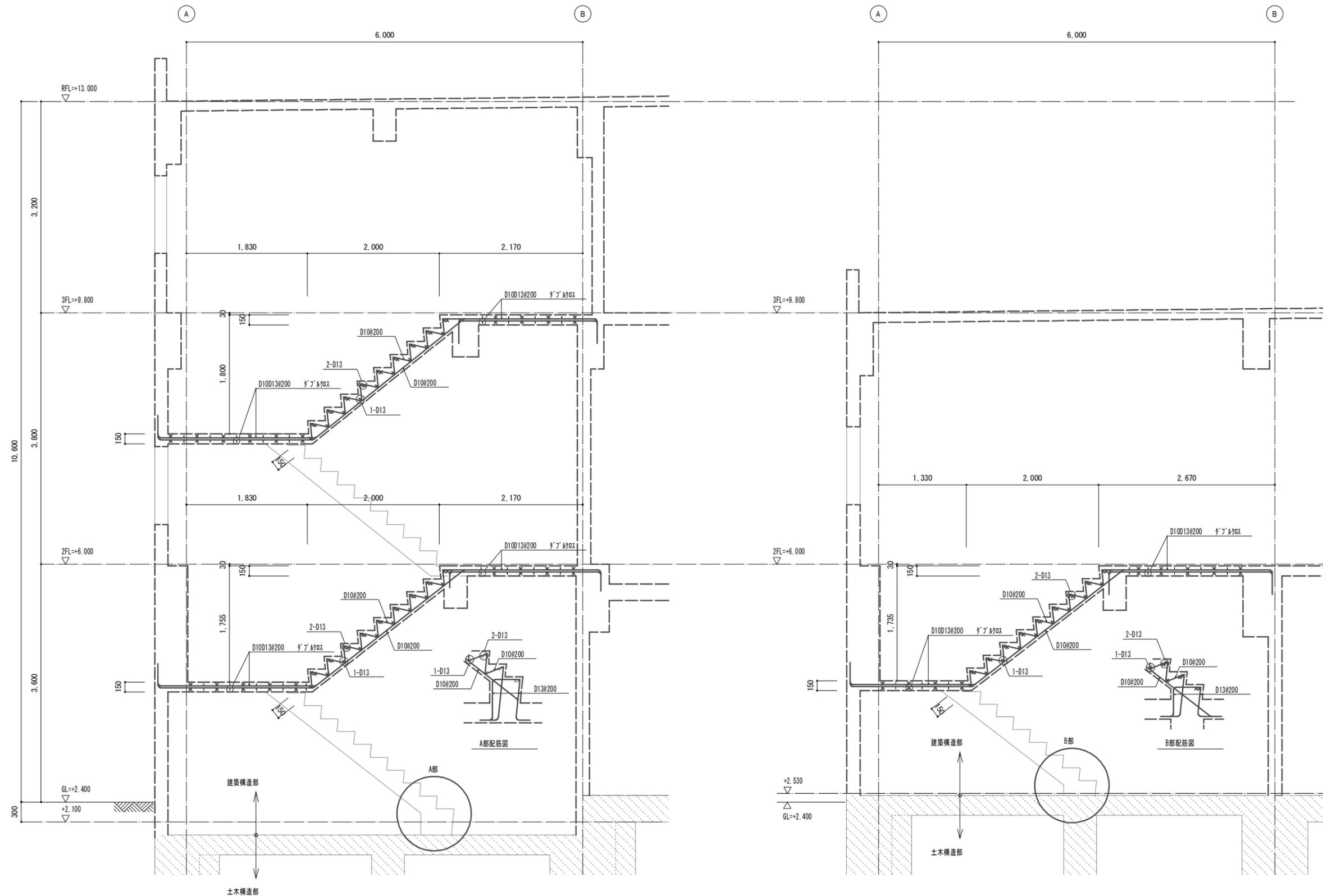


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上層建築) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	C通リラーメン図(2)
縮尺	1:50 図面番号 S-39
事業所名	津市下水道局下水道建設課

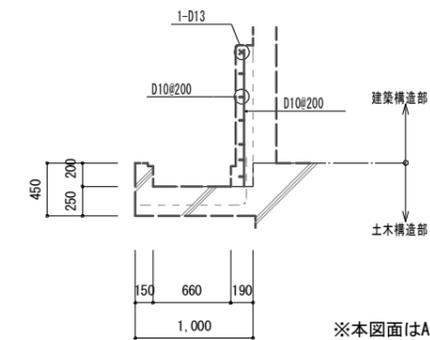
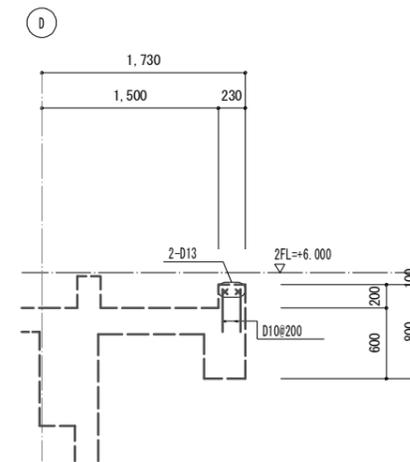
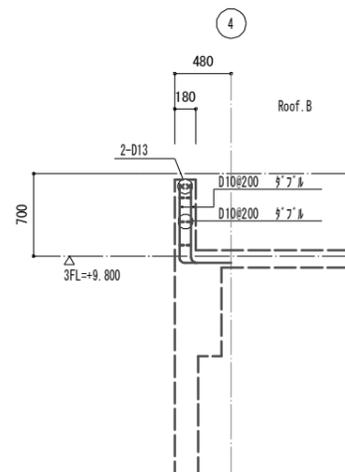
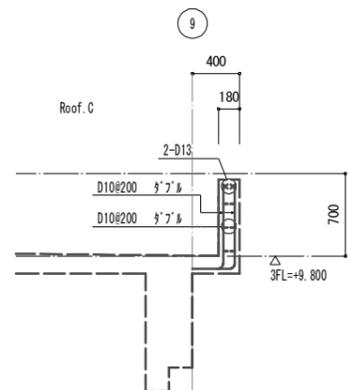
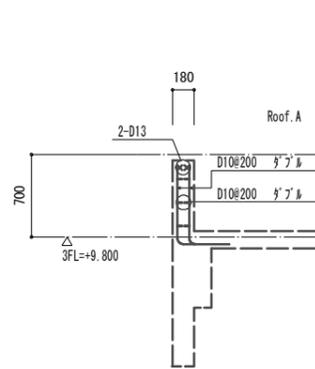
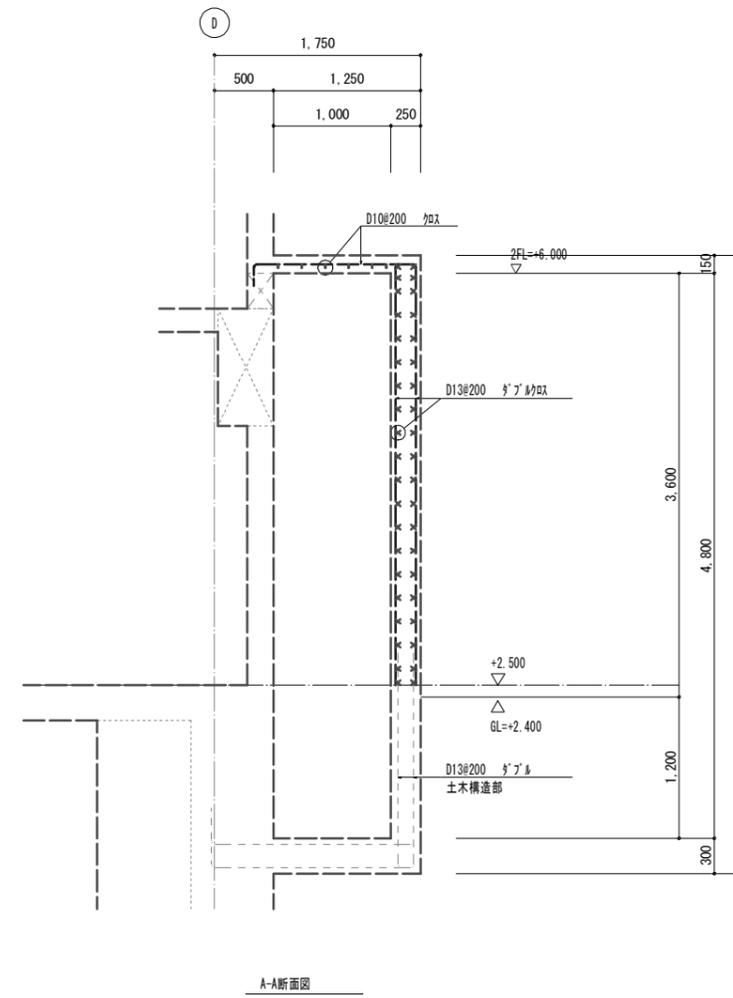
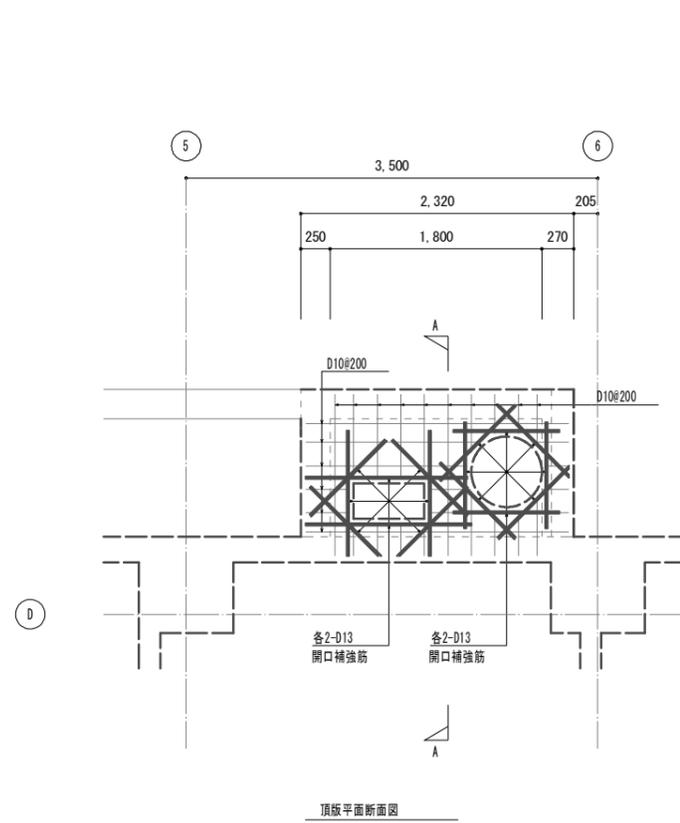
C通リラーメン図(2) S=1/50

共通事項 (特記なき限り)  
1. 柱主筋のR階、3階、2階、柱頭部は全頭フックとする。



※本図面はA1サイズを原寸とする。

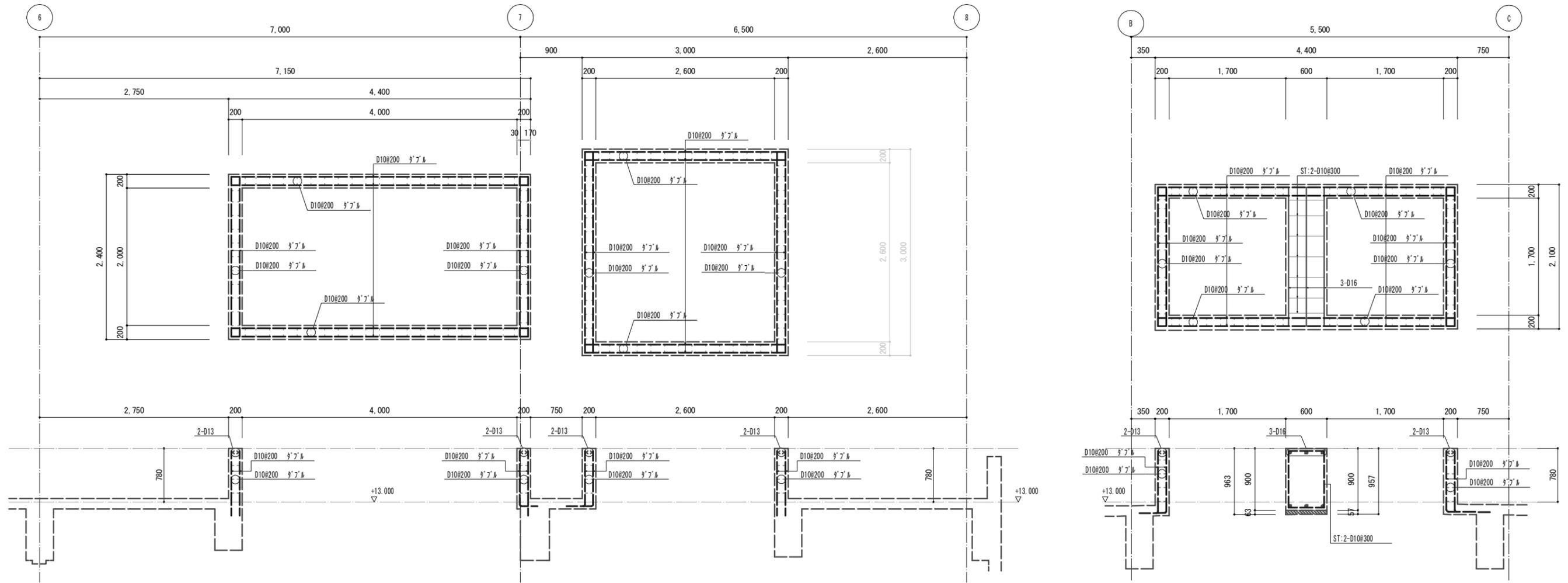
工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	雑配筋図(階段室配筋図) (1)		
縮尺	1:30	図面番号	S-40
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



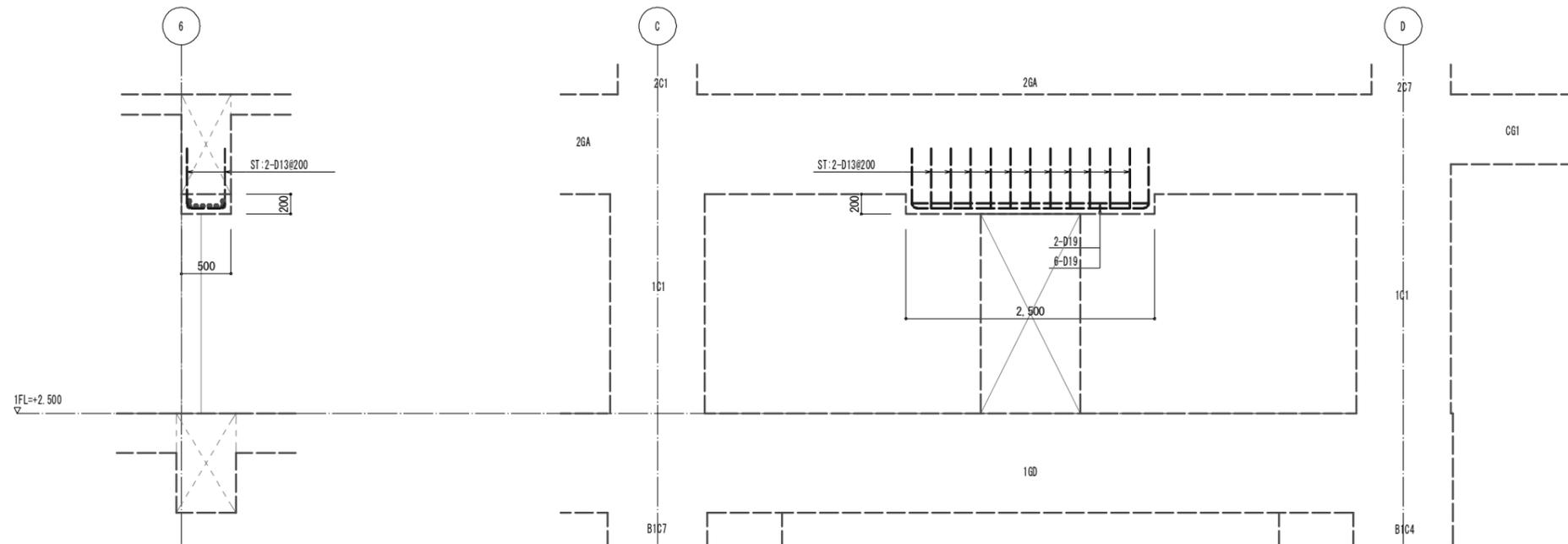
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	雑配筋図(2)		
縮尺	1:30	図面番号	S-41
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

雑配筋図(屋根開口部配筋図) S=1/30

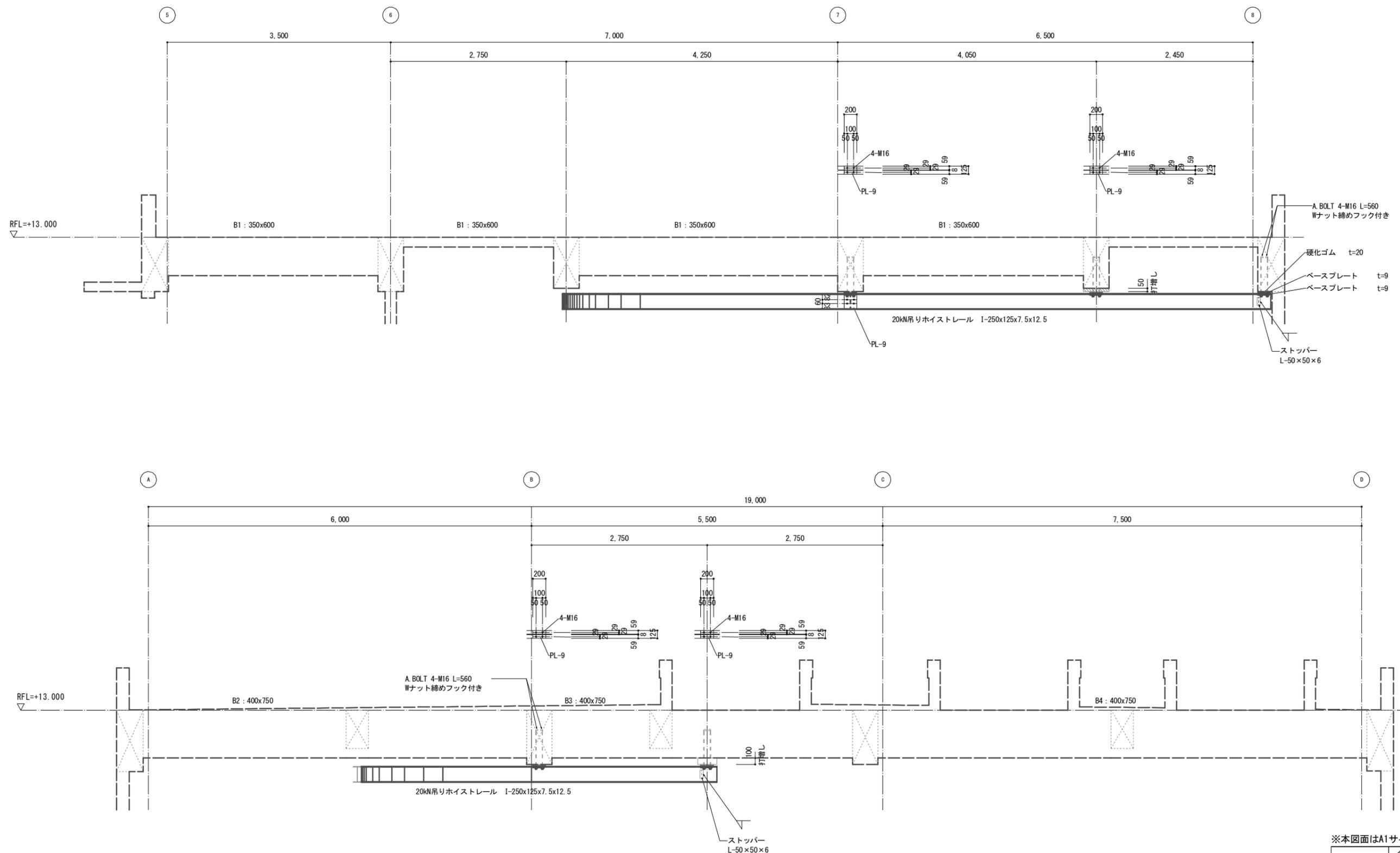


雑配筋図(開口補強配筋図) S=1/30



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	雑配筋図(3)		
縮尺	1:30	図面番号	S-42
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和元年度 下建公補第5号 天神ポンプ場 (上屋建築) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	雑詳細図(ホイストレース取り付け詳細図)		
縮尺	1:30	図面番号	S-43
事業所名	津市下水道局下水道建設課		